

令和6年度 第1回 子ども・子育て会議

1. 日 時 令和6年5月17日（金）午後1時30分から午後3時

2. 場 所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室

3. 案 件

- （1）（仮称）熊取町こども計画の策定について
 - （2）就学前児童の保護者に対するニーズ調査の結果について
 - （3）小学生児童の保護者に対するニーズ調査の結果について
 - （4）小学校5年生、中学校2年生に対するアンケート調査の結果について
 - （5）若者に対するアンケート調査について
 - （6）その他
-

(仮称) 熊取町子ども計画の策定について

(計画期間：令和7年～令和11年度)

1. 位置づけ

令和5年4月1日施行の子ども基本法第10条第2項に基づく、「市町村子ども計画」とする。

策定は努力義務であるが、策定する場合は、令和5年12月22日に閣議決定された「子ども大綱」(資料11)を勘案する必要がある。

2. 計画の内容

子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を核として、「子ども大綱」に含まれる内容を含み、次世代育成支援行動計画、子ども・若者計画、子どもの貧困対策計画と一体的に策定する。

3. 策定スケジュール

令和5年度	1月	・令和5年度 第2回 子ども・子育て会議 (議題：ニーズ調査、アンケート調査の内容について)
	2月～ 3月	・就学前児童・小学生児童の保護者向けニーズ調査の実施 ・小5、中2向けアンケート調査の実施
令和6年度	5月	・令和6年度 第1回 子ども・子育て会議 (議題：ニーズ調査等の結果、若者向けアンケート調査の内容について)
	6月下旬～ 7月中旬	・若者（16～39歳）向けアンケートの実施
	8月上旬	・令和6年度 第2回 子ども・子育て会議 (予定議題：第2期計画の令和5年度実績、若者向けアンケートの結果について等)
	8月下旬	・関係団体のヒアリング
	9月～ 11月頃	・子ども・子育て会議 部会
	10月頃	・令和6年度 第3回 子ども・子育て会議 (予定議題：ヒアリング結果、計画素案①について)
	12月頃	・令和6年度 第4回 子ども・子育て会議 (予定議題：計画素案②について)
	1月	・パブリックコメント実施
	2月	・令和6年度 第5回 子ども・子育て会議 (予定議題：計画最終案)
	3月	(仮称) 熊取町子ども計画策定

(仮称)熊取町こども計画策定にかかるニーズ調査、アンケート調査について

調査名	調査対象者	対象者数	調査目的	調査方法	調査回答期間	回収率
こども・子育て支援充実のためのニーズ調査 (第1期、第2期策定時にも実施)	町内在住の 就学前児童の保護者	1,000人 (住民基本台帳から 無作為抽出)	第1期、第2期計画策定時に引き続き、保育及び地域の子育て支援の利用希望によるニーズ量の適正な把握のため	WEB調査 回答依頼ハガキを送付	令和6年2月19日～ 令和6年3月7日 (回答期限を 3月12日まで延長)	46.1%
		1,000人 (住民基本台帳から 無作為抽出)		WEB調査 回答依頼ハガキを送付		40.8%
	町立小学校 5年生 町立中学校 2年生	(小5) 403人 (中2) 409人	こども基本法第11条の趣旨に鑑み、施策の対象となるこどもたちの意見を聴取し、現状を把握すること及び今後の施策の基礎資料とするため	WEB調査 (学校端末で回答)	回答依頼ハガキ 発送日:2月16日	小5 99.3% 中2 82.2%
	町内在住で、町立小学校・中学校以外の学校に通う 小学校 5年生 中学校 2年生	(小5) 7人 (中2) 49人		WEB調査 情報提供同意確認書において、同意を得られた方にのみ、回答依頼ハガキを送付 小5) 3人 中2) 30人		
令和5年度						
若者の意識と生活に関するアンケート調査 (今回初めて実施)	16～39歳	3,000人 (住民基本台帳から 無作為抽出)	子ども・若者育成支援推進法第9条及び子ども・若者育成支援推進大綱に鑑み、若者の意見を聴取し、現状を把握すること及び今後の施策の基礎資料とするため	WEB調査 回答依頼ハガキを送付	令和6年6月28日～ 令和6年7月16日 回答依頼ハガキ 発送予定日:6月27日	
令和6年度						

※調査は、原則WEB調査であるが、WEBでの回答が困難な方については、紙の調査票で個別に対応する。

	6月																															7月																															8月																																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																			
調査票確定	終了																																																																																																													
印刷・発送																																印刷・発送																															発送																																															
WEBアンケート設定																																WEBアンケート設定																															確認期間																																															
アンケート記入期間																																アンケート記入期間																															回収期限																																															
入力期間																																アンケート入力																																																																														
集計・分析期間																																																															WEBデータ加工												データエラーチェック												集計												アンケート結果報告書作成 8月末完成											

熊取町
「(仮称)熊取町こども計画」
策定のためのニーズ調査

結果報告書

令和 6 年 3 月

□ ■ 目 次 ■ □

調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 報告書のみかた.....	1
就学前児童のいる世帯の調査結果	2
お住まいの地域について.....	2
(1) 居住小学校区.....	2
お子さんご家族の状況について.....	3
(2) お子さんの年齢.....	3
(3) お子さんの人数.....	3
(3-1) 末子の年齢.....	4
(4) 回答者とお子さんの関係.....	4
(5) 回答者の配偶関係.....	5
(6) お子さんの子育てを主に行っている方.....	5
こどもの育ちをめぐる環境について.....	6
(7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無.....	6
(8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無.....	7
保護者の就労状況について.....	8
(9) 母親の就労状況.....	8
(9-1) 母親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労.....	9
(9-2) フルタイムへの転換希望.....	12
(10) 父親の就労状況.....	12
(10-1) 父親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労.....	13
(10-2) フルタイムへの転換希望.....	16
平日、定期的に利用している施設やサービスについて.....	17
(11) お子さんが現在利用している施設等.....	17
(11-1) 施設等を利用していない理由.....	18
(12) こども誰でも通園制度（仮称）の利用意向.....	19
(13) 平日「定期的」に利用したい施設等.....	20
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望について.....	21
(14) 土曜日の「定期的」な幼稚園等の利用希望.....	21
(14-1) 日曜・祝日の「定期的」な幼稚園等の利用希望.....	21
(15) 長期休暇期間中の「定期的」な幼稚園等の利用希望.....	23
病気の際の対応について.....	24
(16) 子どもが病気やけがをした際の対処方法.....	24
(16-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向.....	25
不定期の幼稚園、保育所や認定こども園等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	26
(17) 「不定期」に利用しているサービスの有無.....	26

(17-1) サービスを利用していない理由.....	27
(18) こどもを泊りがけで預ける必要性の有無.....	28
小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	29
(19) 放課後過ごさせたい場所.....	29
(19-1) 休日における学童保育所の利用希望.....	31
育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について.....	32
(20) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況.....	32
(20-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由.....	33
(20-2) 育児休業取得後の職場復帰.....	34
(20-3) 職場復帰のタイミング.....	35
(20-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか.....	36
(21) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況.....	37
(21-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由.....	38
(21-2) 育児休業取得後の職場復帰.....	39
(21-3) 職場復帰のタイミング.....	40
(21-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか.....	41
子育ての悩みや喜びなどについて.....	42
(22) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること.....	42
(23) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと.....	44
(24) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの.....	45
(25) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか.....	46
熊取町の子育て施策全般について.....	49
(26) 熊取町での子育てで感じること.....	49
(27) 「子どもの権利に関する条例」の認知度.....	50
(28) 熊取町の子育て環境や支援への満足度.....	50
(29) 子育ての環境や支援に関するご意見.....	51
小学生のいる世帯の調査結果.....	52
お住まいの地域について.....	52
(1) 居住小学校区.....	52
お子さんとご家族の状況について.....	53
(2) お子さんの学年.....	53
(3) お子さんの人数.....	53
(3-1) 末子の年齢.....	54
(4) 回答者とお子さんの関係.....	54
(5) 回答者の配偶関係.....	55
(6) お子さんの子育てを主に行っている方.....	55
こどもの育ちをめぐる環境について.....	56
(7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無.....	56
(8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無.....	57
保護者の就労状況について.....	58
(9) 母親の就労状況.....	58
(9-1) 母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労.....	59
(9-2) フルタイムへの転換希望.....	62
(10) 父親の就労状況.....	62
(10-1) 父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労.....	63

(10-2) フルタイムへの転換希望.....	66
一時預かりについて.....	67
(11) 子どもが病気やけがをした際の対処方法.....	67
(11-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向.....	68
(12) 子どもを泊りがけで預ける必要性の有無.....	69
放課後の過ごし方について.....	70
(13) 放課後過ごしている場所.....	70
(13-1) 放課後自宅で一緒に過ごす人.....	71
育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について.....	72
(14) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況.....	72
(14-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由.....	73
(14-2) 育児休業取得後の職場復帰.....	74
(14-3) 職場復帰のタイミング.....	75
(15) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況.....	76
(15-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由.....	77
(15-2) 育児休業取得後の職場復帰.....	78
(15-3) 職場復帰のタイミング.....	79
子育ての悩みや喜びなどについて.....	80
(16) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること.....	80
(17) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと.....	82
(18) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの.....	83
(19) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか.....	84
熊取町の子育て施策全般について.....	87
(20) 熊取町での子育てで感じること.....	87
(21) 「子どもの権利に関する条例」の認知度.....	88
(22) 熊取町の子育て環境や支援への満足度.....	88
(23) 子育ての環境や支援に関するご意見.....	89

調査の概要

1. 調査の目的

「（仮称）熊取町こども計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、本町のこども・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望、子育て中の皆さまの現状やご意見などを計画に反映させるためにアンケート調査を実施しました。

（1）就学前児童のいる世帯

- 調査対象：熊取町在住の就学前児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月19日～令和6年3月12日
- 調査方法：郵送配布、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数	回収率	有効回答数
1,000 票	461 票	46.1%	388 票

（2）小学生のいる世帯

- 調査対象：熊取町在住の小学生がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年2月19日～令和6年3月12日
- 調査方法：郵送配布、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数	回収率	有効回答数
1,000 票	408 票	40.8%	350 票

3. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

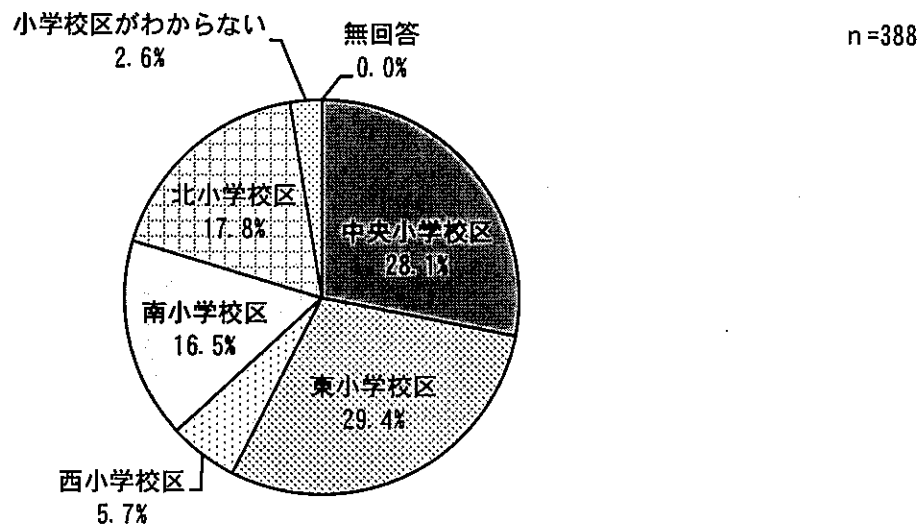
就学前児童のいる世帯の調査結果

お住まいの地域について

(1) 居住小学校区

問1 お住まいの小学校区をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

居住の小学校区は、「東小学校区」が29.4%と最も多く、次いで「中央小学校区」が28.1%、「北小学校区」が17.8%となっています。

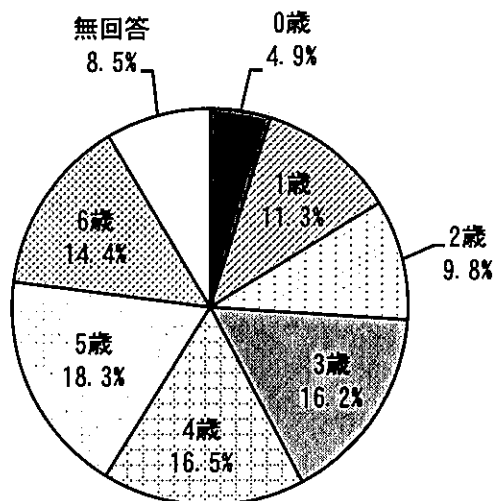


お子さんご家族の状況について

(2) お子さんの年齢

問2 お子さんの生年月をお答えください。

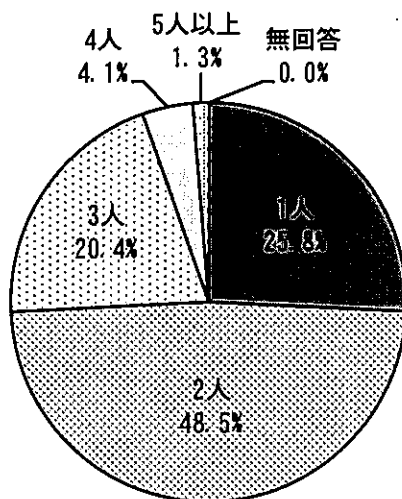
こどもの年齢は、「5歳」が18.3%と最も多く、次いで「4歳」が16.5%、「3歳」が16.2%となっています。



(3) お子さんの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいの数（宛名のお子さんを含めた人数）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

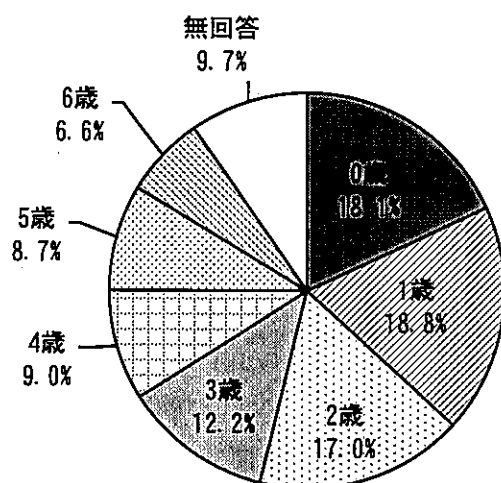
こどものきょうだいの人数は、「2人」が48.5%と最も多く、次いで「1人」が25.8%、「3人」が20.4%となっています。



(3-1) 末子の年齢

問3-1 問3で「2～5」を選んだ方にうかがいます。
2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の生年月をお答えください。

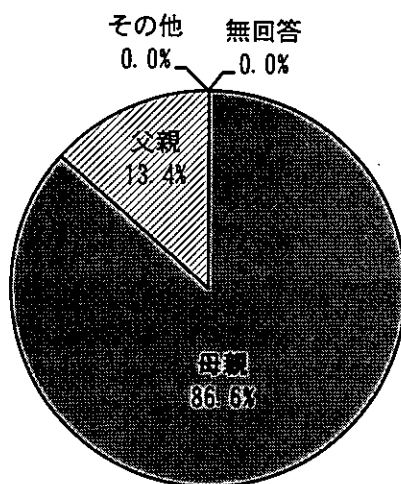
末子の年齢は、「1歳」が18.8%と最も多く、次いで「0歳」が18.1%、「2歳」が17.0%となっています。



(4) 回答者とお子さんの関係

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに○)

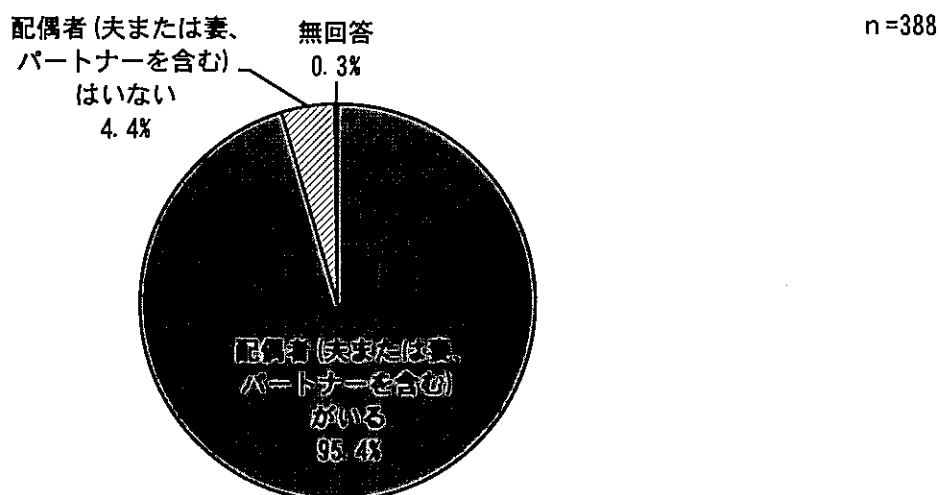
回答者は、「母親」が86.6%と最も多く、次いで「父親」が13.4%となっています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

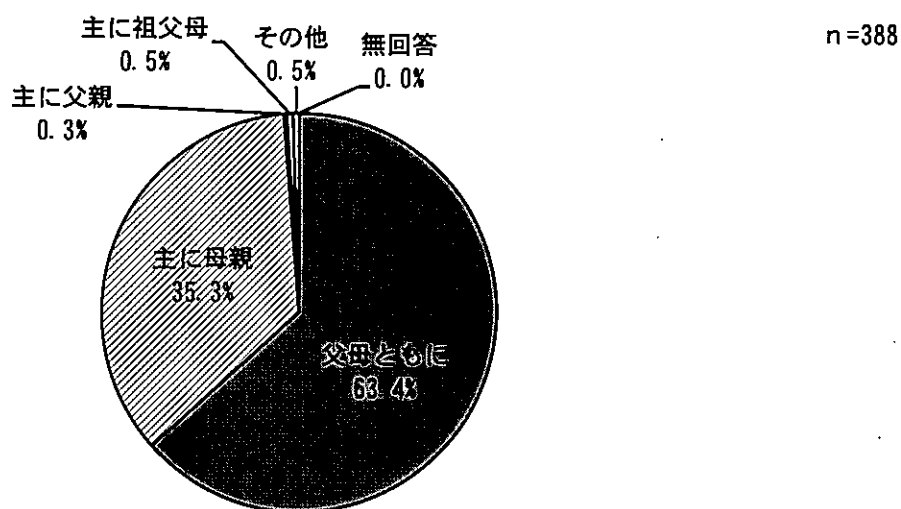
回答者の配偶関係は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)がいる」が95.4%、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)はいない」が4.4%となっています。



(6) お子さんの子育てを主に行っている方

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

子育て(教育を含む)を主に行っている方は、「父母ともに」が63.4%と最も多く、次いで「主に母親」が35.3%となっています。



【その他】

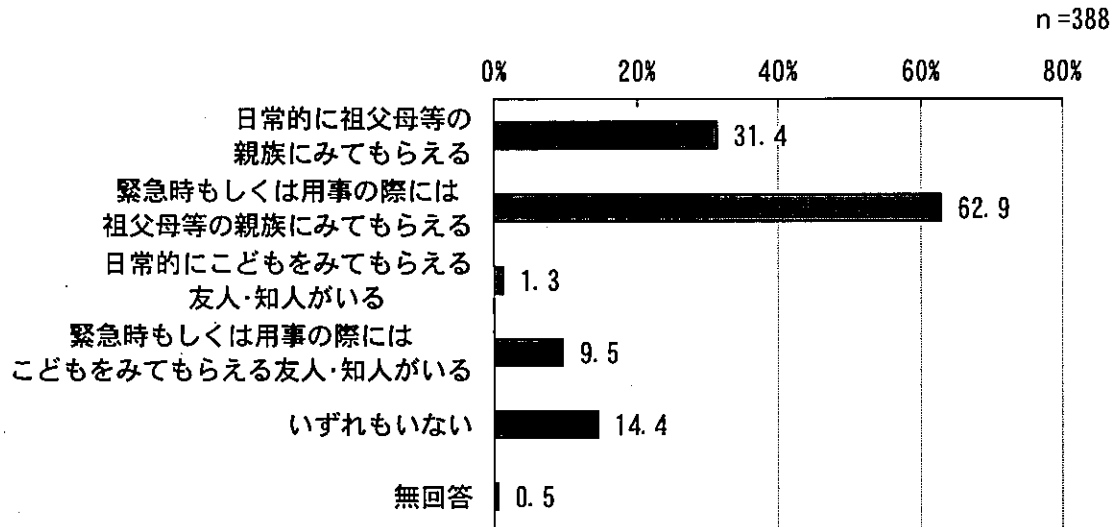
- 土日は父親も参加
- 父親が単身赴任中のため

こどもの育ちをめぐる環境について

(7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

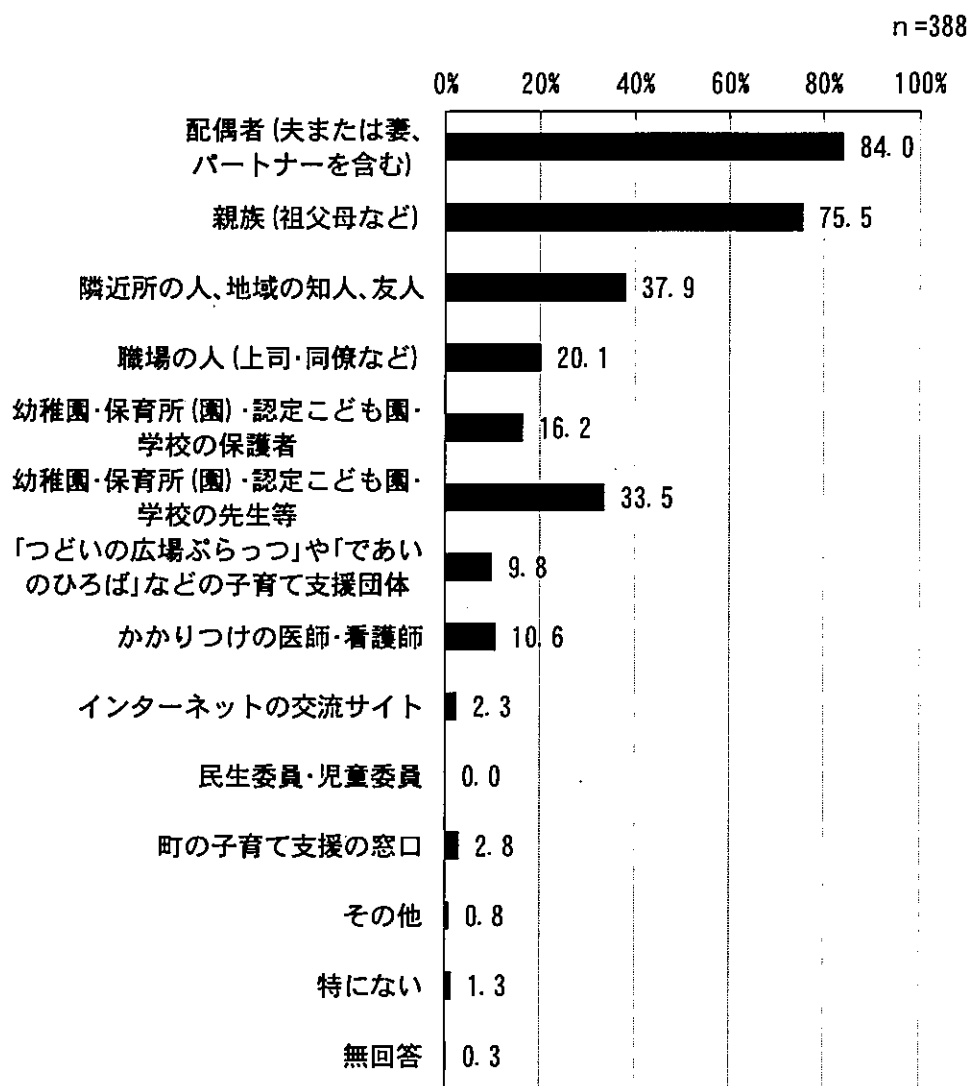
日頃、こどもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.4%となっており、「いずれもない」は14.4%となっています。



(8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無

問8 こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰(どこ)ですか。(当てはまるものすべてに○)

こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)」が84.0%と最も多く、次いで「親族(祖父母など)」が75.5%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が37.9%となっています。



【その他】

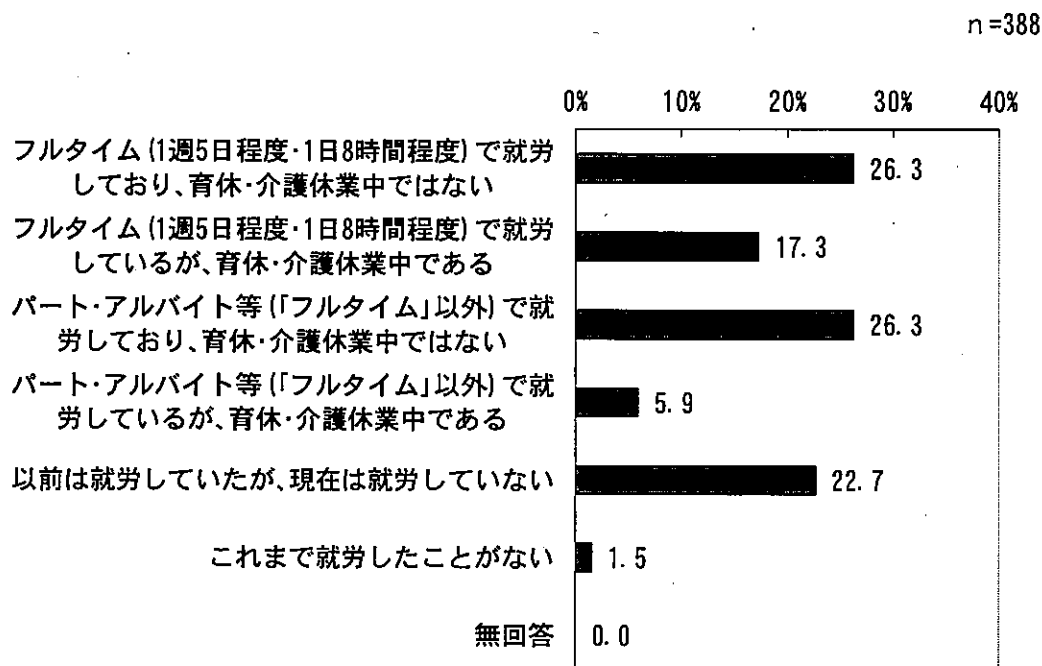
姉／担当保健師

保護者の就労状況について

(9) 母親の就労状況

問9 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について、うかがいます。
（父子家庭の場合は回答不要です）（当てはまるもの1つに○）

母親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」がそれぞれ26.3%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.7%となっています。

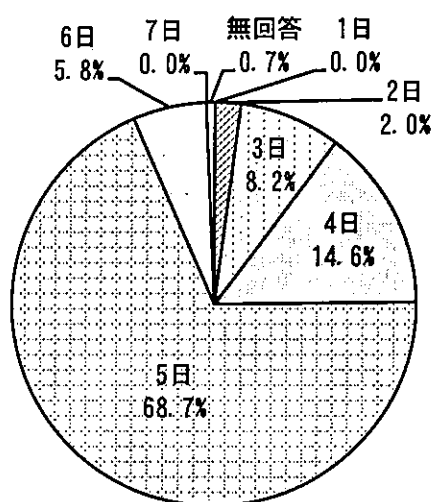


(9-1) 母親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労

問9-1 問9で「1～4」を選んだ方にうかがいます。
 1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、就労開始時刻と就労終了時刻をお答えください。（()内に数字を記入）また、土曜日、日曜日・祝日の就労がありますか。（当てはまるもの1つに○）
 ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず（例）18:00のように、24時間制でお答えください。

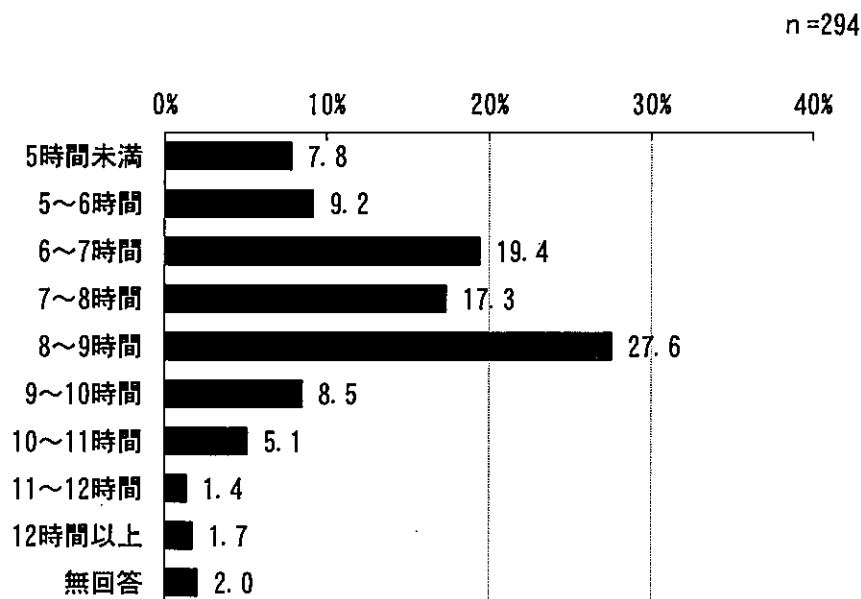
【母親の1週当たりの就労日数】

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が68.7%と最も多く、次いで「4日」が14.6%、「3日」が8.2%となっています。



【母親の1日当たりの就労時間】

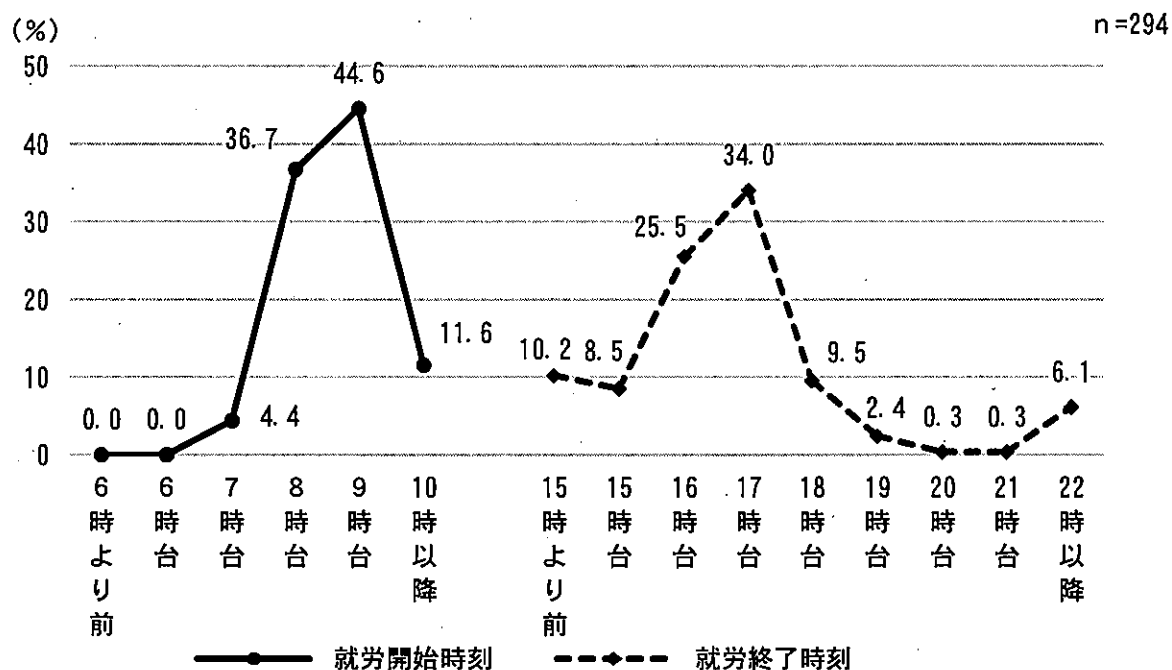
母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間」が27.6%と最も多く、次いで「6～7時間」が19.4%、「7～8時間」が17.3%となっています。



【母親の就労開始時刻と就労終了時刻】

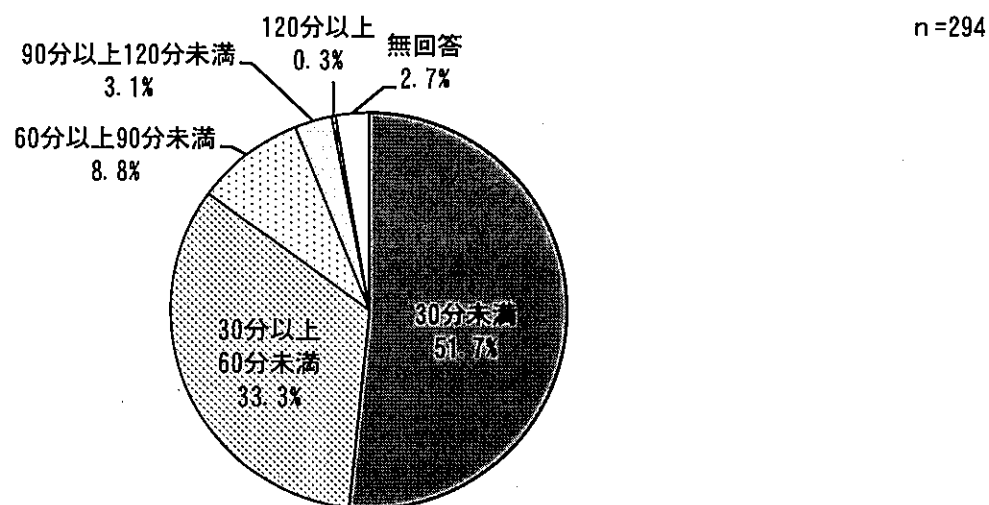
母親の就労開始時刻は、「9時台」が44.6%と最も多く、次いで「8時台」が36.7%、「10時以降」が11.6%となっています。

母親の就労終了時刻は、「17時台」が34.0%と最も多く、次いで「16時台」が25.5%、「15時より前」が10.2%となっています。



【母親の通勤時間】

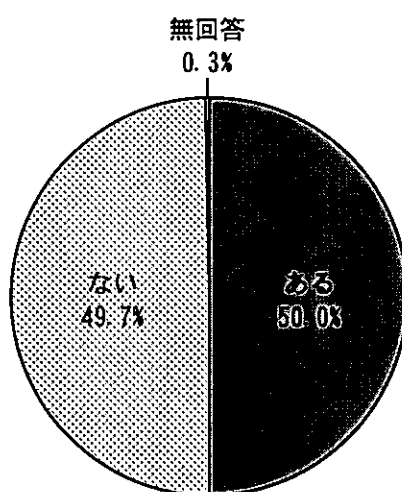
母親の通勤時間は、「30分未満」が51.7%と最も多く、次いで「30分以上60分未満」が33.3%、「60分以上90分未満」が8.8%となっています。



【母親の土曜日の就労】

母親の土曜日の就労は、「ある」が50.0%、「ない」が49.7%となっています。

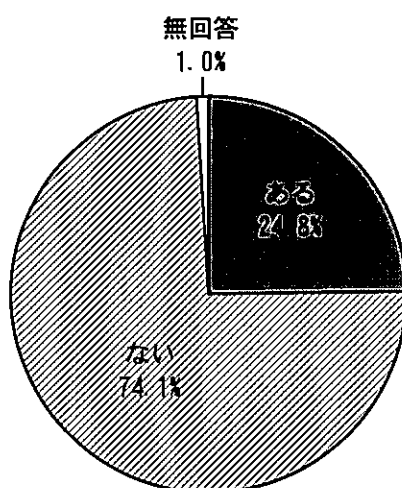
n=294



【母親の日曜・祝日の就労】

母親の日曜・祝日の就労は、「ある」が24.8%、「ない」が74.1%となっています。

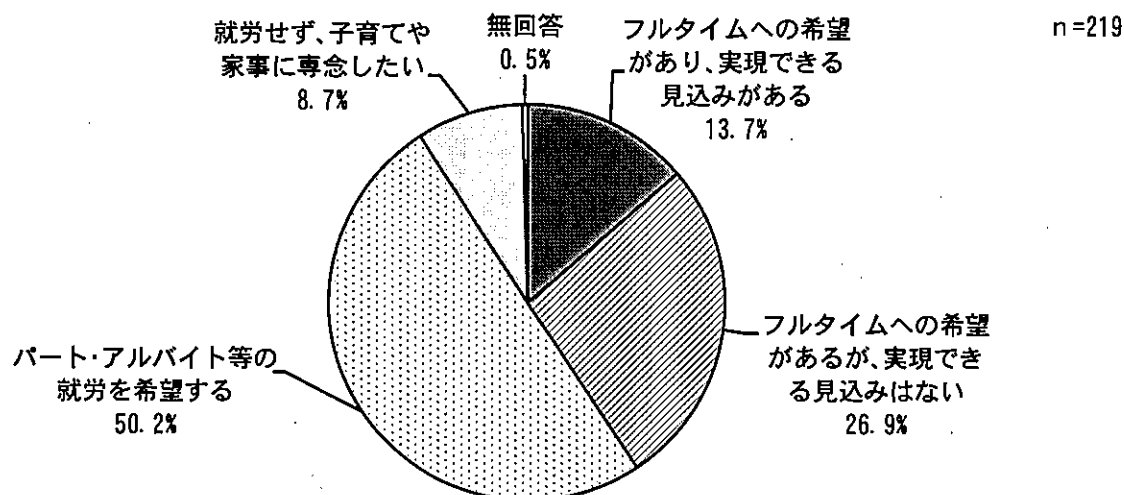
n=294



(9-2) フルタイムへの転換希望

問9-2 問9で「3～6」を選んだ方にうかがいます。
今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの1つに○)

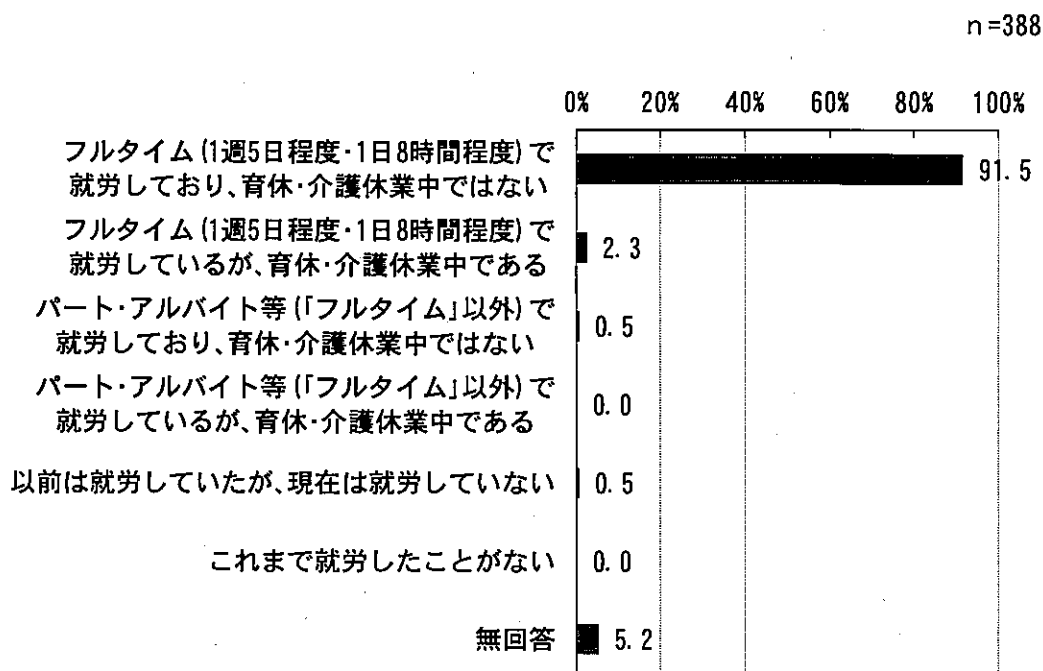
フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を希望する」が50.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が26.9%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が13.7%となっています。



(10) 父親の就労状況

問10 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について、うかがいます。(母子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つに○)

父親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.5%と最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、育休・介護休業中である」が2.3%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がそれぞれ0.5%となっています。

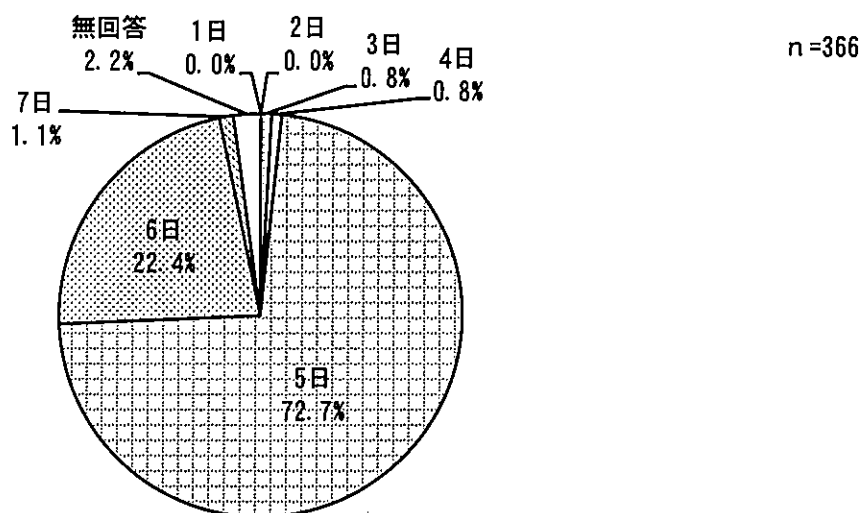


(10-1) 父親の就労日数と就労時間、通勤時間と休日の就労

問 10-1 問 10 で「1～4」を選んだ方にうかがいます。
 1 週あたりの就労日数、1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）、就労開始時刻と就労終了時刻をお答えください。（() 内に数字を記入）また、土曜日、日曜日・祝日の就労がありますか。（当てはまるもの 1 つに○）
 ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず（例）18:00 のように、24 時間制でお答えください。

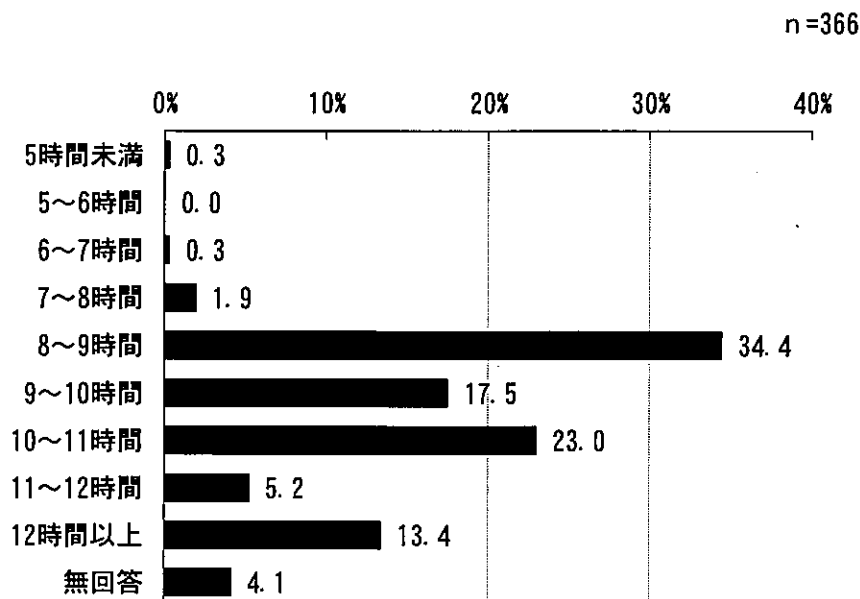
【父親の 1 週当たりの就労日数】

父親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が 72.7%と最も多く、次いで「6 日」が 22.4%、「7 日」が 1.1%となっています。



【父親の 1 日当たりの就労時間】

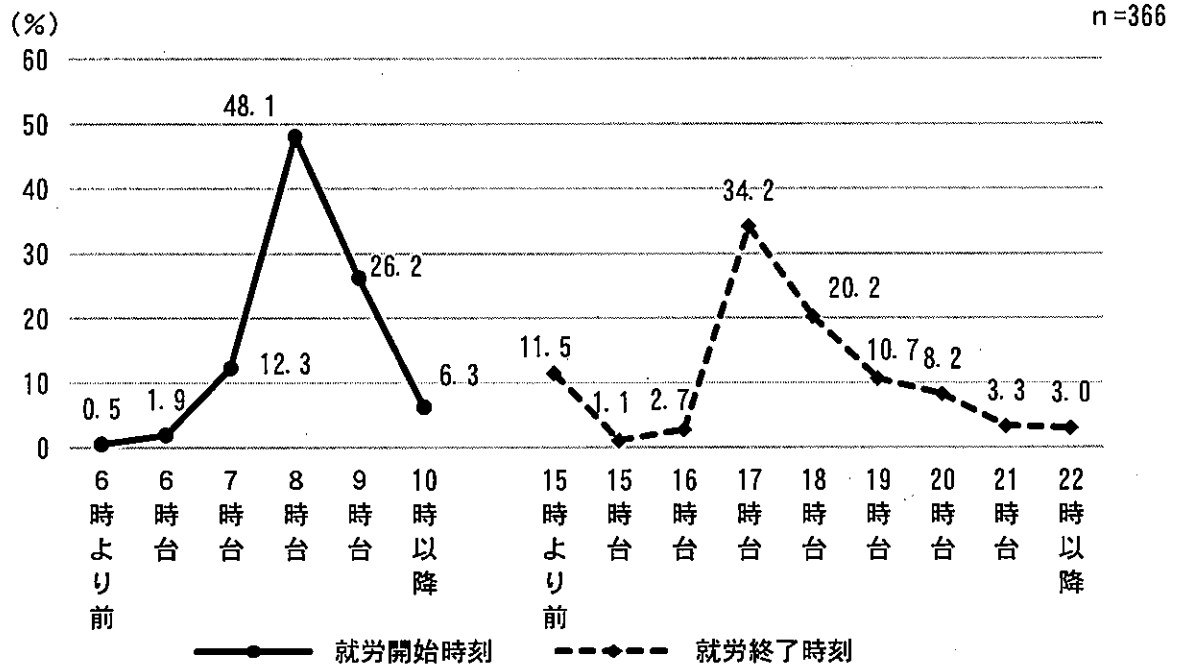
父親の 1 日当たりの就労時間は、「8～9 時間」が 34.4%と最も多く、次いで「10～11 時間」が 23.0%、「9～10 時間」が 17.5%となっています。



【父親の就労開始時刻と就労終了時刻】

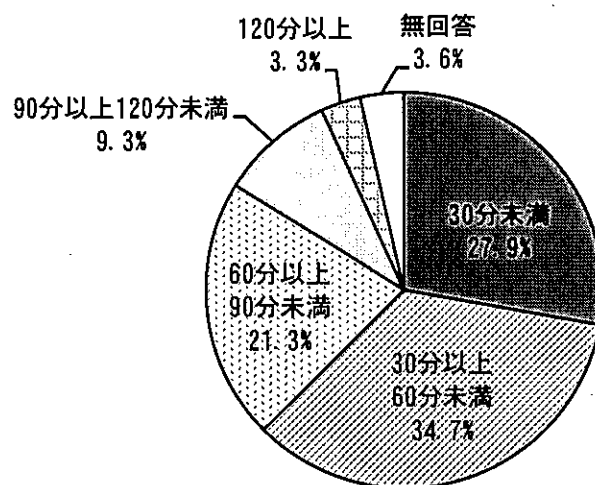
父親の就労開始時刻は、「8時台」が48.1%と最も多く、次いで「9時台」が26.2%、「7時台」が12.3%となっています。

父親の就労終了時刻は、「17時台」が34.2%と最も多く、次いで「18時台」が20.2%、「15時より前」が11.5%となっています。



【父親の通勤時間】

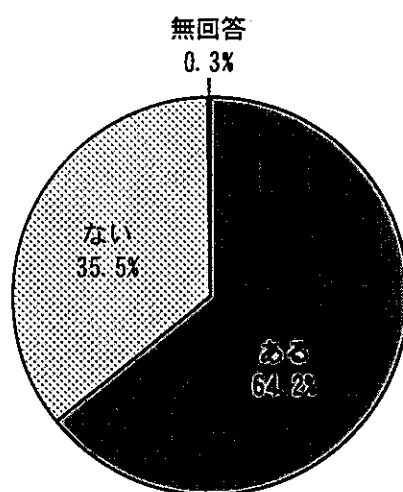
父親の通勤時間は、「30分以上60分未満」が34.7%と最も多く、次いで、「30分未満」が27.9%、「60分以上90分未満」が21.3%となっています。



【父親の土曜日の就労】

父親の土曜日の就労は、「ある」が64.2%、「ない」が35.5%となっています。

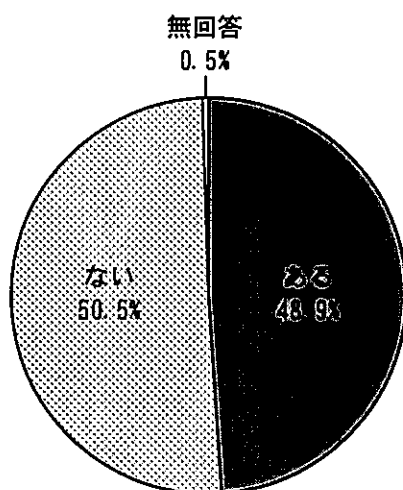
n=366



【父親の日曜・祝日の就労】

父親の日曜・祝日の就労は、「ある」が48.9%、「ない」が50.5%となっています。

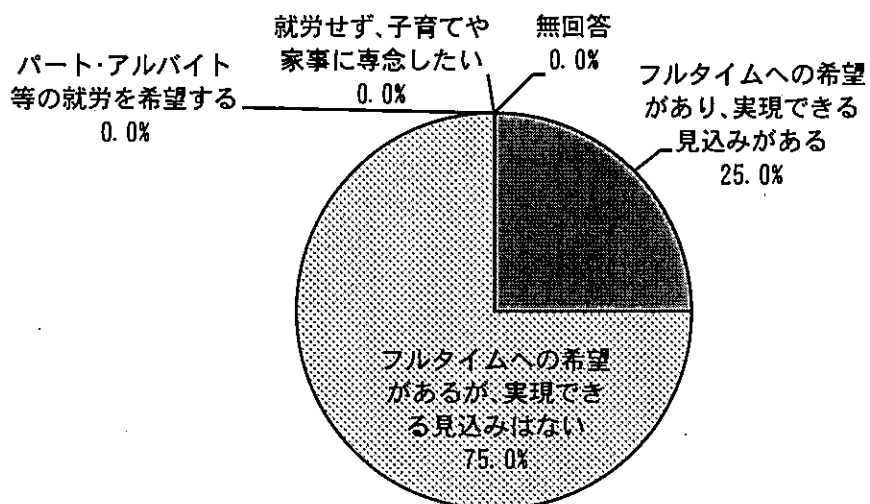
n=366



(10-2) フルタイムへの転換希望

問 10-2 問 10で「3～6」を選んだ方にうかがいます。
今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの1つに○)

フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が75.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が25.0%となっています。

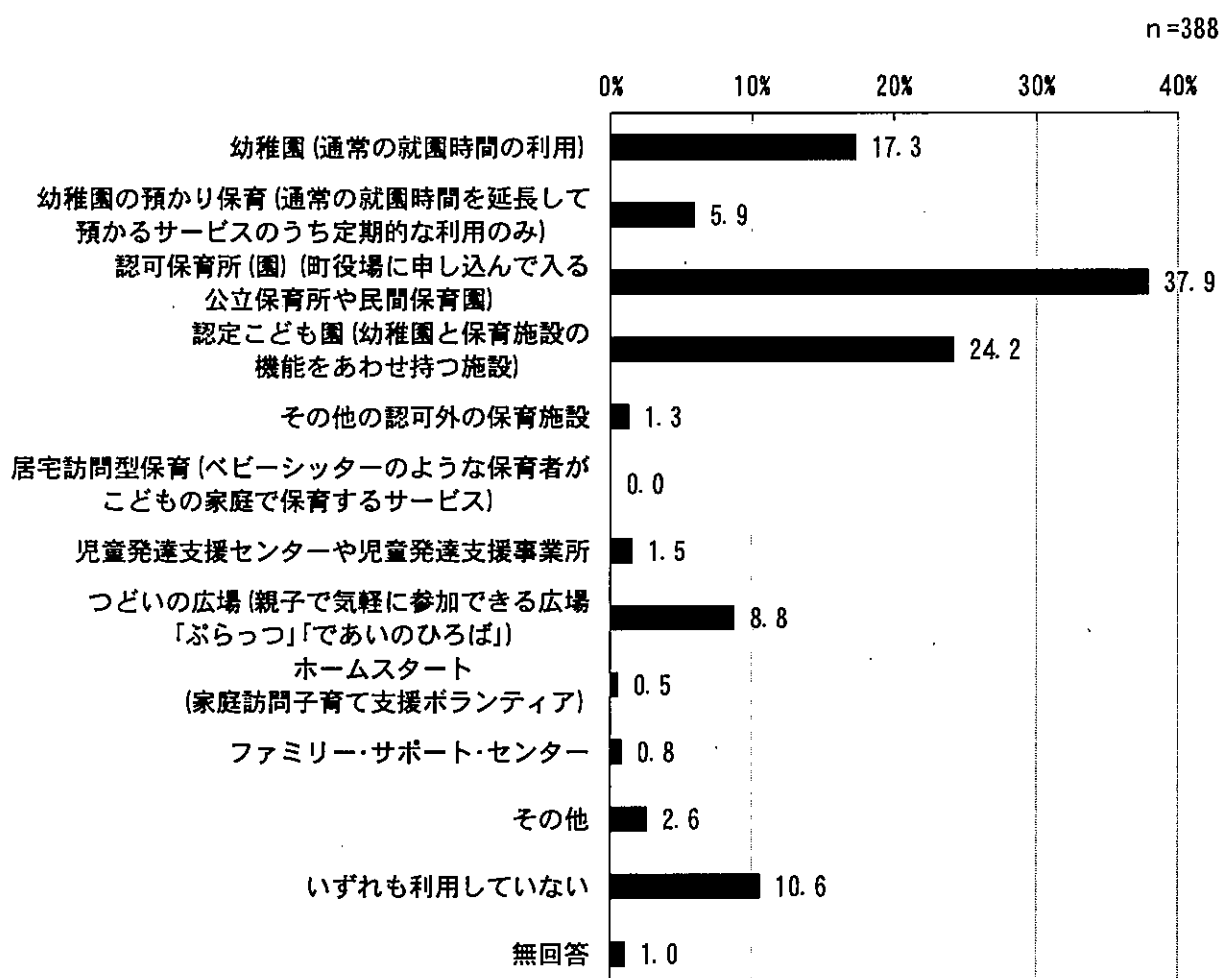


平日、定期的に利用している施設やサービスについて

(11) お子さんが現在利用している施設等

問 11 宛名のお子さんは、現在以下の施設やサービスを利用していますか。(当てはまるものすべてに○)

利用している施設やサービスは、「認可保育所（園）（町役場に申し込んで入る公立保育所や民間保育園）」が 37.9%と最も多く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設）」が 24.2%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 17.3%となっています。



【その他】

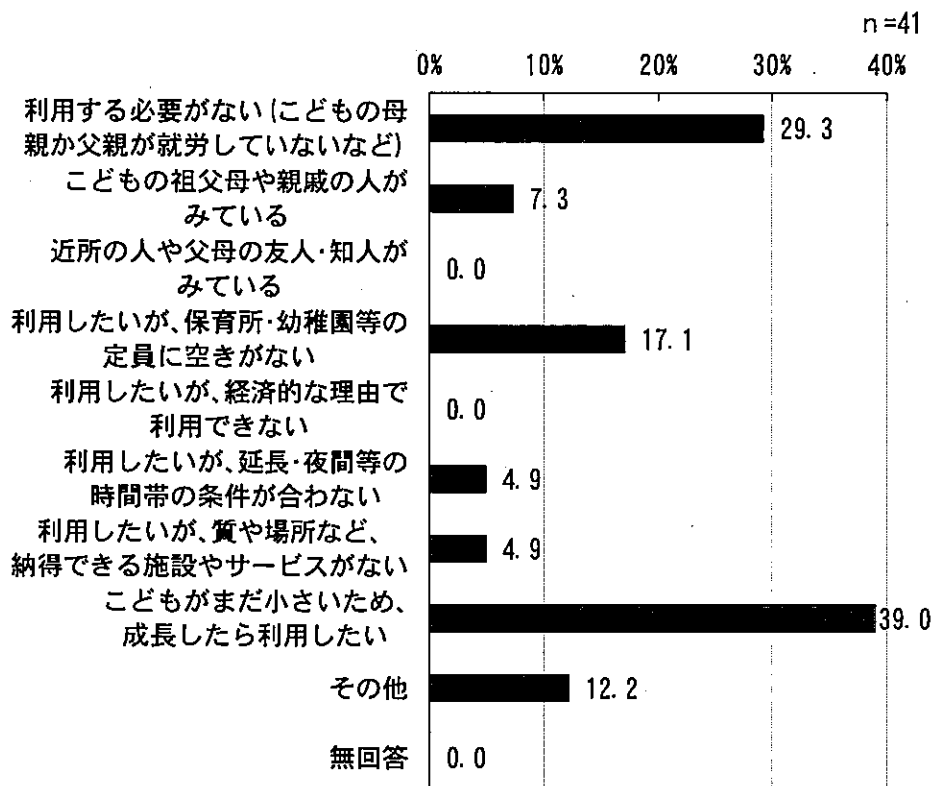
週1回の町の親子教室 (すこやかるーむ) / 町立保育所 / 訪問看護 / 実家 / 職場託児所 / すこやか教室 / もりのようちえん / 利用したいが待機児童でできない / 企業主導型保育園 / 4月から毎日通園する。

(11-1) 施設等を利用していない理由

問 11-1 問 11 で「12」を選んだ方にうかがいます。

上記の施設やサービスを利用していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。
(当てはまるものすべてに○)

施設やサービスを利用していない理由は、「こどもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が 39.0%と最も多く、次いで「利用する必要がある（こどもの母親か父親が就労していないなど）」が 29.3%、「利用したいが、保育所・幼稚園等の定員に空きがない」が 17.1%となっています。



【その他】

- お腹が弱いため、ノロや風邪の感染リスクを抑えるため
- 保育所に預けたいが、妻が就労しておらず保育の要件を満たしていないため
- 自分で面倒みられるから

(12) こども誰でも通園制度（仮称）の利用意向

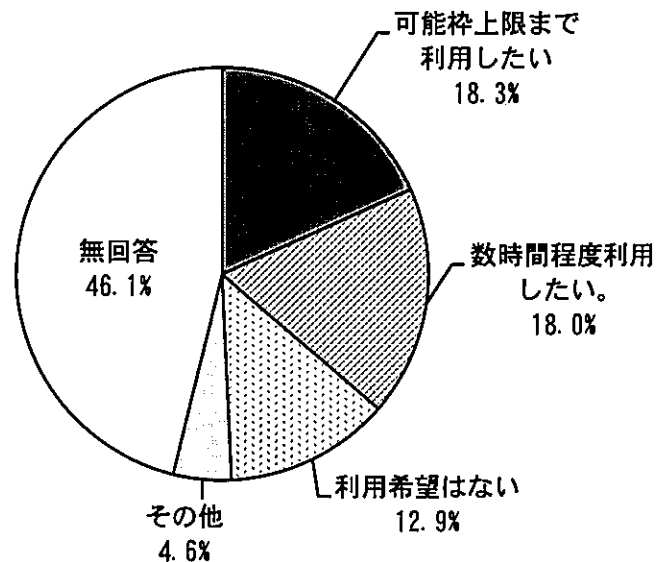
問 12 6ヶ月～2歳の未就園児がいる方にお聞きします。

本町で、こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合、利用したいですか。（当てはまるもの1つに○）

※こども誰でも通園制度（仮称）とは、6ヶ月～2歳の未就園児を対象に、月10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で利用できる新たな制度。（保護者負担は、こども1人あたり1時間300円程度が標準となる予定）

こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合の利用希望は、「可能枠上限まで利用したい」が18.3%と最も多く、次いで「数時間程度利用したい」が18.0%、「利用希望はない」が12.9%となっています。

n=388



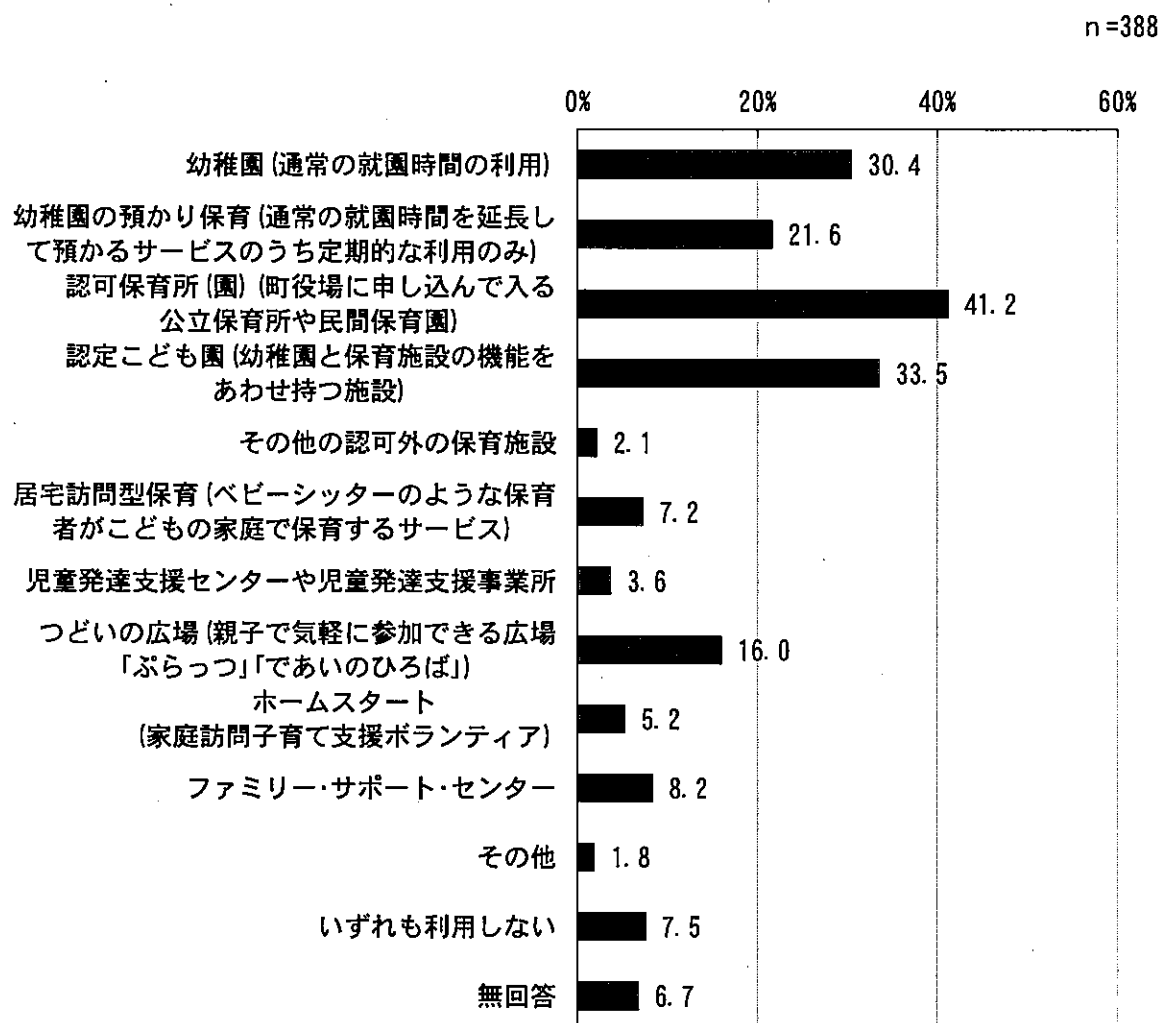
【その他】

- こども園に通園中。
- 3人目なので関係ない
- 既にこども園に通っているので必要ない。逆にこども園の先生方への負担になるのでは？と感じる
- 保育園に通っていなければ、利用したいと思う
- いまの保育園が継続できれば不要
- 利用したいが場所次第、土日祝対応であれば利用したい。
- 該当する未就園児がない
- 検討中

(13) 平日「定期的」に利用したい施設等

問 13 現在利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんのために平日「定期的」に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。(当てはまるものすべてに○)

平日「定期的」に利用したいと考える施設やサービスは、「認可保育所(園)(町役場に申し込んで入る公立保育所や民間保育園)」が41.2%と最も多く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設)」が33.5%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が30.4%となっています。



【その他】

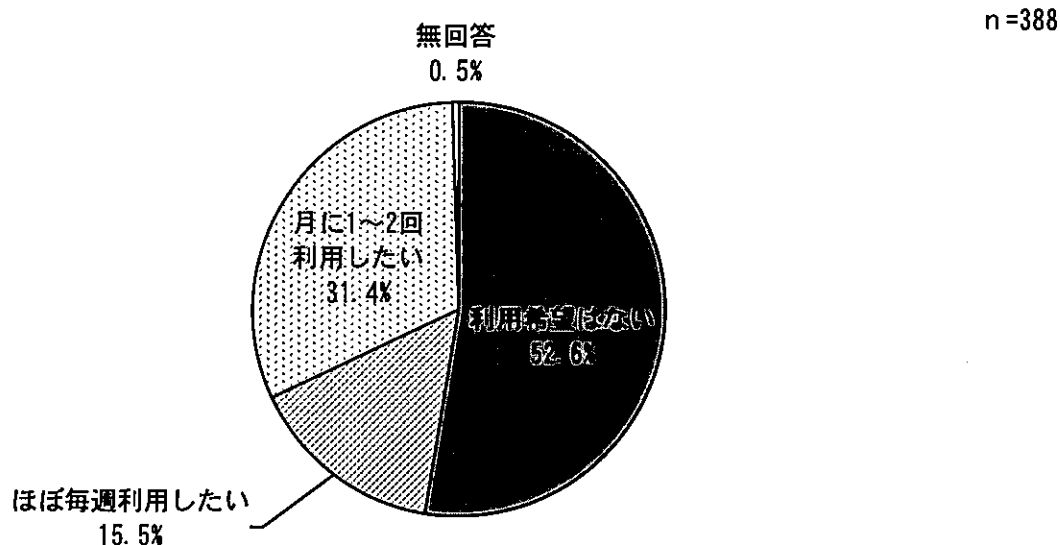
病児保育施設/休日ぶらっつのように利用できる施設があればいいと思う/土日祝対応の保育園

土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望について

(14) 土曜日の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 14 宛名のお子さんについて、土曜日に「定期的な」幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望はありますか。(当てはまるもの1つに○)

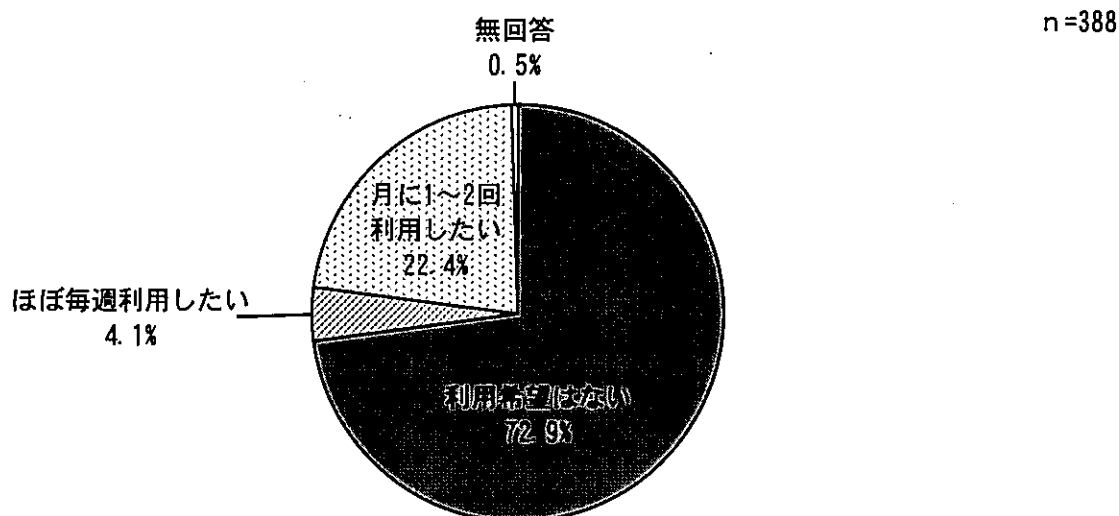
土曜日の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望は、「利用希望はない」が52.6%と最も多く、次いで「月に1～2回利用したい」が31.4%、「ほぼ毎週利用したい」が15.5%となっています。



(14-1) 日曜・祝日の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 14-1 宛名のお子さんについて、日曜・祝日に、「定期的な」幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望はありますか。(当てはまるもの1つに○)

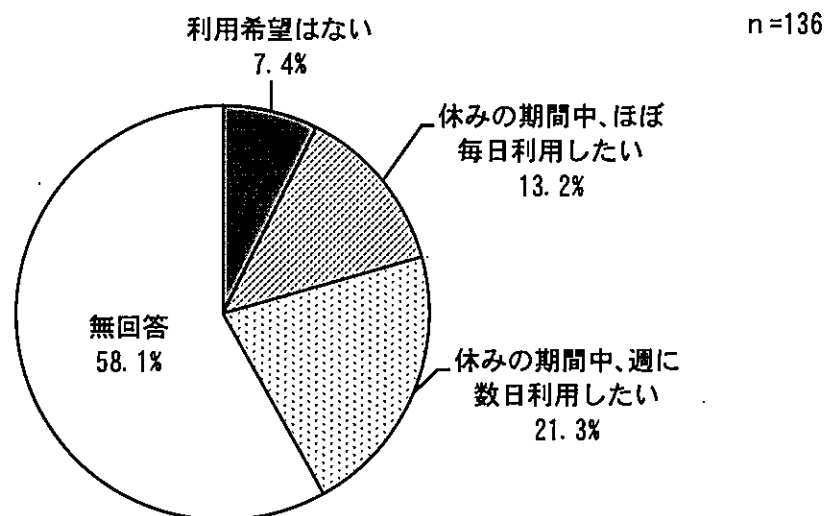
日曜・祝日の「定期的」な幼稚園、保育所や認定こども園等の利用希望は、「利用希望はない」が72.9%と最も多く、次いで「月に1～2回利用したい」が22.4%、「ほぼ毎週利用したい」が4.1%となっています。



(15) 長期休暇期間中の「定期的」な幼稚園等の利用希望

問 15 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の幼稚園の利用希望
はありますか。(当てはまるもの1つに○)

長期の休暇期間中の幼稚園の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が21.3%と最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が13.2%、「利用希望はない」が7.4%となっています。



病気の際の対応について

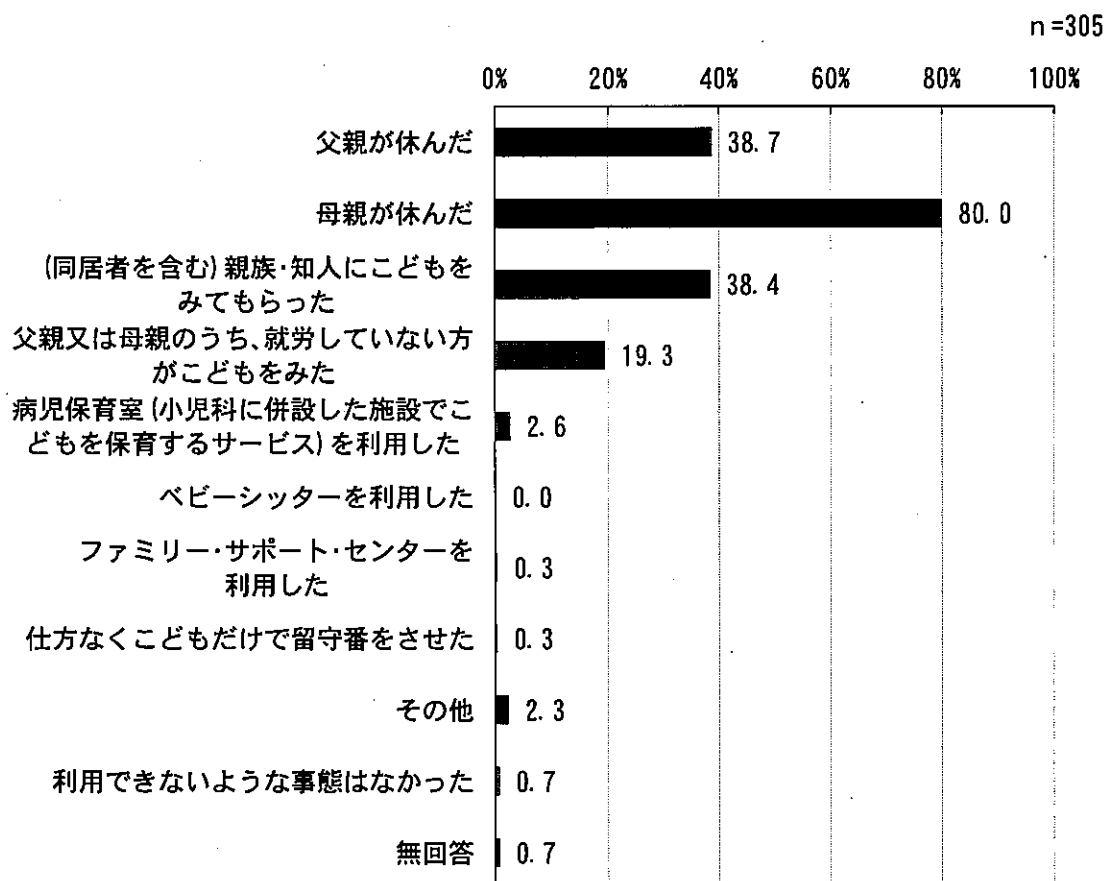
※平日に幼稚園、保育所や認定こども園等を利用する方のみ

(16) 子どもが病気やけがをした際の対処方法

問 16 問 11 で「1～6」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんが、病気やけがで通常の幼稚園、保育所や認定こども園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

こどもが病気やけがで通常の幼稚園、保育所や認定こども園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.0%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.7%、「(同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらった」が38.4%となっています。



【その他】

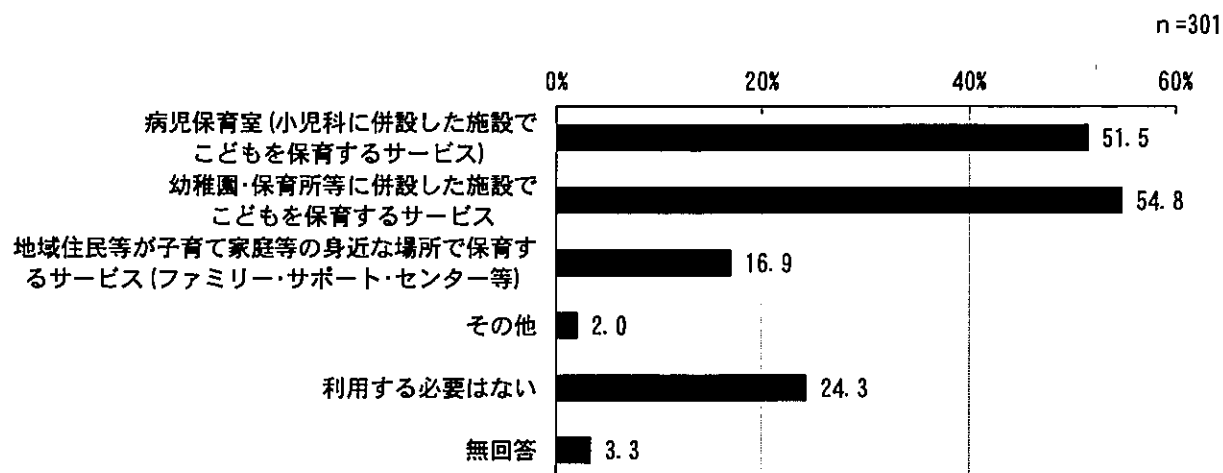
- 母子家庭なので、母親が休むしかない状況。
- 育休中のため、すぐに母親が迎えに行けた
- 父親がテレワークで対応
- 母親が育休中なので基本的には母親。母親も具合が悪い時などやむを得ない時には父親も休んだ
- 自営なので自宅のみ
- 子供を連れて仕事した

(16-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向

問 16-1 問 16 で「1～9」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがの際、以下のいずれかのサービスを利用したいと思えますか。(当てはまるものすべてに○)

子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向は、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育するサービス」が 54.8% と最も多く、次いで「病児保育室（小児科に併設した施設で子どもを保育するサービス）」が 51.5% となっており、「利用する必要はない」は 24.3% となっています。



【その他】

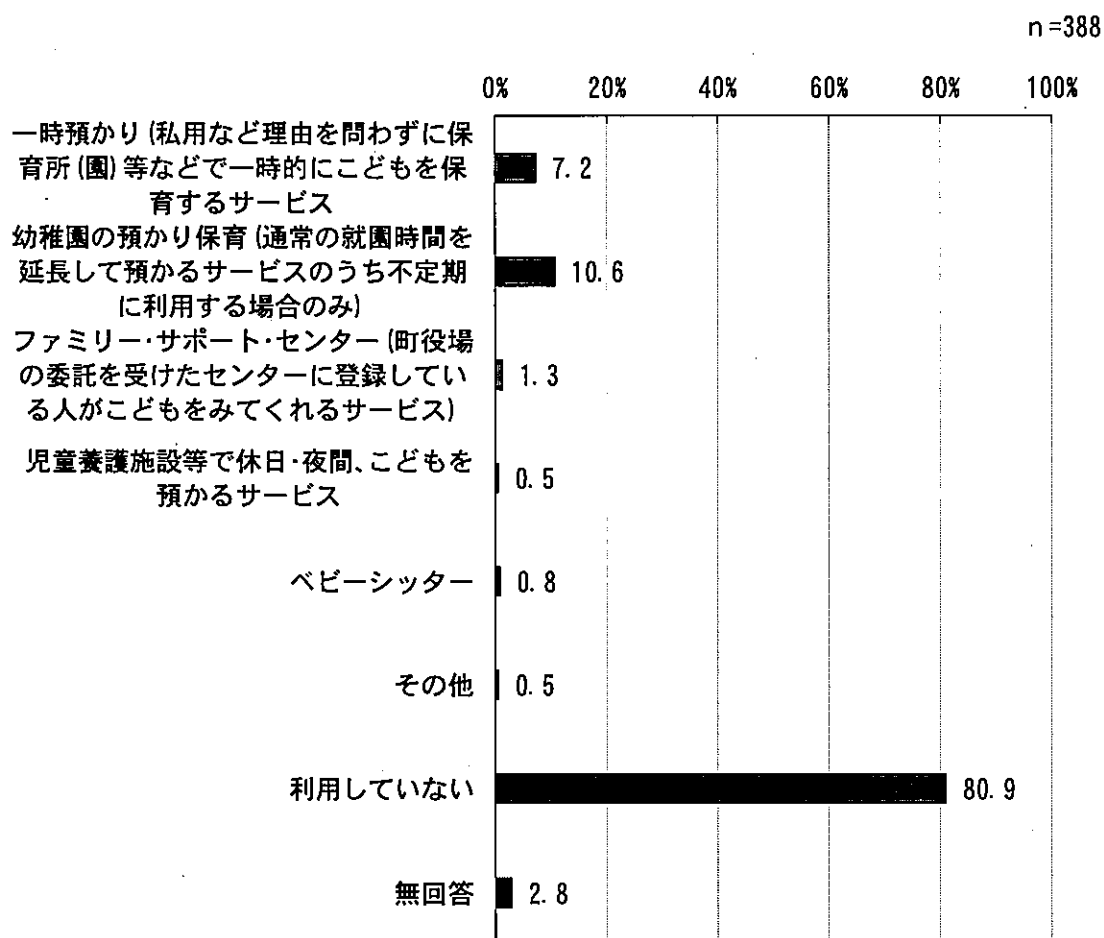
- 気軽に仕事を休めるなら自分で見たい。病気の子をわざわざ他所に預ける必要はないが預けざるを得ない状況が切ないと思う。
- すぐ使えない、別料金がかかるなど…使いたいと思にくい
- お金がきつい人は必ず必要だと思う
- 上記施設のことをあまり知らないので選べません。
- 利用したいが費用が高い

不定期の幼稚園、保育所や認定こども園等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(17) 「不定期」に利用しているサービスの有無

問 17 宛名のお子さんについて、日中の「定期的な」保育や、病気やけがでの利用以外に、私用、不定期の就労等の目的で、「不定期に」利用しているサービスはありますか。(当てはまるものすべてに○)

「不定期」に利用しているサービスは、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち不定期に利用する場合のみ）」が 10.6%と最も多く、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所（園）等などで一時的にこどもを保育するサービス）」が 7.2%となっており、「利用していない」は 80.9%となっています。



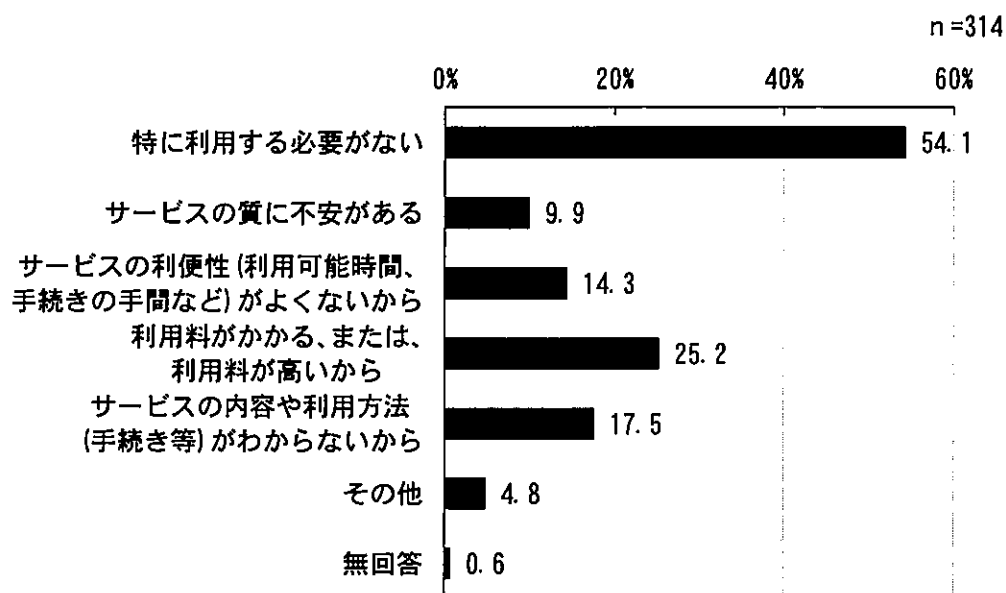
【その他】

託児所／もりのようちえん

(17-1) サービスを利用していない理由

問 17-1 問 17 で「7」を選んだ方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 54.1%と最も多く、次いで「利用料がかかる、または、利用料が高いから」が 25.2%、「サービスの内容や利用方法（手続き等）がわからないから」が 17.5%となっています。



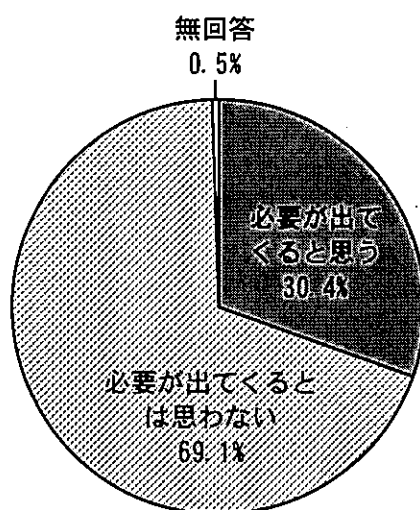
【その他】

- ファミサポを利用したいが知らない人だと抵抗がある
- 息抜きに預けたい気持ちはあるが、インフルエンザ、コロナ等に感染するかもしれないと不安があるため。
- できるだけ子どもと過ごす時間を大切にしたいと思っている
- 祖父母に預かってもらえるため
- 利用したことがないからわからない
- 子どもが嫌がるから
- わからない、そのようなものの存在を知らない
- 日中は仕事や家事をする時間、夕方以降は子どもと接する時間です。
- 仕事で遅くなる場合、現在通園している保育園の夜間保育を日常的に利用しているから
- 子どもへの罪悪感

(18) こどもを泊りがけで預ける必要性の有無

問 18 今後、保護者の用事（冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要が出てくると思いますか。（当てはまるものすべてに○）

こどもを泊りがけで家族以外に預ける必要性は、「必要が出てくと思う」が30.4%、「必要が出てくとは思わない」が69.1%となっています。



n=388

小学校就学後の放課後の過ごし方について

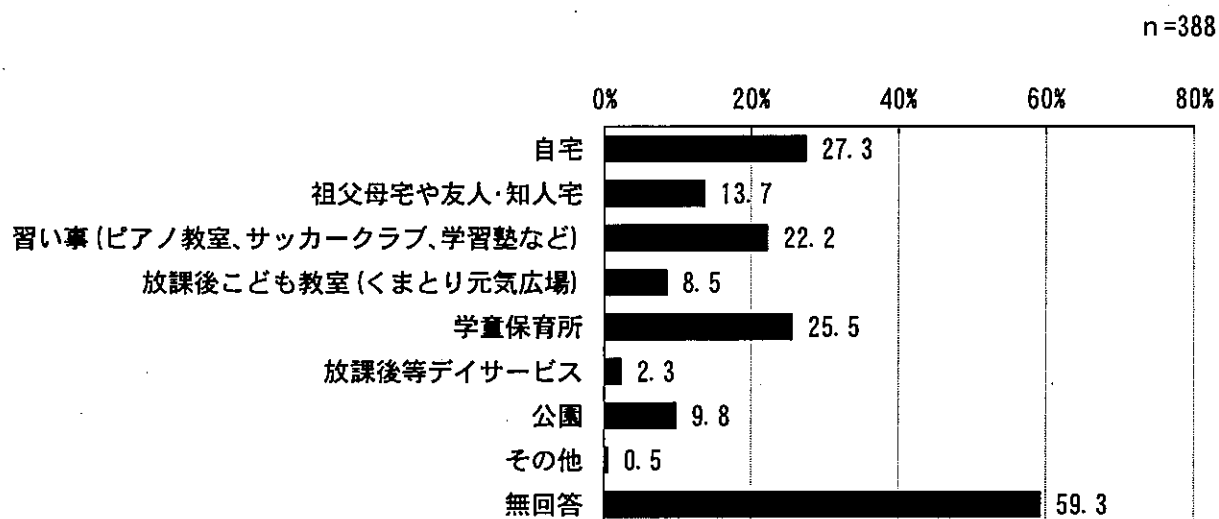
※宛名のお子さんが5歳以上である場合

(19) 放課後過ごさせたい場所

問 19 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものすべてに○）

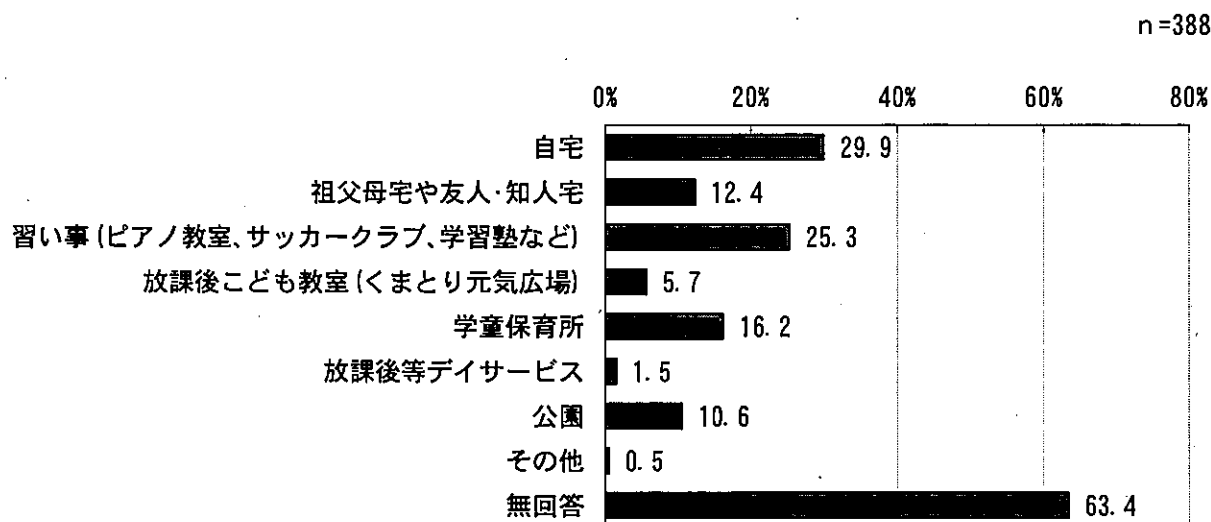
【1～3年生（低学年）】

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が27.3%と最も多く、次いで「学童保育所」が25.5%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.2%となっています。



【4～6年生（高学年）】

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が29.9%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が25.3%、「学童保育所」が16.2%となっています。



【その他】

○万が一の時の場合、学童を利用したかったが断られた。放課後こども教室というのを今回のアンケートで知りました。あとで調べてみたいです。

○学童、デイサービス、こども教室の違いがわからないが、預けて仕事できるならどこでもかまわない。

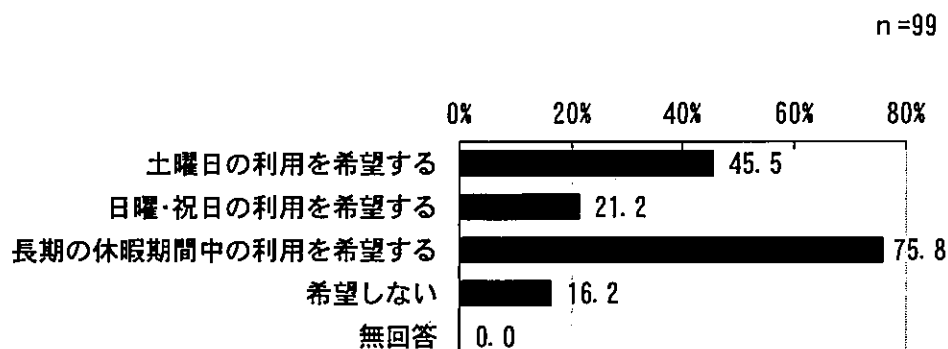
(19-1) 休日における学童保育所の利用希望

問 19-1 問 19 で「5」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、学童保育所の利用を希望しますか。(低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものに○)

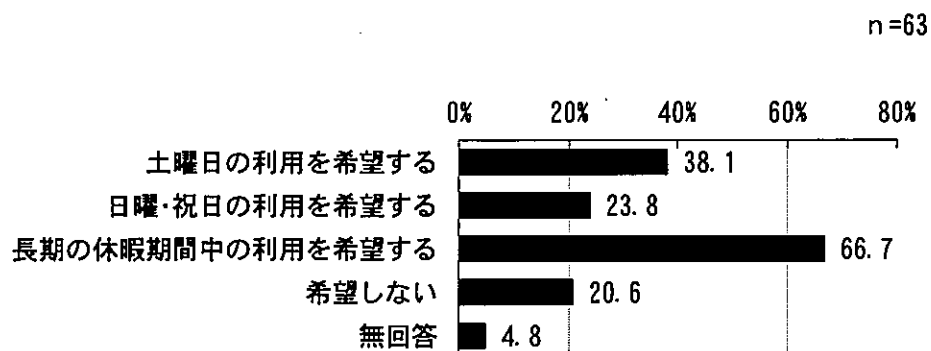
【1～3年生（低学年）】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望は、「長期の休暇期間中の利用を希望する」が75.8%と最も多く、次いで「土曜日の利用を希望する」が45.5%、「日曜・祝日の利用を希望する」が21.2%となっています。



【4～6年生（高学年）】

土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望は、「長期の休暇期間中の利用を希望する」が66.7%と最も多く、次いで「土曜日の利用を希望する」が38.1%、「日曜・祝日の利用を希望する」が23.8%となっています。

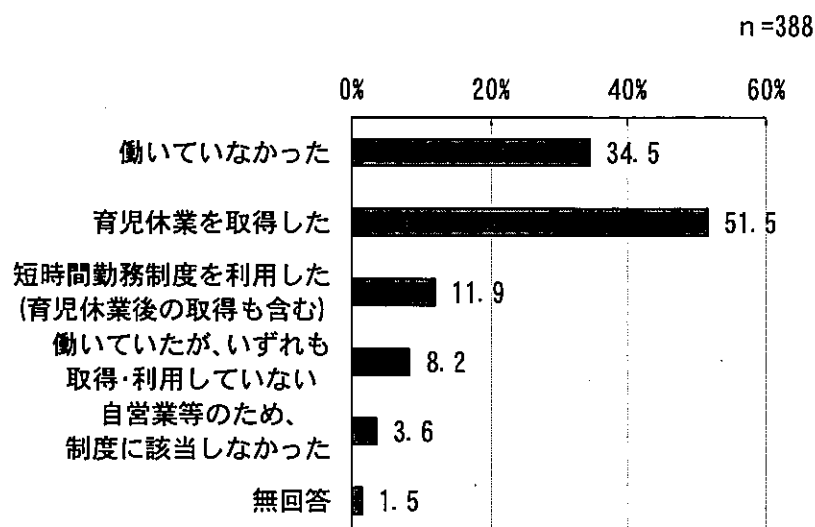


育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

(20) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 20 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。
(当てはまるものすべてに○)

母親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「育児休業を取得した」が51.5%と最も多く、次いで「働いていなかった」が34.5%、「短時間勤務制度を利用した（育児休業後の取得も含む）」が11.9%となっています。



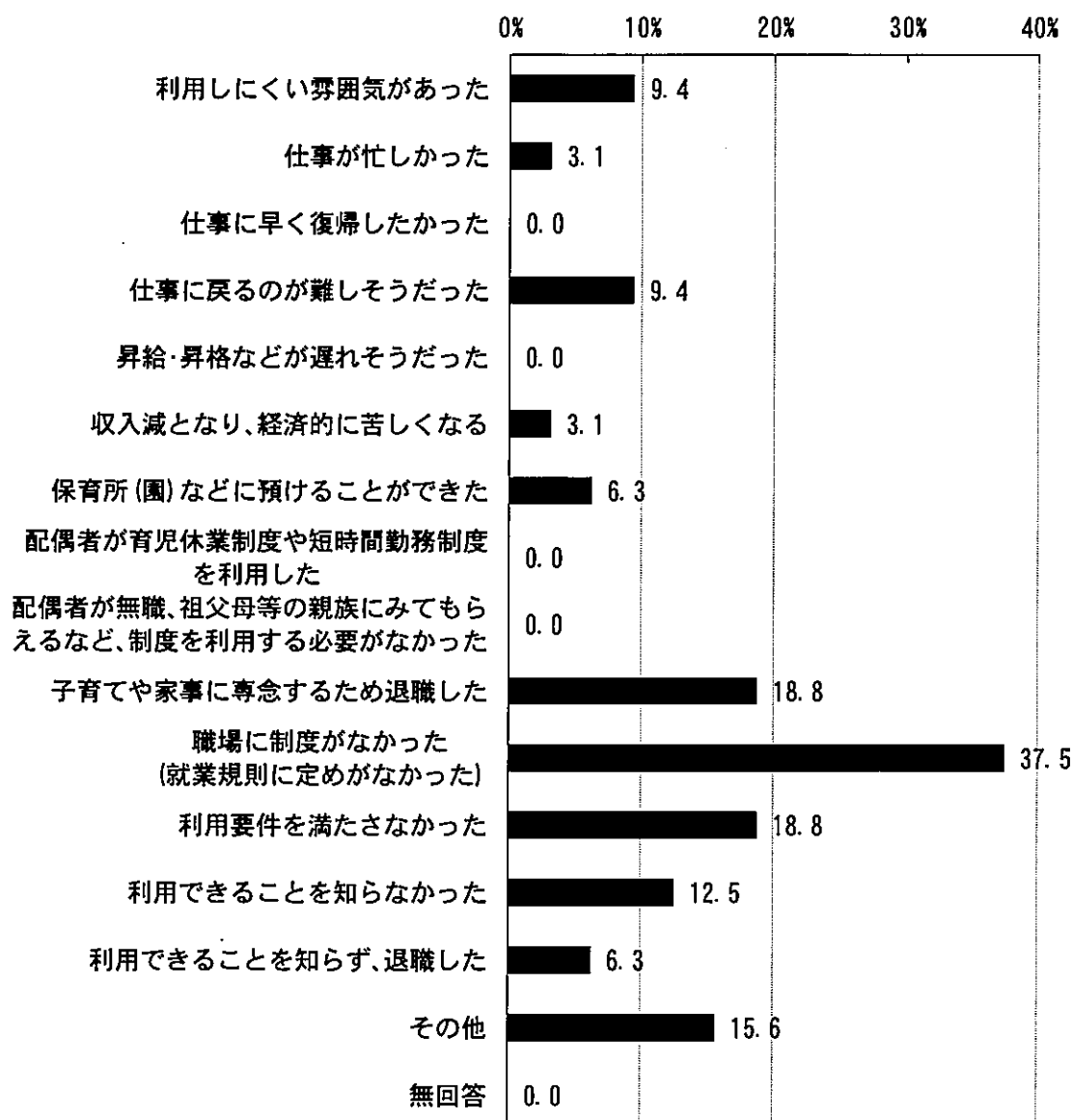
(20-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 20-1 問 20 で「4」を選んだ方にうかがいます。

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 37.5%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」、「利用要件を満たさなかった」がそれぞれ 18.8%となっています。

n=32



【その他】

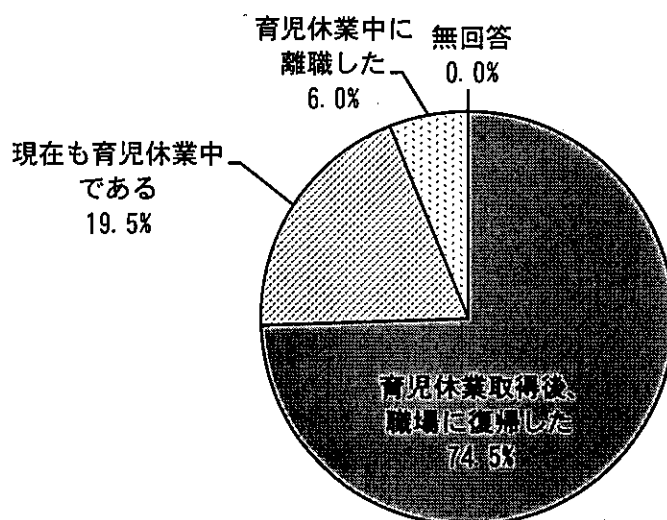
- 申し出たが断られ退職させられた
- 実家が職場なので子供を見ながら働けた。
- 退職をすすめられた
- 在宅勤務にしてもらい出産当日まで仕事し、産後3ヶ月後から復職した。
- 利用できたが、主人の実家近くに引っ越したため

(20-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 20-2 問 20 で「2」を選んだ方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの1つに○)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が19.5%、「育児休業中に離職した」が6.0%となっています。



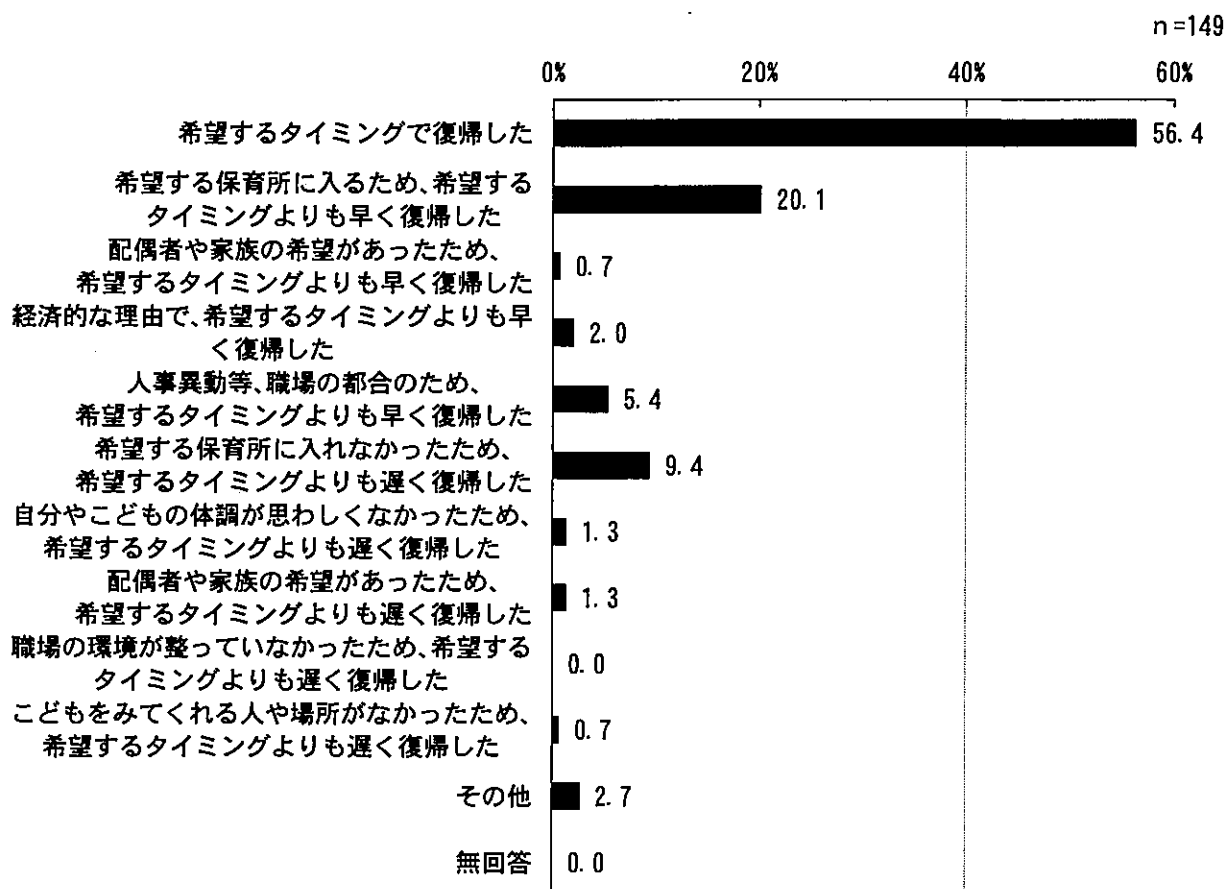
n=200

(20-3) 職場復帰のタイミング

問 20-3 問 20-2で「1」を選んだ方にうかがいます。

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が56.4%と最も多く、次いで「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が20.1%、「希望する保育所に入れなかったため、希望するタイミングよりも遅く復帰した」が9.4%となっています。



【その他】

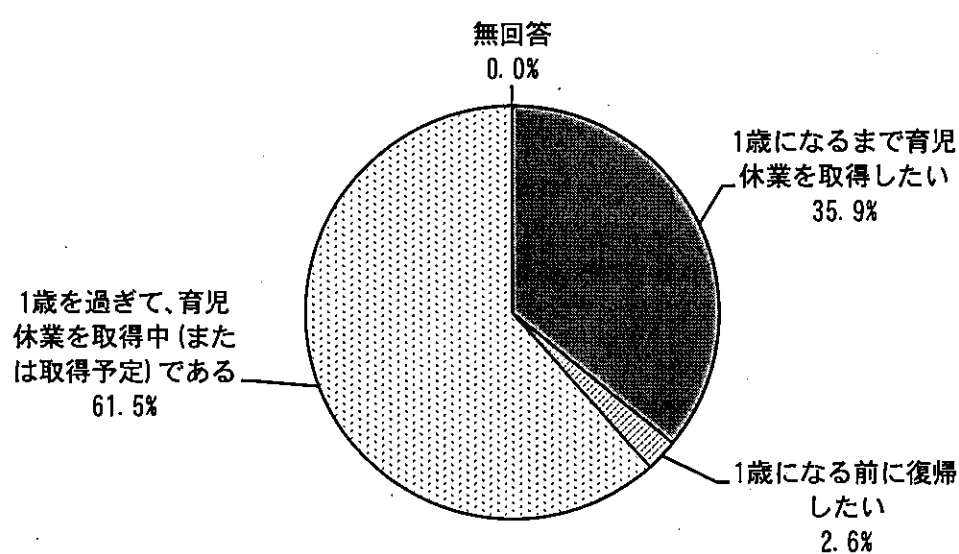
- 離婚により、すぐに復帰せざるをえなかった。
- コロナ禍だったので、1年間休業を頂けました。
- 会社側から早めに復帰するよう伝えられており、早めに復帰した。交代で父が育休を取得し、1歳までは家庭でみた。
- コロナ禍でこども園で預かってもらえず希望のタイミングよりも遅く復帰した

(20-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか

問 20-4 問 20-2で「2」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(当てはまるもの1つに○)

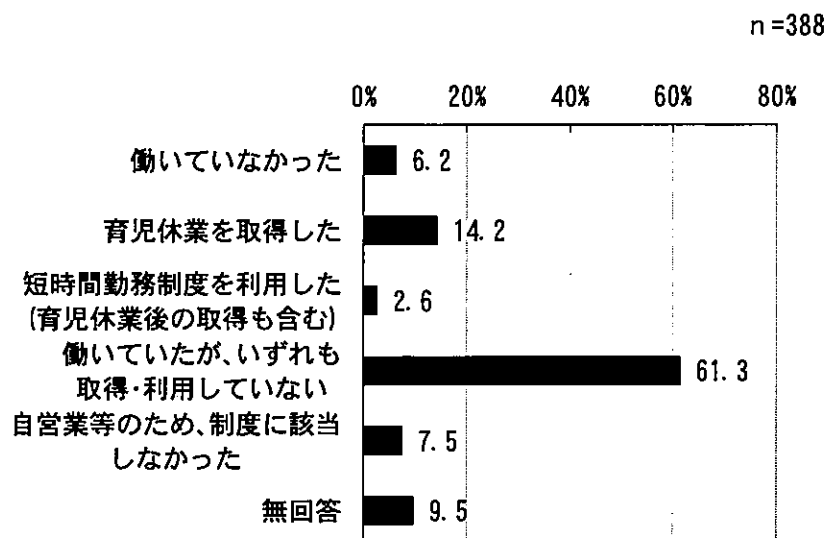
こどもが1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するかは、「1歳を過ぎて、育児休業を取得中(または取得予定)である」が61.5%と最も多く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」が35.9%、「1歳になる前に復帰したい」が2.6%となっています。



(21) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 21 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。
(当てはまるものすべてに○)

父親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が61.3%と最も多く、次いで「育児休業を取得した」が14.2%、「自営業等のため、制度に該当しなかった」が7.5%となっています。

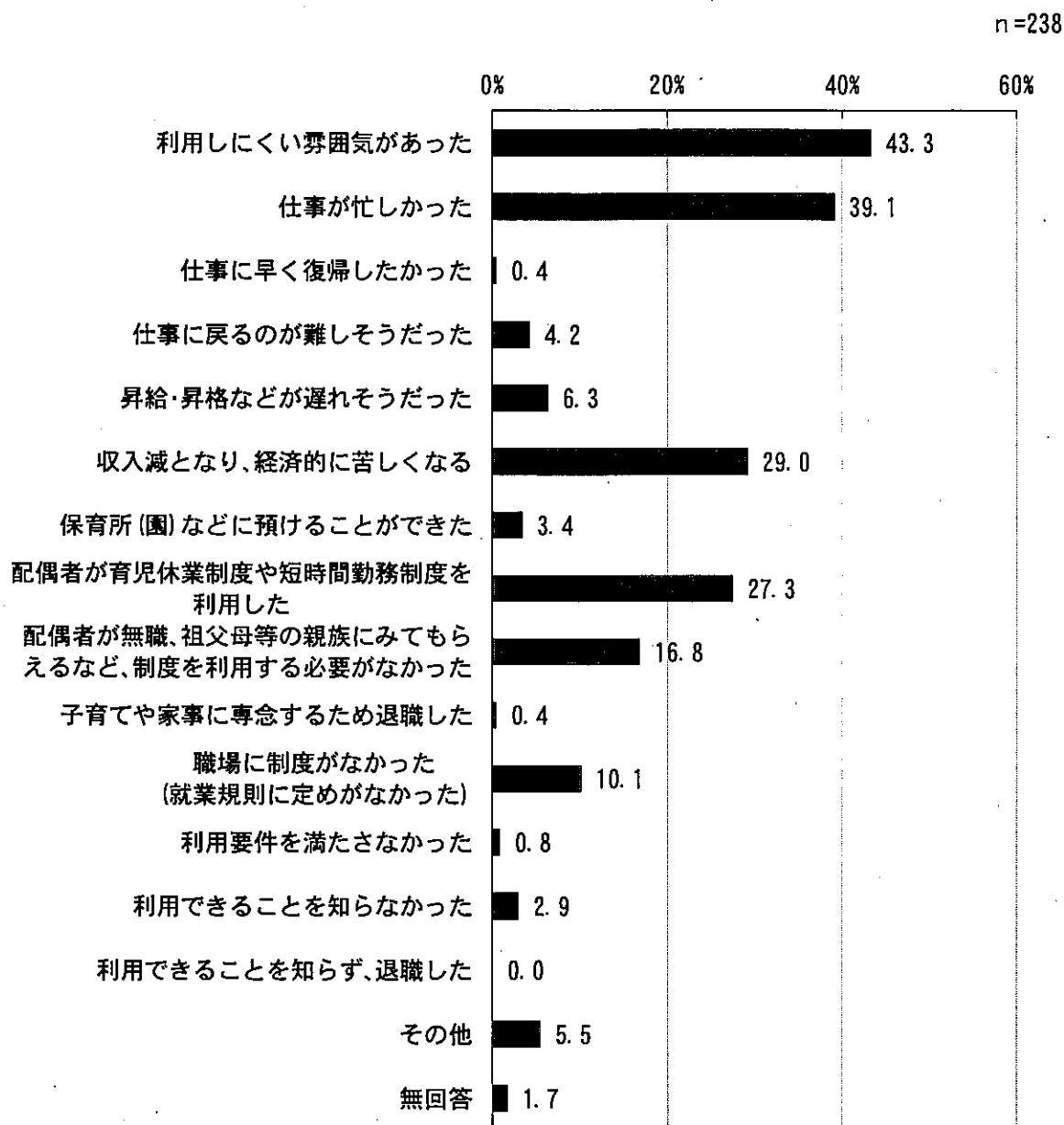


(21-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 21-1 問 21 で「4」を選んだ方にうかがいます。

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「利用しにくい雰囲気があった」が 43.3%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 39.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 29.0%となっています。



【その他】

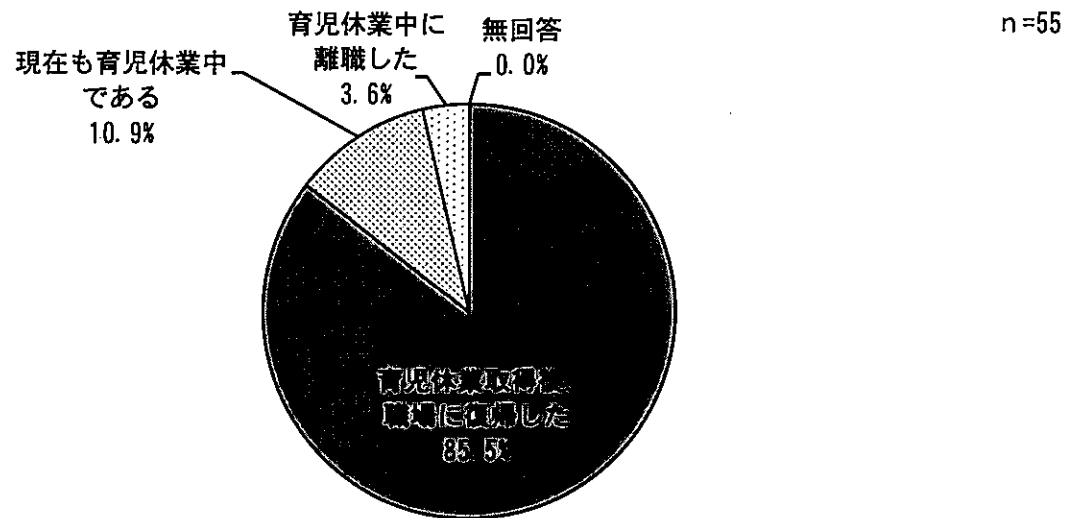
- 妻が退職し面倒をみていた
- 職場で前例がない、と言われた
- 有給を使用した。
- たまたま異動で早く帰れる環境にあった。退院日などの特休は利用した。
- 申請をしたが、取得するのであれば復帰後の待遇や今後の昇給に対して考えさせてもらおうと圧力がかかり、やむなく取得を断念した。
- 取得する風土がない

(21-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 21-2 問 21 で「2」を選んだ方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの1つに○)

育児休業取得後、職場に復帰したかは、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 10.9%、「育児休業中に離職した」が 3.6%となっています。

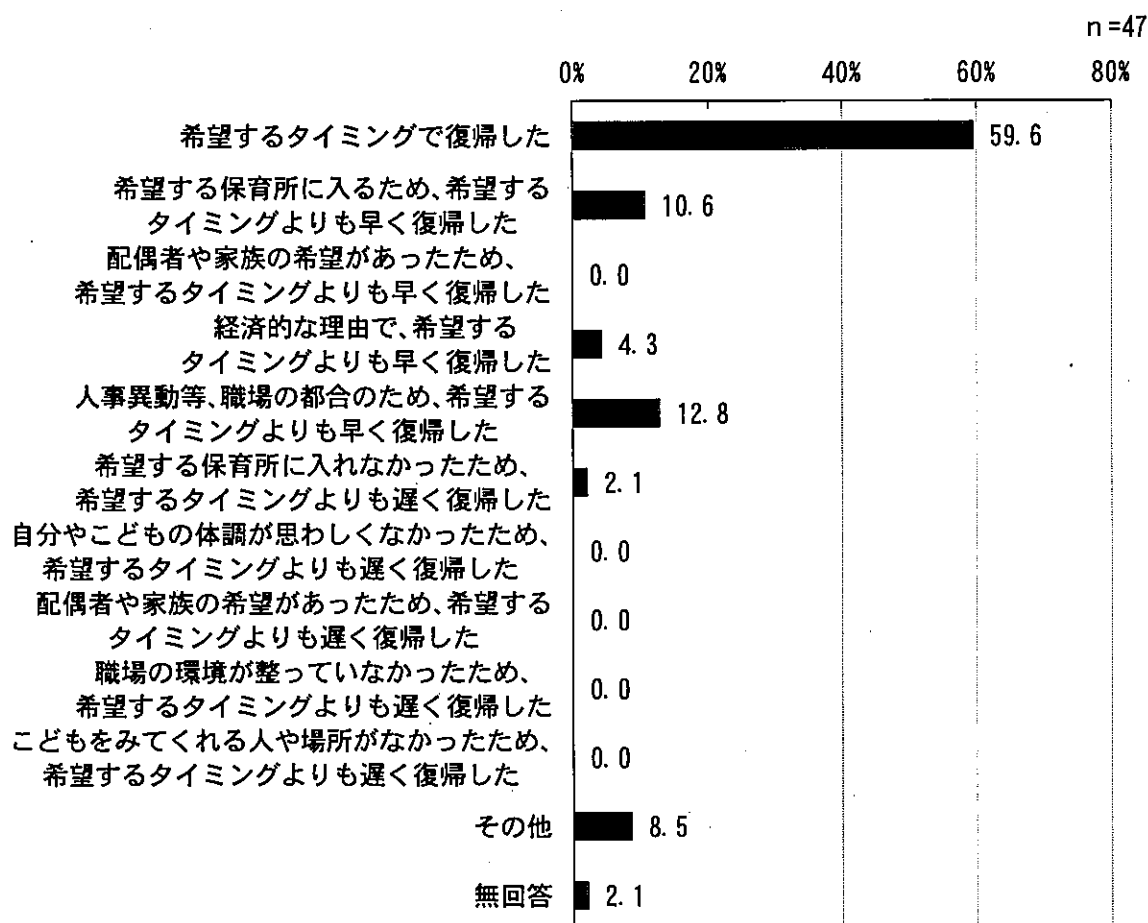


(21-3) 職場復帰のタイミング

問 21-3 問 21-2 で「1」を選んだ方にうかがいます。

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が59.6%と最も多く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が12.8%、「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が10.6%となっています。



【その他】

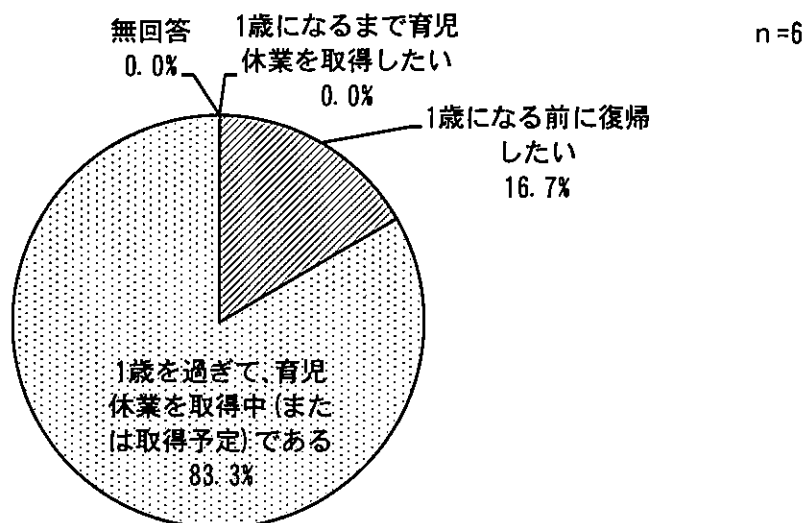
- 2週間以上取れなかった
- 長期の休みはもらえず、スポットで1日休むなど有給休暇と同じような取り方だった。
- 規定の日数分休業し復帰した
- そもそも2日間しか育休を取れなかったので復帰も何も、そのまま働いているのと同じ。有給を取るのと同レベル。

(21-4) 1歳になるまで育児休業を取得するかどうか

問 21-4 問 21-2 で「2」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(当てはまるもの1つに○)

こどもが1歳になったときに必ず利用できる保育サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するかは、「1歳を過ぎて、育児休業を取得中(または取得予定)である」が83.3%と最も多く、次いで「1歳になる前に復帰したい」が16.7%となっています。



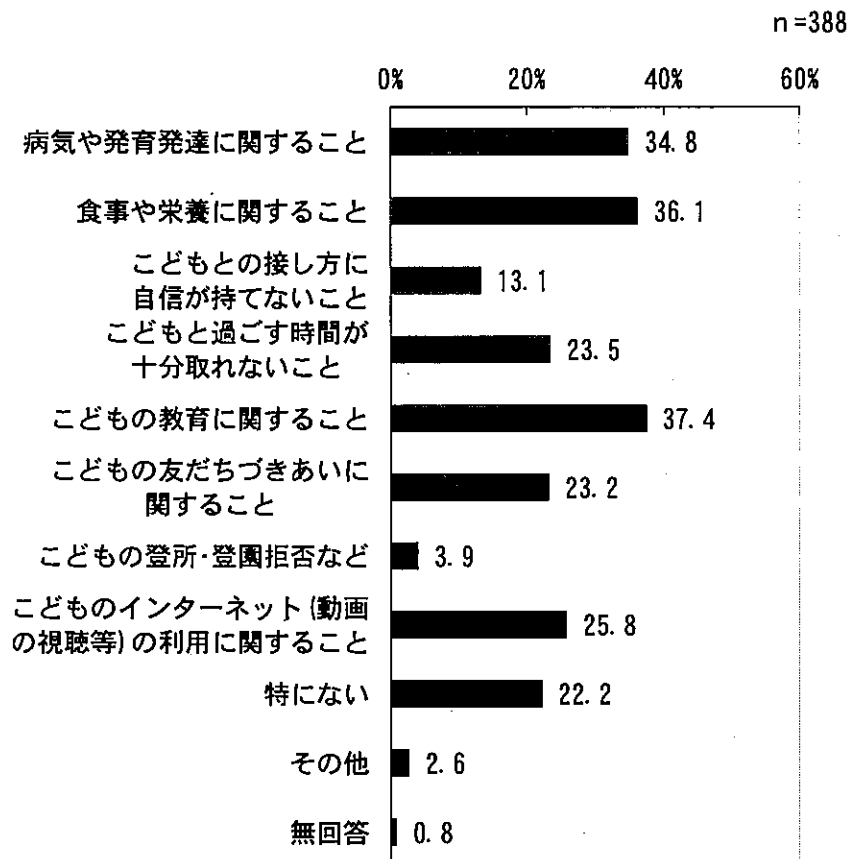
子育ての悩みや喜びなどについて

(22) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

問 22 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【こどもに関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が 37.4%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が 36.1%、「病気や発育発達に関すること」が 34.8%となっており、「特にない」は 22.2%となっています。

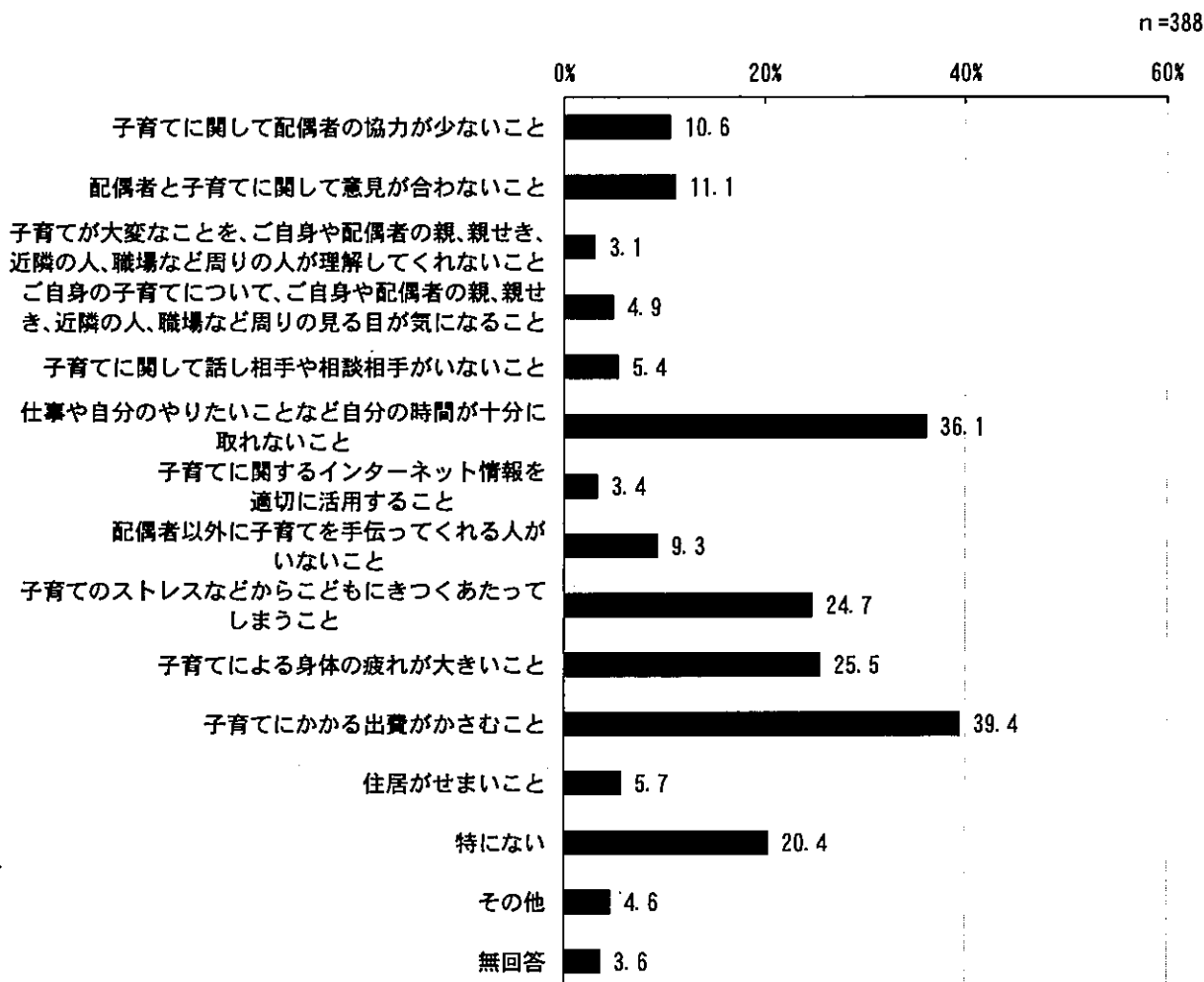


【その他】

- 不定期の病児保育など、仕事が休めないときに預かってくれる施設を熊取町でも作ってほしいです。
- 卒園すると預けられる場所がないため、下校が早い日は有給で何とかする予定ですが、預けられる場所があればなど悩んでいます。
- こどもが怒りっぽい、口が立つ。もう少し穏やかな性格になってほしい
- 仕事と育児の両立
- 幼稚園プレでこどもが製作などをやりたがらず座ってられない。
- 保育所にも関わらず、発表会の振替日や3月31日に次の年度の準備はわかるが、平日に休みにされると仕事を休まないといけないので、預かってくれるところが欲しい。
- 小学校までの通学路が入り組んでいたりと、大通りだったり、この先が心配。
- 待機児童のため、いつ保育園に通えるか心配である。今後のこどもの学費のため、仕事を見つけて働きたい。

【ご自身に関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が39.4%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が36.1%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が25.5%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が24.7%となっており、「特にない」は20.4%となっています。



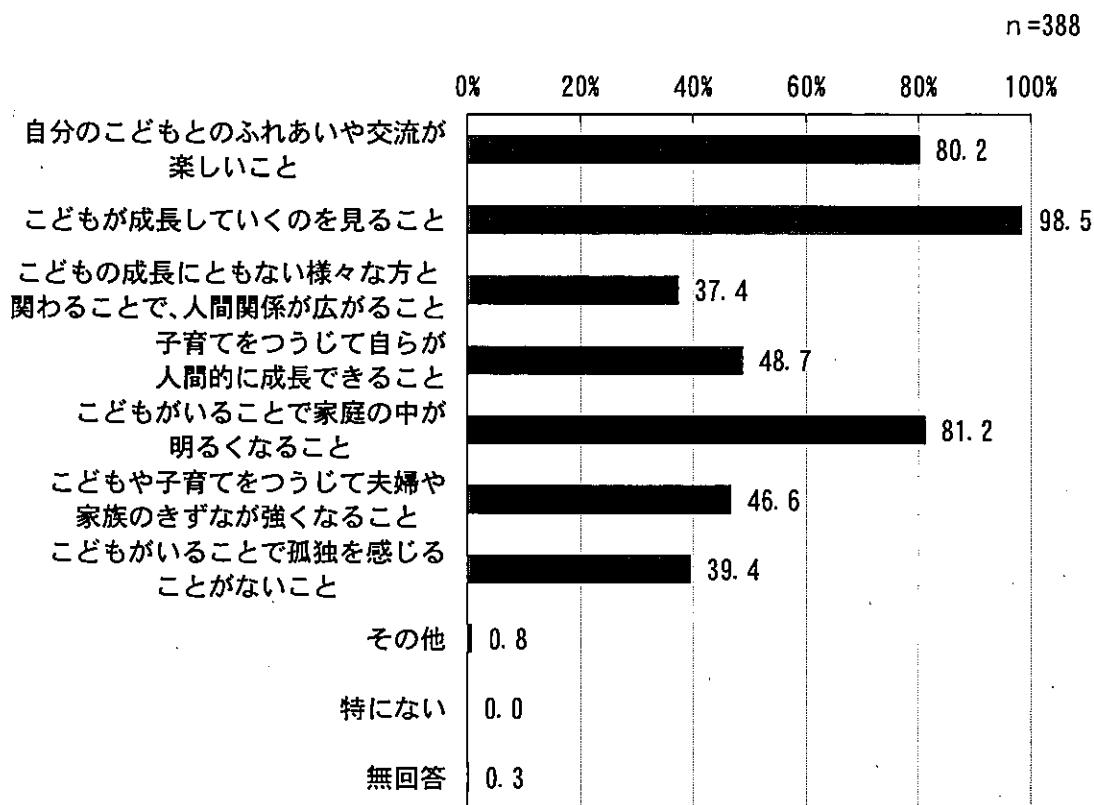
【その他】

- ひとり親なので全て1人でしなければならない
- 自身の特性と子育ての相性が悪すぎることに。
- 兄弟の仲が悪いこと
- 仕事と家庭の両立
- 今後仕事を探す際に、こどもがいても採用してもらえるか、両立できるか、自分の将来への不安
- 育休中には上の子の学童保育が受けられないこと
- こどもを見てくれる人がいない (いつでもいけるということではないため)
- 寝かしつけや夜泣きで生活リズムが乱れていること
- 義母との同居でストレスがたまる
- 保育所への不満

(23) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと

問 23 お子さんの子育てをしておられる中で、喜びを感じたことや良かったことはどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○)

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「こどもが成長していくのを見ること」が 98.5%と最も多く、次いで「こどもがいることで家庭の中が明るくなること」が 81.2%、「自分のこどもとのふれあいや交流が楽しいこと」が 80.2%となっています。



【その他】

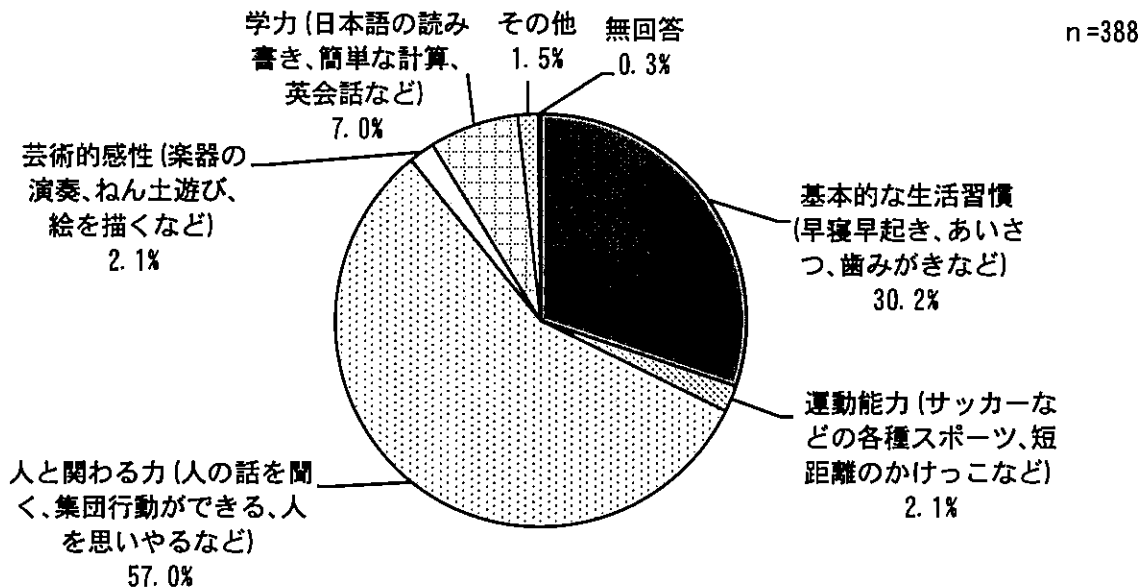
○こどもがさまざまな物事に興味を持ち、一緒に楽しむようになりそれを通じて今まで出会ったことのない物事に触れ、見識が深まること。

○仕事の疲れもこどもの独特な表現や行動が面白く癒される。

(24) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの

問 24 今、こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは何ですか。(当てはまるもの1つに○)

こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは、「人と関わる力（人の話を聞く、集団行動ができる、人を思いやるなど）」が 57.0%と最も多く、次いで「基本的な生活習慣（早寝早起き、あいさつ、歯みがきなど）」が 30.2%、「学力（日本語の読み書き、簡単な計算、英会話など）」が 7.0%となっています。



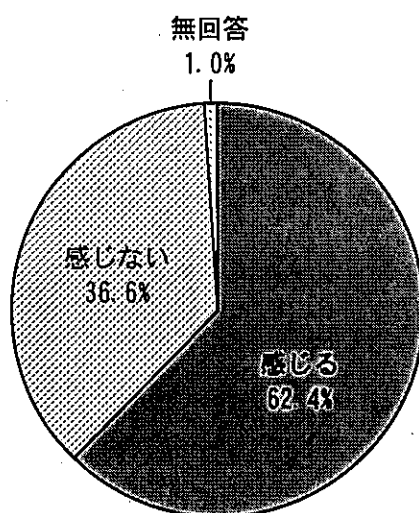
【その他】

全て／体力／喜んだり楽しんだり笑ったりすること／自尊感情

(25) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 25 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(当てはまるもの1つに○)
感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいですか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

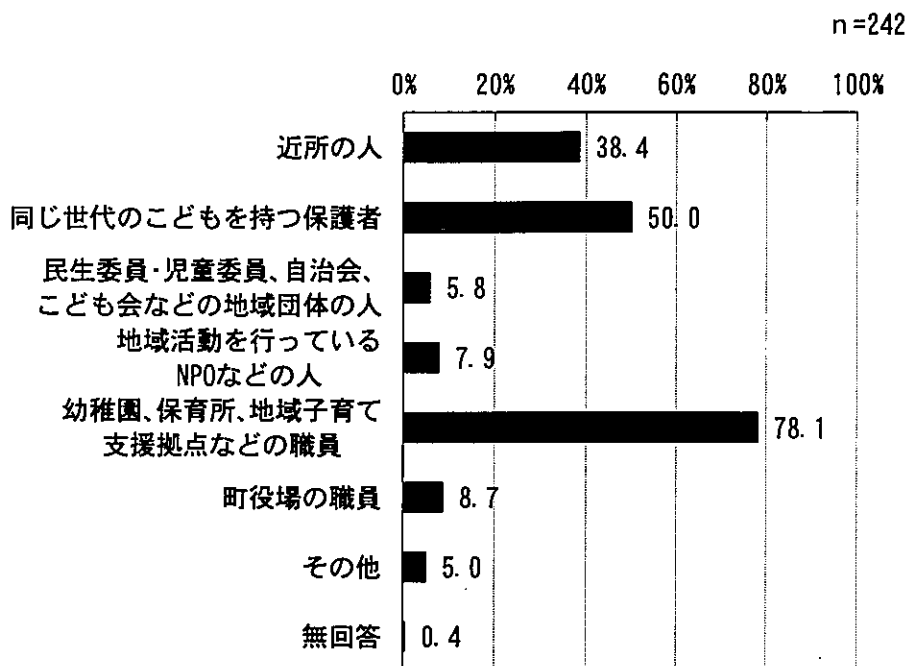
子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が62.4%、「感じない」が36.6%となっています。



n=388

【特に誰から支えられていると感じるか】

特に誰から支えられていると感じるかは、「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が78.1%と最も多く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」が50.0%、「近所の人」が38.4%となっています。



【その他】

○外出している時に道端で出会う年配の方々が声をかけてくれるのがとても励みになります。

○優しい人

○訪問看護師

○アトム共同保育所

○ファミリーサポートの方たち

○ぶらっつ

○習い事に関連する方々

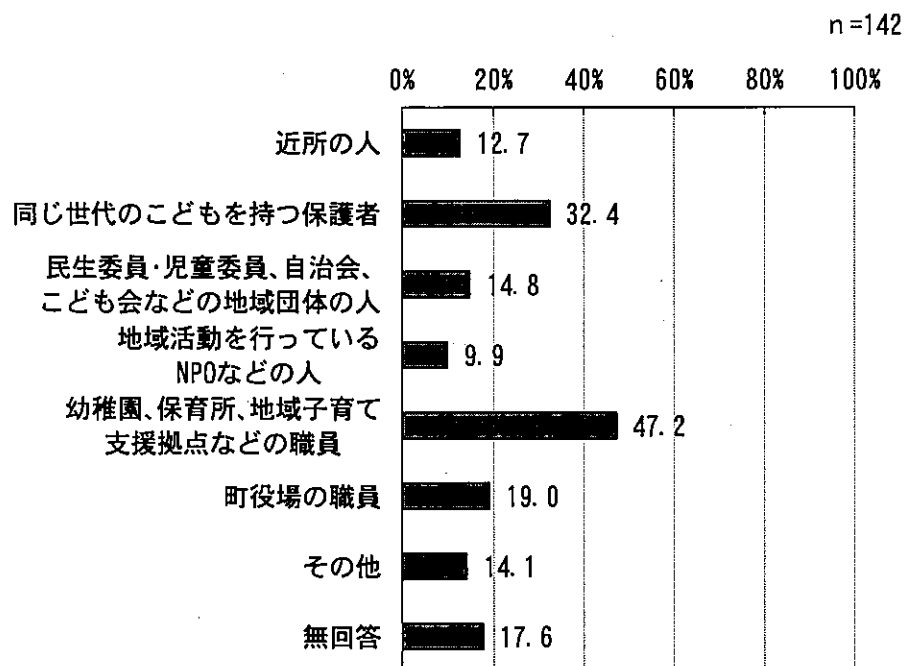
○旦那とも、子育て広場

○ゆめの森があること

○買い物などに行くと店員さんや他のお客さんからあたたかい声かけをしてもらえる。

【特に誰から支えてほしいか】

特に誰から支えてほしいかは、「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が47.2%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が32.4%、「町役場の職員」が19.0%となっています。



【その他】

- 教育にお金をかけてもらえる自治体になってほしい
- 批判や負の感情を向けられなければ良い、必要としていない。
- 両親
- 旦那

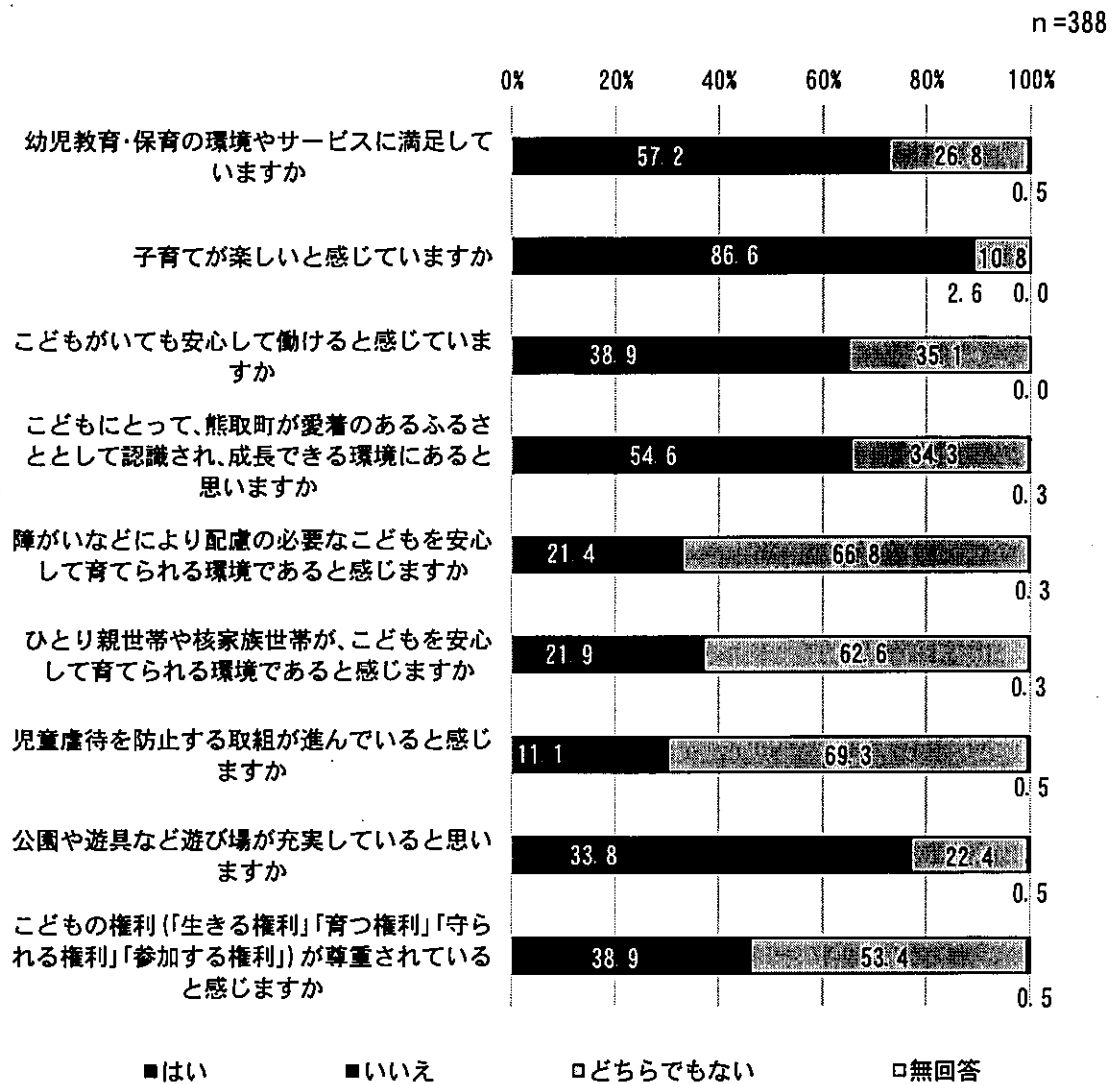
熊取町の子育て施策全般について

(26) 熊取町での子育てで感じること

問 26 お子さんを本町でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのような考えますか。(それぞれの項目について、ひとつずつ○)

熊取町での子育てで感じることは、「はい」としては、「子育てが楽しいと感じていますか」が 86.6%と最も多く、次いで「幼児教育・保育の環境やサービスに満足していますか」が 57.2%、「こどもにとって、熊取町が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか」が 54.6%となっています。

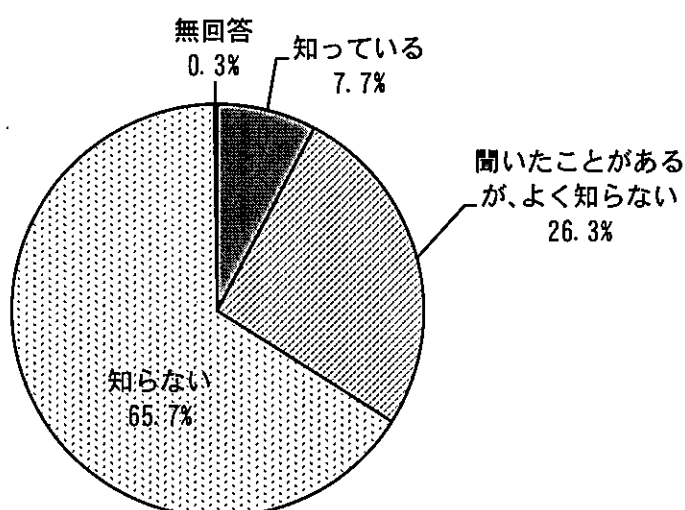
「いいえ」としては、「公園や遊具など遊び場が充実していると思いますか」が 43.3%と最も多く、次いで「こどもがいても安心して働けると感じていますか」が 26.0%、「児童虐待を防止する取組が進んでいると感じますか」が 19.1%となっています。



(27) 「子どもの権利に関する条例」の認知度

問 27 本町では、令和4年4月に「子どもの権利に関する条例」が施行されていますが、この条例を知っていますか。(当てはまるもの1つに○)

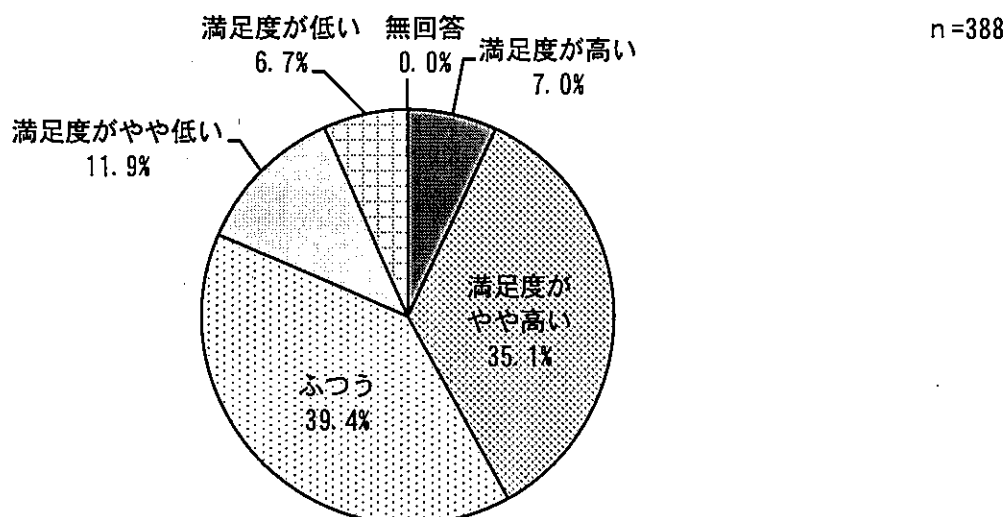
「子どもの権利に関する条例」の認知度は、「知らない」が65.7%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が26.3%、「知っている」が7.7%となっています。



(28) 熊取町の子育て環境や支援への満足度

問 28 本町の子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

熊取町の子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が39.4%と最も多く、次いで「満足度がやや高い」が35.1%、「満足度がやや低い」が11.9%となっています。



(29) 子育ての環境や支援に関するご意見

問 29 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

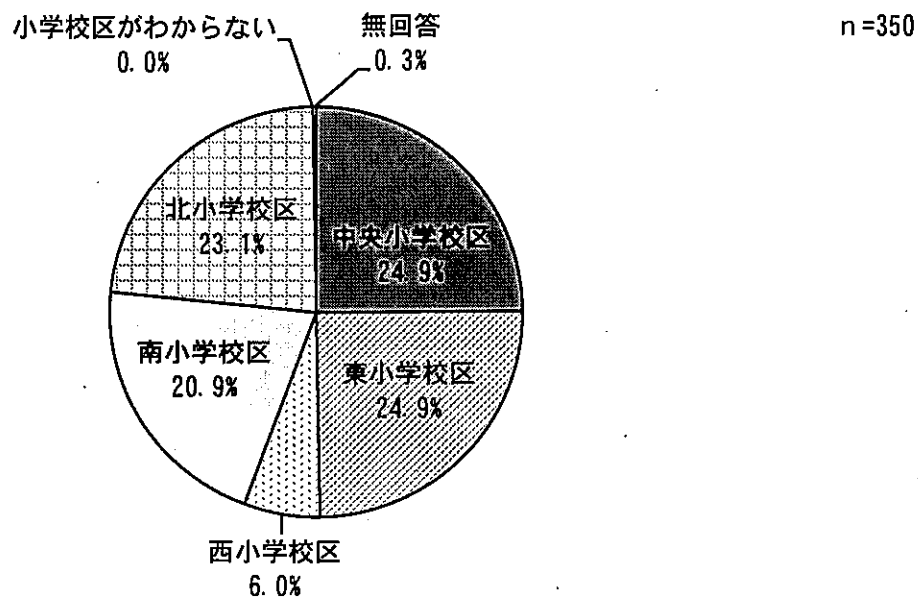
小学生のいる世帯の調査結果

お住まいの地域について

(1) 居住小学校区

問1 お住まいの小学校区をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

居住の小学校区は、「中央小学校区」、「東小学校区」がそれぞれ24.9%と最も多く、次いで「北小学校区」が23.1%となっています。

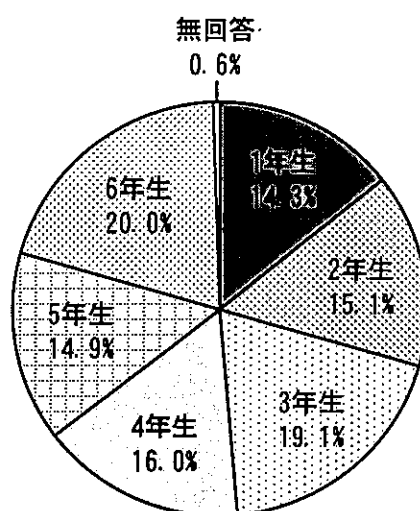


お子さんご家族の状況について

(2) お子さんの学年

問2 宛名のお子さんの学年をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

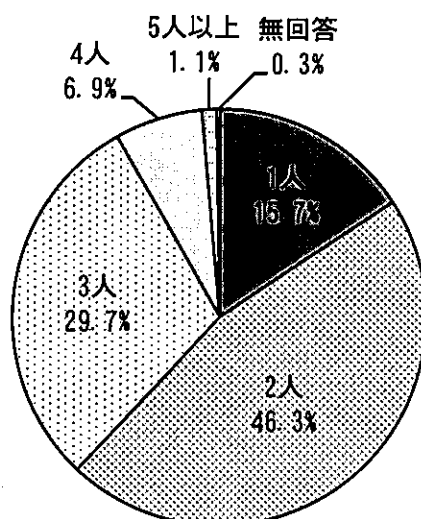
こどもの学年は、「6年生」が20.0%と最も多く、次いで「3年生」が19.1%、「4年生」が16.0%となっています。



(3) お子さんの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいの数(宛名のお子さんを含めた人数)をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

こどものきょうだいの数は、「2人」が46.3%と最も多く、次いで「3人」が29.7%、「1人」が15.7%となっています。

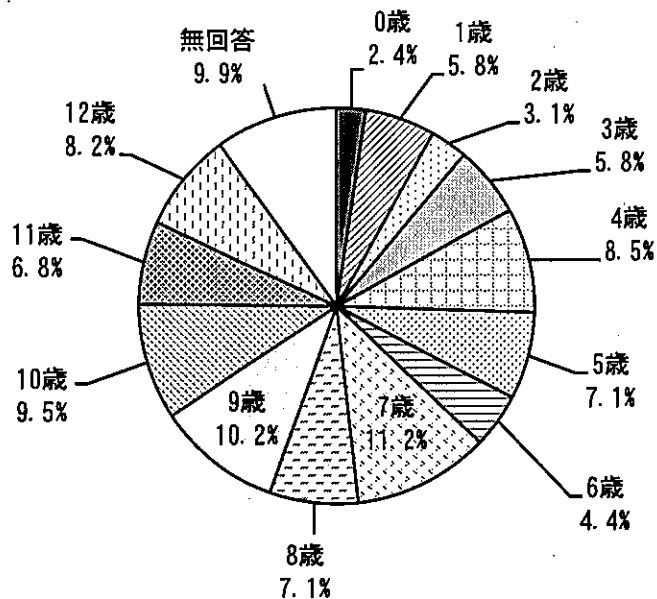


(3-1) 末子の年齢

問3-1 問3で「2～5」を選んだ方にうかがいます。

2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の生年月をお答えください。

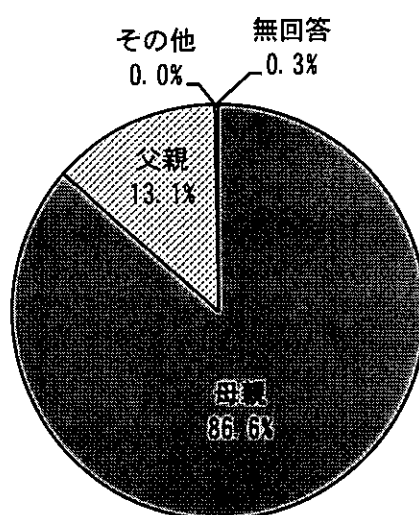
末子の年齢は、「7歳」が11.2%と最も多く、次いで「9歳」が10.2%、「10歳」が9.5%となっています。



(4) 回答者とお子さんの関係

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに○)

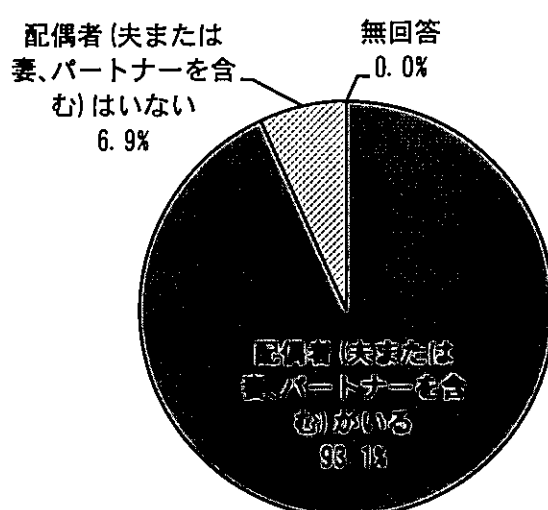
回答者は、「母親」が86.6%と最も多く、次いで「父親」13.1%となっています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

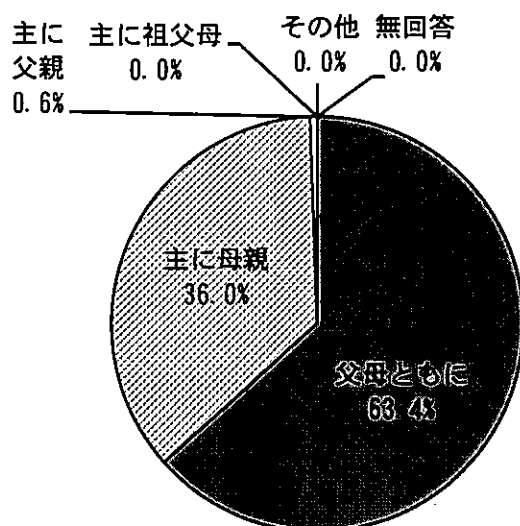
回答者の配偶関係は、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)がいる」が93.1%、「配偶者(夫または妻、パートナーを含む)はいない」が6.9%となっています。



(6) お子さんの子育てを主に行っている方

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が63.4%と最も多く、次いで「主に母親」が36.0%、「主に父親」が0.6%となっています。

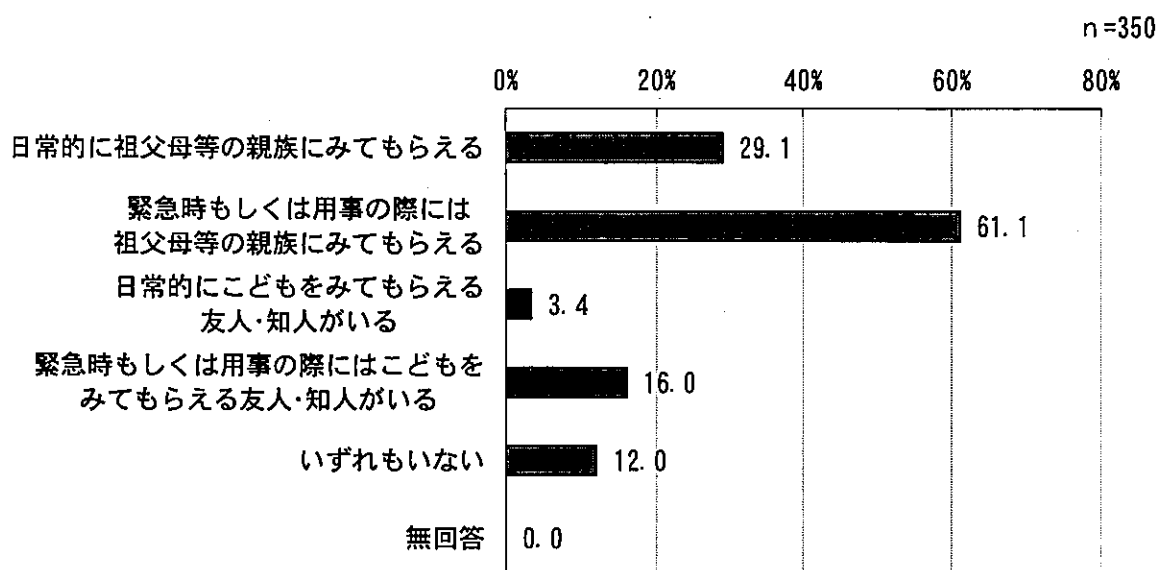


こどもの育ちをめぐる環境について

(7) 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

日頃、こどもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が29.1%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.0%となっています。

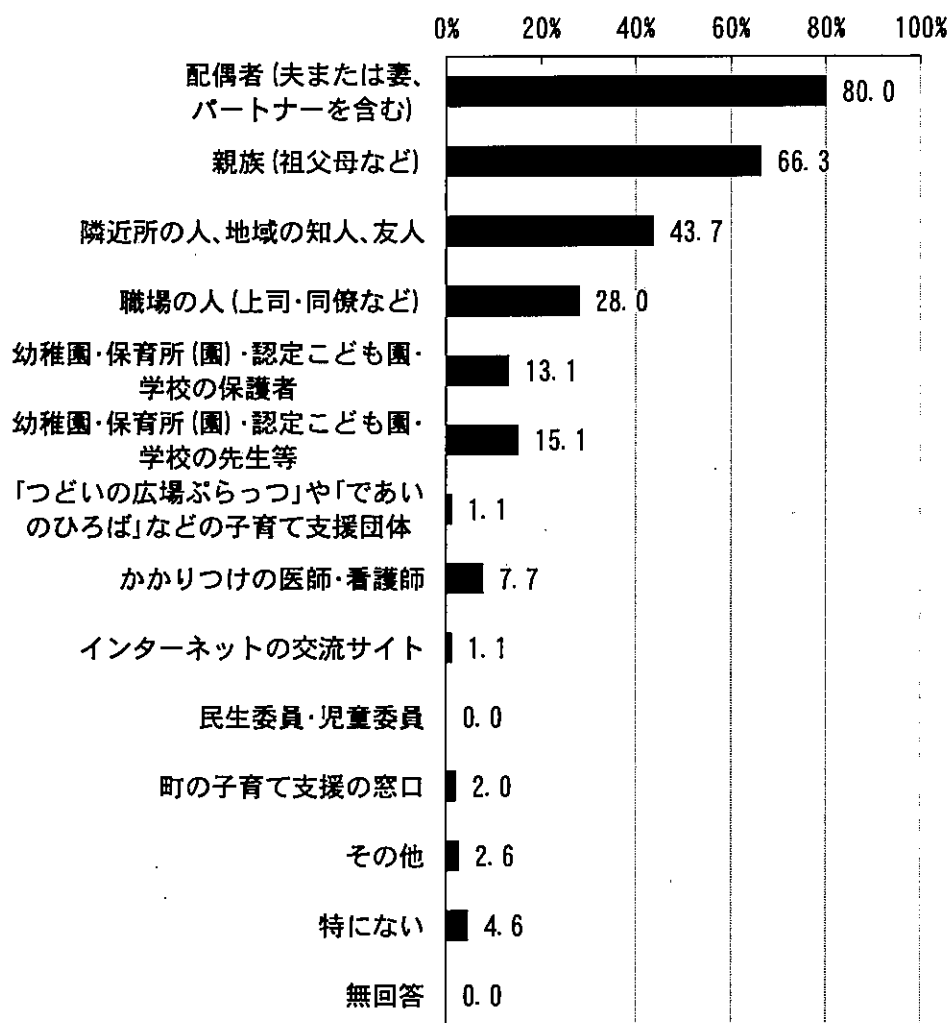


(8) こどもや子育てについて気軽に相談できる相手の有無

問8 こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

こどものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「配偶者（夫または妻、パートナーを含む）」が80.0%と最も多く、次いで「親族（祖父母など）」が66.3%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が43.7%となっています。

n=350



【その他】

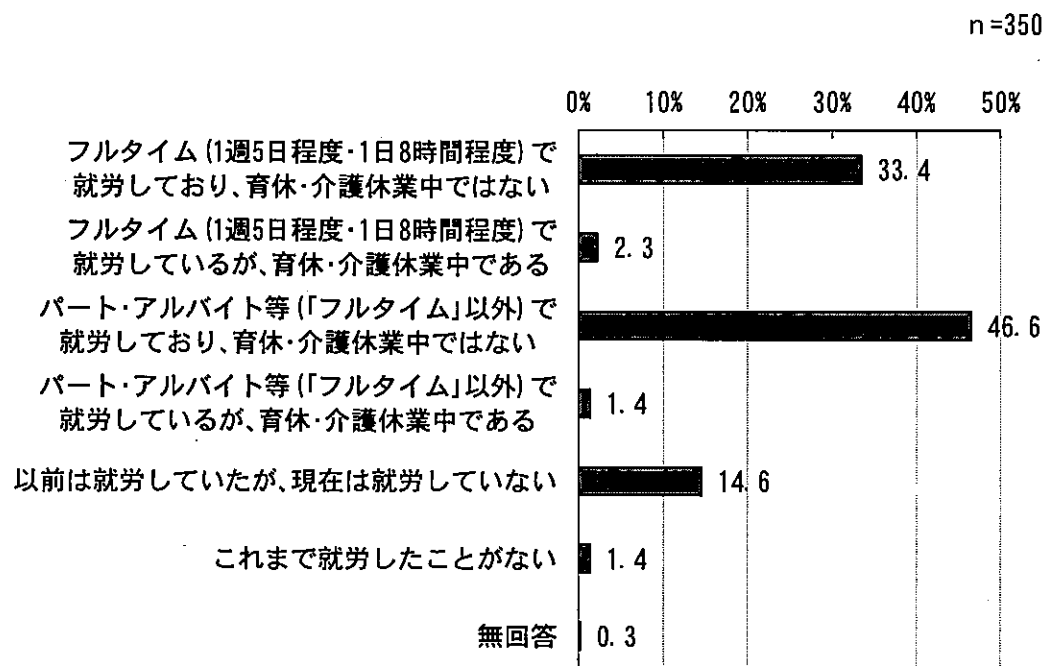
スクールカウンセラー／友人／かかりつけの病院のスタッフ／放課後等デイサービスの担当者／(社) 実践倫理宏正会の人／昔からの友人／母親の妹／キリスト教会／学童の指導員

保護者の就労状況について

(9) 母親の就労状況

問9 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について、うかがいます。
（父子家庭の場合は回答不要です）（当てはまるもの1つに○）

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が46.6%と最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が33.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.6%となっています。

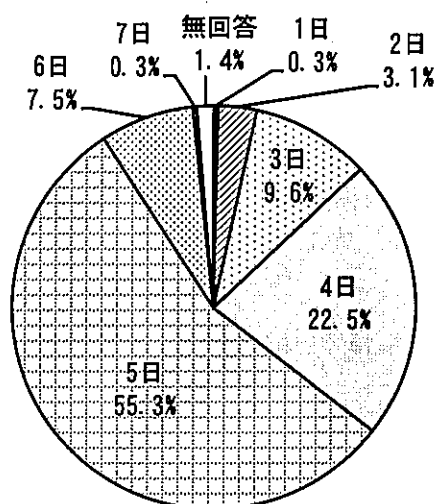


(9-1) 母親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労

問9-1 問9で「1～4」を選んだ方にうかがいます。
 1週あたりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、就労開始時刻と就労終了時刻をお答えください。（()内に数字を記入）また、土曜日、日曜日・祝日の就労がありますか。（当てはまるもの1つに○）
 ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず（例）18:00のように、24時間制でお答えください。

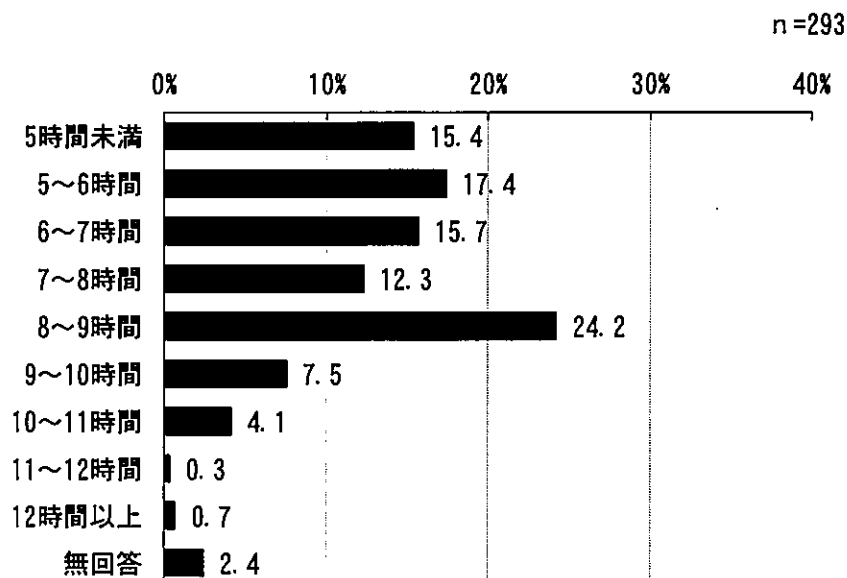
【母親の1週当たりの就労日数】

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が55.3%と最も多く、次いで「4日」が22.5%、「3日」が9.6%となっています。



【母親の1日当たりの就労時間】

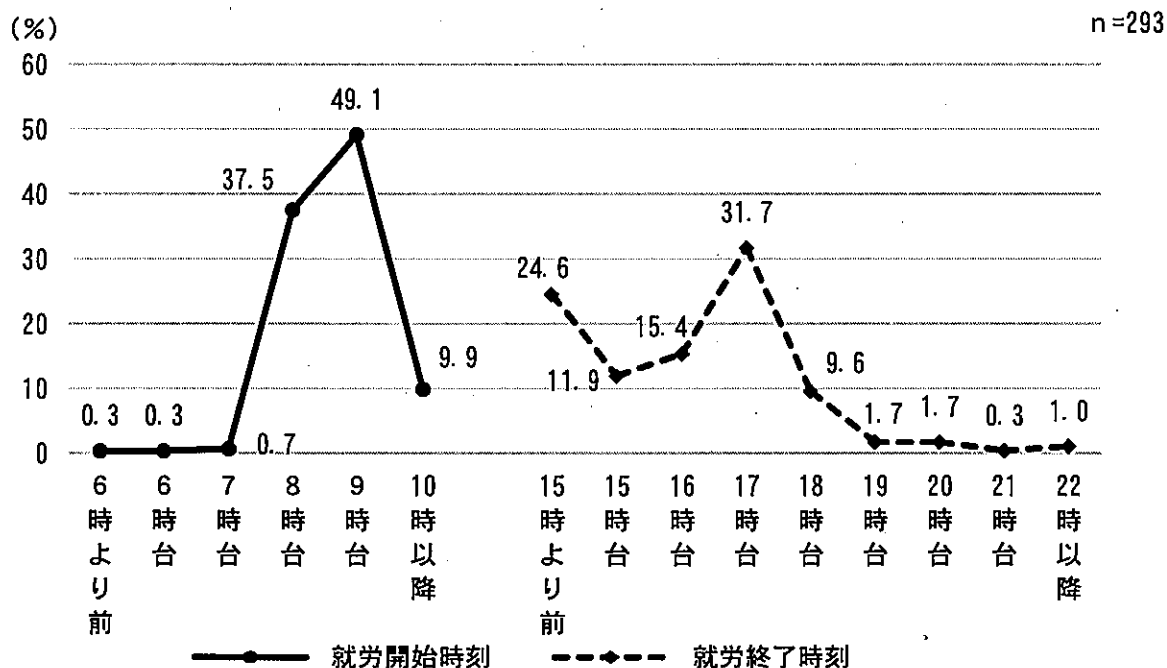
母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間」が24.2%と最も多く、次いで「5～6時間」が17.4%、「6～7時間」が15.7%となっています。



【母親の就労開始時刻と就労終了時刻】

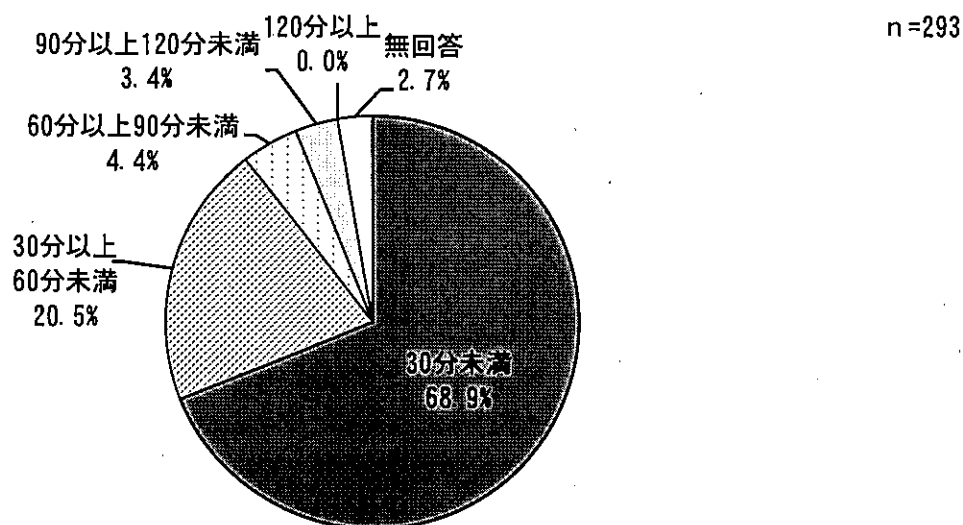
母親の就労開始時刻は、「9 時台」が 49.1%と最も多く、次いで「8 時台」が 37.5%、「10 時以降」が 9.9%となっています。

母親の就労終了時刻は、「17 時台」が 31.7%と最も多く、次いで「15 時より前」が 24.6%、「16 時台」が 15.4%となっています。



【母親の通勤時間】

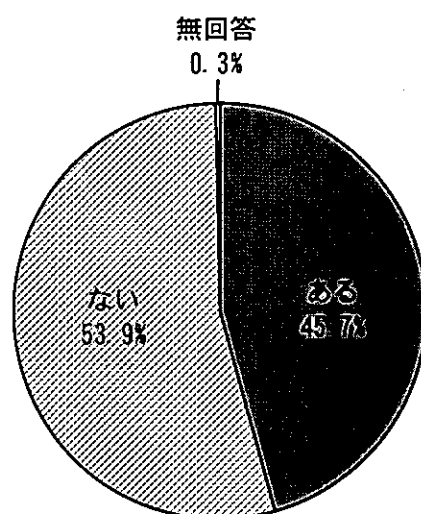
母親の通勤時間は、「30 分未満」が 68.9%と最も多く、次いで「30 分以上 60 分未満」が 20.5%、「60 分以上 90 分未満」が 4.4%となっています。



【母親の土曜日の就労】

母親の土曜日の就労は、「ある」が45.7%、「ない」が53.9%となっています。

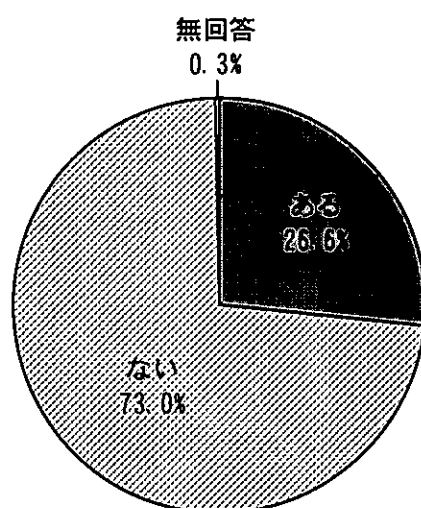
n=293



【母親の日曜・祝日の就労】

母親の日曜・祝日の就労は、「ある」が26.6%、「ない」が73.0%となっています。

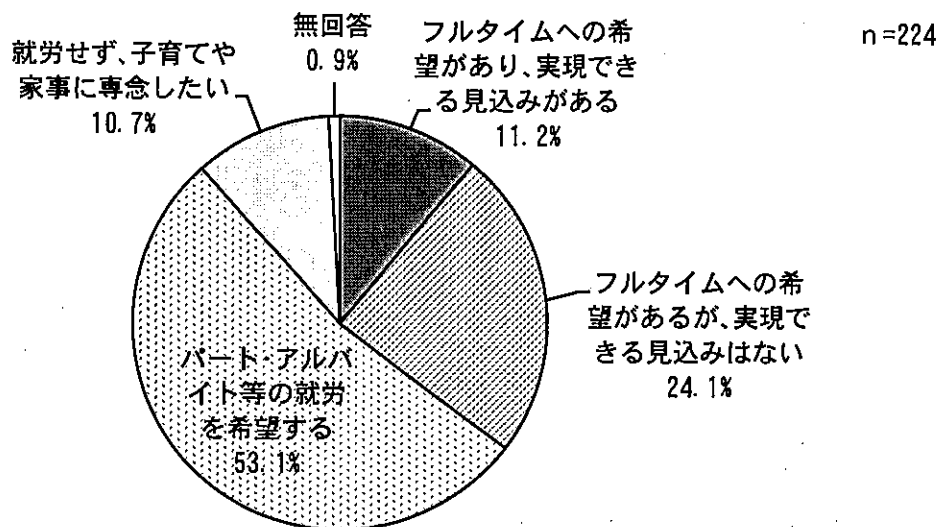
n=293



(9-2) フルタイムへの転換希望

問9-2 問9で「3～6」を選んだ方にうかがいます。
今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの1つに○)

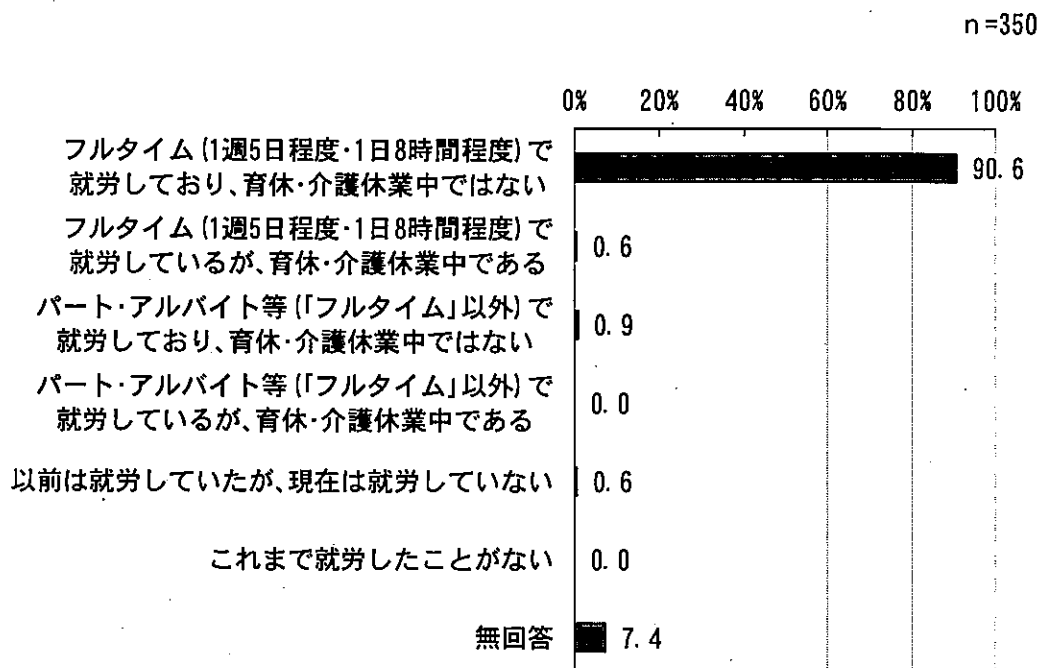
フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を希望する」が53.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が24.1%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が11.2%となっています。



(10) 父親の就労状況

問10 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について、うかがいます。(母子家庭の場合は回答不要です)(当てはまるもの1つに○)

父親の現在の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、育休・介護休業中である」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がそれぞれ0.6%となっています。



(10-1) 父親の就労日数と就労時間・通勤時間と休日の就労

問 10-1 問 10 で「1～4」を選んだ方にうかがいます。

1 週あたりの就労日数、1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）、就労開始時刻と就労終了時刻をお答えください。（() 内に数字を記入）また、土曜日、日曜日・祝日の就労がありますか。（当てはまるもの 1 つに○）

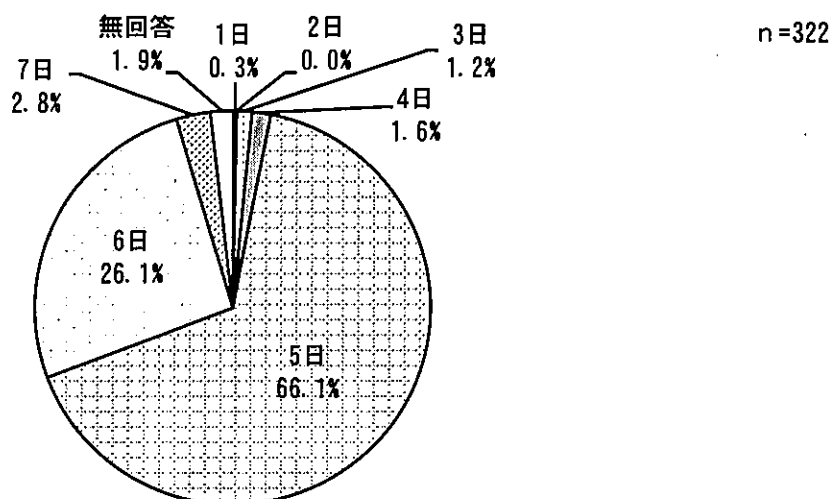
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）18:00 のように、24 時間制でお答えください。

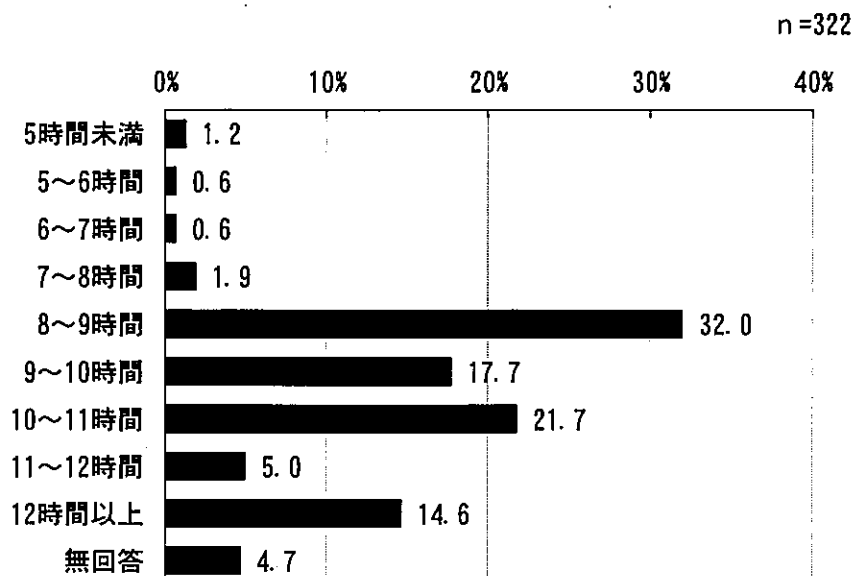
【父親の 1 週当たりの就労日数】

父親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が 66.1%と最も多く、次いで「6 日」が 26.1%、「7 日」が 2.8%となっています。



【父親の 1 日当たりの就労時間】

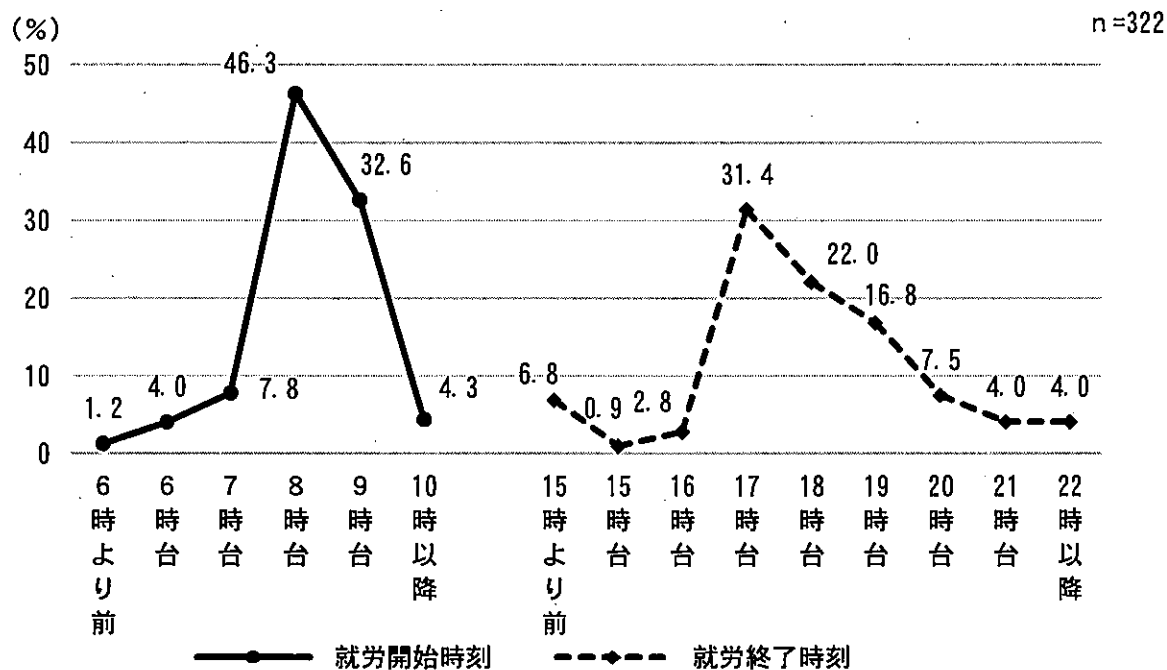
父親の 1 日当たりの就労時間は、「8～9 時間」が 32.0%と最も多く、次いで「10～11 時間」が 21.7%、「9～10 時間」が 17.7%となっています。



【父親の就労開始時刻と就労終了時刻】

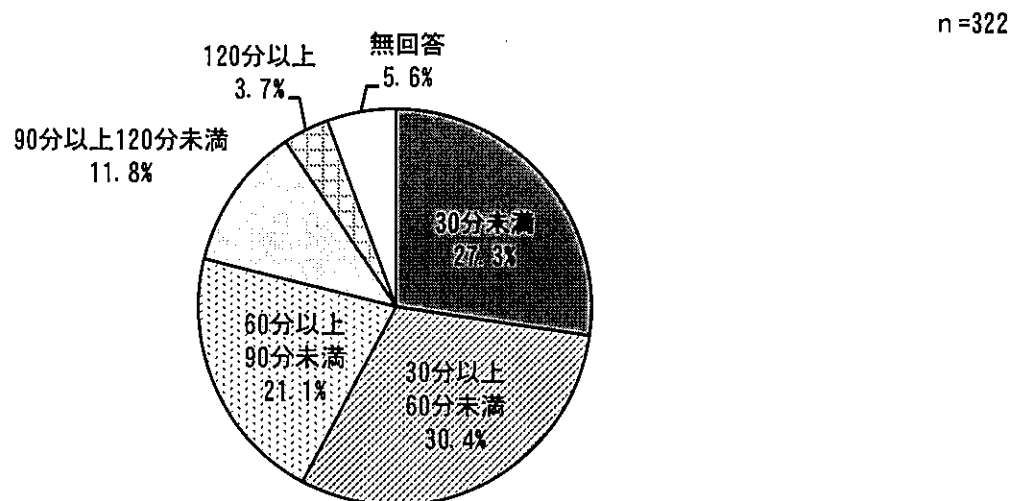
父親の就労開始時刻は、「8時台」が46.3%と最も多く、次いで「9時台」が32.6%、「7時台」が7.8%となっています。

父親の就労終了時刻は、「17時台」が31.4%と最も多く、次いで「18時台」が22.0%、「19時台」が16.8%となっています。



【父親の通勤時間】

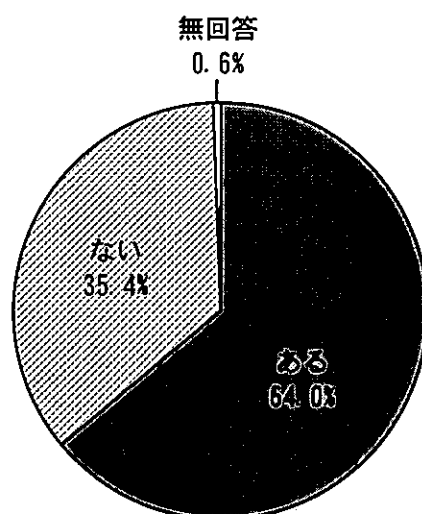
父親の通勤時間は、「30分以上60分未満」が30.4%と最も多く、次いで「30分未満」が27.3%、「60分以上90分未満」が21.1%となっています。



【父親の土曜日の就労】

父親の土曜日の就労は、「ある」が64.0%、「ない」が35.4%となっています。

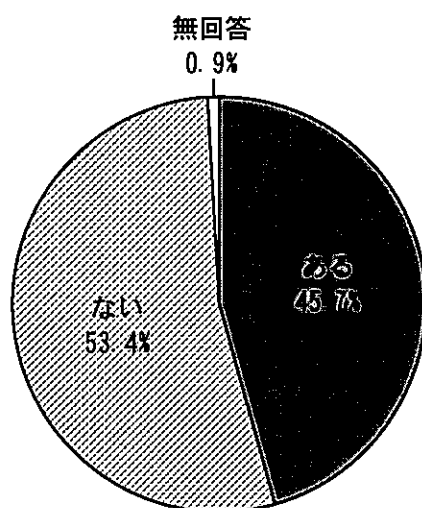
n=322



【父親の日曜・祝日の就労】

父親の日曜・祝日の就労は、「ある」が45.7%、「ない」が53.4%となっています。

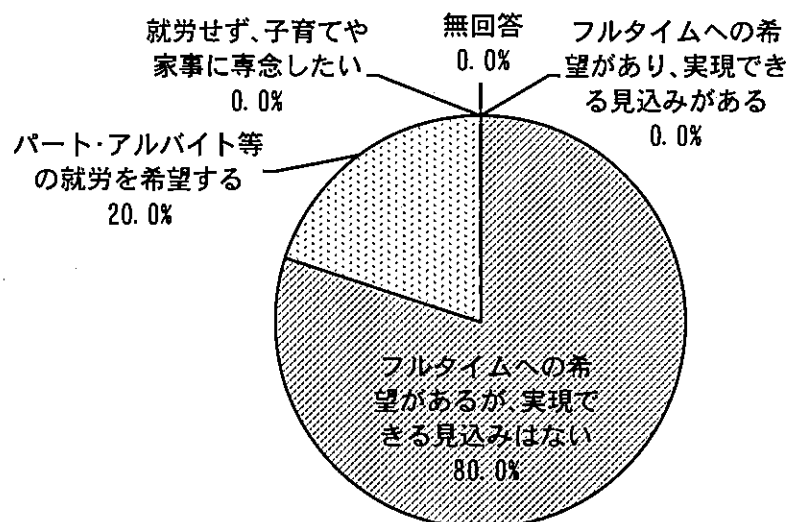
n=322



(10-2) フルタイムへの転換希望

問 10-2 問 10 で「3～6」を選んだ方にうかがいます。
今後、フルタイムへの転換希望はありますか。(当てはまるもの 1 つに○)

フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない」が 80.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を希望する」が 20.0%となっています。

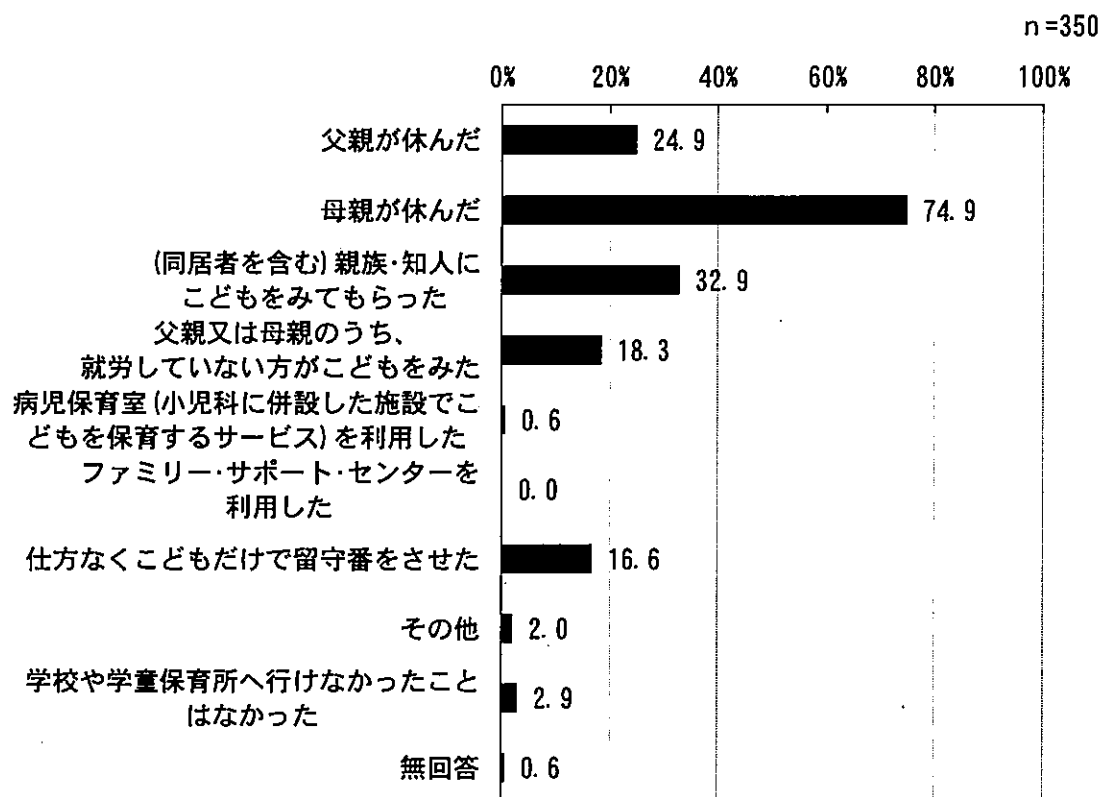


一時預かりについて

(11) 子どもが病気やけがをした際の対処方法

問 11 宛名のお子さんが、病気やけがで学校や学童保育所へ行けなかった時に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

こどもが病気やけがで学校や学童保育所へ行けなかった時に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が74.9%と最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人にこどもをみてもらった」が32.9%、「父親が休んだ」が24.9%となっています。



【その他】

- 職場と一緒に連れていき働いた。
- 母親がテレワークで対応した
- 祖母に預けた

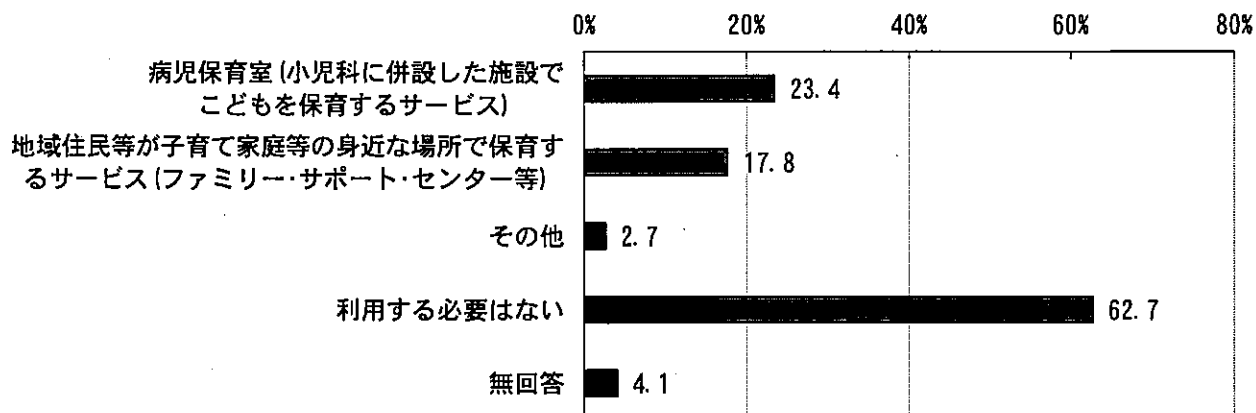
(11-1) 子どもが病気やけがをした際のサービスの利用意向

問 11-1 問 11 で「1～8」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがの際、以下のいずれかのサービスを利用したいと思いませんか。(当てはまるものすべてに○)

こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向は、「利用する必要はない」が 62.7%と最も多く、次いで「病児保育室（小児科に併設した施設でこどもを保育するサービス）」が 23.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス（ファミリー・サポート・センター等）」が 17.8%となっています。

n=338



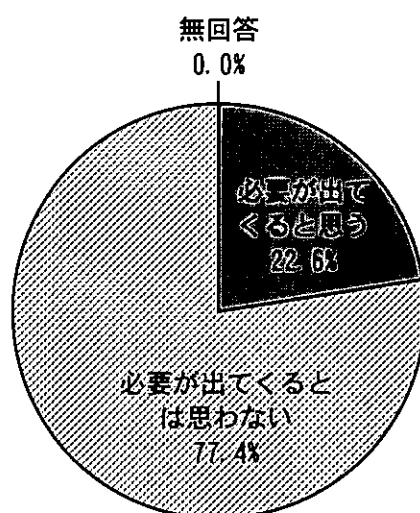
【その他】

- 手続きが面倒だと思うので、利用しようとは思わない。
- 不登校のためわかりません
- サービスを利用するのではなく親が休める社会になってほしい。
- ファミサポ等は基本的に事前予約が必要だが、病気や怪我等は事前予約が通常無理なので、事前予約無しでもできるだけ気軽に迷惑にならずに利用できるものがあれば良い。
- どうしても母親が見られないとき
- 金額次第
- 具体的な案はないが、保育や病気に関して専門的な人がいるところだと安心。

(12) 子どもを泊りがけで預ける必要性の有無

問 12 今後、保護者の用事（冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要が出てくると思いますか。（当てはまるものすべてに○）

子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要性は、「必要が出てくと思う」が22.6%、「必要が出てくとは思わない」が77.4%となっています。



n=350

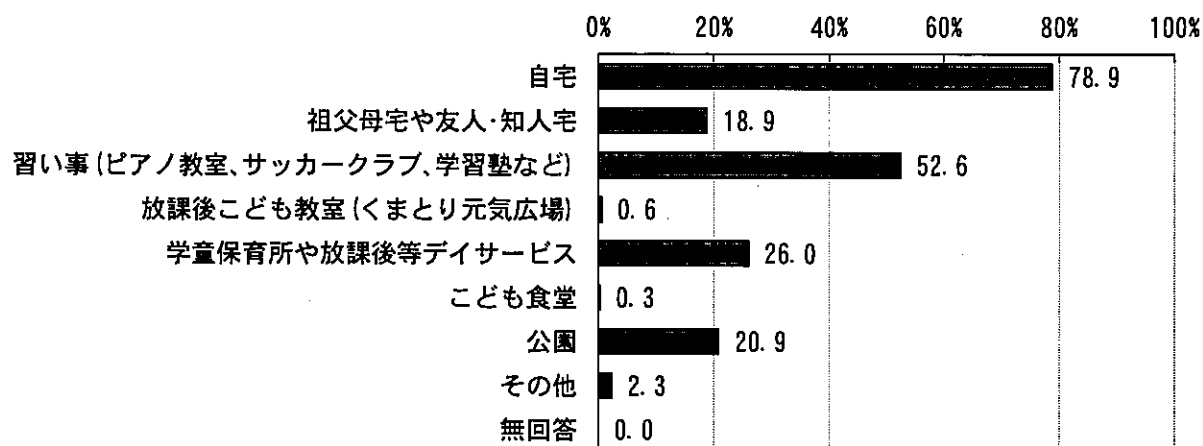
放課後の過ごし方について

(13) 放課後過ごしている場所

問 13 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（当てはまるものすべてに○）

放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所は、「自宅」が78.9%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が52.6%、「学童保育所や放課後等デイサービス」が26.0%となっています。

n=350



【その他】

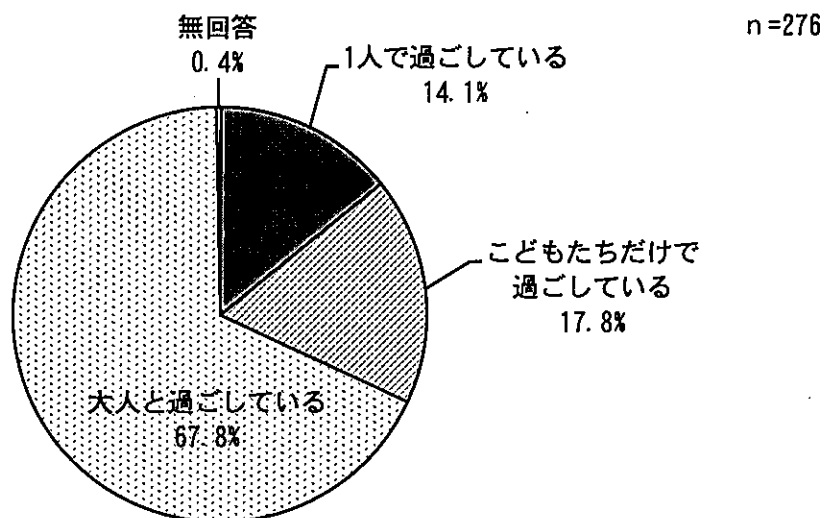
- 友達の家
- 不登校のため放課後がありません
- 6年度は、学童保育を外された。
- 近所の道路
- リハビリ
- 学校に遊びに行く

(13-1) 放課後自宅で一緒に過ごす人

問 13-1 問 13 で「1」を選んだ方にうかがいます。

宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間を自宅で過ごす際、誰と過ごすことが多いですか。（当てはまるもの1つに○）

放課後（平日の小学校終了後）の時間を自宅で一緒に過ごす人は、「大人と過ごしている」が67.8%と最も多く、次いで「こどもたちだけで過ごしている」が17.8%、「1人で過ごしている」が14.1%となっています。

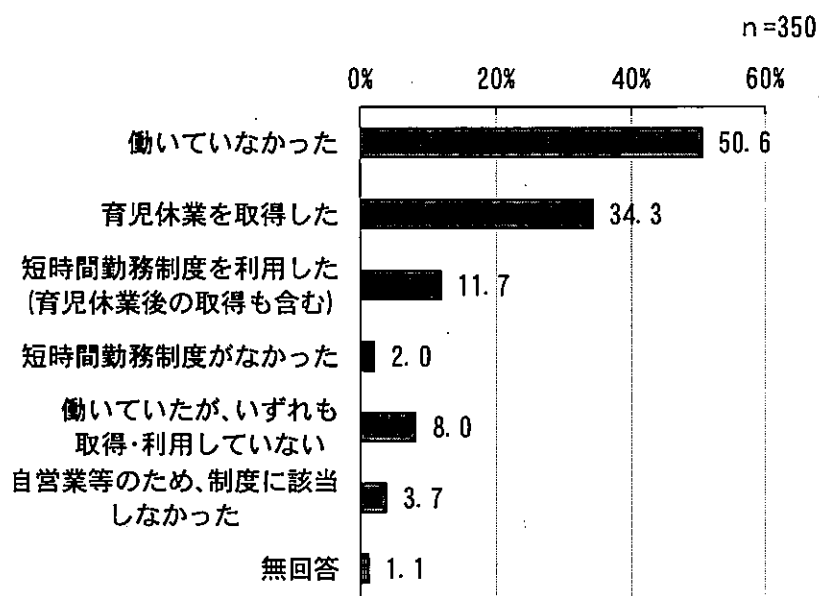


育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

(14) 母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 14 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。
(当てはまるものすべてに○)

母親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていなかった」が 50.6%と最も多く、次いで「育児休業を取得した」が 34.3%、「短時間勤務制度を利用した（育児休業後の取得も含む）」が 11.7%となっています。



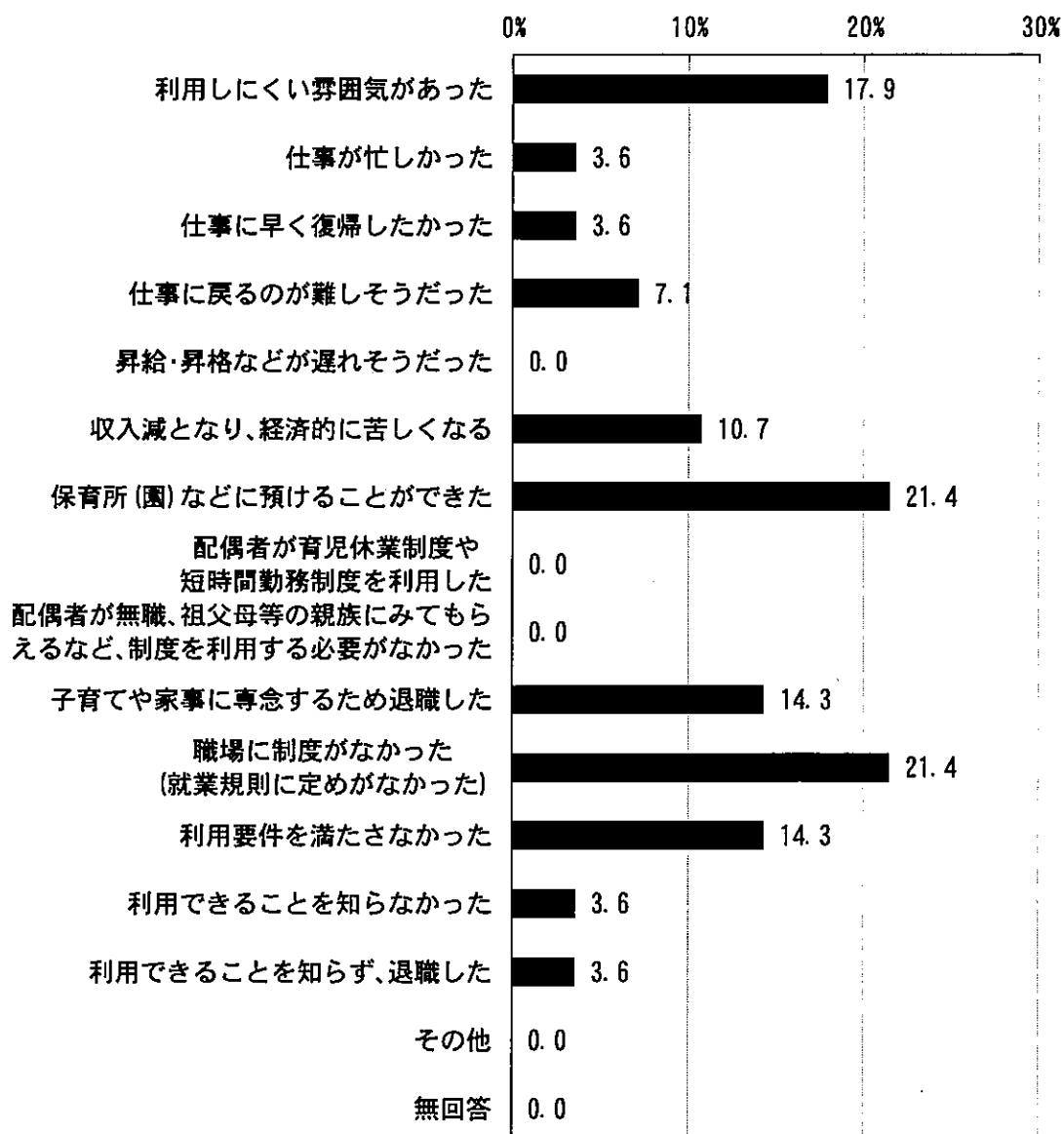
(14-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 14-1 問 14 で「5」を選んだ方にうかがいます。

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「保育所(園)などに預けることができた」、「職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がそれぞれ 21.4%と最も多く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」が 17.9%となっています。

n=28

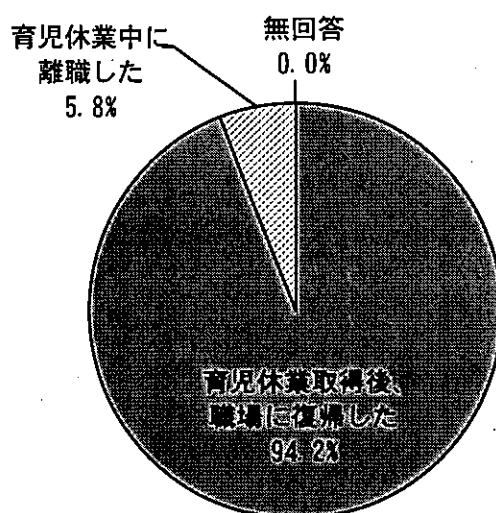


(14-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 14-2 問 14で「2」を選んだ方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの1つに○)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.2%、「育児休業中に離職した」が5.8%となっています。

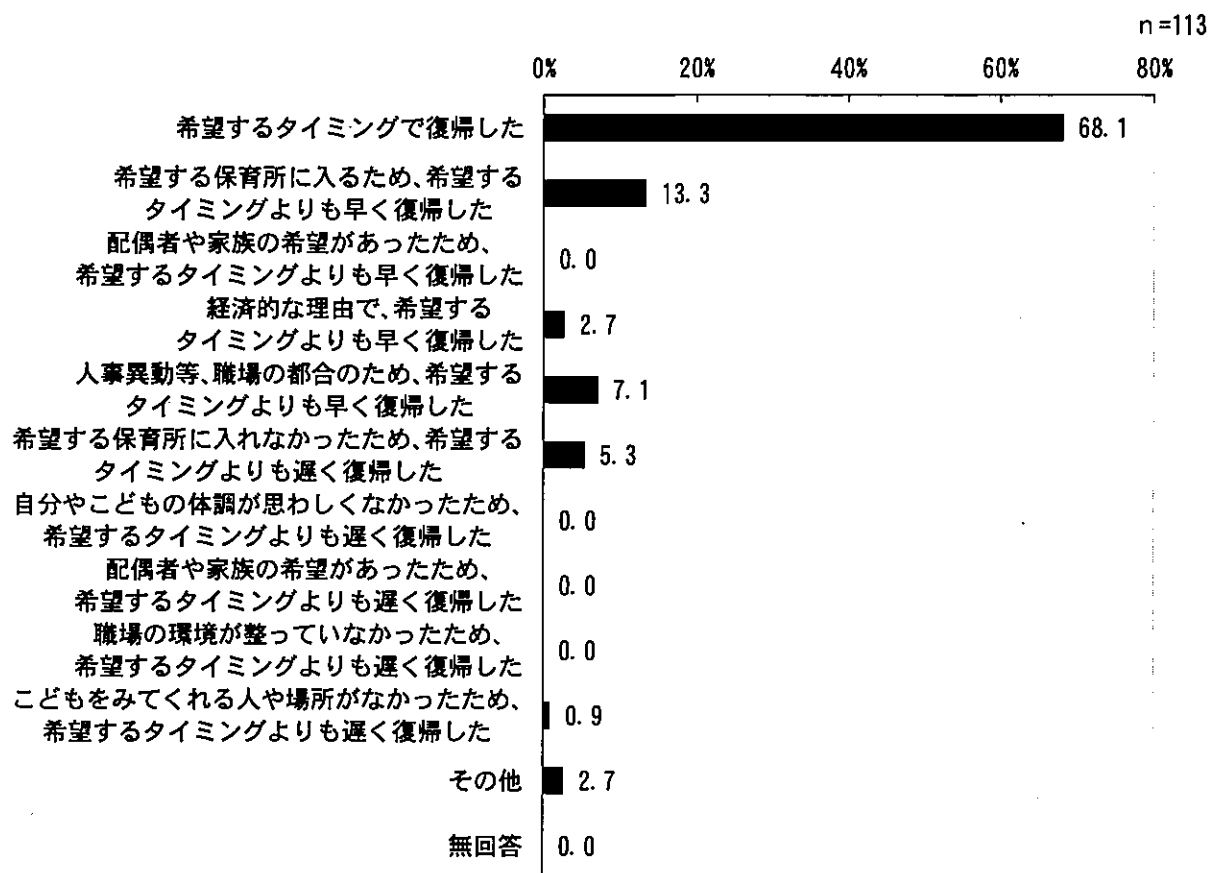


(14-3) 職場復帰のタイミング

問 14-3 問 14-2で「1」を選んだ方にうかがいます。

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が68.1%と最も多く、次いで「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が13.3%、「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が7.1%となっています。



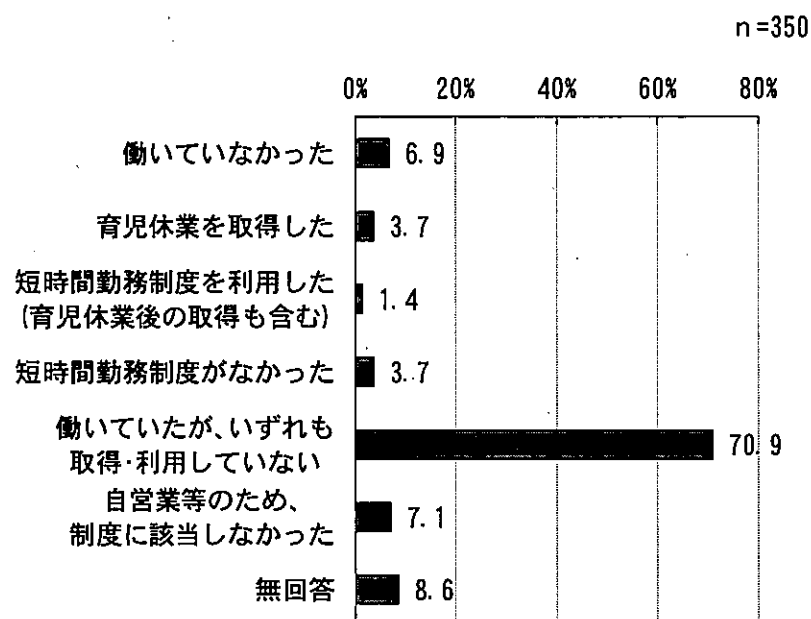
【その他】

わかりません。

(15) 父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

問 15 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。
(当てはまるものすべてに○)

父親の育児休業制度や短時間勤務制度の利用状況は、「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が70.9%と最も多く、次いで「自営業等のため、制度に該当しなかった」が7.1%、「働いていなかった」が6.9%となっています。

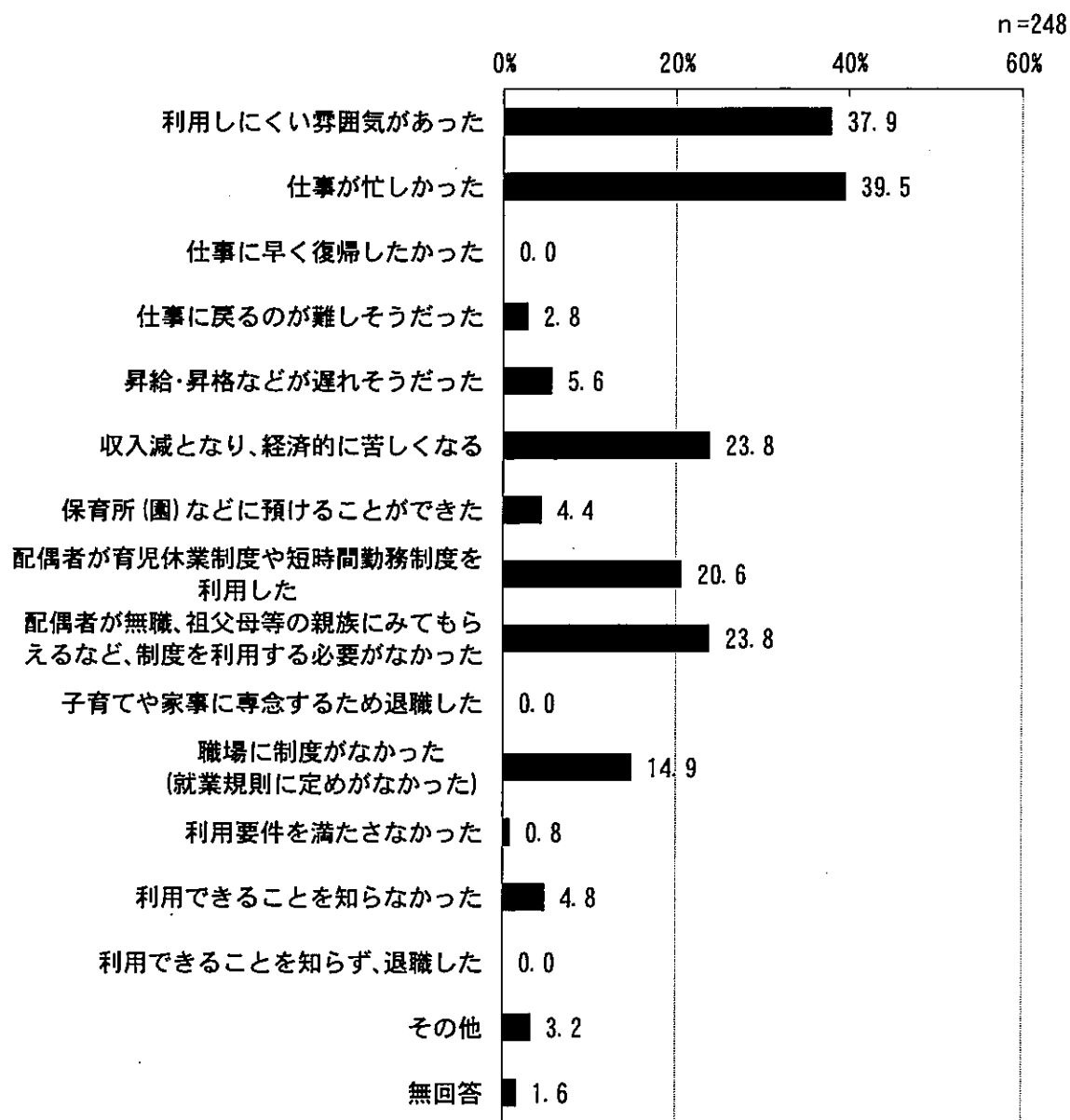


(15-1) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 15-1 問 15 で「5」を選んだ方にうかがいます。

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が 39.5%と最も多く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」が 37.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がそれぞれ 23.8%となっています。



【その他】

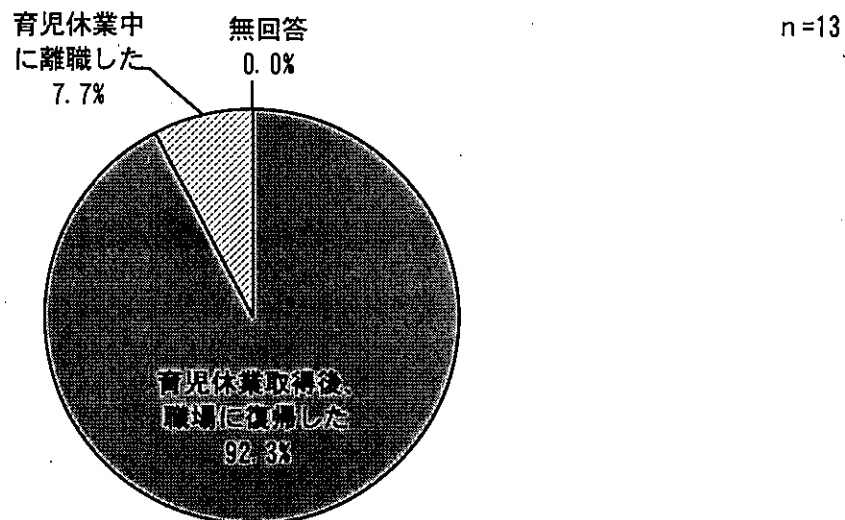
- 母親が希望しなかった
- 特に必要がなかった
- 本人が取得する気がなかった
- 母親が取得するので必要ないと考えている
- 子育て、家事は妻に任せていたので、休業する必要はないと考えた
- 妻から不要と言われた

(15-2) 育児休業取得後の職場復帰

問 15-2 問 15 で「2」を選んだ方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(当てはまるもの1つに○)

育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.3%、「育児休業中に離職した」が7.7%となっています。

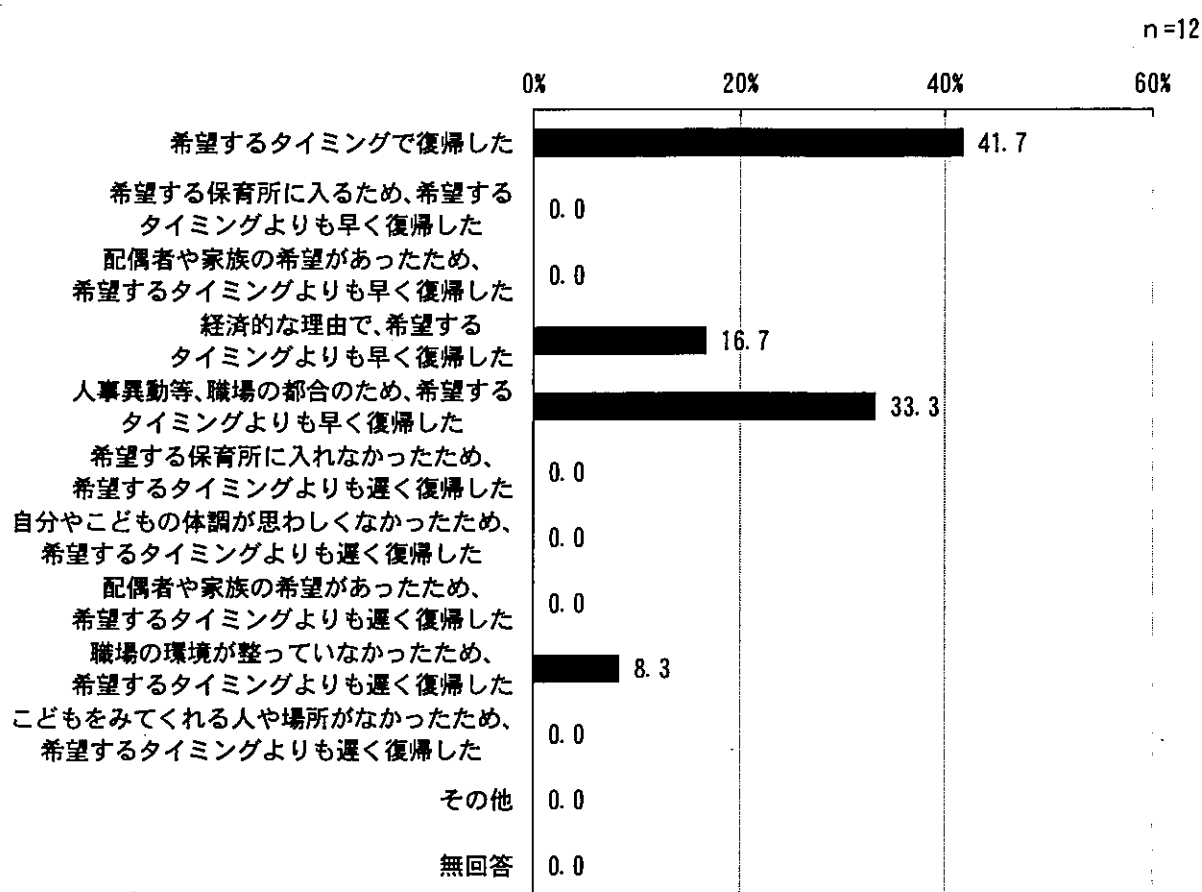


(15-3) 職場復帰のタイミング

問 15-3 問 15-2 で「1」を選んだ方にうかがいます。

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。(当てはまるもの1つに○)

希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができたかは、「希望するタイミングで復帰した」が41.7%と最も多く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」が33.3%、「経済的な理由で、希望するタイミングよりも早く復帰した」が16.7%となっています。



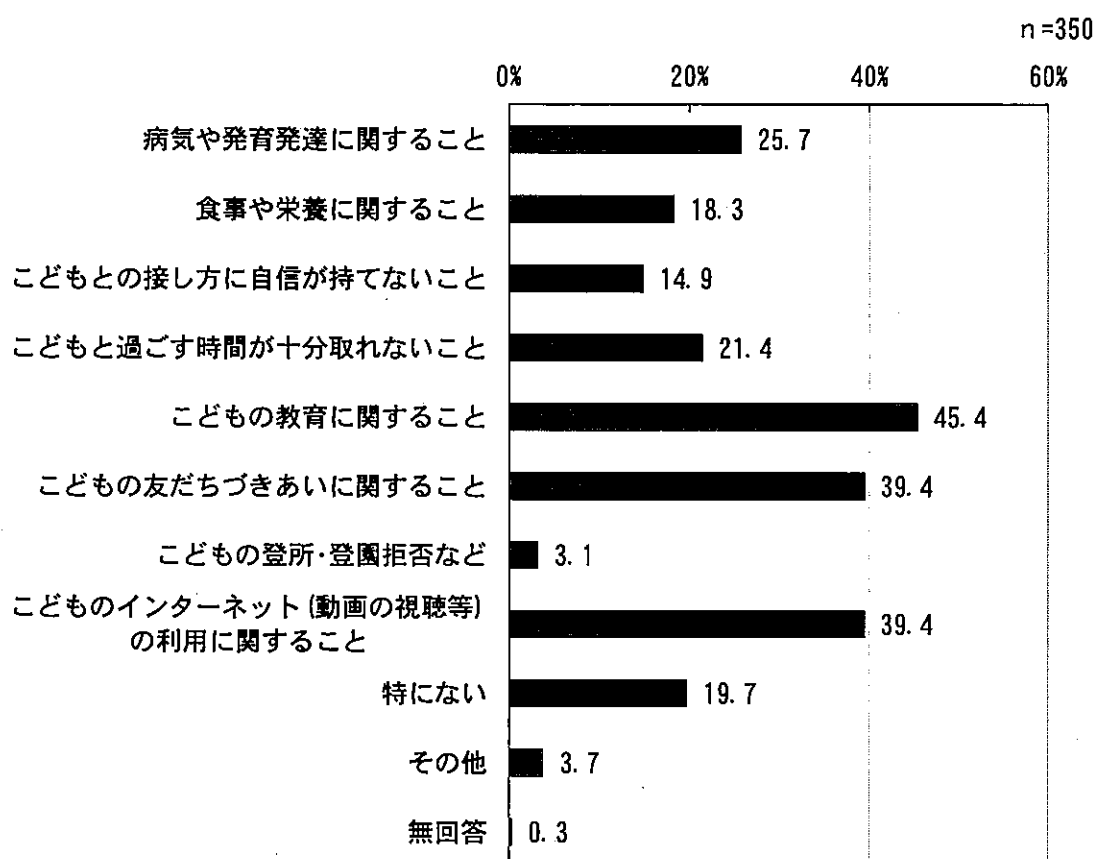
子育ての悩みや喜びなどについて

(16) 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

問 16 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【こどもに関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が45.4%と最も多く、次いで「こどもの友だちづきあいに関すること」、「こどものインターネット（動画の視聴等）の利用に関すること」がそれぞれ39.4%となっており、「特にない」は19.7%となっています。

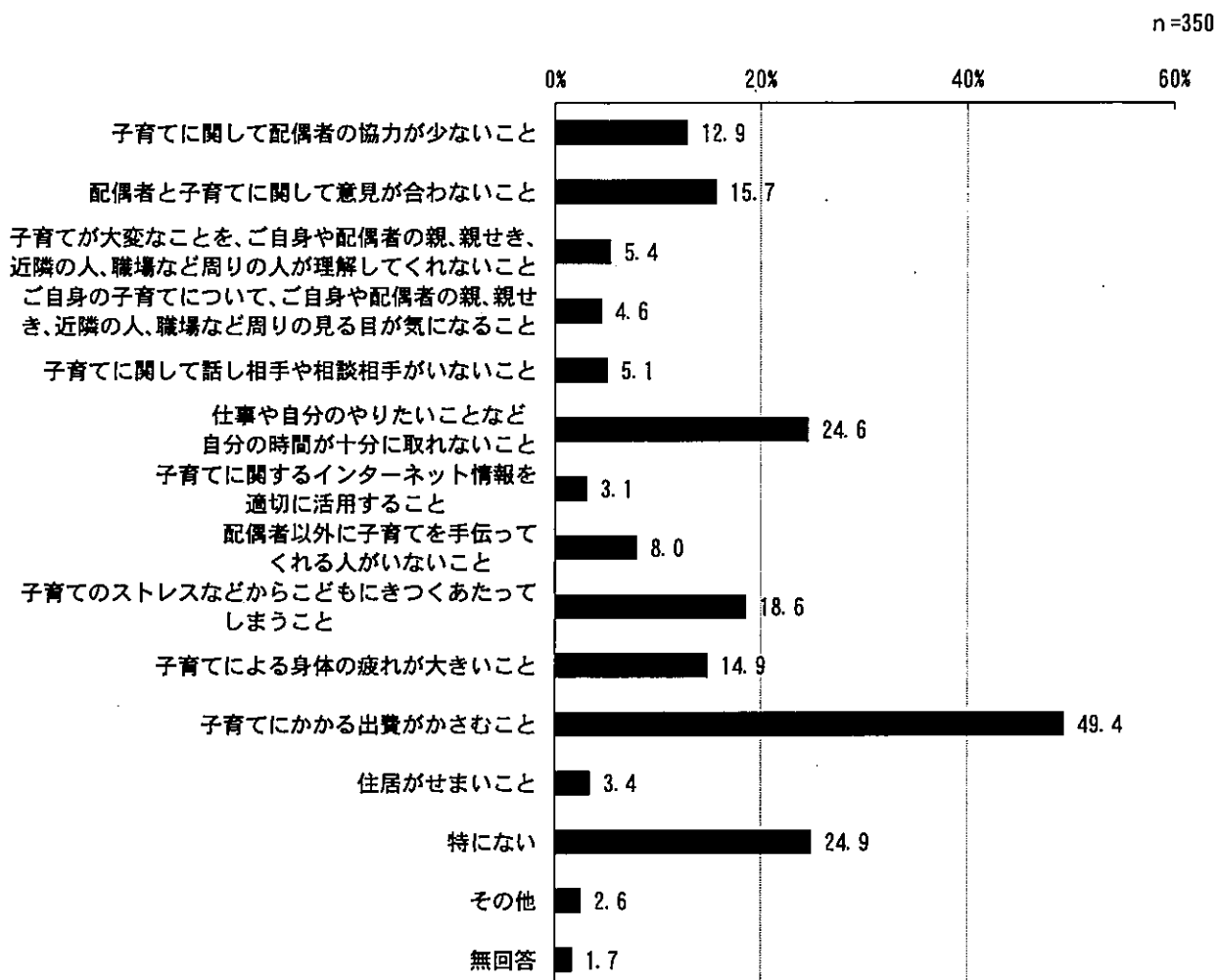


【その他】

- 反抗期
- 道が狭い、きちんとした歩道がない、信号がない道が多く危ない
- 教育費が高い
- 昔に比べて騒音問題などもあり、ボール遊びも限られ、遊具がなくなり、遊び場が減らされてかわいそう。ネットでいつでも繋がれる代わりに、一人の自由な時間がとりにくくなってしまったこと等。
- 何をしても送り迎えなどの際の移動に時間がかかるがどうにもできない
- 小学校と中学校の区域
- 盗癖、不眠など性格・精神面のケア
- スマホの使用について
- こどもの癇癪
- 学童での過ごし方など
- こどもへの性教育

【ご自身に関すること】

子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が49.4%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が24.6%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が18.6%となっており、「特にない」は24.9%となっています。



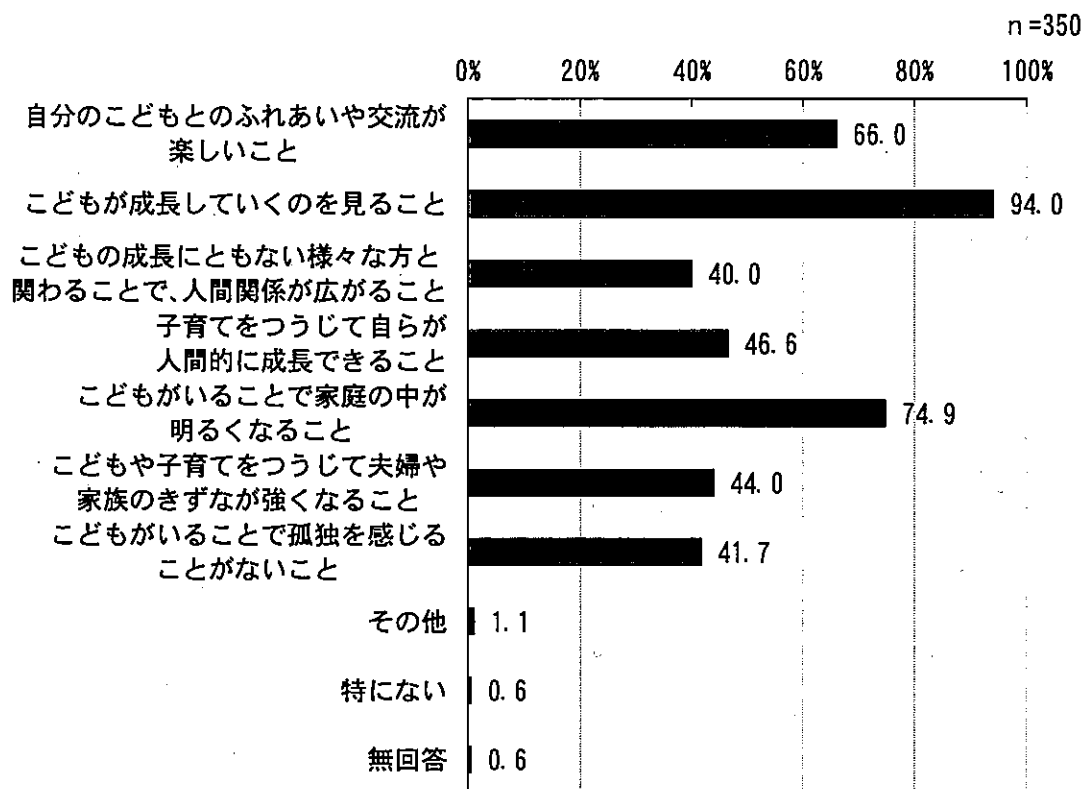
【その他】

- 時間のやりくり。
- 経済的にやっていけるか不安 老後など含めて
- お年寄りが多すぎる、子育て世帯がもっと増えると良いと思う、道を自転車や歩道が通れるよう改善してほしい、信号を増やしてほしい
- 預け先が無くなったこと。
- どれも深刻ではないですが、日々のこととして悩んだり考えたりしながら対処しています。
- 団地なので、こどもにリコーダーの宿題とかをさせてやれない(防音対策、よろしくお願いします。)
- 配偶者がこどもに暴力的になること、言葉で傷つけること
- 離婚したてでやらなければいけないことがありすぎるのに時間がないこと。
- 教育面で出費が高すぎる

(17) 子育ての中で喜びを感じたこと・良かったこと

問 17 お子さんの子育てをしておられる中で、喜びを感じたことや良かったことはどのようなことですか（当てはまるものすべてに○）

子育ての中で喜びを感じたことや良かったことは、「こどもが成長していくのを見ること」が 94.0%と最も多く、次いで「こどもがいることで家庭の中が明るくなること」が 74.9%、「自分のこどもとのふれあいや交流が楽しいこと」が 66.0%となっています。



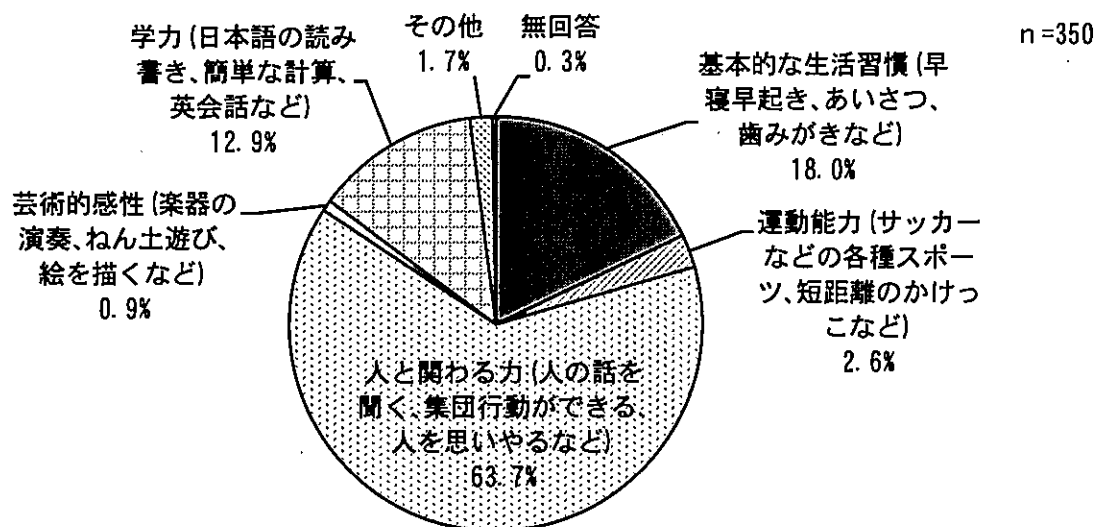
【その他】

- こどもの成長にともない様々な方と関わることで、視野が広まり知らなかった良い世界を知れること。
- 夫婦では行かない場所、例えば遊園地、公園、体験その他いろいろなところに行って刺激を受けられる
- 自治会の行事に継続的に参加していると、こどもと親しくしてくれる人（おじさんや、年配の方）が増えてきたこと
- 子供との時間はすべて良い。

(18) こどもたちに一番身につけさせたいと思うもの

問 18 今、こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは何ですか（当てはまるもの1つに○）

こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは、「人と関わる力（人の話を聞く、集団行動ができる、人を思いやるなど）」が 63.7%と最も多く、次いで「基本的な生活習慣（早寝早起き、あいさつ、歯みがきなど）」が 18.0%、「学力（日本語の読み書き、簡単な計算、英会話など）」が 12.9%となっています。



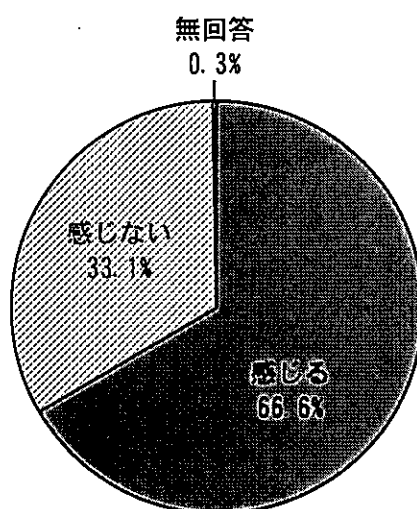
【その他】

- 自己肯定力と自己アピールができること
- 生き抜く力。自己肯定感や重要感や社会貢献力の底上げ。
- 人間関係も含め、体験でしか学べないことはなるべく積極的にさせたい
- 療育
- 癇癪への対応力
- 選択肢の全てをこどもに対して人並みにつけて欲しいと求めています。かつ、その上で何か突出またはこども自身が好きな物を見つけてほしいと欲張って求めています。

(19) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 19 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(当てはまるもの1つに○)
感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいですか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

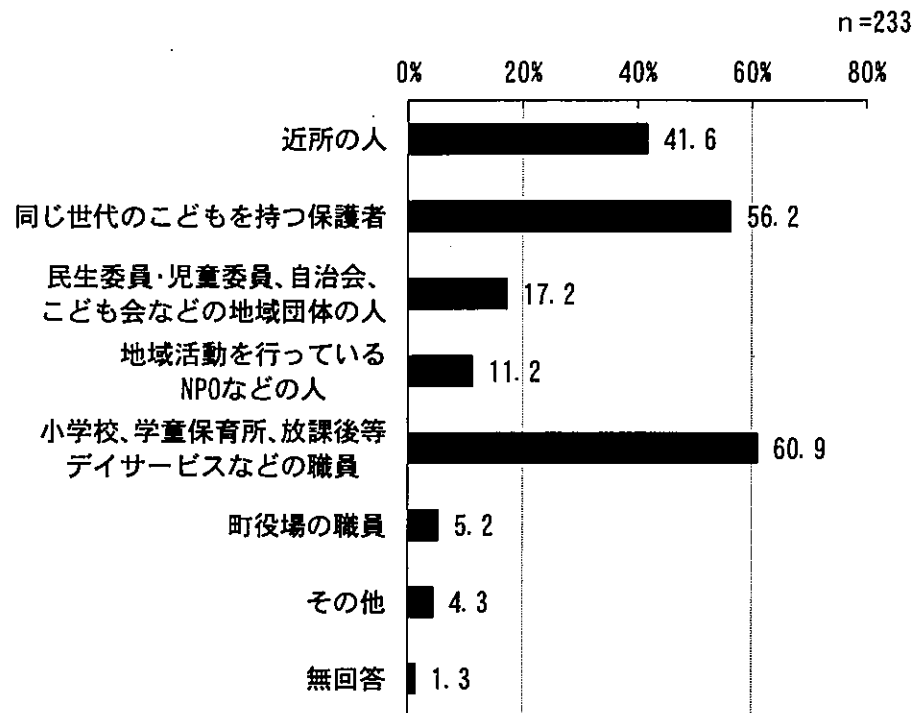
子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「感じる」が66.6%、「感じない」が33.1%となっています。



n=350

【特に誰から支えられていると感じるか】

特に誰から支えられていると感じるかは、「小学校、学童保育所、放課後等デイサービスなどの職員」が60.9%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が56.2%、「近所の人」が41.6%となっています。

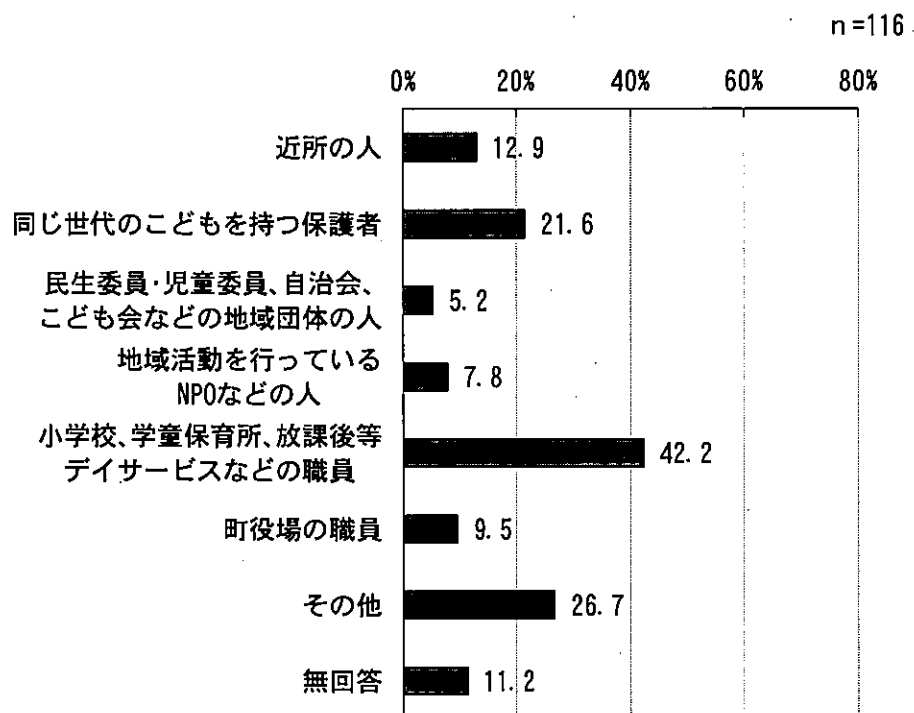


【その他】

- 卒園した園の先生方
- 議員さん等も給食費無料はとてありがたいものですし、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです！
- 両親
- ふれあい広場でのイベントで、団体のかたに親子ともに良くしてもらったり、保育園の信頼の置ける先生、声をかけてくれる保護者など、意外と身内より頼りにさせてもらっています。
- 習い事で関わる方々
- 見守り隊
- 近居の祖父母
- アトム先生方
- 文庫連の活動のお陰で、子どもが読書大好きな小学生に育ちました。また幼い頃は文庫連の活動に支えられ子育ての不安や葛藤を越えることができ、地域に支えられていると強く感じることができました。

【特に誰から支えてほしいか】

特に誰から支えてほしいかは、「小学校、学童保育所、放課後等デイサービスなどの職員」が42.2%と最も多く、次いで「同じ世代のこどもを持つ保護者」が21.6%、「近所の人」が12.9%となっています。



【その他】

○役場の障害福祉課の方、もう少し困っている人耳傾けてください。

○行政全体

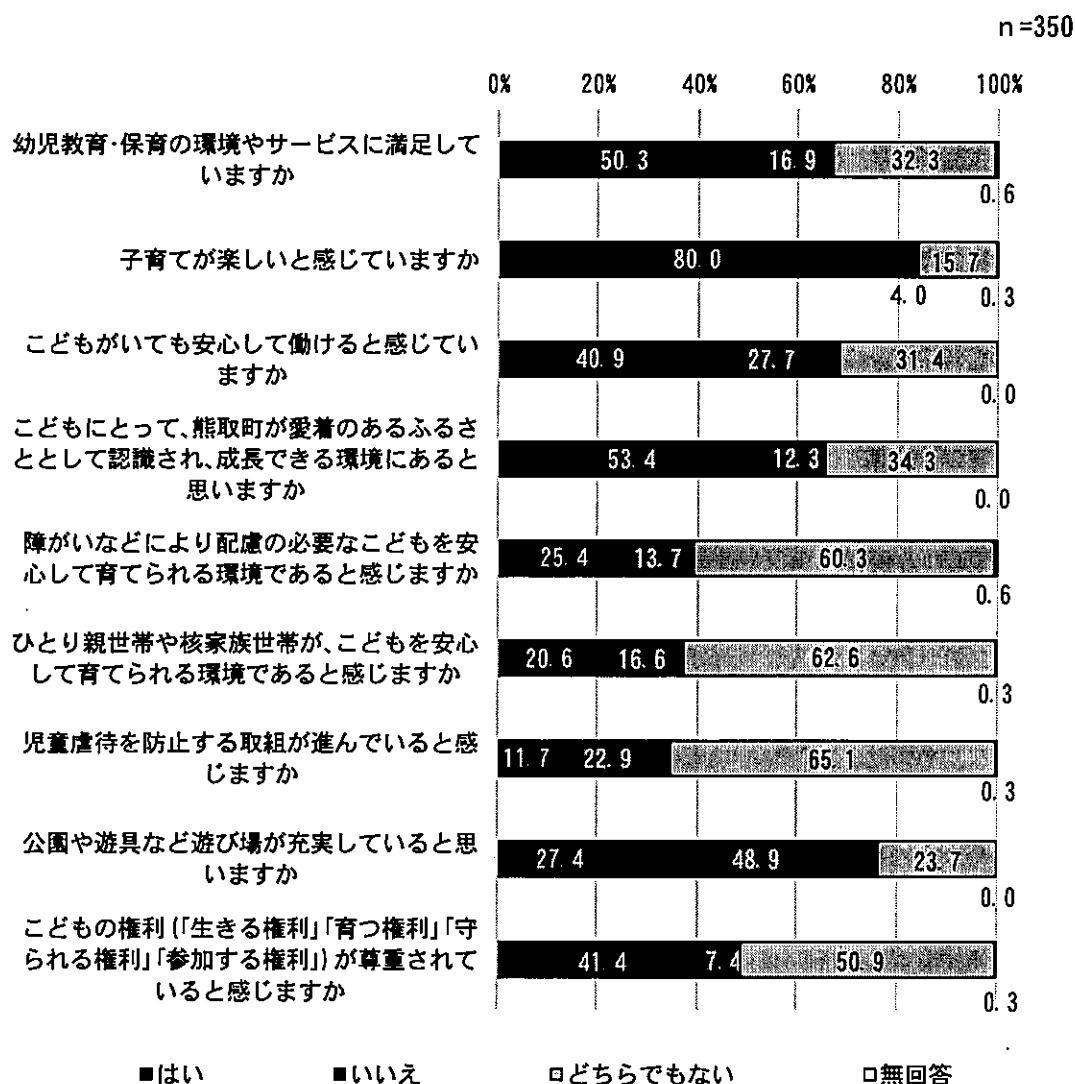
熊取町の子育て施策全般について

(20) 熊取町での子育てで感じること

問 20 お子さんを本町でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのように考えますか。(それぞれの項目について、ひとつずつ○)

熊取町での子育てで感じることは、「はい」としては、「子育てが楽しいと感じていますか」が80.0%と最も多く、次いで「こどもにとって、熊取町が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか」が53.4%、「幼児教育・保育の環境やサービスに満足していますか」が50.3%となっています。

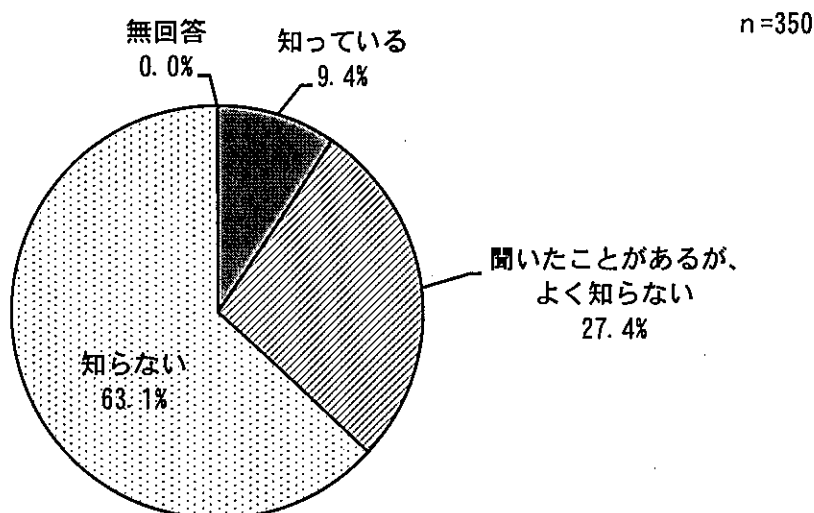
「いいえ」としては、「公園や遊具など遊び場が充実していると思いますか」が48.9%と最も多く、次いで「こどもがいても安心して働けると感じていますか」が27.7%、「児童虐待を防止する取組が進んでいると感じますか」が22.9%となっています。



(21) 「子どもの権利に関する条例」の認知度

問 21 本町では、令和4年4月に「子どもの権利に関する条例」が施行されていますが、この条例を知っていますか。(当てはまるもの1つに○)

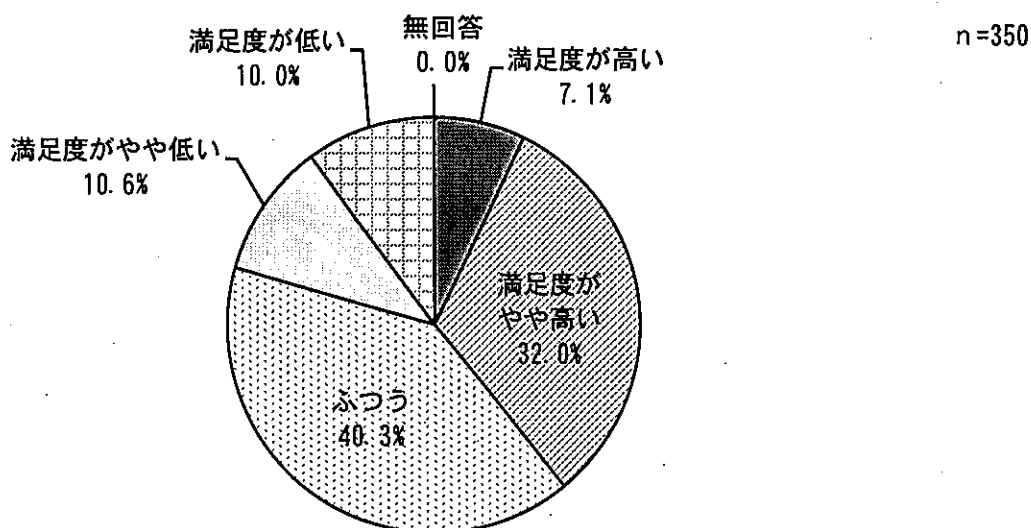
「子どもの権利に関する条例」の認知度は、「知らない」が63.1%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が27.4%、「知っている」が9.4%となっています。



(22) 熊取町の子育て環境や支援への満足度

問 22 本町の子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

熊取町の子育て環境や支援への満足度は、「ふつう」が40.3%と最も多く、次いで「満足度がやや高い」が32.0%、「満足度がやや低い」が10.6%となっています。



(23) 子育ての環境や支援に関するご意見

問 23 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

※自由意見については、別にまとめています

熊取町

「(仮称) 熊取町こども計画」

策定のためのニーズ調査 結果報告書

発行年月：令和6年3月

発 行：熊取町

編 集：子育て支援課

住 所：〒590-0495

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番1号

電 話：072-452-6814

**熊取町
「(仮称) 熊取町こども計画」
策定のためのアンケート調査**

結果報告書

令和 6 年 3 月

□ ■ 目 次 ■ □

調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 報告書のみかた.....	1
小学校5年生の調査結果	2
あなたとあなたの家族や家庭についてお聞きします.....	2
(1) 通っている学校.....	2
(2) 家族の人数.....	2
(3) 今一緒に住んでいる人.....	3
(4) 家でよく話をするかどうか.....	4
(4-1) 家で一番多く話をする人.....	5
(4-2) 家で話さない主な理由.....	6
(5) 家族のことで困っていること・嫌なこと.....	7
勉強についてお聞きします.....	8
(6) 学校の授業の理解度.....	8
(6-1) 授業が分からなくなった時期.....	9
(7) 授業以外での勉強方法.....	10
(8) 1日当たりの勉強時間.....	11
放課後や休日の過ごし方についてお聞きします.....	12
(9) 放課後過ごす場所.....	12
(10) 居心地がよく安心できる場所.....	13
(11) 休日の昼間過ごす場所.....	14
(12) 休日を楽しく過ごしているか.....	14
生活習慣についてお聞きします.....	15
(13) 平日の朝ごはん.....	15
(14) 平日の夕ご飯を一緒に食べる人.....	16
(15) 休日の昼ご飯.....	16
(15-1) 休日に昼ご飯を食べない理由.....	17
(16) 普段している活動.....	18
(16-1) 看病や世話をしている人.....	19
(16-2) 家族の世話をすることによる問題の有無.....	19
(17) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	20
インターネットなどについてお聞きします.....	21
(18) インターネットにつながる機器の所持.....	21
(18-1) インターネットを利用する目的.....	22
(18-2) 1日当たりのインターネットの利用時間.....	23
(18-3) インターネット利用に当たってのルール.....	24
普段の悩みなどについてお聞きします.....	25
(19) 悩みごとの相談相手.....	25
(20) 思いや気持ち.....	27
(21) 将来の夢や目標.....	28

(22)「こどもの権利」の認知度.....	29
(22-1)「こどもの権利」を知った方法.....	30
(23) 今困っていること・悩んでいること.....	30
(24) 熊取町がどんな町になれば良いと思うか.....	30
中学校2年生の調査結果.....	31
あなたとあなたの家族や家庭についてお聞きします.....	31
(1) 通っている学校.....	31
(2) 家族の人数.....	31
(3) 今一緒に住んでいる人.....	32
(4) 家でよく話をするかどうか.....	33
(4-1) 家で一番多く話をする人.....	34
(4-2) 家で話さない主な理由.....	35
(5) 家族のことで困っていること・嫌なこと.....	36
勉強についてお聞きします.....	37
(6) 学校の授業の理解度.....	37
(6-1) 授業が分からなくなった時期.....	38
(7) 授業以外での勉強方法.....	38
(8) 1日当たりの勉強時間.....	39
放課後や休日の過ごし方についてお聞きします.....	40
(9) 放課後過ごす場所.....	40
(10) 居心地がよく安心できる場所.....	41
(11) 休日の昼間過ごす場所.....	42
(12) 休日を楽しく過ごせているか.....	42
生活習慣についてお聞きします.....	43
(13) 平日の朝ご飯.....	43
(14) 平日の夕ご飯を一緒に食べる人.....	44
(15) 休日の昼ご飯.....	44
(15-1) 休日に昼ご飯を食べない理由.....	45
(16) 普段している活動.....	46
(16-1) 看病や世話をしている人.....	47
(16-2) 家族の世話をすることによる問題の有無.....	47
(17) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	48
インターネットなどについてお聞きします.....	49
(18) インターネットにつながる機器の所持.....	49
(18-1) インターネットを利用する目的.....	50
(18-2) 1日当たりのインターネットの利用時間.....	51
(18-3) インターネット利用に当たってのルール.....	52
普段の悩みなどについてお聞きします.....	53
(19) 悩みごとの相談相手.....	53
(20) 思いや気持ち.....	54
(21) 将来の夢や目標.....	55
(22)「こどもの権利」の認知度.....	56
(22-1)「こどもの権利」を知った方法.....	57
(23) 今困っていること・悩んでいること.....	57
(24) 熊取町がどんな町になれば良いと思うか.....	57

調査の概要

1. 調査の目的

「（仮称）熊取町こども計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、熊取町在住の小学校5年生と中学校2年生の学校や家での生活の様子などについてのアンケート調査を実施しました。

（1）小学校5年生

- 調査対象：熊取町在住の小学校5年生
- 調査期間：令和6年2月19日～令和6年3月12日
- 調査方法：郵送配布、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	対象者数	回収数	回収率	有効回答数
406 票	410 人	403 票	99.3%	378 票

（町立以外の学校に在籍している児童は、保護者の同意が得られた方に配布した。）

（2）中学校2年生

- 調査対象：熊取町在住の中学校2年生
- 調査期間：令和6年2月19日～令和6年3月12日
- 調査方法：郵送配布、WEB回答
- 配布・回収：

配布数	対象者数	回収数	回収率	有効回答数
439 票	458 人	361 票	82.2%	343 票

（町立以外の学校に在籍している生徒は、保護者の同意が得られた方に配布した。）

3. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

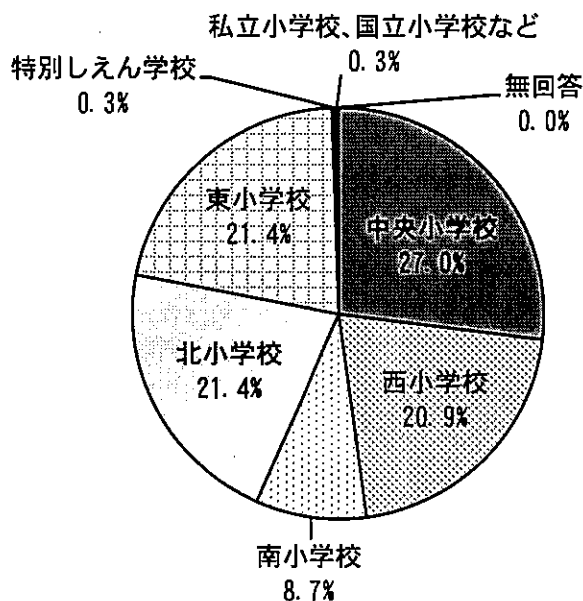
小学校5年生の調査結果

あなたとあなたの家族や家庭についてお聞きします

(1) 通っている学校

問1 あなたの学校を選んでください。(○は1つ)

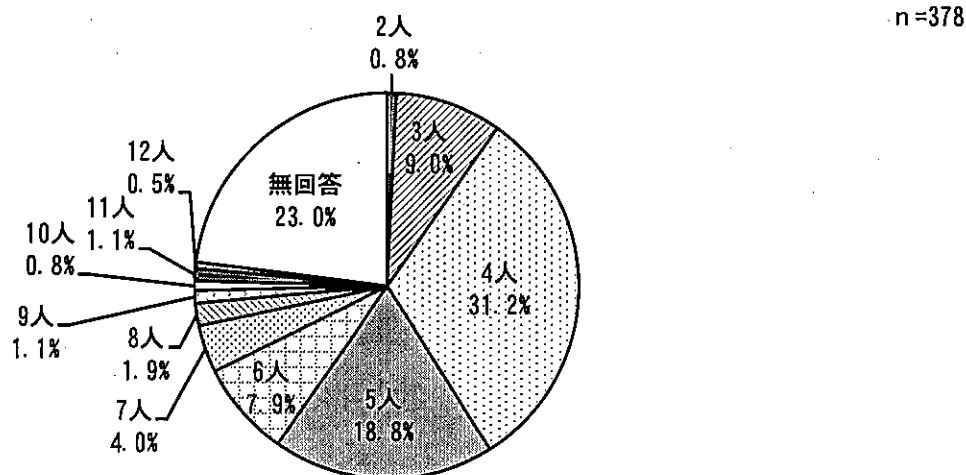
通っている学校は、「中央小学校」が27.0%と最も多く、次いで「北小学校」、「東小学校」がそれぞれ21.4%となっています。



(2) 家族の人数

問2 あなたの家族はあなたを入れて全員で何人ですか。(仕事や学校などのために、一時的に家からはなれてくらしている人も人数に入れてください)(数字で記入)

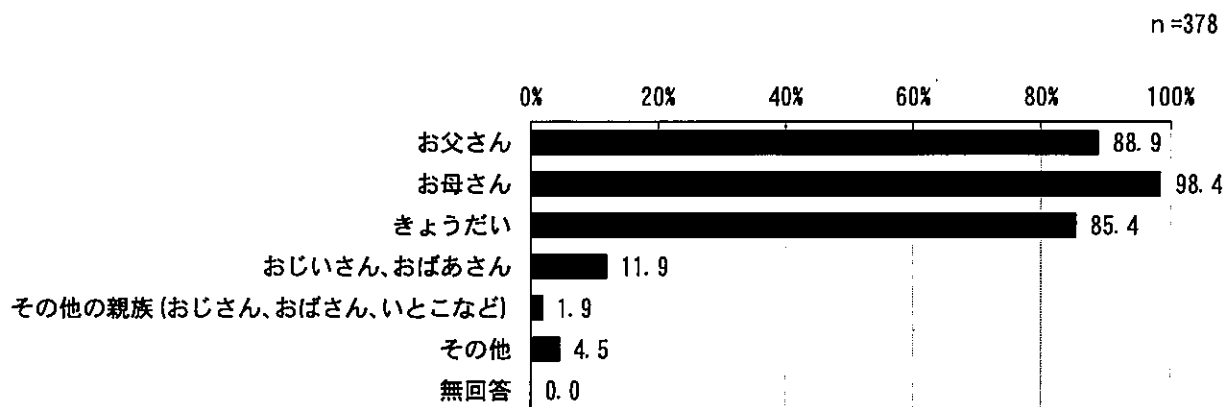
家族の人数は、「4人」が31.2%と最も多く、次いで「5人」が18.8%「3人」が9.0%となっています。



(3) 今一緒に住んでいる人

問3 あなたが今いっしょに住んでいる人は、だれですか。(〇はいくつでも)

一緒に住んでいる人は、「お母さん」が98.4%と最も多く、次いで「お父さん」が88.9%、「きょうだい」が85.4%となっています。



【その他】

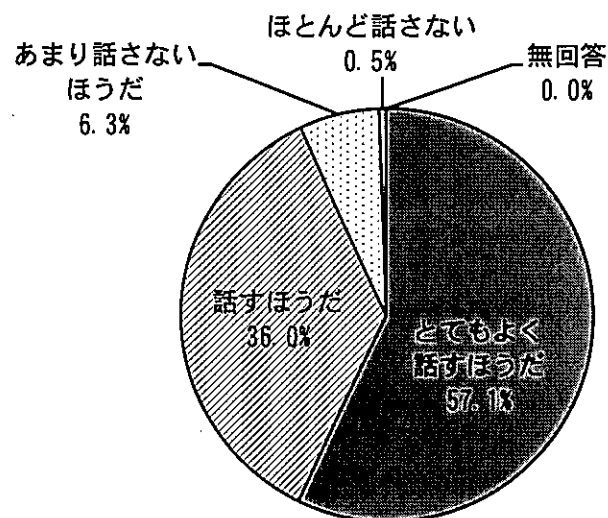
ペット／姉妹／親戚／ひいおばあさん

(4) 家でよく話をするかどうか

問4 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(○は1つ)

家でよく話をするかどうかは、「とてもよく話すほうだ」が57.1%と最も多く、次いで「話すほうだ」が36.0%、「あまり話さないほうだ」が6.3%となっています。

「とてもよく話すほうだ」の割合を学校別にみると、「南小学校」が66.7%と最も多く、次いで「西小学校」が60.8%、「東小学校」が60.5%となっています。



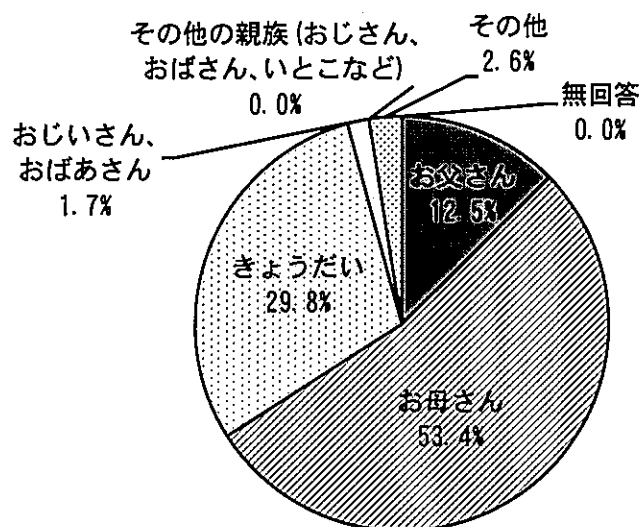
【家でよく話をするかどうか (学校別)】

		合計	とてもよく話すほうだ	話すほうだ	あまり話さないほうだ	ほとんど話さない	無回答
全体		378	57.1%	36.0%	6.3%	0.5%	0.0%
学校	中央小学校	102	51.0%	39.2%	8.8%	1.0%	0.0%
	西小学校	79	60.8%	32.9%	6.3%	0.0%	0.0%
	南小学校	33	66.7%	27.3%	6.1%	0.0%	0.0%
	北小学校	81	55.6%	38.3%	6.2%	0.0%	0.0%
	東小学校	81	60.5%	34.6%	3.7%	1.2%	0.0%
	特別しえん学校	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4-1) 家で一番多く話をする人

問 4-1 問 4 で「1」～「2」を選んだ人にお聞きします。
あなたは家でだれと一番多く話をしますか。(○は1つ)

誰と一番多く話をするかは、「お母さん」が 53.4%と最も多く、次いで「きょうだい」が 29.8%、「お父さん」が 12.5%となっています。



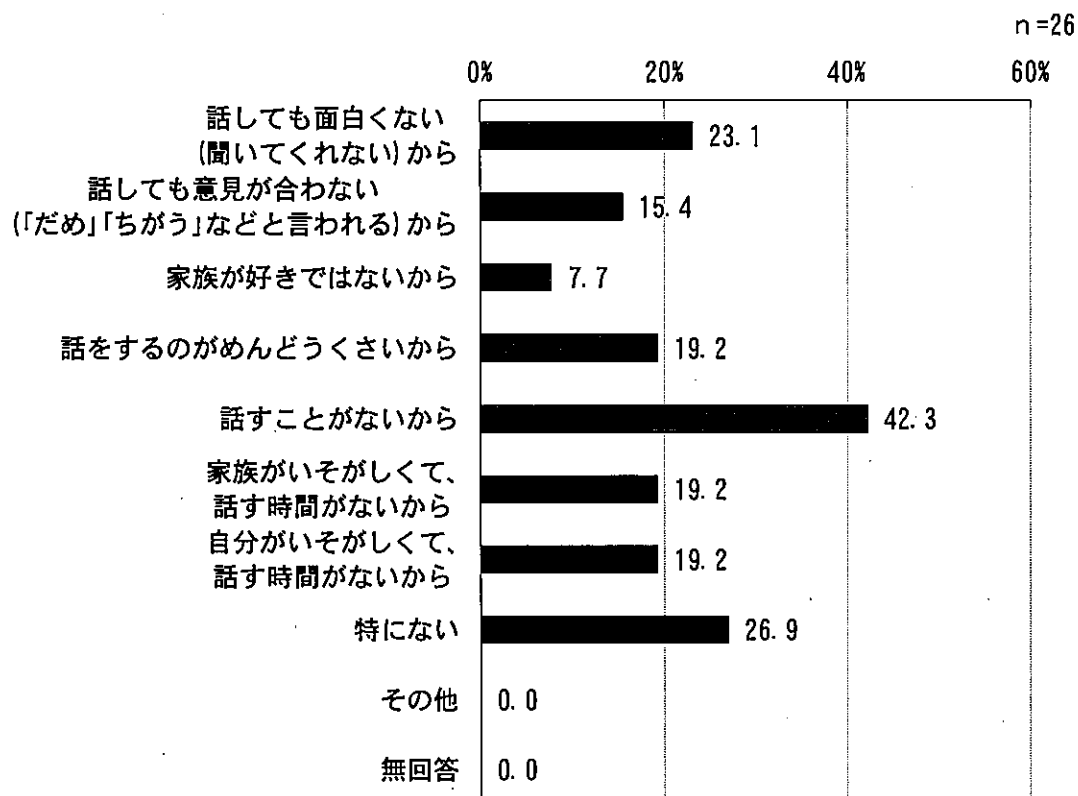
【その他】

家族みんなで喋っている／姉妹／家族全員

(4-2) 家で話さない主な理由

問 4-2 問 4 で「3」～「4」を選んだ人にお聞きします。
あなたが家で話さない主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

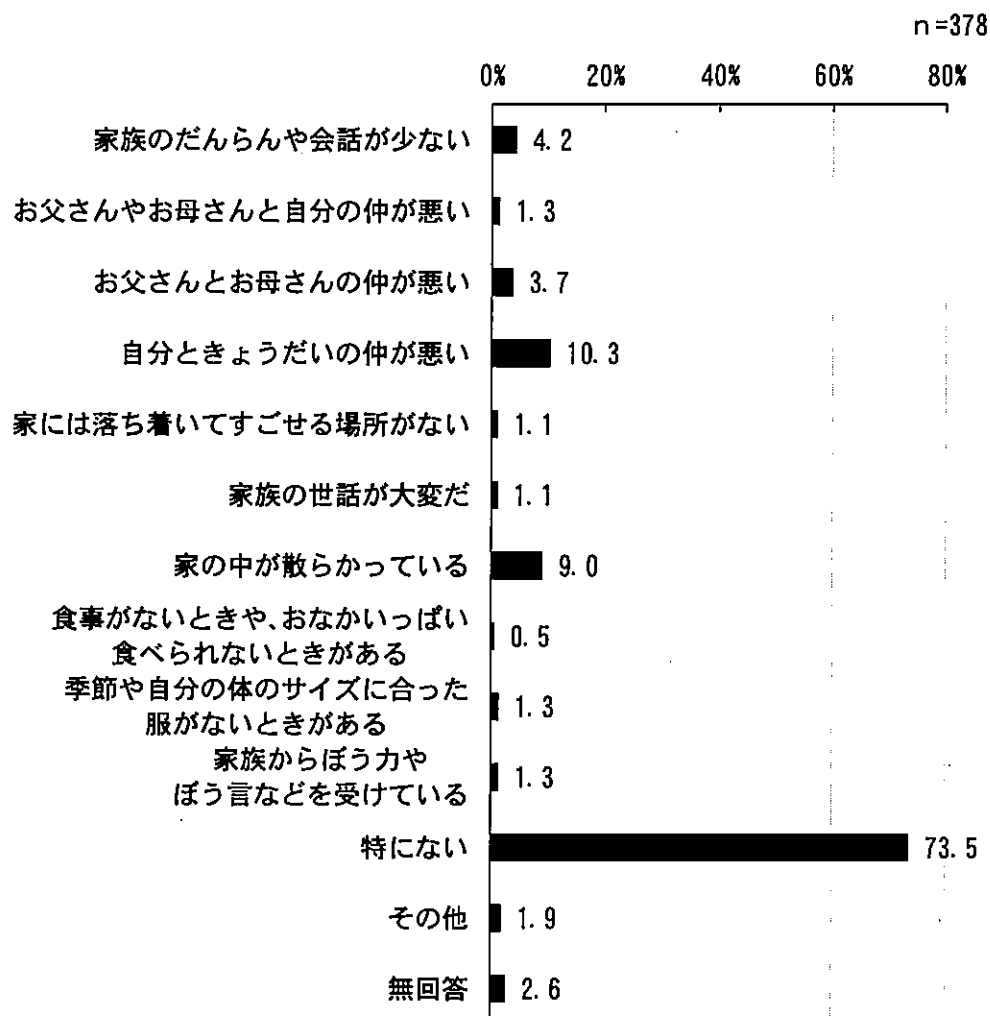
家で話さない主な理由は、「話すことがないから」が 42.3%と最も多く、次いで「特にない」が 26.9%、「話しても面白くない（聞いてくれない）から」が 23.1%となっています。



(5) 家族のことで困っていること・嫌なこと

問5 あなたは家族のことなどで、何かこまっていることや、いやなことはありますか。(○はいくつでも)

家族のことなどで、困っていることや、嫌なことは、「特にない」が73.5%と最も多く、次いで「自分ときょうだいの仲が悪い」が10.3%、「家の中が散らかっている」が9.0%となっています。



【その他】

家がせまい／理不尽なことを言われる／否定してくる

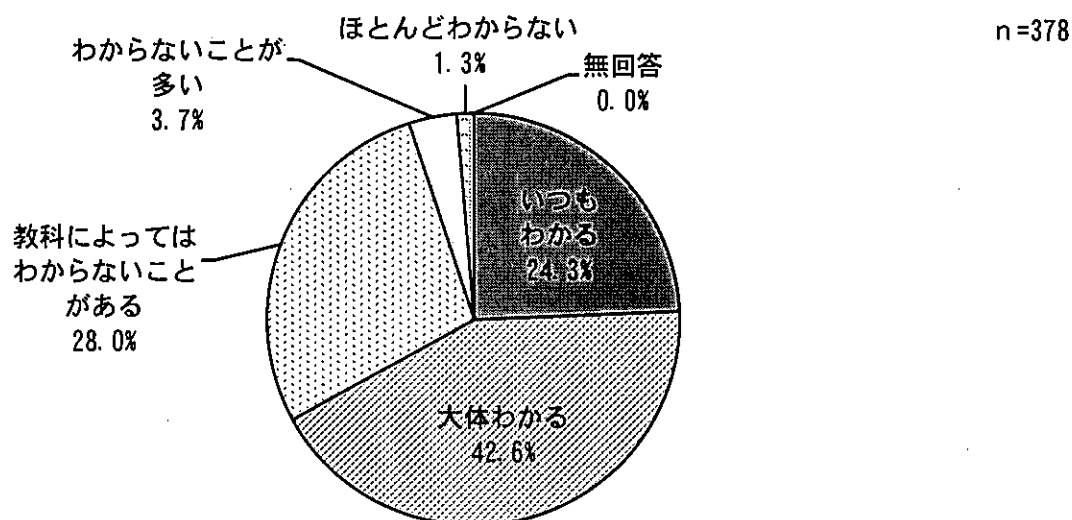
勉強についてお聞きします

(6) 学校の授業の理解度

問6 あなたは、学校のじゅぎょうがわからないことがありますか。(○は1つ)

学校の授業が分からないことがあるかは、「大体わかる」が42.6%と最も多く、次いで「教科によってはわからないことがある」が28.0%、「いつもわかる」が24.3%となっています。

「いつもわかる」の割合を学校別にみると、「南小学校」が30.3%と最も多く、次いで「西小学校」が29.1%、「北小学校」、「東小学校」がそれぞれ24.7%となっています。



【学校の授業の理解度（学校別）】

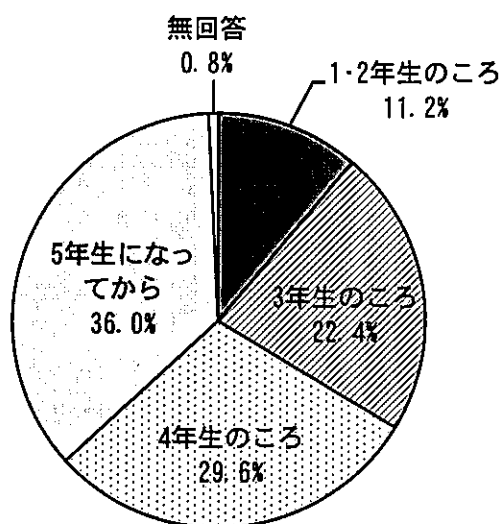
	合計	いつもわかる	大体わかる	教科によってはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体	378	24.3%	42.6%	28.0%	3.7%	1.3%	0.0%
学校							
中央小学校	102	18.6%	41.2%	29.4%	8.8%	2.0%	0.0%
西小学校	79	29.1%	53.2%	15.2%	1.3%	1.3%	0.0%
南小学校	33	30.3%	45.5%	21.2%	3.0%	0.0%	0.0%
北小学校	81	24.7%	40.7%	28.4%	3.7%	2.5%	0.0%
東小学校	81	24.7%	33.3%	42.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別しえん学校	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6-1) 授業が分からなくなった時期

問 6-1 問 6 で「3」～「5」を選んだ人にお聞きします。

じゅぎょうがわからないことがあるようになったのはいつごろからですか。(○は1つ)

授業が分からないことがあるようになったのはいつ頃からかは、「5年生になってから」が36.0%と最も多く、次いで「4年生のころ」が29.6%、「3年生のころ」が22.4%となっています。



n=125

(7) 授業以外での勉強方法

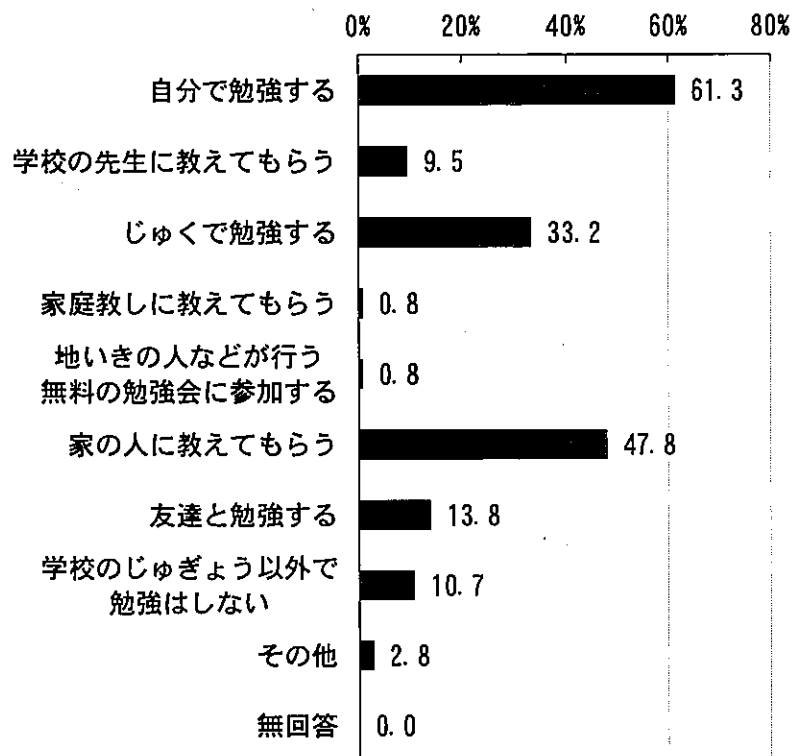
問7 問6で「1」～「2」を選んだ人にお聞きします。

あなたは、ふだん学校のじゅぎょう以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(○はいくつでも)

普段学校の授業以外で、どのように勉強をしているかは、「自分で勉強する」が61.3%と最も多く、次いで「家の人に教えてもらう」が47.8%、「じゅくで勉強する」が33.2%となっています。

n=253



【その他】

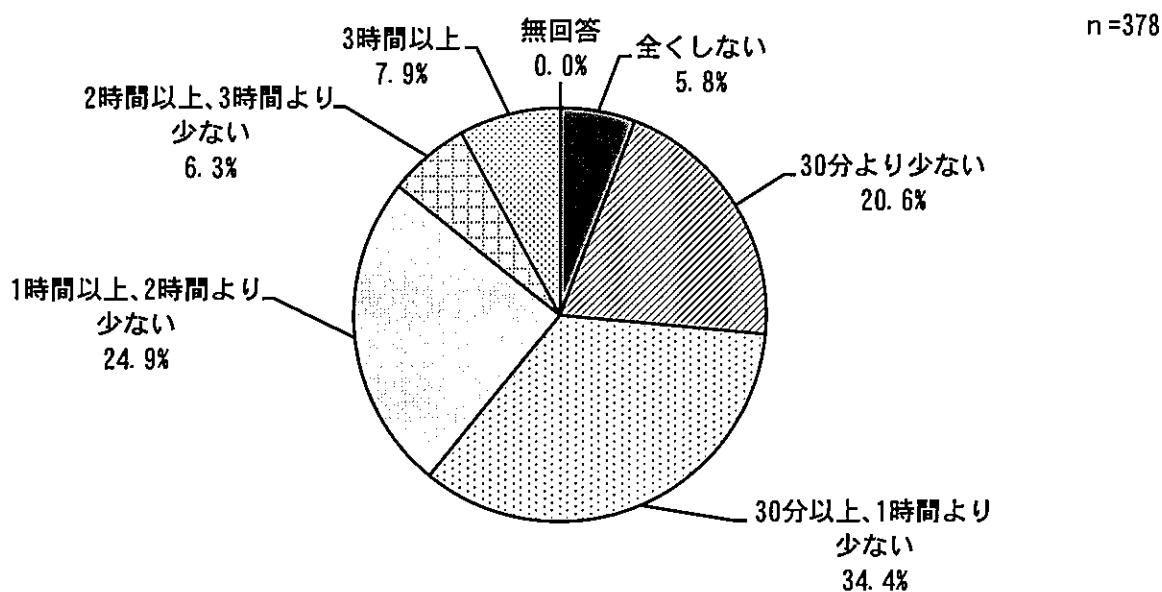
そろばん／英会話／進研ゼミ／インターネットの勉強動画を見ながら解く／チャレンジタッチ／チャレンジパット

(8) 1日当たりの勉強時間

問8 あなたは、ふだん学校のじゅぎょう以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、じゅくなどでの勉強時間もふくみます。(○は1つ)

普段学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をするかは、「30分以上、1時間より少ない」が34.4%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が24.9%、「30分より少ない」が20.6%となっています。

「3時間以上」の割合を学校別にみると、「西小学校」が11.4%と最も多く、次いで「中央小学校」が7.8%、「北小学校」、「東小学校」がそれぞれ7.4%となっています。



【1日当たりの勉強時間（学校別）】

	合計	全くしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない
全体	378	5.8%	20.6%	34.4%	24.9%
学校	中央小学校	102	3.9%	25.5%	30.4%
	西小学校	79	1.3%	17.7%	34.2%
	南小学校	33	12.1%	18.2%	24.2%
	北小学校	81	8.6%	13.6%	44.4%
	東小学校	81	7.4%	24.7%	34.6%
	特別しえん学校	1	0.0%	0.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	100.0%	0.0%
	合計	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答	
全体	378	6.3%	7.9%	0.0%	
学校	中央小学校	102	8.8%	7.8%	0.0%
	西小学校	79	6.3%	11.4%	0.0%
	南小学校	33	3.0%	3.0%	0.0%
	北小学校	81	2.5%	7.4%	0.0%
	東小学校	81	7.4%	7.4%	0.0%
	特別しえん学校	1	100.0%	0.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	0.0%	0.0%

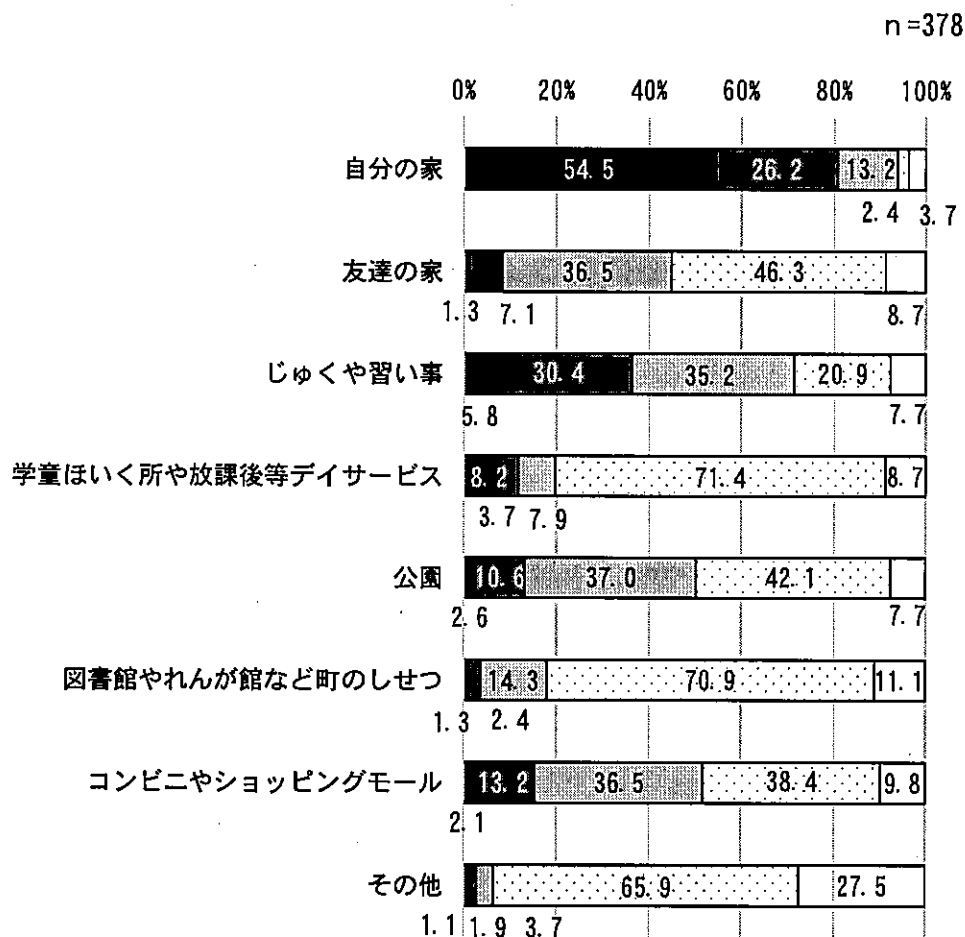
放課後や休日の過ごし方についてお聞きします

(9) 放課後過ごす場所

問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこですごしますか。1週間のうち、そこですぐすおおよその日数を選んでください。（A～Gのそれぞれについて、○は1つ。A～G以外にすぐす場所があれば「その他」にその場所を書いて、○を1つ）

平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごすかについて、「毎日」の割合としては、「自分の家」が54.5%と最も多く、次いで「学童ほいく所や放課後等デイサービス」が8.2%、「じゅくや習い事」が5.8%となっています。

「ここでは全くすごさない」の割合としては、「学童ほいく所や放課後等デイサービス」が71.4%と最も多く、次いで「図書館やれんが館など町のしせつ」が70.9%、「その他」が65.9%となっています。



■毎日 ■週に3～4日 □週に1～2日 □ここでは全くすごさない □無回答

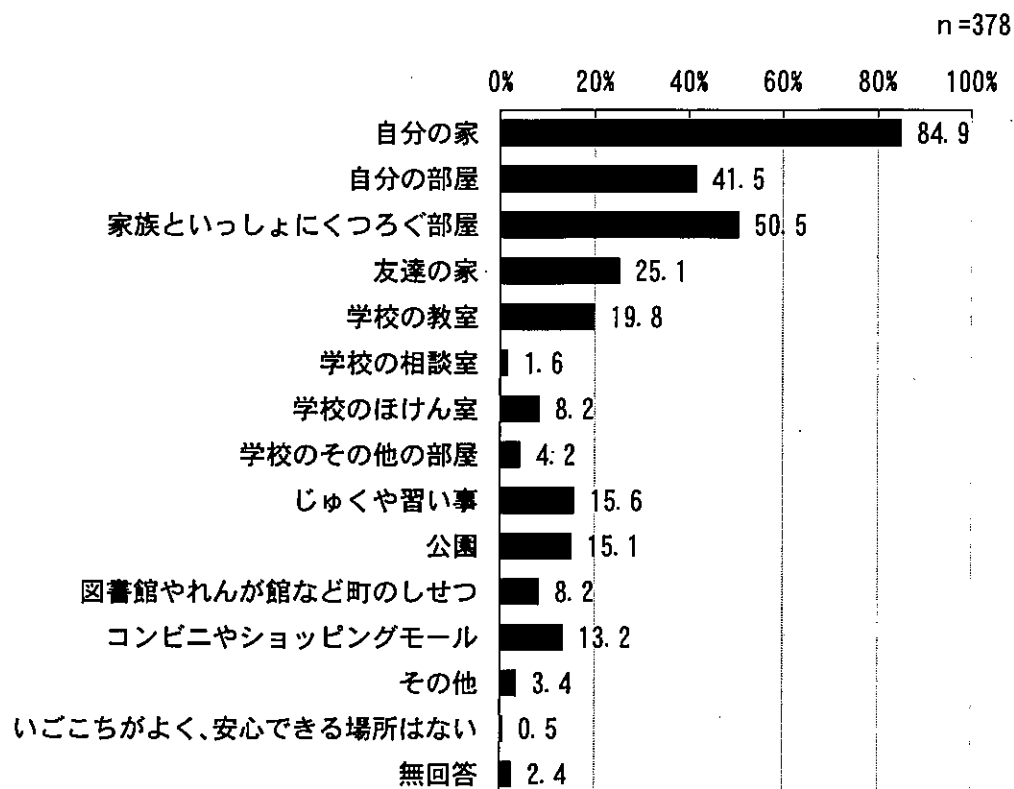
【その他】

家の前／ひまわりドーム／お母さんの家／おじいちゃんの家／おばあちゃんの家／家から近くの唐揚げ屋さん／あまり人がいないたまり場的なところ

(10) 居心地がよく安心できる場所

問 10 あなたにとっていごちがよく、安心できる場所はどこですか。(○はいくつでも)

居心地がよく、安心できる場所は、「自分の家」が 84.9%と最も多く、次いで「家族といっしょにくつろぐ部屋」が 50.5%、「自分の部屋」が 41.5%となっています。



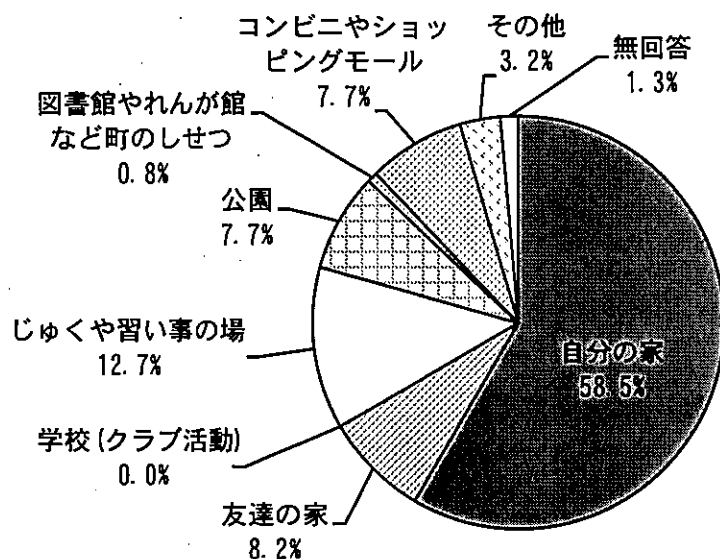
【その他】

病院／おじいちゃんの家／祖母の家

(11) 休日の昼間過ごす場所

問 11 あなたは、休日（学校が休みの日）の昼間、どこですごしますか。一番多くすごす場所を選んでください。（○は1つ）

休日（学校が休みの日）の昼間、どこで過ごすかは、「自分の家」が58.5%と最も多く、次いで「じゅくや習い事の間」が12.7%、「友達の家」が8.2%となっています。



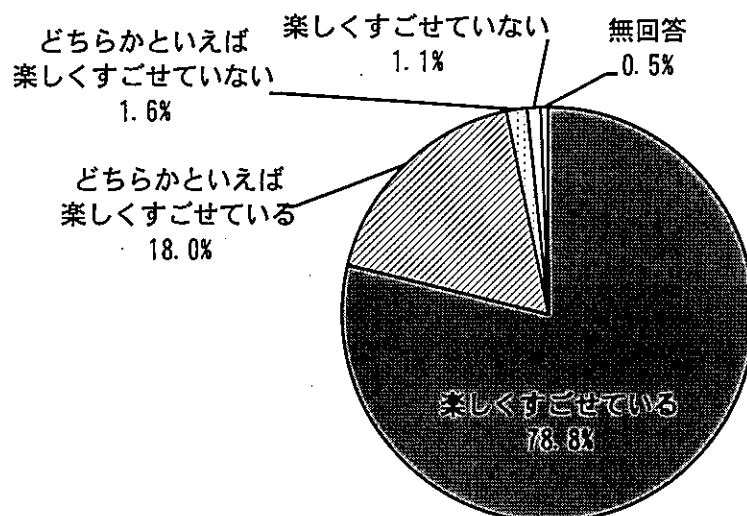
【その他】

お婆ちゃんの家／放課後等デイサービス／スケートボードパーク／外で野球をする

(12) 休日を楽しく過ごせているか

問 12 問 11 で選んだ場所で、あなたは休日、楽しくすごせていますか。（○は1つ）

休日、楽しく過ごせているかは、「楽しくすごせている」が78.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば楽しくすごせている」が18.0%、「どちらかといえば楽しくすごせていない」が1.6%、「楽しくすごせていない」が1.1%、「無回答」が0.5%となっています。



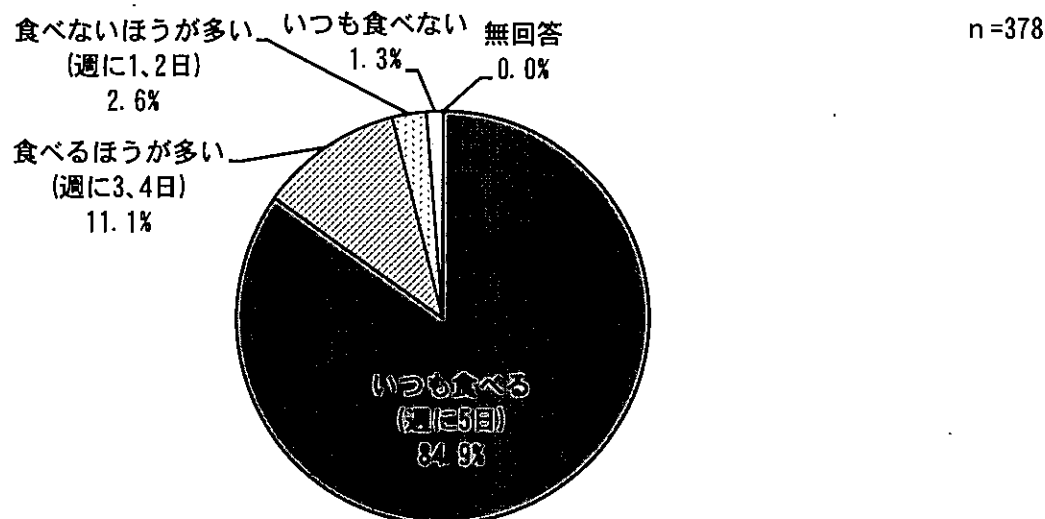
生活習慣についてお聞きします

(13) 平日の朝ごはん

問 13 あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（○は1つ）

平日（学校に行く日）に毎日、朝ご飯を食べるかは、「いつも食べる（週に5日）」が84.9%と最も多く、次いで「食べるほうが多い（週に3、4日）」が11.1%、「食べないほうが多い（週に1、2日）」が2.6%となっています。

「食べるほうが多い（週に3、4日）」の割合を学校別にみると、「南小学校」が18.2%と最も多く、次いで「東小学校」が16.0%、「北小学校」が9.9%となっています。



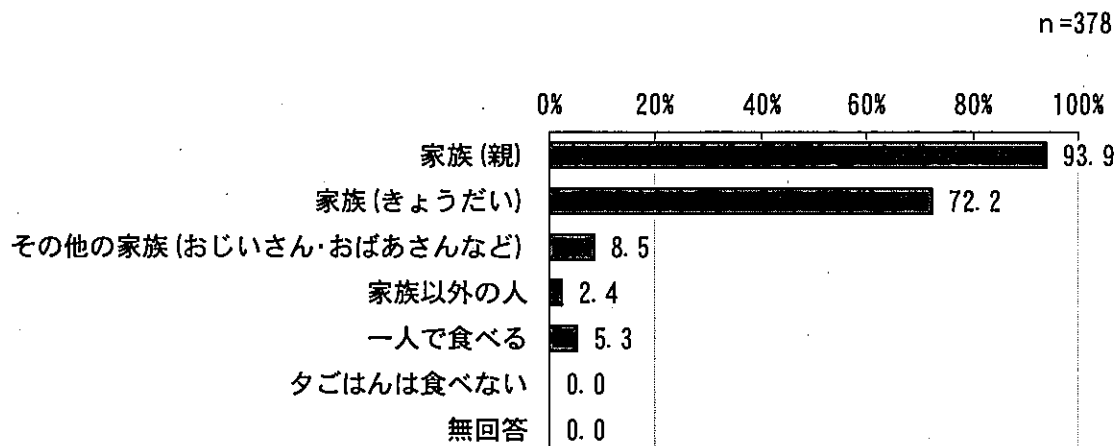
【平日の朝ご飯（学校別）】

	合計	いつも食 べる (週 に5日)	食べるほ うが多い (週に3、4 日)	食べない ほうが多 い (週に 1、2日)	いつも食 べない	無回答
全体	378	84.9%	11.1%	2.6%	1.3%	0.0%
学校	中央小学校	102	87.3%	8.8%	1.0%	2.9%
	西小学校	79	89.9%	7.6%	2.5%	0.0%
	南小学校	33	78.8%	18.2%	3.0%	0.0%
	北小学校	81	84.0%	9.9%	3.7%	2.5%
	東小学校	81	80.2%	16.0%	3.7%	0.0%
	特別しえん学校	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(14) 平日の夕ご飯を一緒に食べる人

問 14 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。（○はいくつでも）

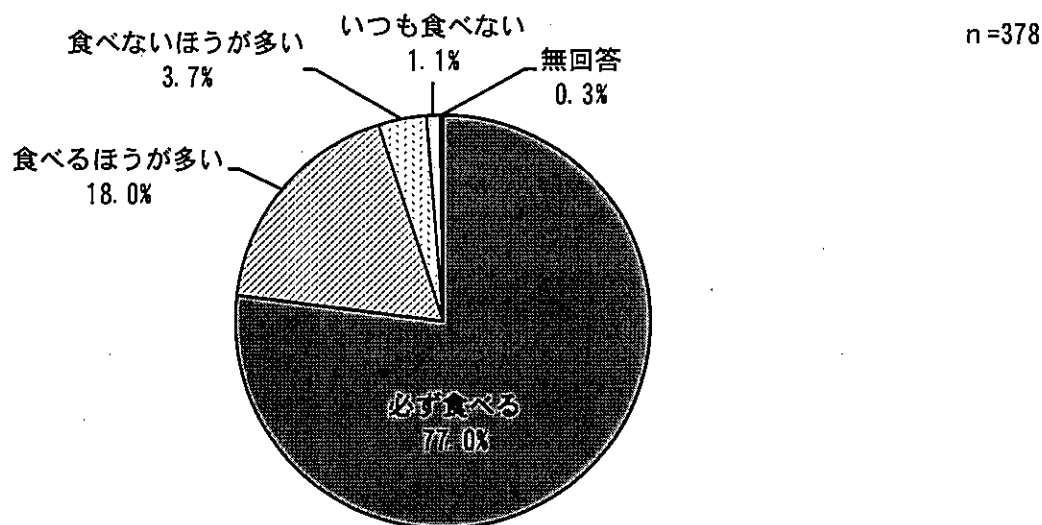
平日（学校に行く日）に夕ご飯を誰と食べるかは、「家族（親）」が 93.9%と最も多く、次いで「家族（きょうだい）」が 72.2%、「その他の家族（おじいさん・おばあさんなど）」が 8.5%となっています。



(15) 休日の昼ご飯

問 15 あなたは、休日に昼ごはんを食べますか。（夏休みや冬休みなどの長期のお休みの日もふくみます。）（○は1つ）

休日に昼ご飯を食べるかは、「必ず食べる」が 77.0%と最も多く、次いで「食べるほうが多い」が 18.0%、「食べないほうが多い」が 3.7%となっています。

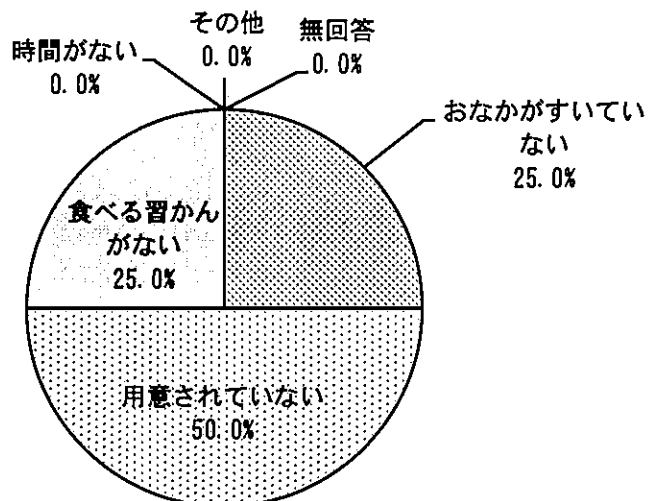


(15-1) 休日に昼ご飯を食べない理由

問 15-1 問 15 で「4」を選んだ人にお聞きします。

あなたが、休日に昼ごはんを食べない理由はどれですか。(○は1つ)

休日に昼ご飯を食べない理由は、「用意されていない」が 50.0%と最も多く、次いで「おなかがすいていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ 25.0%となっています。



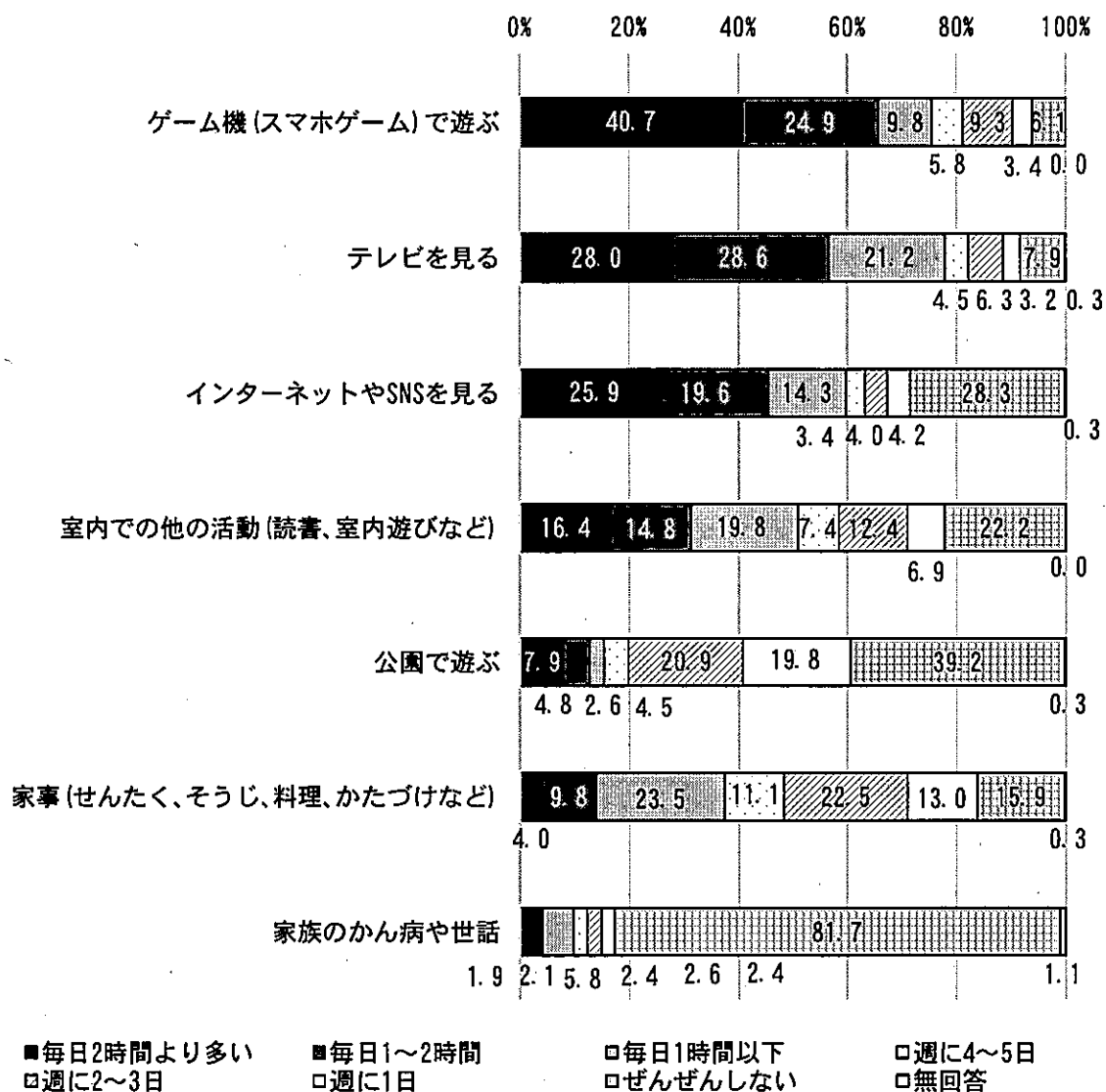
(16) 普段している活動

問 16 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(A～Gそれぞれについて、○は1つ)

普段の活動の時間について、「毎日2時間より多い」ものとしては、「ゲーム機(スマホゲーム)で遊ぶ」が40.7%と最も多く、次いで「テレビを見る」が28.0%、「インターネットやSNSを見る」が25.9%となっています。

「ぜんぜんしない」ものとしては、「家族のかん病や世話」が81.7%と最も多く、次いで「公園で遊ぶ」が39.2%、「インターネットやSNSを見る」が28.3%となっています。

n=378

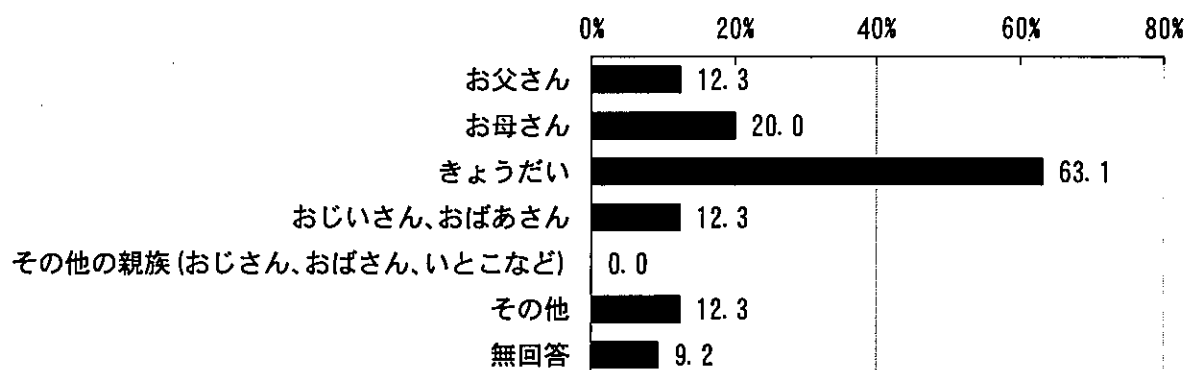


(16-1) 看病や世話をしている人

問 16-1 問 16 の G 家族のかん病や世話で「1」～「6」を選んだ人にお聞きします。
あなたが世話をしている人はだれですか。(○はいくつでも)

お世話をしている人は、「きょうだい」が 63.1%と最も多く、次いで「お母さん」が 20.0%、「お父さん」、「おじいさん、おばあさん」、「その他」がそれぞれ 12.3%となっています。

n=65



【その他】

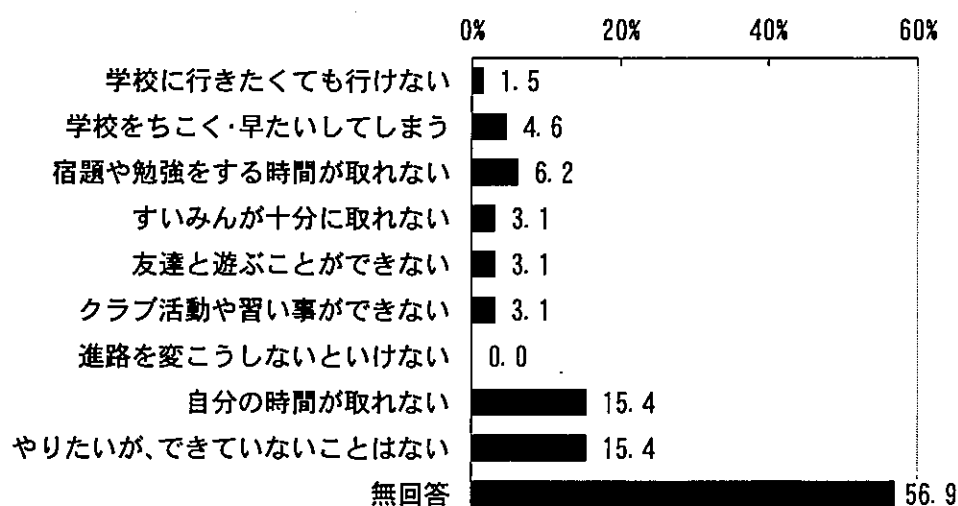
ペット／ひいおばあさん

(16-2) 家族の世話をすることによる問題の有無

問 16-2 問 16 の G 家族のかん病や世話で「1」～「6」を選んだ人にお聞きします。
あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなことがありますか。(○はいくつでも)

家族のお世話をしていることで、どのようなことがあるかは、「自分の時間が取れない」、「やりたいが、できていないことはない」がそれぞれ 15.4%と最も多く、次いで「宿題や勉強をする時間が取れない」が 6.2%となっています。

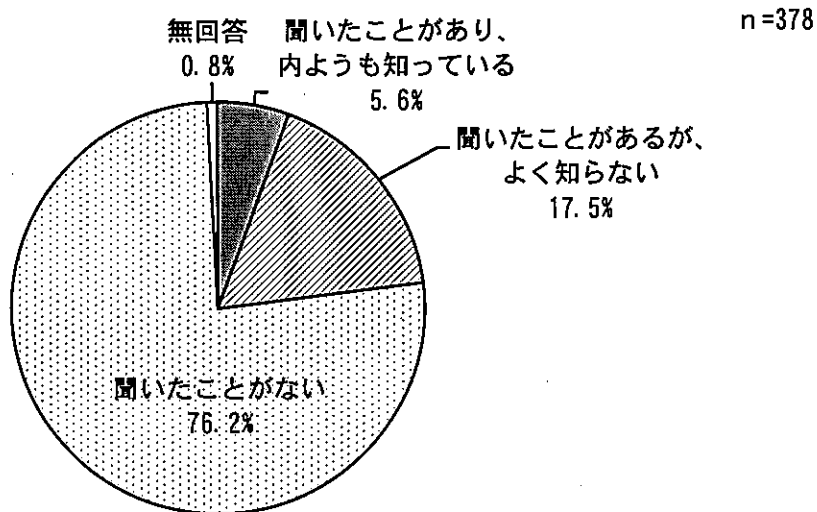
n=65



(17) ヤングケアラーという言葉の認知度

問 17 あなたは、ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことはありますか。(○は1つ)
※「ヤングケアラー」とは
家事や家族のお手伝いをすることは、大変すばらしいことですが、大人が家事や家族のお世話をせずに、こどもが毎日することで、自分が勉強したい、遊びたいと思っても、そういったことができなくなってしまうことがあります。こうしたこどものことを「ヤングケアラー」とよぶことがあります。

ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことがあるかは、「聞いたことがない」が76.2%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が17.5%、「聞いたことがあり、内ようも知っている」が5.6%となっています。



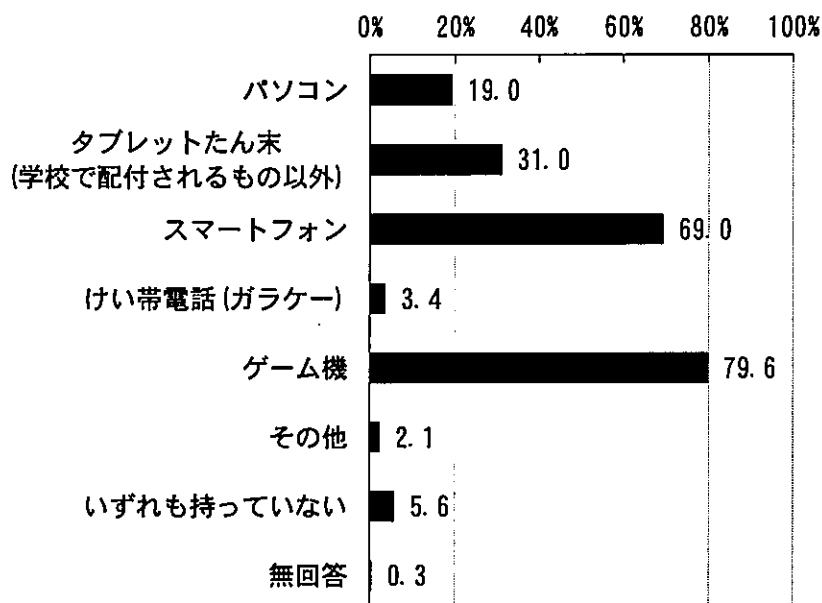
インターネットなどについてお聞きします

(18) インターネットにつながる機器の所持

問 18 あなたは、次のようなインターネットにつながる機器を持っていますか。(○はいくつでも)

持っているインターネットにつながる機器は、「ゲーム機」が79.6%と最も多く、次いで「スマートフォン」が69.0%、「タブレット端末(学校で配付されるもの以外)」が31.0%となっています。

n=378



【その他】

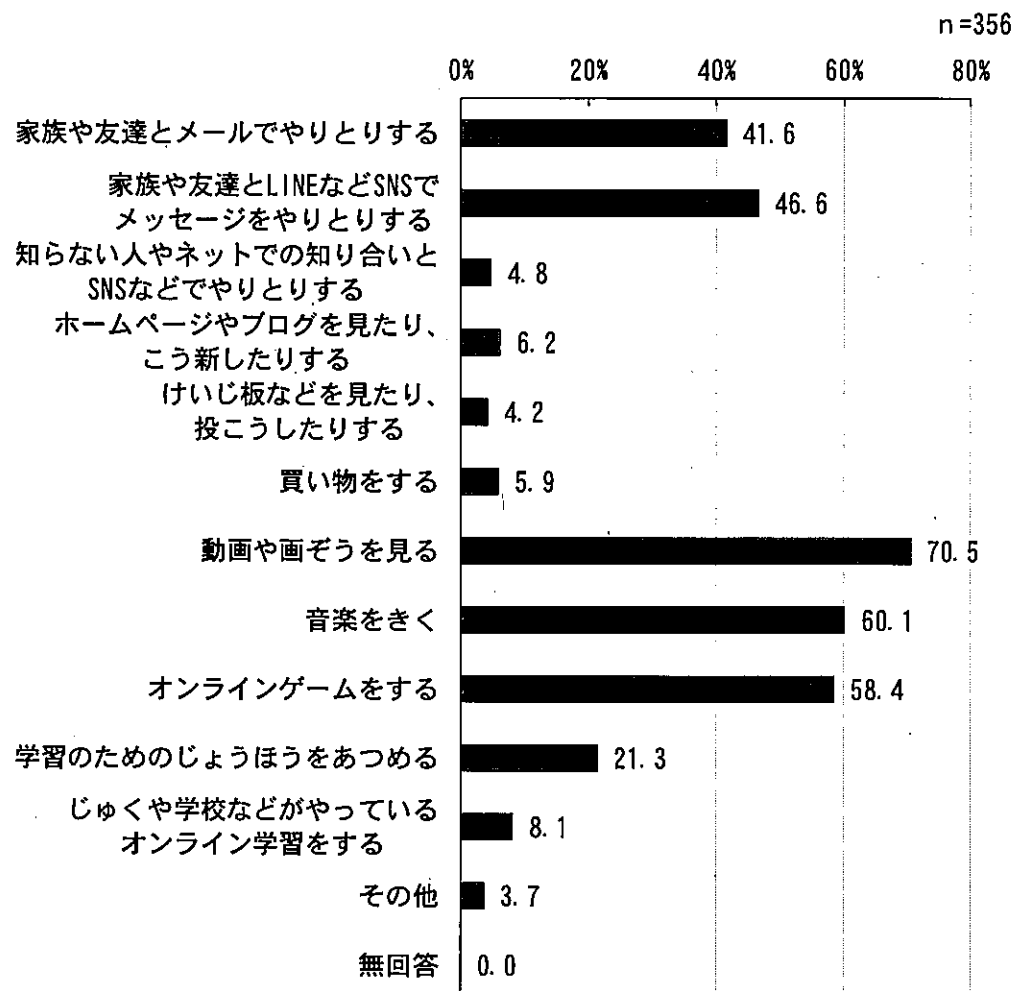
任天堂スイッチ/見守りケータイ/アイパット/テレビ/PS4

(18-1) インターネットを利用する目的

問 18-1 問 18 で「1」～「6」を選んだ人にお聞きします。

あなたが学校以外でインターネットを利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

学校以外でインターネットを利用する目的は、「動画や画ぞうを見る」が 70.5%と最も多く、次いで「音楽をきく」が 60.1%、「オンラインゲームをする」が 58.4%となっています。



【その他】

勉強／英検のリスニング問題／家族で電話するため／絵を描いて投稿する／ゲーム

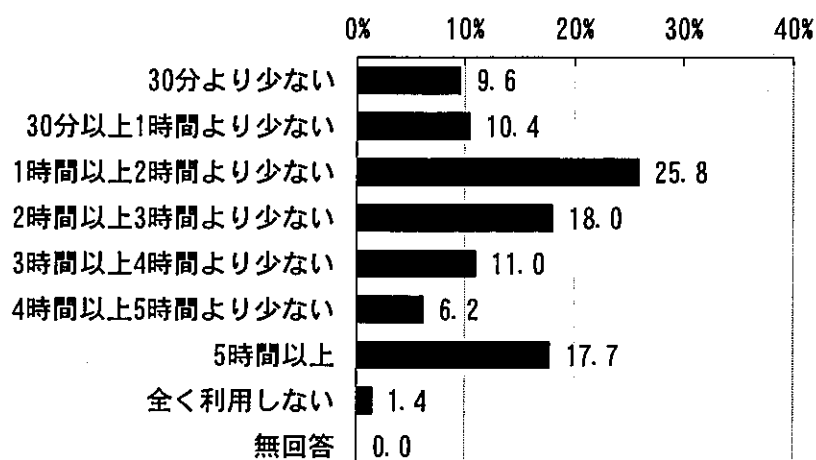
(18-2) 1日当たりのインターネットの利用時間

問 18-2 あなたは学校以外で、1日あたりどれくらいの時間、メール、SNS、ゲーム、動画などのインターネット利用をしますか。(○は1つ)

1日当たりのインターネットの利用時間は、「1時間以上2時間より少ない」が25.8%と最も多く、次いで「2時間以上3時間より少ない」が18.0%、「5時間以上」が17.7%となっています。

「1時間以上2時間より少ない」の割合を学校別にみると、「西小学校」が35.6%と最も多く、次いで「南小学校」が28.1%、「北小学校」が25.3%となっています。

n=356



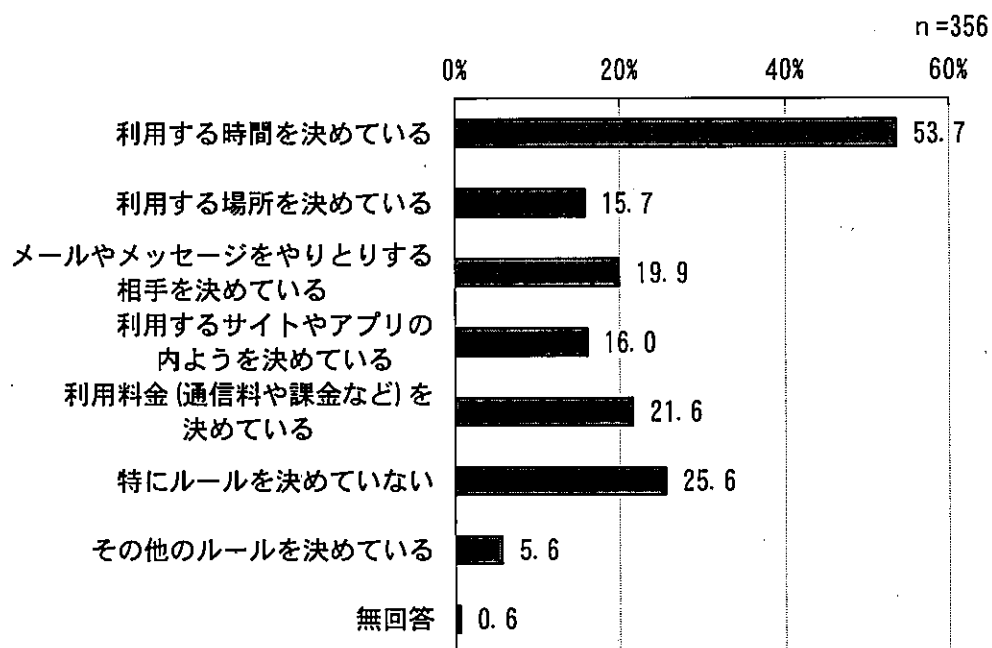
【1日当たりのインターネットの利用時間 (学校別)】

		合計	30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	3時間以上4時間より少ない
全体		356	9.6%	10.4%	25.8%	18.0%	11.0%
学校	中央小学校	95	11.6%	10.5%	22.1%	21.1%	16.8%
	西小学校	73	16.4%	8.2%	35.6%	15.1%	9.6%
	南小学校	32	6.3%	9.4%	28.1%	21.9%	12.5%
	北小学校	75	8.0%	13.3%	25.3%	16.0%	5.3%
	東小学校	79	3.8%	10.1%	21.5%	17.7%	8.9%
	特別しえん学校	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		合計	4時間以上5時間より少ない	5時間以上	全く利用しない	無回答	
全体		356	6.2%	17.7%	1.4%	0.0%	
学校	中央小学校	95	4.2%	13.7%	0.0%	0.0%	
	西小学校	73	5.5%	6.8%	2.7%	0.0%	
	南小学校	32	6.3%	15.6%	0.0%	0.0%	
	北小学校	75	6.7%	24.0%	1.3%	0.0%	
	東小学校	79	8.9%	26.6%	2.5%	0.0%	
	特別しえん学校	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	私立小学校、国立小学校など	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

(18-3) インターネット利用に当たってのルール

問 18-3 あなたは、インターネットの利用に当たって、家の人とルールを決めていますか。(○はいくつでも)

インターネットの利用に当たって、家の人とルールを決めているかは、「利用する時間を決めている」が53.7%と最も多く、次いで「特にルールを決めていない」が25.6%、「利用料金（通信料や課金など）を決めている」が21.6%となっています。



【その他のルール】

必ずラインする／YouTubeは見ない／使う前に親に許可を取る／アプリを入れるとき親に聞く／制限をかけている／やることをすべてしてからやる

普段の悩みなどについてお聞きします

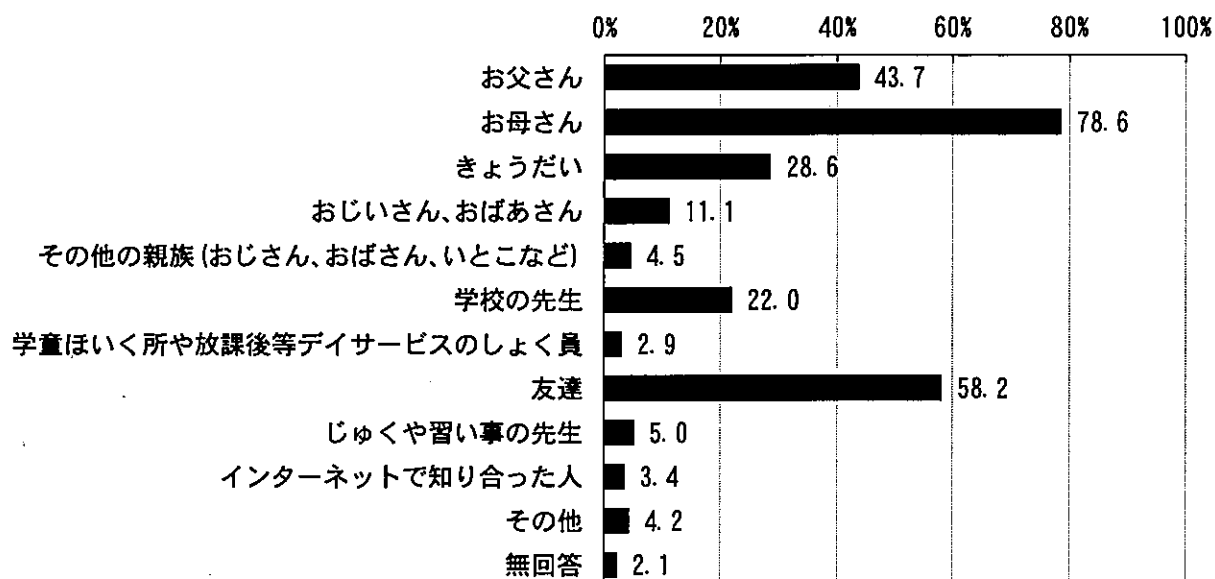
(19) 悩みごとの相談相手

問 19 あなたはこまっていることやなやみごとは、だれに相談をしますか。(〇はいくつでも)

困っていることや悩みごとを誰に相談するかは、「お母さん」が78.6%と最も多く、次いで「友達」が58.2%、「お父さん」が43.7%となっています。

「お母さん」の割合を学校別にみると、「西小学校」が92.4%と最も多く、次いで「中央小学校」が82.4%、「北小学校」が74.1%となっています。（「特別しえん学校」、「私立小学校、国立小学校など」は100.0%ですが、それぞれ回答者が1人のため除きます。）

n=378



【その他】

相談できない／姉妹／なやみがない／相談しない／いない

【悩みごとの相談相手（学校別）】

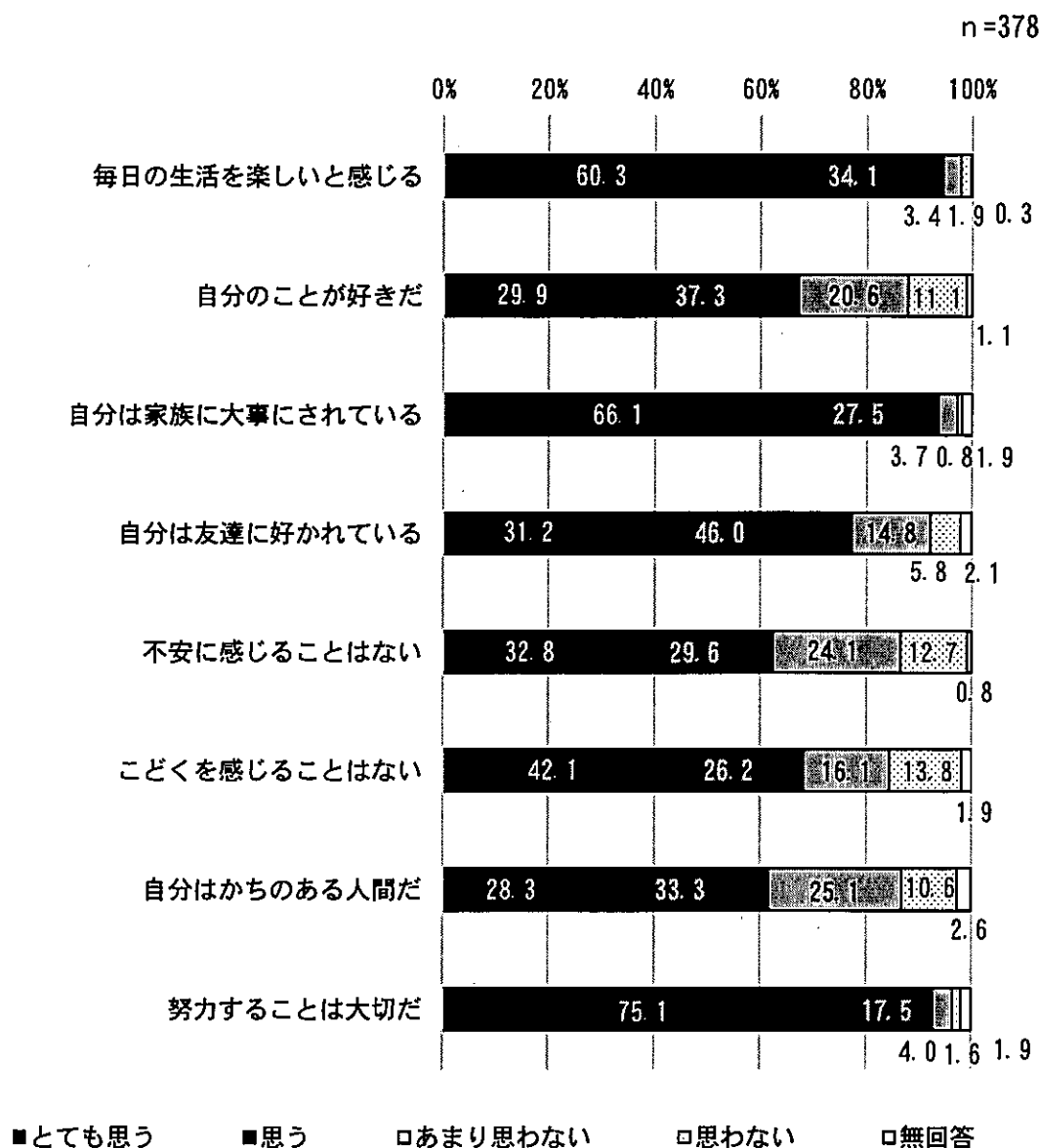
		合計	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさん、おばあさん	その他の親族（おじさん、おばさん、いとこなど）	学校の先生
	全体	378	43.7%	78.6%	28.6%	11.1%	4.5%	22.0%
学校	中央小学校	102	34.3%	82.4%	25.5%	6.9%	4.9%	18.6%
	西小学校	79	60.8%	92.4%	30.4%	11.4%	6.3%	43.0%
	南小学校	33	42.4%	72.7%	27.3%	12.1%	0.0%	12.1%
	北小学校	81	42.0%	74.1%	32.1%	14.8%	2.5%	13.6%
	東小学校	81	39.5%	67.9%	27.2%	11.1%	4.9%	17.3%
	特別しえん学校	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	合計		学童ほいく所や放課後等デイサービスのしよく員	友達	じゅくや習い事の先生	インターネットで知り合った人	その他	無回答
	全体	378	2.9%	58.2%	5.0%	3.4%	4.2%	2.1%
学校	中央小学校	102	2.0%	55.9%	4.9%	5.9%	3.9%	1.0%
	西小学校	79	5.1%	65.8%	6.3%	0.0%	2.5%	2.5%
	南小学校	33	0.0%	54.5%	0.0%	0.0%	6.1%	6.1%
	北小学校	81	4.9%	60.5%	6.2%	4.9%	2.5%	1.2%
	東小学校	81	0.0%	53.1%	3.7%	2.5%	6.2%	2.5%
	特別しえん学校	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	私立小学校、国立小学校など	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

(20) 思いや気持ち

問 20 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものを選んでください。(A～Hそれぞれについて、○は1つ)

思いや気持ちについて、「とても思う」ものとしては、「努力することは大切だ」が75.1%と最も多く、次いで「自分は家族に大事にされている」が66.1%、「毎日の生活を楽しいと感じる」が60.3%となっています。

「思わない」ものとしては、「こどくを感じることはない」が13.8%と最も多く、次いで「不安を感じることはない」が12.7%、「自分はかちのある人間だ」が10.6%となっています。

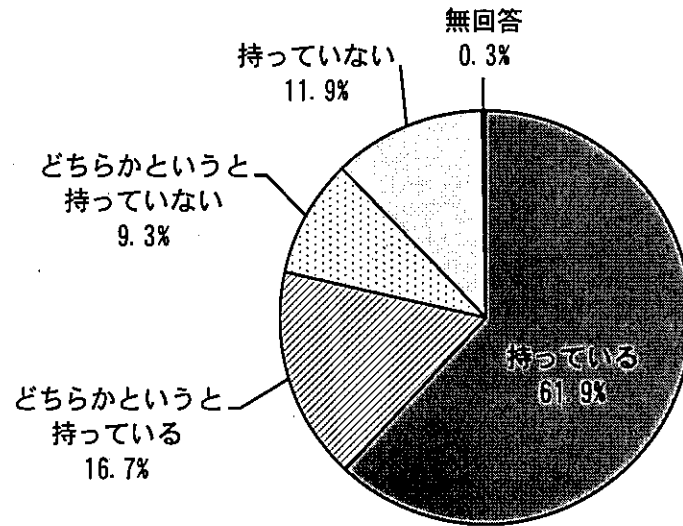


(21) 将来の夢や目標

問 21 あなたは、しょう来のゆめや目標を持っていますか。(○は1つ)

将来の夢や目標を持っているかは、「持っている」が61.9%と最も多く、次いで「どちらかという
と持っている」が16.7%、「持っていない」が11.9%となっています。

n=378



(22) 「こどもの権利」の認知度

問 22 あなたは、下記のような「こどものけんり」について、知っていますか。(○は1つ)

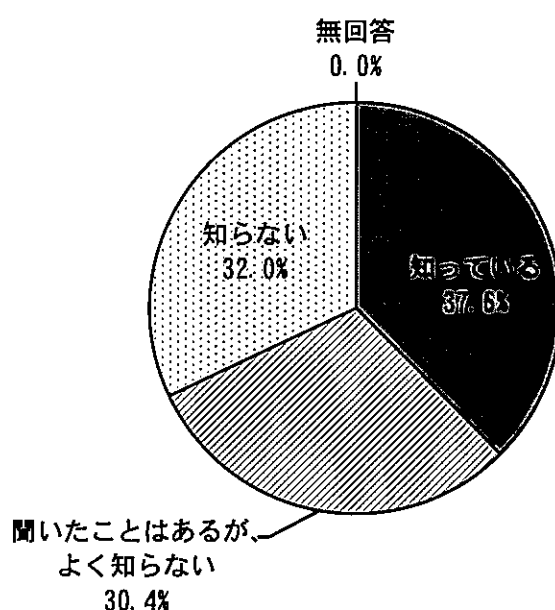
※「こどものけんり」とは

こどもは、生まれながらに、何かせきにんを果たすことと引きかえにすることなく、児童のけんりに関するじょうやくにもとづくけんりがほしょうされています。

代表的なこどものけんりは以下の4つです。

- (1) 生きるけんり あなたには、大切にされ、安全で安心してくらせるけんりがあります。
- (2) 育つけんり あなたには、勉強する、遊ぶ、休む、失敗してもやり直せる、助けてもらえるけんりがあります。
- (3) 守られるけんり あなたには、いやなことをされない、こまった時は安心して相談できる、ありのままの自分を大切にされるけんりがあります。
- (4) 参加するけんり あなたには、思ったことを伝える、仲間を作る、みんなで話し合っものごとを決めるけんりがあります。

「こどもの権利」については、「知っている」が37.6%と最も多く、次いで「知らない」が32.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が30.4%となっています。



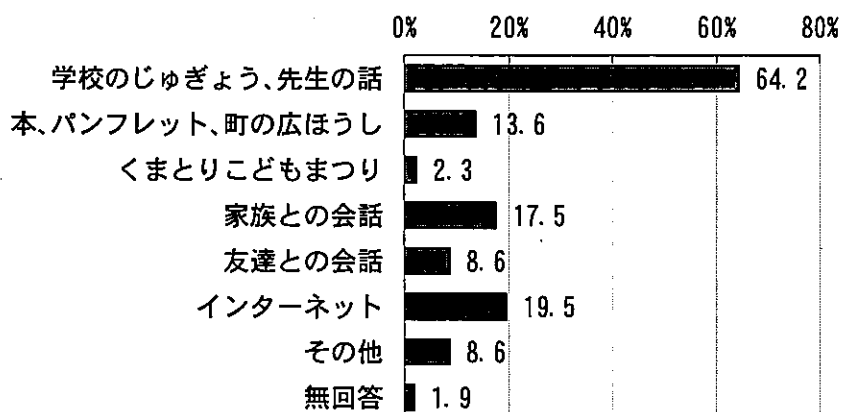
(22-1) 「こどもの権利」を知った方法

問 22-1 問 22 で「1」～「2」を選んだ人にお聞きします。

あなたは、「こどものけんり」という言葉をどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

「こどもの権利」という言葉をどのようにして知ったかは、「学校のじゅぎょう、先生の話」が 64.2%と最も多く、次いで「インターネット」が 19.5%、「家族との会話」が 17.5%となっています。

n=257



【その他】

テレビ／先生との話／マンガ（ドラエモン）／じゅくのテキスト／習い事／忘れた／学童のポスター

(23) 今困っていること・悩んでいること

問 23 あなたが今、こまっていることやなやんでいることなどがあれば、自由に書いてください。
(下のわくの中に書いてください)

※自由意見については、別にまとめています

(24) 熊取町がどんな町になれば良いと思うか

問 24 あなたは、これから熊取町がどんなまちになればよいと思いますか。
(下のわくの中に書いてください)

※自由意見については、別にまとめています

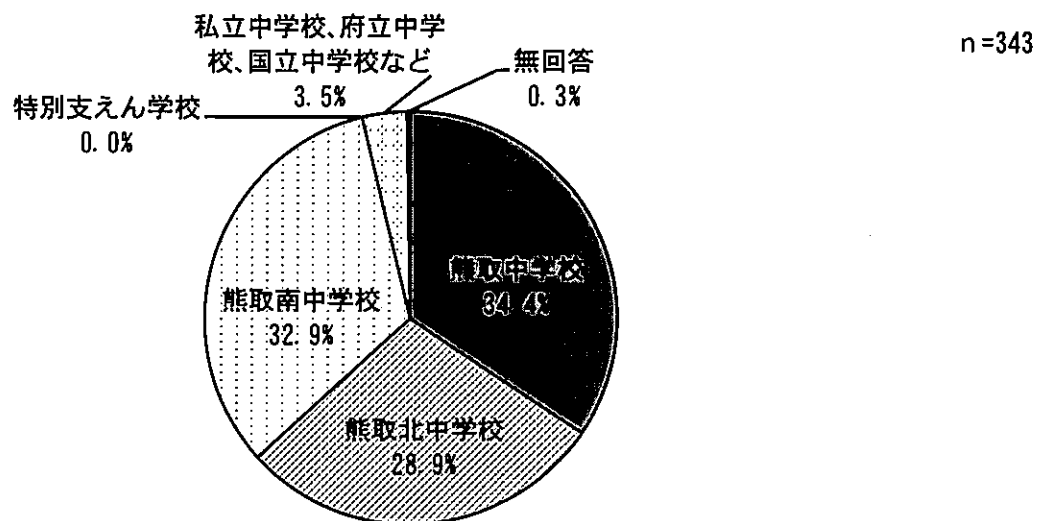
中学校 2 年生の調査結果

あなたとあなたの家族や家庭についてお聞きします

(1) 通っている学校

問 1 あなたの学校を選んでください。(○は1つ)

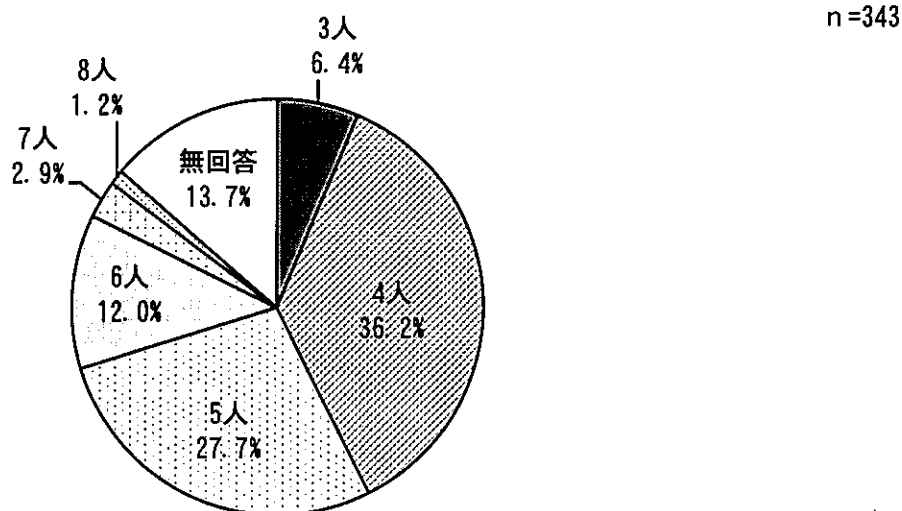
通っている学校は、「熊取中学校」が 34.4%と最も多く、次いで「熊取南中学校」が 32.9%、「熊取北中学校」が 28.9%となっています。



(2) 家族の人数

問 2 あなたの家族はあなたを入れて全員で何人ですか。(仕事や学校などのために、一時的に家からはなれて暮らしている人も人数に入れてください)(数字で記入)

家族の人数は、「4人」が 36.2%と最も多く、次いで「5人」が 27.7%、「6人」が 12.0%となっています。

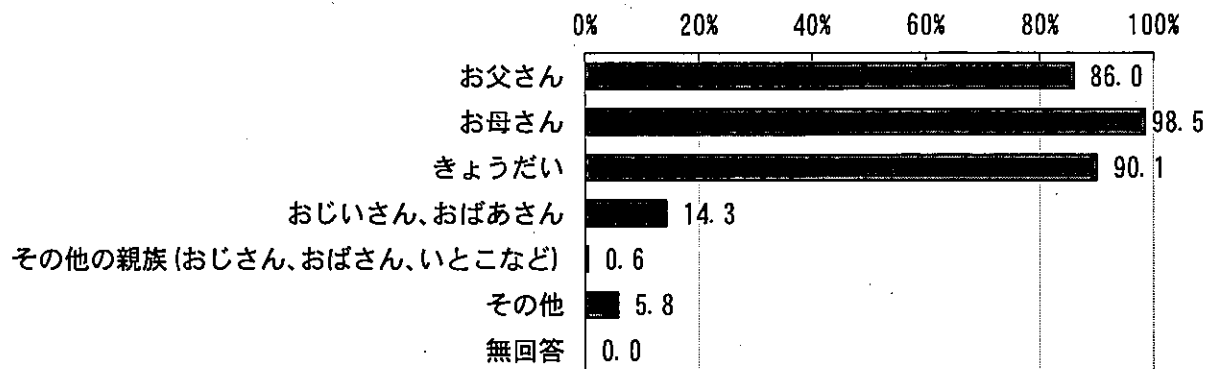


(3) 今一緒に住んでいる人

問3 あなたが今いっしょに住んでいる人は、だれですか。(〇はいくつでも)

一緒に住んでいる人は、「お母さん」が98.5%と最も多く、次いで「きょうだい」が90.1%、「お父さん」が86.0%となっています。

n=343



【その他】

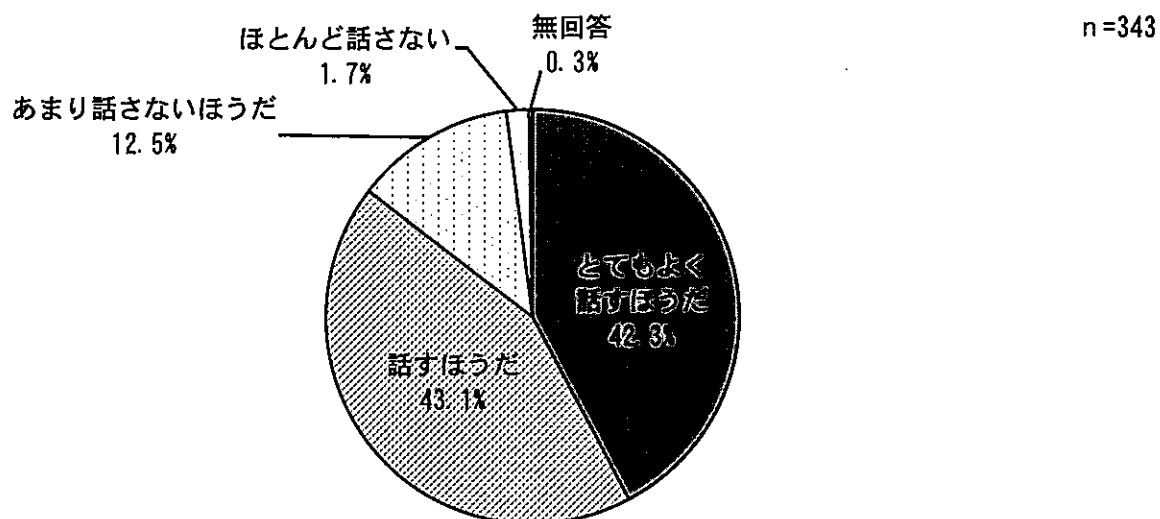
ペット

(4) 家でよく話をするかどうか

問 4 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(○は1つ)

家でよく話をするかどうかは、「話すほうだ」が43.1%と最も多く、次いで「とてもよく話すほうだ」が42.3%、「あまり話さないほうだ」が12.5%となっています。

「とてもよく話すほうだ」の割合を学校別にみると、「熊取中学校」が46.6%と最も多く、次いで「熊取北中学校」が42.4%、「私立中学校、府立中学校、国立中学校など」が41.7%となっています。



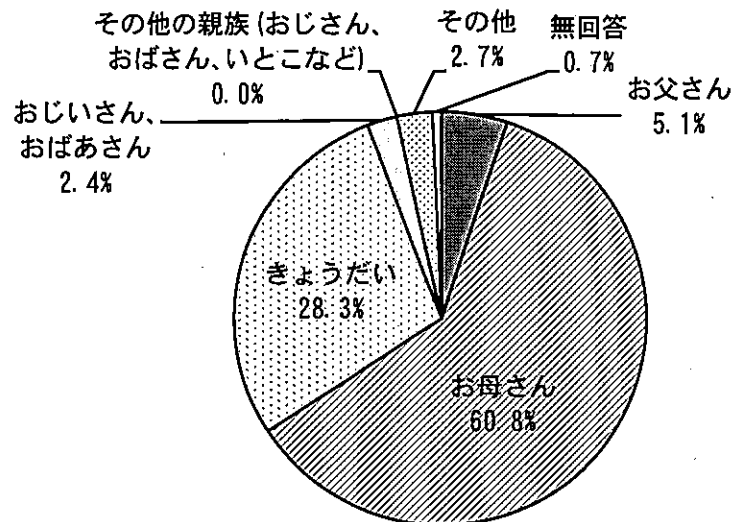
【家でよく話をするかどうか（学校別）】

	合計	とてもよく話すほうだ	話すほうだ	あまり話さないほうだ	ほとんど話さない	無回答
全体	343	42.3%	43.1%	12.5%	1.7%	0.3%
学校						
熊取中学校	118	46.6%	38.1%	11.9%	2.5%	0.8%
熊取北中学校	99	42.4%	47.5%	9.1%	1.0%	0.0%
熊取南中学校	113	37.2%	46.9%	14.2%	1.8%	0.0%
特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%

(4-1) 家で一番多く話をする人

問 4-1 問 4 で「1」～「2」を選んだ人に質問します。
あなたは家でだれと一番多く話をしますか。(○は1つ)

家で誰と一番多く話をするかは、「お母さん」が 60.8%と最も多く、次いで「きょうだい」が 28.3%、「お父さん」が 5.1%となっています。



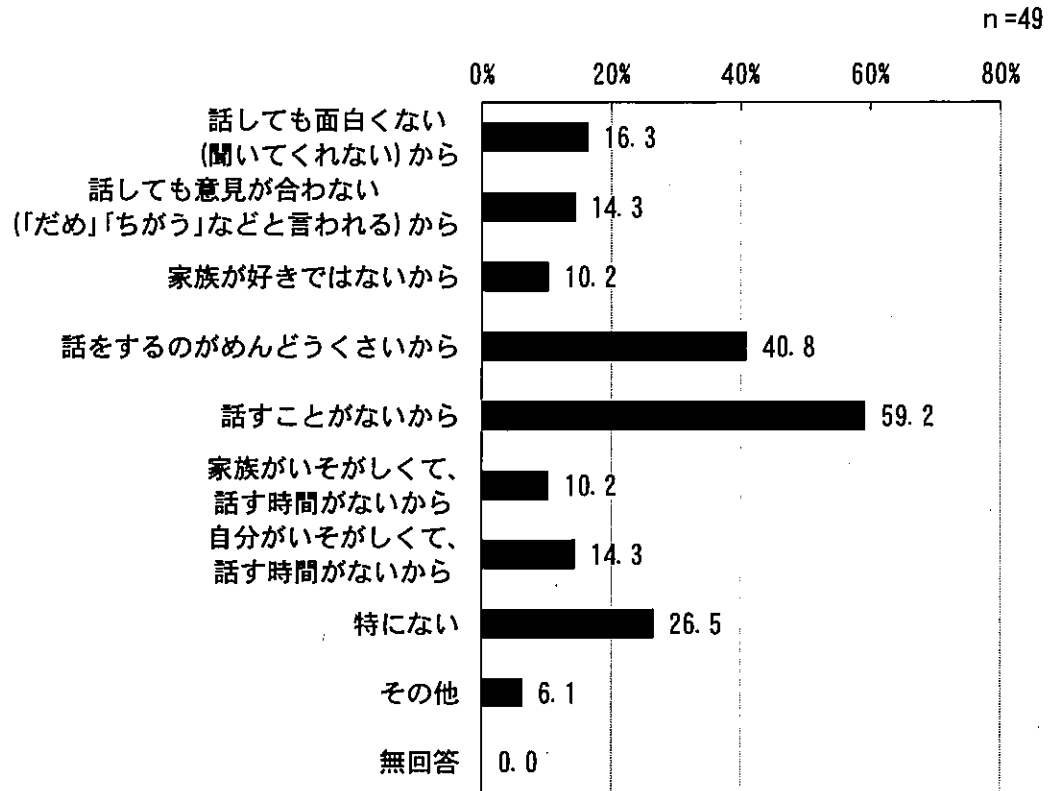
【その他】

犬／ハムスター／全員同じくらい

(4-2) 家で話さない主な理由

問 4-2 問 4で「3」～「4」を選んだ人に質問します。
あなたが家で話さない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

家で話さない主な理由は、「話すことがないから」が59.2%と最も多く、次いで「話をするのがめんどくさいから」が40.8%、「特にない」が26.5%となっています。



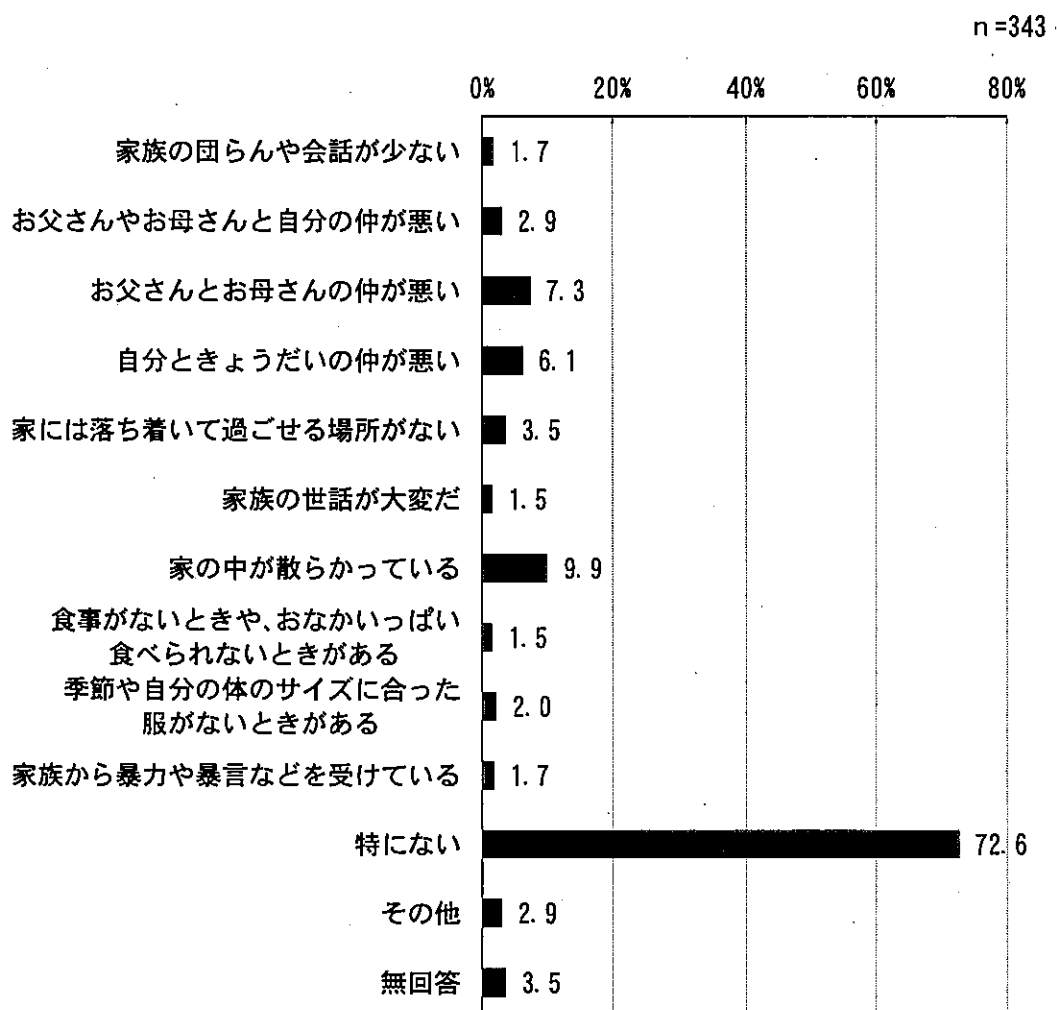
【その他】

一人の時間が多いから／友人と SNS を使って会話をしているから／嫌いだから

(5) 家族のことで困っていること・嫌なこと

問5 あなたは家族のことなどで、何か困っていることや、いやなことはありますか。(〇はいくつでも)

家族のことなどで、何か困っていることや、嫌なことはあるかは、「特にない」が72.6%と最も多く、次いで「家の中が散らかっている」が9.9%、「お父さんとお母さんの仲が悪い」が7.3%となっています。



【その他】

- お金が少ない
- 母が父の態度について、父が母の態度について私に意見を求めてくる
- 親が定期的に喧嘩している
- おばあちゃんと仲が良くない
- 兄と兄の仲が悪い
- 単身赴任だから寂しい
- 弟が休日に揉め合う

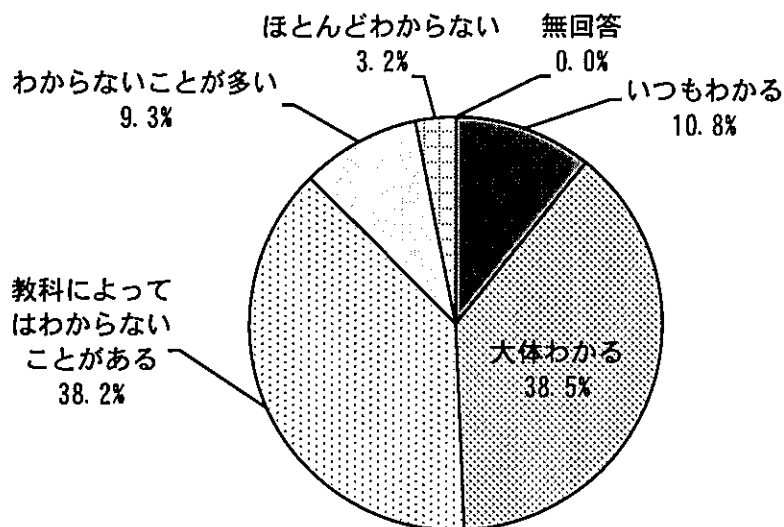
勉強についてお聞きします

(6) 学校の授業の理解度

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)

学校の授業が分からないことがあるかは、「大体わかる」が38.5%と最も多く、次いで「教科によってはわからないことがある」が38.2%、「いつもわかる」が10.8%となっています。

「大体わかる」の割合を学校別にみると、「私立中学校、府立中学校、国立中学校など」が50.0%と最も多く、次いで「熊取北中学校」が45.5%、「熊取中学校」が37.3%となっています。



n=343

【学校の授業の理解度（学校別）】

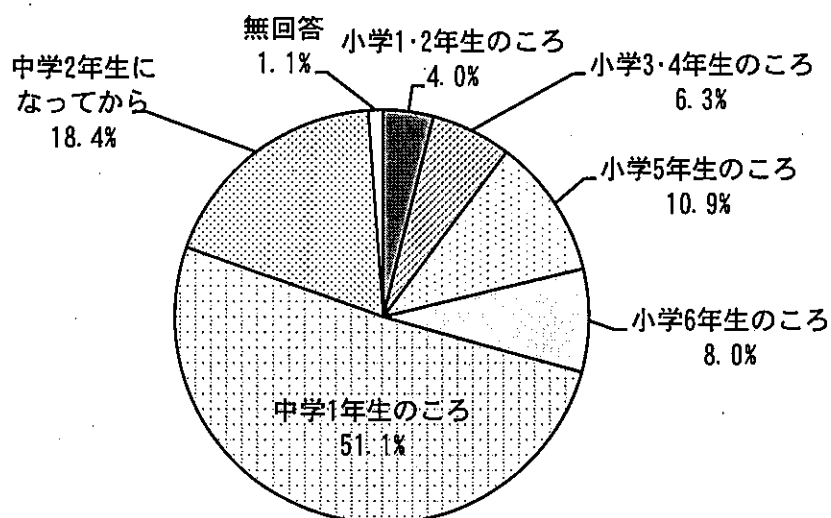
	合計	いつもわかる	大体わかる	教科によってはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体	343	10.8%	38.5%	38.2%	9.3%	3.2%	0.0%
学校							
熊取中学校	118	10.2%	37.3%	34.7%	13.6%	4.2%	0.0%
熊取北中学校	99	8.1%	45.5%	38.4%	6.1%	2.0%	0.0%
熊取南中学校	113	14.2%	31.9%	42.5%	8.8%	2.7%	0.0%
特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	8.3%	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%	0.0%

(6-1) 授業が分からなくなった時期

問 6-1 問 6 で「3」～「5」を選んだ人に質問します。

授業がわからないことがあるようになったのはいつごろからですか。(○は1つ)

授業がわからないことがあるようになったのはいつ頃からかは、「中学1年生のころ」が51.1%と最も多く、次いで「中学2年生になってから」が18.4%、「小学5年生のころ」が10.9%となっています。



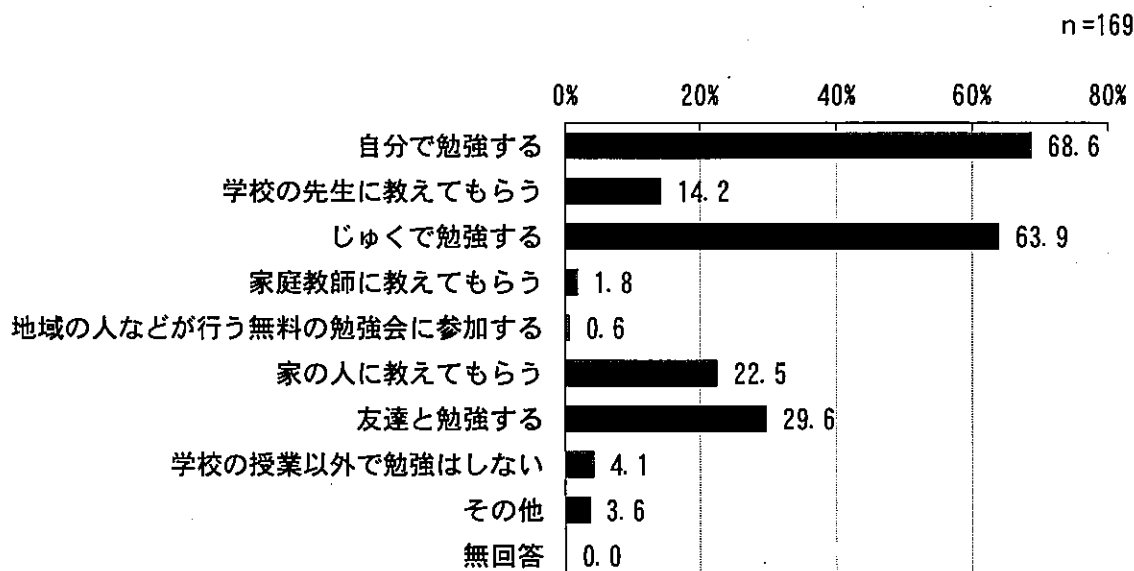
(7) 授業以外での勉強方法

問 7 問 6 で「1」～「2」を選んだ人に質問します。

あなたは、ふ段学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(○はいくつでも)

普段学校の授業以外で、どのように勉強をしているかは、「自分で勉強する」が68.6%と最も多く、次いで「じゅくで勉強する」が63.9%、「友達と勉強する」が29.6%となっています。



【その他】

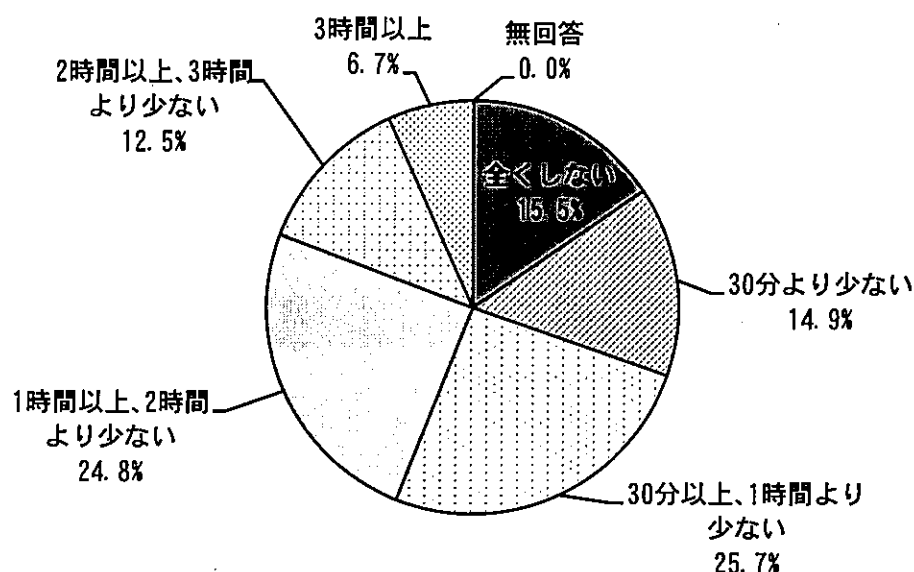
塾の無料公開テストをたまにうける／図書館／塾で自習／兄に教えてもらう／チャレンジ

(8) 1日当たりの勉強時間

問 8 あなたは、ふ段学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、じゅくなどでの勉強時間もふくみます。(○は1つ)

普段学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をするかは、「30分以上、1時間より少ない」が25.7%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が24.8%、「30分より少ない」が14.9%となっています。

「30分以上、1時間より少ない」の割合を学校別にみると、「私立中学校、府立中学校、国立中学校など」が33.3%と最も多く、次いで「熊取中学校」が26.3%、「熊取北中学校」が25.3%となっています。



【1日当たりの勉強時間（学校別）】

		合計	全くしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない
全体		343	15.5%	14.9%	25.7%	24.8%
学校	熊取中学校	118	22.0%	12.7%	26.3%	22.9%
	熊取北中学校	99	7.1%	15.2%	25.3%	25.3%
	熊取南中学校	113	17.7%	15.0%	24.8%	25.7%
	特別支えん学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	0.0%	25.0%	33.3%	33.3%
		合計	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答	
全体		343	12.5%	6.7%	0.0%	
学校	熊取中学校	118	10.2%	5.9%	0.0%	
	熊取北中学校	99	19.2%	8.1%	0.0%	
	熊取南中学校	113	10.6%	6.2%	0.0%	
	特別支えん学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	0.0%	8.3%	0.0%	

放課後や休日の過ごし方についてお聞きします

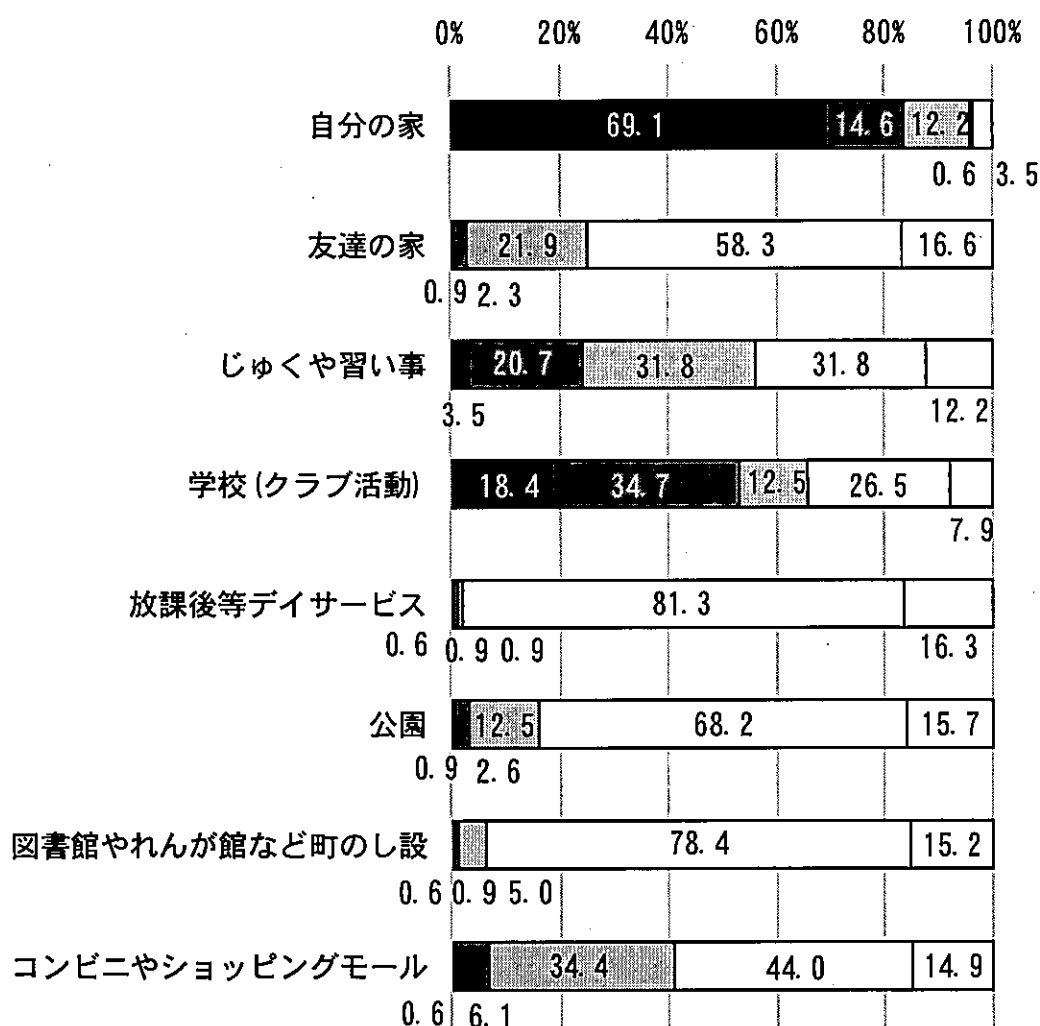
(9) 放課後過ごす場所

問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数を選んでください。（A～Hのそれぞれについて、○は1つ。A～H以外に過ごす場所があれば「その他」にその場所を書いて、○を1つ）

平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごすかについて、「毎日」の割合としては、「自分の家」が69.1%と最も多く、次いで「学校（クラブ活動）」が18.4%、「じゅくや習い事」が3.5%となっています。

「ここでは全く過ごさない」の割合としては「放課後等デイサービス」が81.3%と最も多く、次いで「図書館やれんが館など町のし設」が78.4%、「公園」が68.2%となっています。

n=343

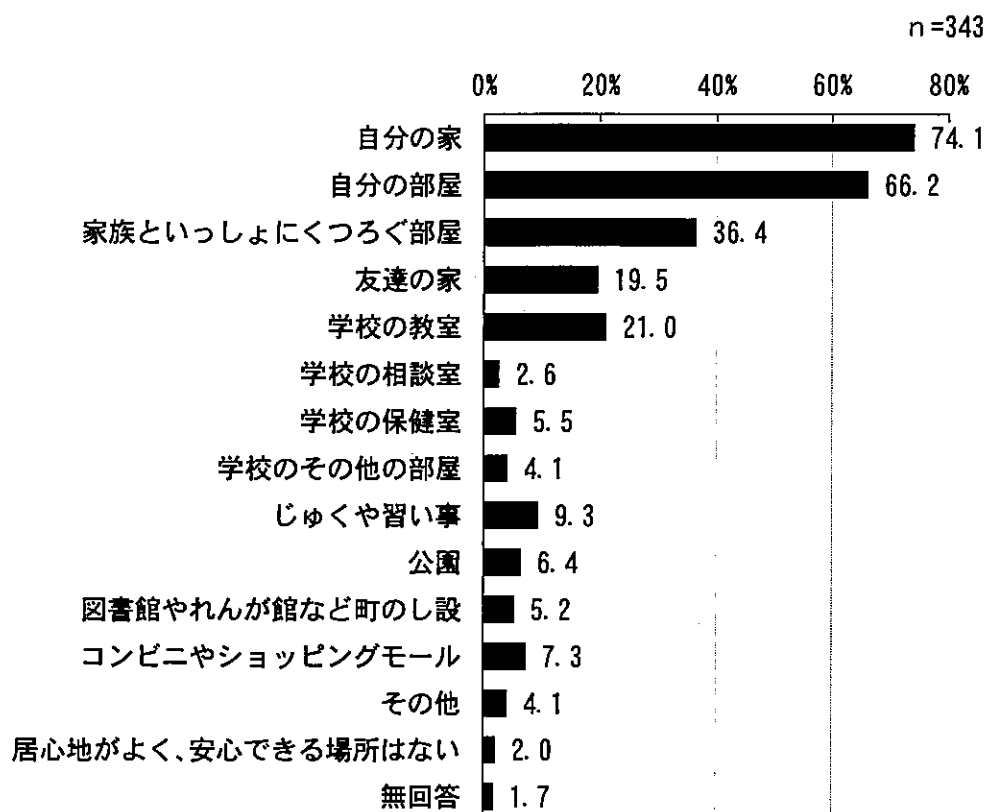


■毎日 ■週に3~4日 □週に1~2日 □ここでは全く過ごさない □無回答

(10) 居心地がよく安心できる場所

問 10 あなたにとって居心地がよく、安心できる場所はどこですか。(○はいくつでも)

居心地がよく、安心できる場所は、「自分の家」が74.1%と最も多く、次いで「自分の部屋」が66.2%、「家族といっしょにくつろぐ部屋」が36.4%となっています。



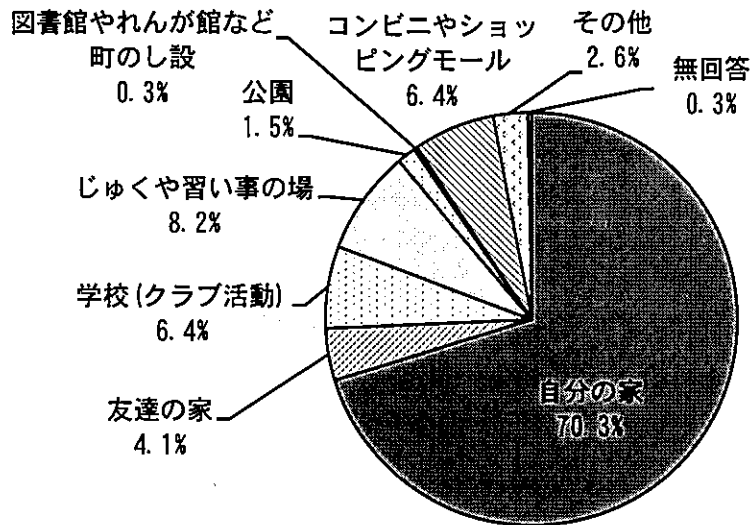
【その他】

祖父母の家／トイレ／特にない／静かな場所／海

(11) 休日の昼間過ごす場所

問 11 あなたは、休日（学校が休みの日）の昼間、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所を選んでください。（○は1つ）

休日（学校が休みの日）の昼間、どこで過ごすかは、「自分の家」が70.3%と最も多く、次いで「じゅくや習い事の間」が8.2%、「学校（クラブ活動）」、「コンビニやショッピングモール」がそれぞれ6.4%となっています。



n=343

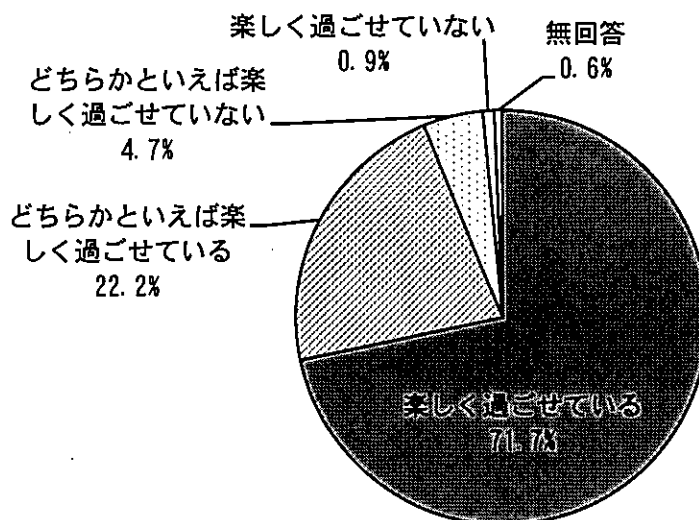
【その他】

いろいろ／おばあちゃんち／バレーチーム／クラブチームのクラブ場所／カラオケ

(12) 休日を楽しく過ごせているか

問 12 問 11 で選んだ場所で、あなたは休日、楽しく過ごせていますか。（○は1つ）

休日、楽しく過ごせているかは、「楽しく過ごせている」が71.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば楽しく過ごせている」が22.2%、「どちらかといえば楽しく過ごせていない」が4.7%となっています。



n=343

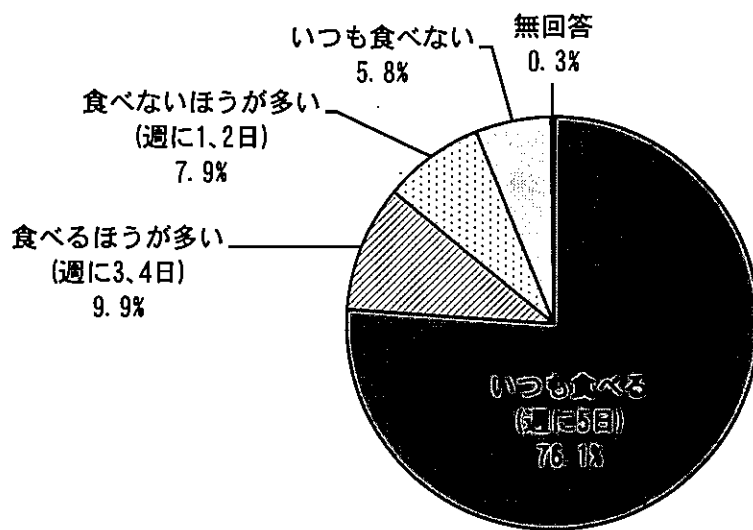
生活習慣についてお聞きします

(13) 平日の朝ご飯

問 13 あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（○は1つ）

平日（学校に行く日）に毎日、朝ご飯を食べるかは、「いつも食べる（週に5日）」が76.1%と最も多く、次いで「食べるほうが多い（週に3、4日）」が9.9%、「食べないほうが多い（週に1、2日）」が7.9%となっています。

「いつも食べる（週に5日）」の割合を学校別にみると、「私立中学校、府立中学校、国立中学校など」が100.0%と最も多く、次いで「熊取南中学校」が76.1%、「熊取北中学校」が75.8%となっています。



n=343

【平日の朝ご飯（学校別）】

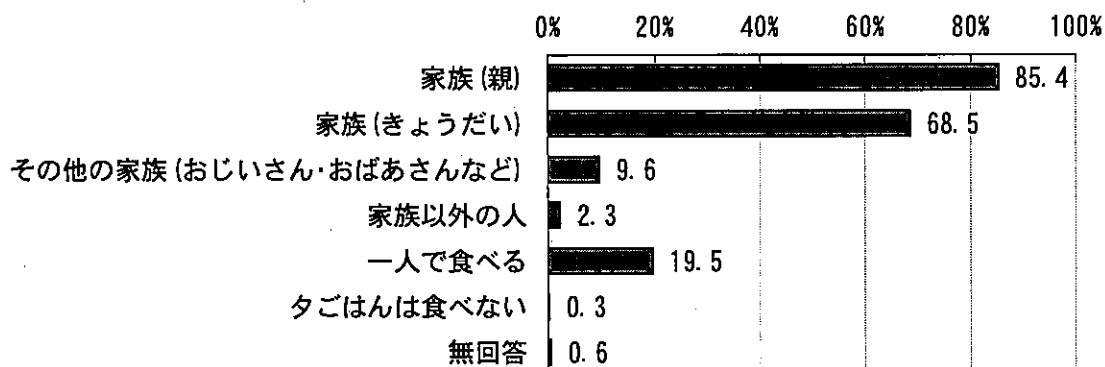
	合計	いつも食べる (週に5日)	食べるほうが多い (週に3、4日)	食べないほうが多い (週に1、2日)	いつも食べない	無回答
全体	343	76.1%	9.9%	7.9%	5.8%	0.3%
学校						
熊取中学校	118	73.7%	10.2%	8.5%	6.8%	0.8%
熊取北中学校	99	75.8%	10.1%	8.1%	6.1%	0.0%
熊取南中学校	113	76.1%	10.6%	8.0%	5.3%	0.0%
特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(14) 平日の夕ご飯と一緒に食べる人

問 14 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。（○はいくつでも）

平日（学校に行く日）に夕ご飯を誰と食べるかは、「家族（親）」が 85.4%と最も多く、次いで「家族（きょうだい）」が 68.5%、「一人で食べる」が 19.5%となっています。

n=343

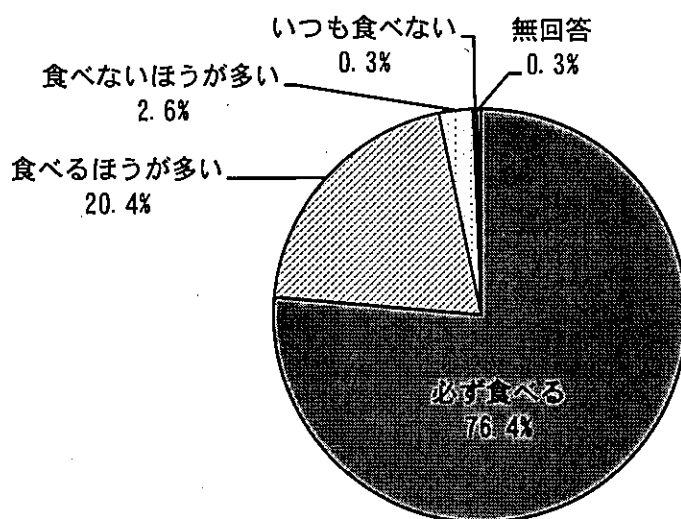


(15) 休日の昼ご飯

問 15 あなたは、休日に昼ごはんを食べますか。（夏休みや冬休みなどの長期のお休みの日もふくみます。）（○は1つ）

休日に昼ご飯を食べるかは、「必ず食べる」が 76.4%と最も多く、次いで「食べるほうが多い」が 20.4%、「食べないほうが多い」が 2.6%となっています。

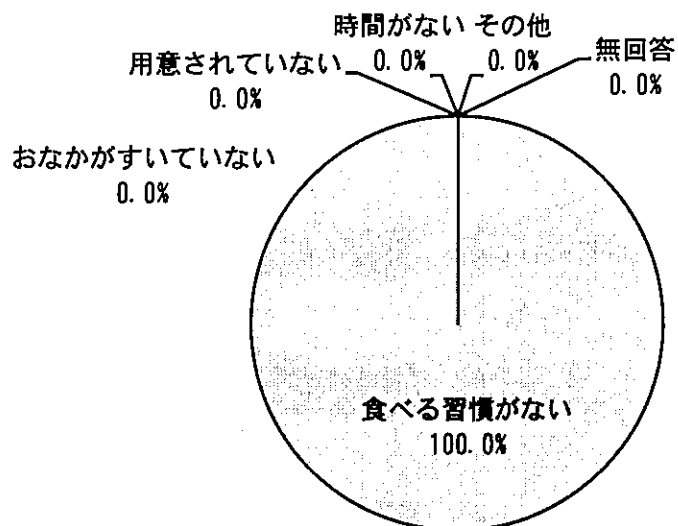
n=343



(15-1) 休日に昼ご飯を食べない理由

問 15-1 問 15 で「4」を選んだ人に質問します。
あなたが、休日に昼ごはんを食べない理由はどれですか。(○は1つ)

休日に昼ご飯を食べない理由は、「食べる習慣がない」が 100.0%となっています。(回答者数 1 人)



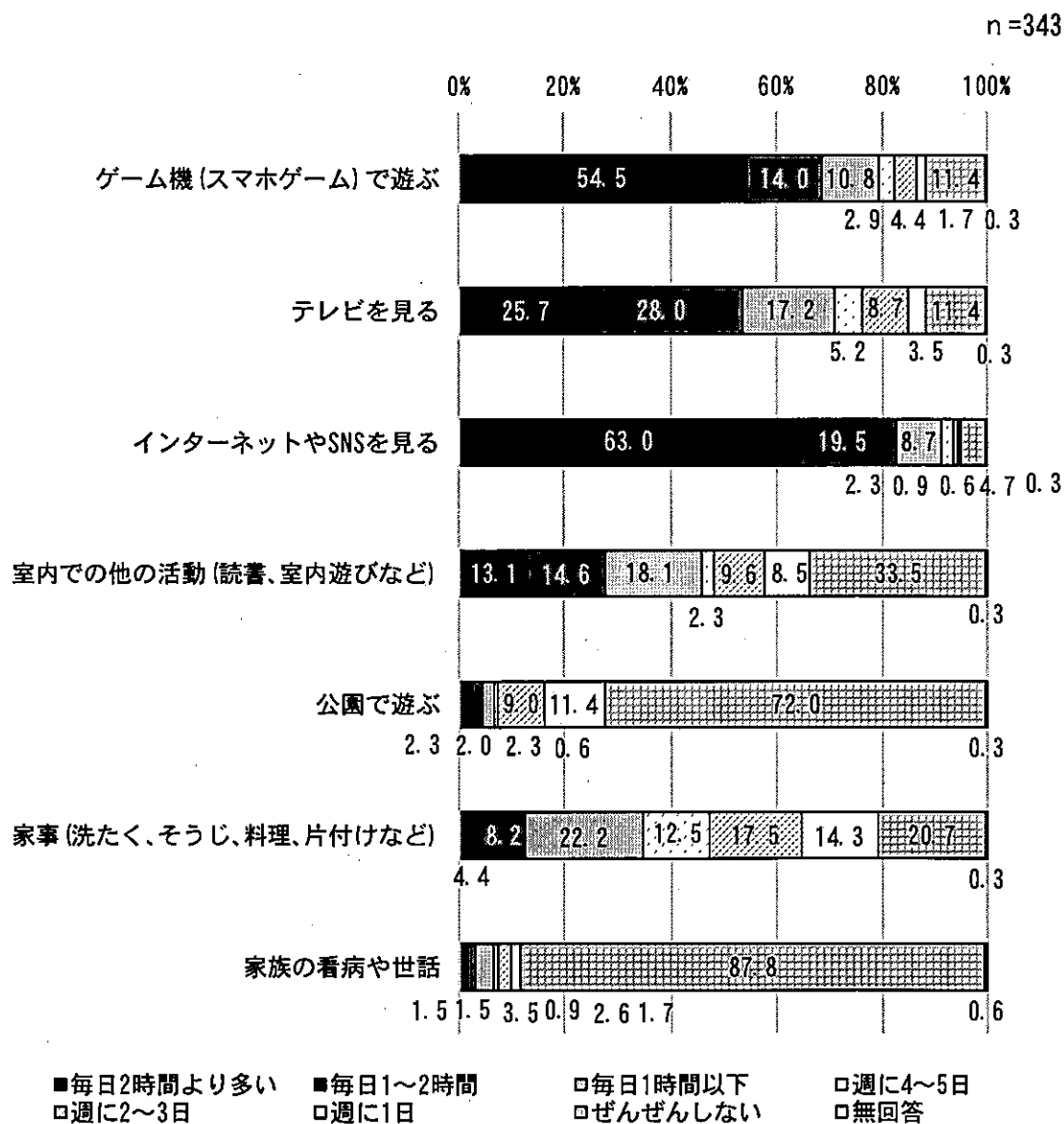
n=1

(16) 普段している活動

問 16 あなたは、以下の活動を、ふ段どれくらいしますか。(A～Gそれぞれについて、○は1つ)

普段どれくらい活動しているかについて、「毎日2時間より多い」としては、「インターネットやSNSを見る」が63.0%と最も多く、次いで「ゲーム機(スマホゲーム)で遊ぶ」が54.5%、「テレビを見る」が25.7%となっています。

「ぜんぜんしない」としては、「家族の看病や世話」が87.8%と最も多く、次いで「公園で遊ぶ」が72.0%、「室内での他の活動(読書、室内遊びなど)」が33.5%となっています。

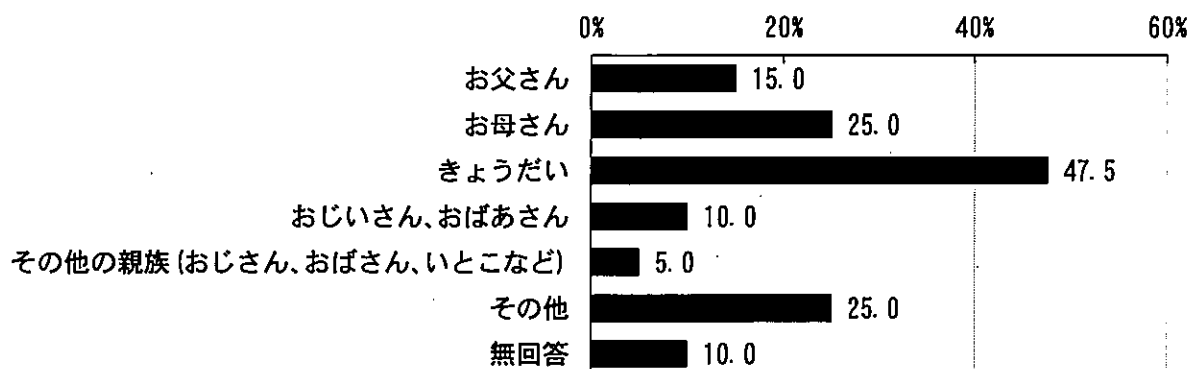


(16-1) 看病や世話をしている人

問 16-1 問 16 の G 家族の看病や世話で「1」～「6」を選んだ人に質問します。
あなたが世話をしている人はだれですか。(○はいくつでも)

お世話をしている人は、「きょうだい」が 47.5%と最も多く、次いで「お母さん」、「その他」がそれぞれ 25.0%となっています。

n=40



【その他】

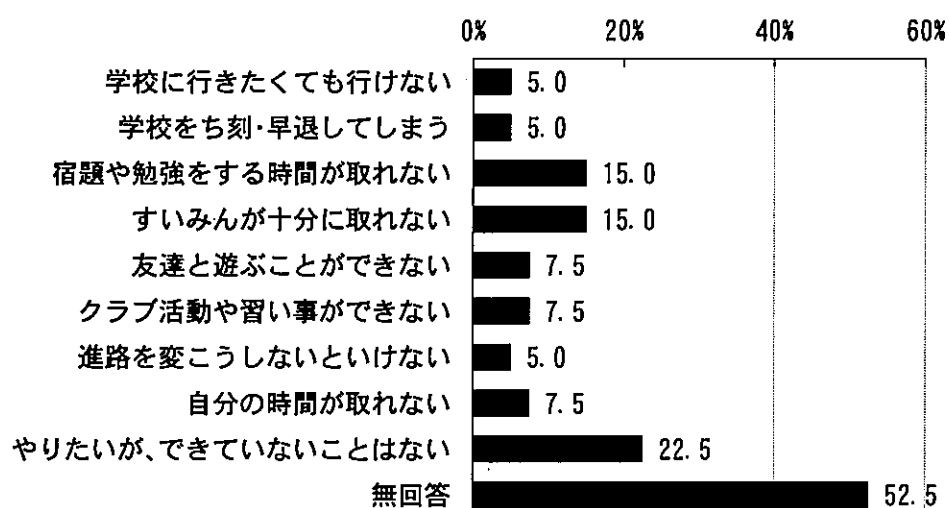
ペット／弟／いとこ

(16-2) 家族の世話をすることによる問題の有無

問 16-2 問 16 の G 家族の看病や世話で「1」～「6」を選んだ人に質問します。
あなたは家族のお世話をしていることで、以下のようなことがありますか。(○はいくつでも)

家族のお世話をしていることで、どのようなことがあるかは、「やりたいが、できていないことはない」が 22.5%と最も多く、次いで「宿題や勉強をする時間が取れない」、「すいみんが十分に取れない」がそれぞれ 15.0%となっています。

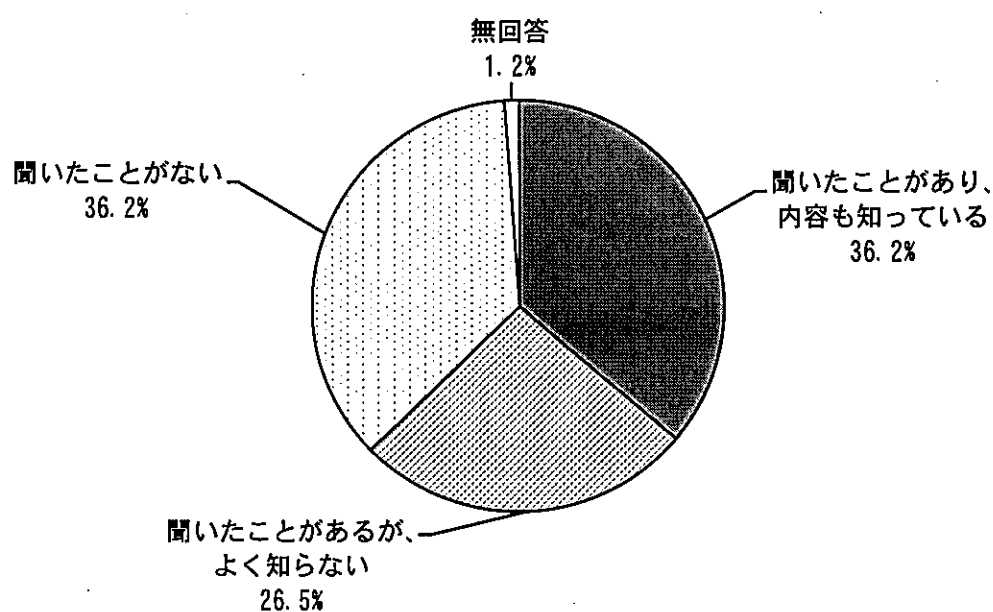
n=40



(17) ヤングケアラーという言葉の認知度

問 17 あなたは、ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことはありますか。(○は1つ)
※「ヤングケアラー」とは
家事や家族のお手伝いをするこは、大変素晴らしいことですが、大人が家事や家族のお世話をせずに、こどもが毎日することで、自分が勉強したい、遊びたいと思っても、そういったことができなくなってしまうことがあります。こうしたこどものことを「ヤングケアラー」と呼ぶことがあります。

ヤングケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことはあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことがない」がそれぞれ 36.2%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が 26.5%となっています。

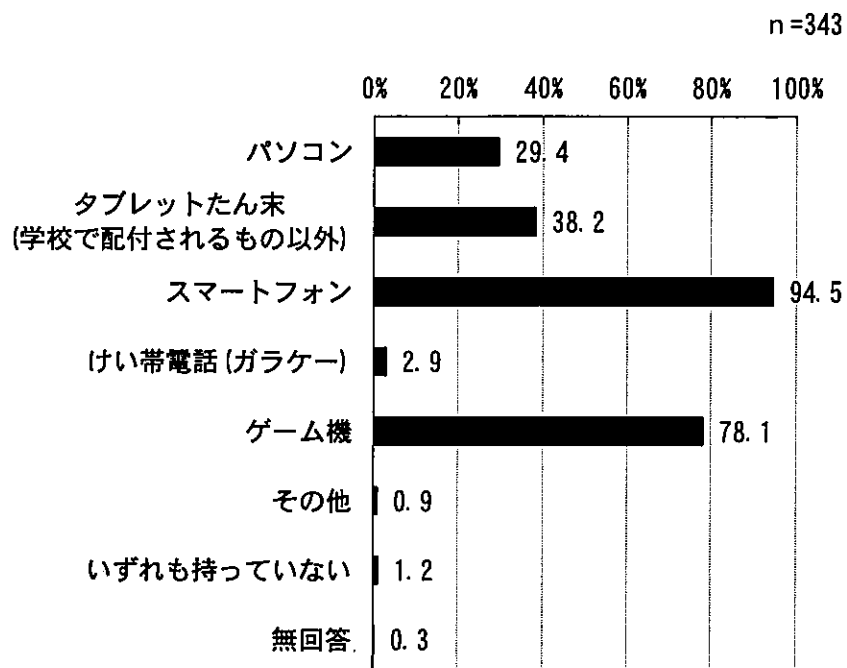


インターネットなどについてお聞きします

(18) インターネットにつながる機器の所持

問 18 あなたは、次のようなインターネットにつながる機器を持っていますか。(○はい/□いいえ/△どちらでもない)

持っているインターネットにつながる機器は、「スマートフォン」が94.5%と最も多く、次いで「ゲーム機」が78.1%、「タブレット端末（学校で配付されるもの以外）」が38.2%となっています。

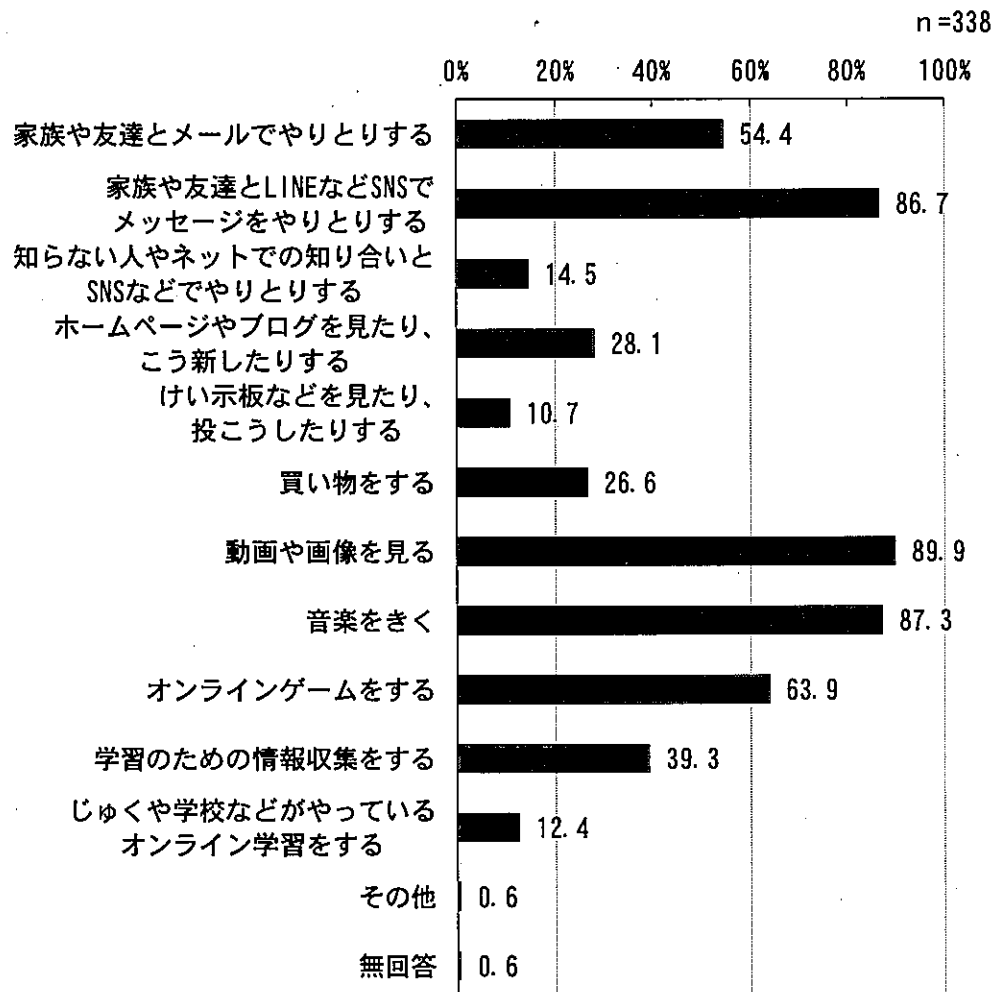


【その他】
3DS

(18-1) インターネットを利用する目的

問 18-1 問 18 で「1」～「6」を選んだ人に質問します。
あなたが学校以外でインターネットを利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

学校以外でインターネットを利用する目的は、「動画や画像を見る」が 89.9%と最も多く、次いで「音楽をきく」が 87.3%、「家族や友達とLINEなどSNSでメッセージをやりとりする」が 86.7%となっています。



【その他】

わからないことを調べる／知りたいことを調べる

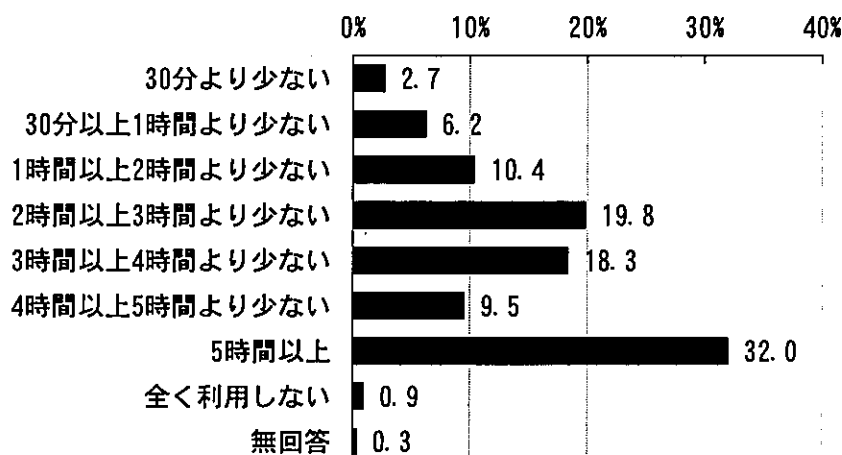
(18-2) 1日当たりのインターネットの利用時間

問 18-2 あなたは学校以外で、1日あたりどれくらいの時間、メール、SNS、ゲーム、動画などのインターネット利用をしますか。(○は1つ)

学校以外で、1日当たりインターネットを利用する時間は、「5時間以上」が32.0%と最も多く、次いで「2時間以上3時間より少ない」が19.8%、「3時間以上4時間より少ない」が18.3%となっています。

「3時間以上4時間より少ない」の割合を学校別にみると、「熊取北中学校」が28.6%と最も多く、次いで「熊取南中学校」が16.2%、「熊取中学校」が12.0%となっています。

n=338



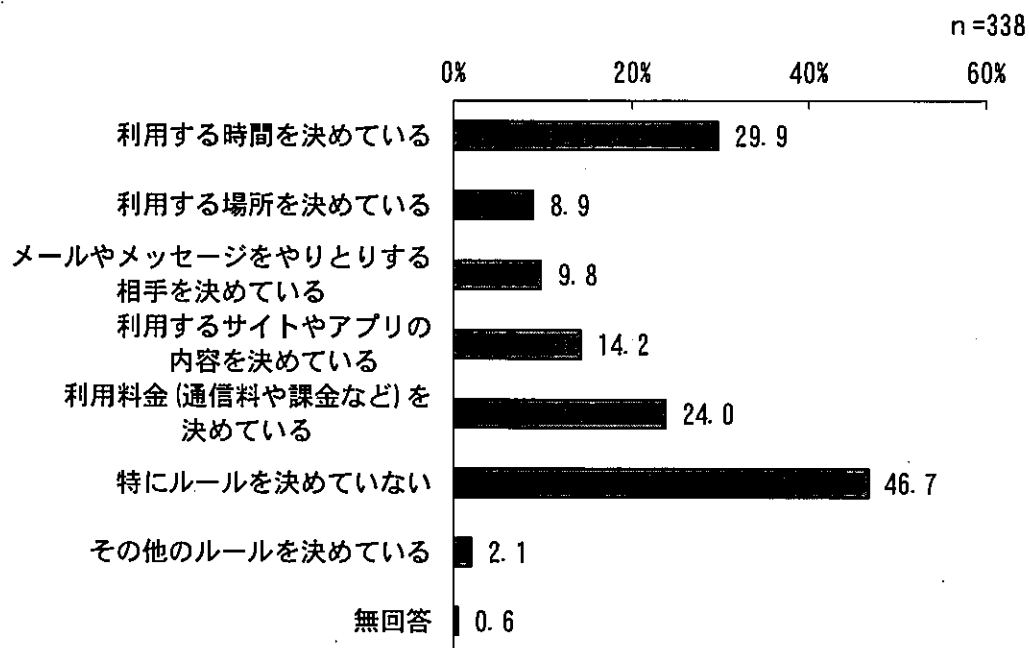
【1日当たりのインターネットの利用時間（学校別）】

	合計	30分より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	3時間以上 4時間より 少ない
全体	338	2.7%	6.2%	10.4%	19.8%	18.3%
学校	熊取中学校	117	2.6%	5.1%	10.3%	16.2%
	熊取北中学校	98	4.1%	6.1%	10.2%	28.6%
	熊取南中学校	111	1.8%	7.2%	9.0%	16.2%
	特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	11	0.0%	9.1%	27.3%	18.2%
	合計		4時間以上 5時間より 少ない	5時間以上	全く利用 しない	無回答
全体	338	9.5%	32.0%	0.9%	0.3%	
学校	熊取中学校	117	10.3%	41.9%	0.9%	0.9%
	熊取北中学校	98	7.1%	24.5%	1.0%	0.0%
	熊取南中学校	111	11.7%	31.5%	0.9%	0.0%
	特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(18-3) インターネット利用に当たってのルール

問 18-3 あなたは、インターネットの利用に当たって、家の人とルールを決めていますか。(〇はいくつでも)

インターネットの利用に当たって、家の人とルールを決めているかは、「特にルールを決めていない」が46.7%と最も多く、次いで「利用する時間を決めている」が29.9%、「利用料金（通信料や課金など）を決めている」が24.0%となっています。



【その他のルール】

ご飯中は携帯見ない／知らない人から連絡きたら言う／勝手にアプリを入れたりしない

普段の悩みなどについてお聞きします

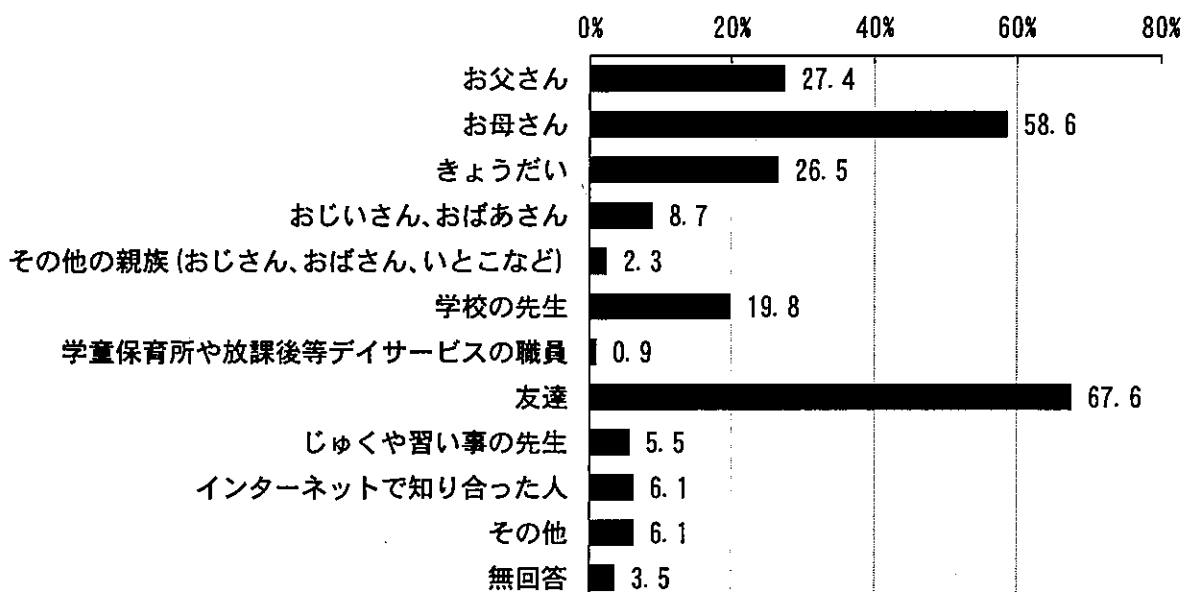
(19) 悩みごとの相談相手

問 19 あなたは困っていることや悩みごとは、だれに相談をしますか。(○はいくつでも)

困っていることや悩みごとは誰に相談するかは、「友達」が 67.6%と最も多く、次いで「お母さん」が 58.6%、「お父さん」が 27.4%となっています。

「友達」の割合を学校別にみると、「熊取北中学校」が 76.8%と最も多く、次いで「私立中学校、府立中学校、国立中学校など」が 66.7%、「熊取南中学校」が 64.6%となっています。

n=343



【その他】

困っていることがない／相談をしない／友達の母／いない／猫／誰にも相談できない／警察

【悩みごとの相談相手 (学校別)】

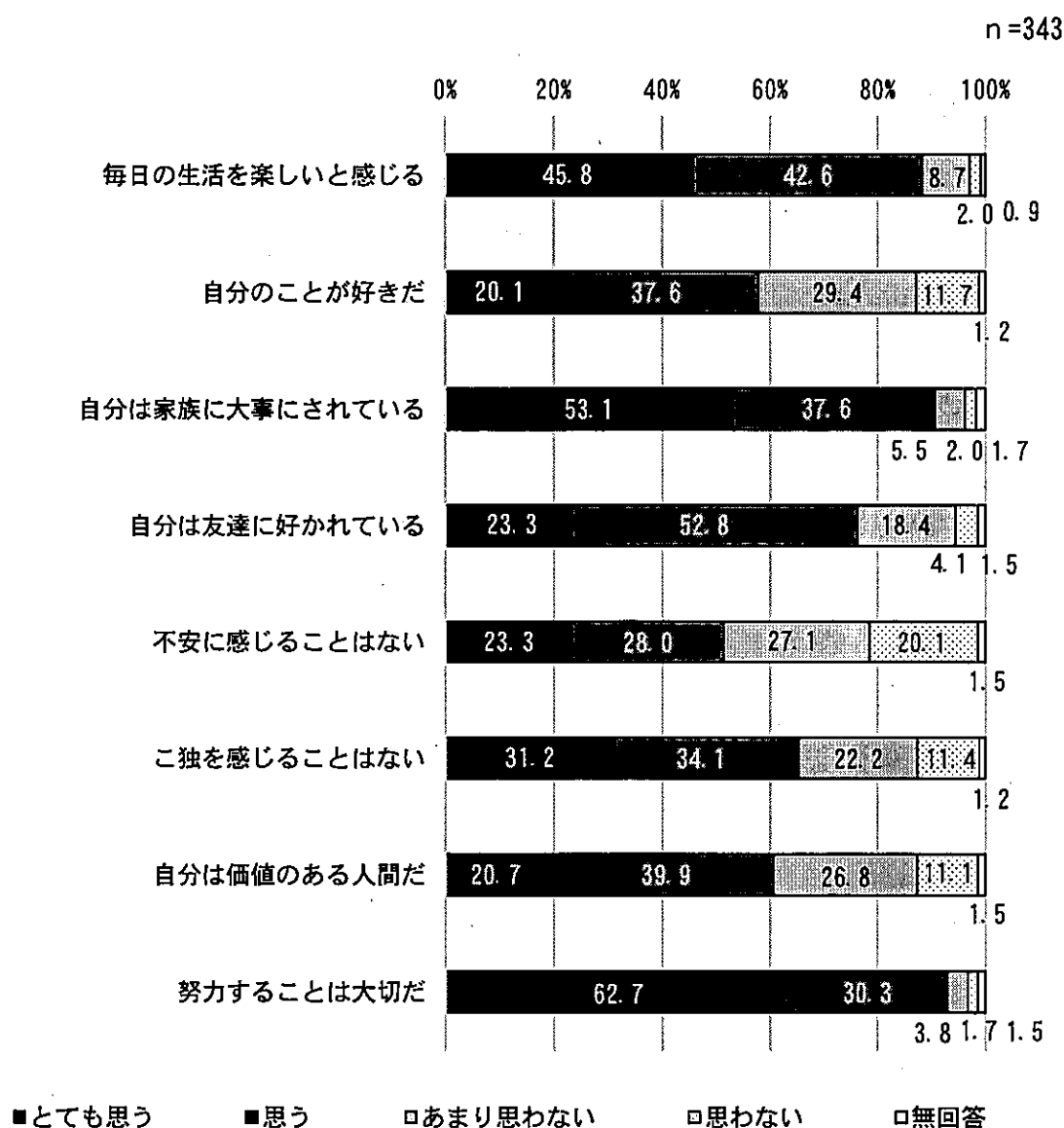
	合計	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさん、おばあさん	その他の親族 (おじさん、おばさん、いとこなど)	学校の先生
全体	343	27.4%	58.6%	26.5%	8.7%	2.3%	19.8%
学校	熊取中学校	118	28.8%	55.9%	17.8%	7.6%	20.3%
	熊取北中学校	99	28.3%	61.6%	35.4%	11.1%	18.2%
	熊取南中学校	113	23.9%	58.4%	28.3%	7.1%	22.1%
	特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	33.3%	58.3%	16.7%	16.7%	8.3%
	合計	学童保育所や放課後等デイサービスの職員	友達	じゅくや習い事の先生	インターネットで知り合った人	その他	無回答
全体	343	0.9%	67.6%	5.5%	6.1%	6.1%	3.5%
学校	熊取中学校	118	0.0%	62.7%	3.4%	5.1%	4.2%
	熊取北中学校	99	1.0%	76.8%	9.1%	6.1%	3.0%
	熊取南中学校	113	1.8%	64.6%	5.3%	7.1%	3.5%
	特別支援学校	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立中学校、府立中学校、国立中学校など	12	0.0%	66.7%	0.0%	8.3%	0.0%

(20) 思いや気持ち

問 20 あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」の最も近いものを選んでください。(A～Hそれぞれについて、○は1つ)

思いや気持ちに最も近いものについて、「とても思う」ものとしては、「努力することは大切だ」が62.7%と最も多く、次いで「自分は家族に大事にされている」が53.1%、「毎日の生活を楽しんでいると感じる」が45.8%となっています。

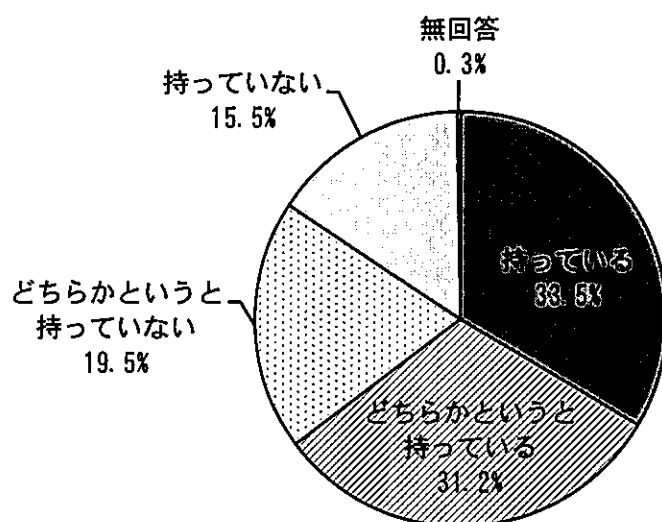
「思わない」ものとしては、「不安を感じることはない」が20.1%と最も多く、次いで「自分のことが好きだ」が11.7%、「こ独を感じることはない」が11.4%となっています。



(21) 将来の夢や目標

問 21 あなたは、将来の夢や目標を持っていますか。(○は1つ)

将来の夢や目標を持っているかは、「持っている」が33.5%と最も多く、次いで「どちらかという
と持っている」が31.2%、「どちらかというと持っていない」が19.5%となっています。



n=343

(22) 「こどもの権利」の認知度

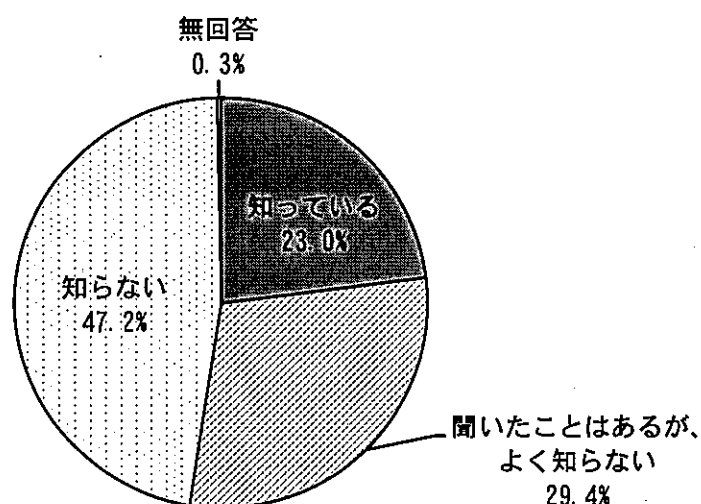
問 22 あなたは、下記のような「こどもの権利」について、知っていますか。(○は1つ)

※「こどもの権利」とは

こどもは、生まれながらに、何か責任を果たすことと引きかえにすることなく、児童の権利に関する条約に基づく権利が保障されています。代表的なこどもの権利は以下の4つです。

- (1) 生きる権利 あなたには、大切にされ、安全で安心して暮らせる権利があります。
- (2) 育つ権利 あなたには、勉強する、遊ぶ、休む、失敗してもやり直せる、助けてもらえる権利があります。
- (3) 守られる権利 あなたには、いやなことをされない、困った時は安心して相談できる、ありのままの自分を大切にされる権利があります。
- (4) 参加する権利 あなたには、思ったことを伝える、仲間を作る、みんなで話し合ってものごとを決める権利があります。

「こどもの権利」については、「知らない」が47.2%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が29.4%、「知っている」が23.0%となっています。



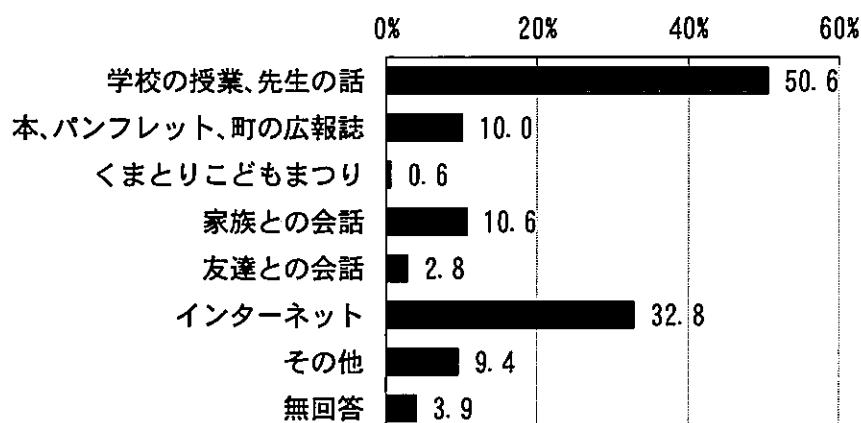
(22-1) 「こどもの権利」を知った方法

問 22-1 問 22 で「1」～「2」を選んだ人に質問します。

あなたは、「こどもの権利」という言葉をどのようにして知りましたか。(○はいくつでも)

「こどもの権利」という言葉をどのようにして知ったかは、「学校の授業、先生の話」が 50.6%と最も多く、次いで「インターネット」が 32.8%、「本、パンフレット、町の広報誌」が 10.0%となっています。

n=180



【その他】

忘れた／このアンケート／テレビ／親

(23) 今困っていること・悩んでいること

問 23 あなたが今、困っていることや悩んでいることなどがあれば、自由に書いてください。
(下のわくの中に書いてください)

※自由意見については、別にまとめています

(24) 熊取町がどんな町になれば良いと思うか

問 24 あなたは、これから熊取町がどんなまちになればよいと思いますか。
(下のわくの中に書いてください)

※自由意見については、別にまとめています

熊取町

「(仮称) 熊取町こども計画」

策定のためのアンケート調査 結果報告書

発行年月：令和6年3月

発 行：熊取町

編 集：子育て支援課

住 所：〒590-0495

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番1号

電 話：072-452-6814

若者に対するアンケート調査 (案)

あなたについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男 2. 女
3. その他

問2 あなたの年齢をお答えください。※令和6年4月1日現在の年齢でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16~19歲 | 2. 20~24歲 | 3. 25~29歲 |
| 4. 30~34歲 | 5. 35~39歲 | |

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(すべてに○)

- | | | |
|---|--------------|--------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 祖父母 |
| 4. きょうだい | 5. 配偶者・パートナー | 6. 恋人 |
| 7. こども | 8. その他の親戚 | 9. 友人 |
| 10. 一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む) 11. その他 () | | |

問4 あなたの現在の職業をお答えください。(1つに○)

※複数ある場合は、1週間のうち最も多くの時間を占めているものを選んでください。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 高校生 | 2. 専修学校・専門学校生 |
| 3. 5年制の高等専門学校(高専)・短期大学 | 4. 大学・大学院生 |
| 5. フルタイムで就労(正規雇用) | 6. フルタイムで就労(非正規雇用) |
| 7. パートタイム・アルバイトで就労 | 8. 職業訓練生(見習い含む) |
| 9. フリーランス・個人事業主 | 10. 専業主婦・主夫 |
| 11. 家業の手伝い | 12. 家事手伝い |
| 13. 求職中 | 14. 現在仕事はしていない(仕事を探していない) |
| 15. その他() | |

問5 あなたの就業経験についてお答えください。(パートタイム・アルバイト等を含む)(1つに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 現在、就業している | 2. 現在、就業しているが、休職や休業中である |
| 3. 現在は、就業していないが、過去に就業経験がある | 4. これまでに就業経験はない |

問6 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。

現在、学校に通っている方は、通っている学校をお答えください。(1つに○)

1. 中学校	2. 高等学校(全日制)	3. 高等学校(定時制・通信制・サポート校)
4. 専修学校・専門学校	5. 短期大学	6. 5年制の高等専門学校(高専)
7. 大学	8. 大学院	9. その他()

今のあなた自身の意識と将来についてお伺いします

問7 あなたが自分自身について思っていることをお答えください。((1)～(6)について、それぞれ1つに○)

	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
(1)今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2)今の自分を変えたい	1	2	3	4
(3)自分自身に満足している	1	2	3	4
(4)自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4
(5)自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
(6)「自分らしさは○○だ」といえるものがある	1	2	3	4

問8 ここ1年のあなたの暮らしや生活を総合的に判断して、どの程度満足しているかお答えください。(1つに○)

とても満足 している	やや満足している	ふつう	やや満足 していない	まったく満足 していない
1	2	3	4	5

問9 あなたは、現在住んでいるところが好きですか。(1つに○)

1. 好きである	2. どちらかというとき好きである
3. どちらかというとき好きではない	4. 嫌いである
5. わからない(問 10 へ)	

(問9で「1～2」を選んだ方にお伺いします)

問9-1 その理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 自然環境がよいから | 2. 交通機関が便利だから |
| 3. 日常生活が便利だから | 4. 住み慣れたところだから |
| 5. 整った教育・文化環境があるから | 6. 地域住民との連帯感が強いから |
| 7. 友人がいるから | 8. 趣味や好きなことを楽しむ環境があるから |
| 9. 安全・安心なところだから | 10. その他() |
| 11. わからない | |

(問9で「3～4」を選んだ方にお伺いします)

問9-2 その理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 自然環境がよくないから | 2. 交通機関が不便だから |
| 3. 日常生活が不便だから | 4. 住み慣れた場所ではないから |
| 5. 整った教育・文化環境がないから | 6. 地域住民との連帯感が薄いから |
| 7. 友人がいないから | 8. 趣味や好きなことを楽しむ環境がないから |
| 9. 危険や不安を感じるから | 10. その他() |
| 11. わからない | |

問10 あなたは今後、どのようになりたいと思いますか。((1)～(13)について、それぞれ1つに○)

	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない	わからな い
(1)心豊かな生活を送りたい	1	2	3	4	5
(2)お金に困らない生活を送りたい	1	2	3	4	5
(3)やりたい仕事に就いて仕事に打ち込みたい	1	2	3	4	5
(4)出世して、地位や役職を得たい	1	2	3	4	5
(5)仕事や趣味、スポーツなどの分野で有名に なりたい	1	2	3	4	5
(6)社会や多くの人の役に立つことをしたい	1	2	3	4	5
(7)自分の趣味や家族・友人との時間を重視したい	1	2	3	4	5
(8)親を大切にしていきたい	1	2	3	4	5
(9)信頼できる友人や仲間を得たい	1	2	3	4	5
(10)地元で暮らしたい	1	2	3	4	5
(11)安定した生活を送りたい	1	2	3	4	5
(12)結婚をしている・パートナーがいる	1	2	3	4	5
(13)こどもを育てている	1	2	3	4	5

問11 あなたは将来の夢ややってみたいことがありますか。(1つに○)

1. 具体的にある	2. 漠然とあるが、具体的には思い浮かばない
3. 探している	4. 特にない

あなたの日頃の生活についてお伺いします

問12 あなたは、自宅にいるときには、どのように過ごしていますか。(すべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. のんびりする(休息する) | 2. 家族や友人などとおしゃべりをする、一緒に遊ぶ |
| 3. 家事をする | 4. 育児、こどもと遊ぶ |
| 5. 家族の看病や介護をする | 6. ペットの世話をする |
| 7. 勉強をする | 8. 仕事をする |
| 9. 趣味を楽しむ | 10. 運動をする |
| 11. テレビを見る | 12. 本、マンガ、雑誌、新聞を読む |
| 13. ラジオや音楽を聴く | 14. ゲームをする |
| 15. SNSでやりとりをする | 16. インターネット(動画やニュースサイト等)を見る |
| 17. ほとんど寝ている(休息している) | 18. その他() |

問13 あなたは、仕事や学校以外で、外出する場合はどのように過ごしていますか。(すべてに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 買い物に行く | 2. アルバイトをする |
| 3. ドライブ、旅行、ツーリング、サイクリングに行く | 4. ボランティア活動をする |
| 5. 食べ歩きや話題のスポットめぐりをする | 6. 家族や友人などと一緒に過ごす |
| 7. スポーツ観戦に行く | 8. コンサート、演劇、映画鑑賞をする |
| 9. 講座やセミナーを受講する | 10. スポーツをする |
| 11. 美容院や理容などに行く | 12. 医療機関などを受診する |
| 13. あまり外出しない | 14. その他() |

問14 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

1. 仕事や学校等で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校等で週に3日以上外出する
3. 遊びや人づきあい等で週に3日以上外出する
4. 遊びや人づきあい等で週に3日未満外出する
5. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
6. 自室からは出るが、ほとんど家からは出ない
7. 自室からほとんど出ない
8. 答えたくない

(問14で「5～7」を選んだ方にお伺いします)

問14-1 あなたが現在の外出状況になってどのくらい経ちますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 |
| 3. 1年～2年未満 | 4. 2年～3年未満 |
| 5. 3年～5年未満 | 6. 5年～10年未満 |
| 7. 10年以上 | 8. 答えたくない |

(問14で「5～7」を選んだ方にお伺いします)

問14-2 あなたが現在の外出状況になった主な理由は何ですか。(すべてに○)

1. 自宅で過ごすことが好きだから
2. 不登校になったため
3. 受験がうまくいかなかったため
4. 就職活動がうまくいかなかったため
5. 就いた職種・業種が合わなかったため
6. 人間関係(友人、職場、家族など)がうまくいかなかったため
7. 病気になったため
8. 妊娠・出産をしたため
9. 退職したため
10. 介護・看護を担うことになったため
11. 新型コロナウイルス感染症が流行したため
12. 特に理由はない
13. 答えたくない
14. その他()

問15 あなたは、現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(すべてに○)

- | | | |
|--------------|--------------|------------------------------|
| 1. 勉強や進学のこと | 2. 仕事や就職のこと | 3. 家族のこと |
| 4. 友人や仲間のこと | 5. 恋愛や結婚のこと | 6. お金のこと |
| 7. 政治や社会のこと | 8. 将来のこと | 9. 性のこと |
| 10. 病気や健康のこと | 11. 性格や容姿のこと | 12. はっきりとした悩みはない
がなんとなく不安 |
| 13. 特にない | 14. 答えたくない | 15. その他() |

問16 あなたは、悩みや心配ごとがあった場合、だれに相談しますか。(すべてに○)

1. 父・母	2. 配偶者・パートナー	3. きょうだい
4. 祖父母・親戚	5. 学校の友人や先輩	6. 幼なじみや学校時代の友人
7. 恋人	8. 学校の先生	9. 職場の上司、先輩、同僚
10. サークル、スポーツ、 趣味の友人	11. インターネットやSNSの友人	12. カウンセラー等の専門家
13. 役場などの公的な相談窓口	14. その他()	15. だれにも相談しない

問16で「15.だれにも相談しない」を選んだ方にお伺いします)

問16-1 だれにも相談しない理由は何ですか。(すべてに○)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分一人で解決するべきだと思うから
3. 悩んでいることに合った相談相手がいないから
4. 相手にどう思われるか不安だから
5. 相談相手以外の人にも広まってしまいそうで怖いから
6. 相談することで、逆に問題が大きくなりそうだから
7. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
8. 相手がどんな人かわからないから
9. 話したくないことまで聞かれそうだから
10. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
11. 相手にうまく伝えられないから
12. 裏切られたり、失望されたりするのが嫌だから
13. 自分以外の人が傷つくおそれがあったり迷惑をかけたりしそうだから
14. お金がかかると思うから
15. 時間がかかると思うから
16. その他()
17. 特に理由はない、わからない

問 17 最近の、家族や親戚とのかかわりは、どのようなものですか。((1)～(5)について、それぞれ1つに○)

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
(1)会話をよくする	1	2	3	4
(2)SNS・メール等をよくする	1	2	3	4
(3)何でも悩みを相談できる	1	2	3	4
(4)困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
(5)本音を話せる	1	2	3	4

問 18 最近の、友人や学校、職場の人とのかかわりは、どのようなものですか。

((1)～(5)について、それぞれ1つに○)

	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
(1)会話をよくする	1	2	3	4
(2)SNS・メール等をよくする	1	2	3	4
(3)何でも悩みを相談できる	1	2	3	4
(4)困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
(5)本音を話せる	1	2	3	4

問 19 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所づきあいをしていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 個人的なことを相談しあえる | 2. さしさわりのないことなら、話せる |
| 3. あいさつをする | 4. ほとんど近所づきあいをしていない |

問 20 あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. よく参加している | 2. ときどき参加している |
| 3. まったく参加していない | |

問21 あなたは、若者にとっての「居場所」とは、どんなところだと思いますか。(すべてに○)

1. 落ち着いてくつろげる場所
2. 周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所
3. 友達や親しい人とのつながりの中で安心していられる場所
4. 好きなものがあったり、好きなことができる場所
5. 自分のことを否定されたり、嫌なことが起きない場所
6. 自分の意見や希望を受け入れてもらえる場所
7. 自分ひとりで行けて、好きなだけいられる場所
8. 信頼できるスタッフがいる場所
9. 人に指図されたり、強制されたりしない場所
10. 色々なイベントがあり、自分の好きなものに参加できる場所
11. 色々な人と出会える場所
12. その他()

問22 あなたにとっての「居場所」とは、次のうちどこですか。(3つまで○)

- | | | |
|--|---------------------------|---|
| 1. 自分の部屋 | 2. 家庭(親戚の家を含む) | 3. 友だちの家 |
| 4. 学校(教室・図書室など)
※卒業した学校を含む | 5. クラブ(部)活動・サークル
活動の場所 | 6. 塾や習い事の場所 |
| 7. 公共施設(図書館・公民館など) | 8. 公園など自然のある場所 | 9. 職場・アルバイト先
(過去に働いていた場所を含む) |
| 10. お店(ゲームセンター・カラオ
ケボックス・カフェ・ファスト
フード店・コンビニなど) | 11. 趣味や自己啓発の場所 | 12. インターネット空間(SNS・動
画サイト・オンラインゲームな
ど) |
| 13. その他() | 14. 居場所はない | |

若者を取り巻く環境についてお伺いします

問23 あなたは、熊取町では若者の権利が尊重されていると感じますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらでもない |
|-------|--------|------------|

問24 あなたは、熊取町の取組において、若者の意見を聞いてもらえると思いますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 聞いてもらえていると思う |
| 2. どちらかといえば聞いてもらえていると思う |
| 3. あまり聞いてもらえていないと思う |
| 4. 聞いてもらえていないと思う |
| 5. その他() |

問25 あなたは普段、どのような方法や手段で知りたい情報を入手していますか。(すべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 家族や友人、職場の人、地域の人との会話 | 2. テレビやラジオ、新聞、雑誌 |
| 3. 町の広報誌やホームページ | 4. スマートフォンなどのニュースアプリ |
| 5. 国や自治体、マスコミなどの Web サイト | 6. その他の Web サイト |
| 7. YouTube | 8. TikTok |
| 9. X(旧 Twitter) | 10. Instagram・スレズ |
| 11. Facebook | 12. 公式 LINE やメルマガなど |
| 13. その他の SNS | 14. その他() |

問26 あなたは、どんな工夫やルールがあれば、熊取町に対して、自分の意見を伝えやすいと思いますか。

(すべてに○)

1. 匿名で(自分が誰か知られずに)伝えることができる
2. 意見の伝え方や伝える意見のテーマについて、前もって学ぶ機会がある
3. 伝えた意見がどのように扱われるかがわかる
4. 自分の意見を聴く人がどんな人か、前もってわかる
5. 伝えたい内容をうまく引き出してくれる役割の人がいる
6. 意見を伝えるときに、身近な信頼できる人(友だちや知り合いなど)がそばにいる
7. ほかの人の意見も知ることができる
8. 伝えた意見が制度や政策に反映されるところまで関わるることができる
9. 伝えた内容が公開されない(秘密にしてくれる)
10. その他()
11. 伝えたい意見はない

問27 熊取町のまちづくりに関しては、どのような分野に意見や関心を持つことが多いですか。(すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 少子化や人口減少 | 2. 子育て環境や子育て支援 |
| 3. 学校教育 | 4. 社会教育や生涯学習 |
| 5. 健康づくりや生きがいづくり | 6. 文化・芸術・スポーツ |
| 7. 高齢者や介護 | 8. 障がい者支援 |
| 9. 防災 | 10. 防犯や交通安全対策 |
| 11. 環境(ごみ処理や温暖化など) | 12. 観光・まちの PR |
| 13. 商工業の活性化 | 14. 農業などの活性化 |
| 15. 就労支援や就労環境の整備 | 16. 道路の整備 |
| 17. 交通機関の整備 | 18. 住環境の整備 |
| 19. 地域のコミュニティの活性化 | 20. 町のデジタル化 |
| 21. 町の行財政 | 22. その他() |
| 23. 特に意見や関心のある分野はない | |

問28 あなたは、若者への支援について、熊取町にどんなことに取り組んでほしいですか。

(優先度の高いものから順に3つ選んでください)

1. 若者が参加しやすいイベントなどの企画したり、情報を提供したりする
2. 若者が自分の意見を発表できる場を作る
3. 若者が地域の活動に参加するきっかけを作る
4. 若者がボランティア活動をできるよう支援する
5. 生活が苦しい若者を支援する
6. 家族の世話や介護をする若者を支援する
7. 若者が悩みごとや困りごとを相談できる窓口を充実する。
8. 虐待を受けている人、虐待を受けたことのある人を支援する
9. 若者がほっとできる居場所を充実する
10. 学校に行けない人、社会に出られない人が自立できるよう支援する
11. 学校の教育を充実する
12. 若者の非行や犯罪の防止に取り組む
13. 若者が就職したり、働き続けられるよう支援する
14. 結婚を希望する若者を支援する
15. 子どもがほしいと考える若者を支援する
16. その他()
17. 取り組んでほしいことは特にない

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

問29 最後に、若者への支援についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。(自由記述)

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

子ども・子育て会議委員名簿

令和6年5月10日現在

	所 属 等	氏 名	備考
住民代表 (1号委員)	自治会連合会 会長	西野 洋	
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	坂上 昌史	
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	井上 雅香	
	就学前児童の保護者(公募委員)	折笠 知佳	
	就学前児童の保護者(公募委員)	中塚 香織	
	若者(公募委員)	大幸 虎太郎	
	若者(公募委員)	平田 柊哉	
保育・教育・福祉関係者 (2号委員)	熊取町校長会 代表	亀井 勝弘	
	町立保育所 代表	赤坂 佐和子	
	熊取町民間保育園・こども園協議会(民間保育園代表)	野中 泉	
	熊取町民間保育園・こども園協議会(認定こども園代表)	小浪 利夫	
	熊取みどり幼稚園 園長	池浦 国男	
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳	
	NPO法人 くまとり子育てWA・輪・和 理事長	出口 健二	
	特定非営利活動法人 地域支援センターくまとり Rond 理事長	大谷 悟	
	NPO法人 ホームビジット・とんとん 理事長	坂本 百合	
	泉佐野泉南医師会(熊取担当)	桑原 秀樹	
	熊取町人権協会 会長	勘六野 朗	
	熊取町社会福祉協議会 会長	前田 美穂子	
	熊取町民生委員児童委員協議会 主任児童委員長	棚村 千鶴	
	熊取町青少年指導員連絡協議会 会長	梅田 康雄	
	熊取文庫連絡協議会	寺島 宜重	
学識経験者 (3号委員)	熊取町スポーツ少年団 本部長	北本 雅朗	
	大阪観光大学 理事長	山本 健慈	会長
	和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授	森下 順子	副会長

子ども・子育て会議 部会 名簿

令和6年5月10日現在

保育所・幼稚園部会

	所 属 等	氏 名
	就学前児童の保護者（公募委員）	折笠 知佳
副部会長	町立保育所 代表	赤坂 佐和子
部会長	熊取町民間保育園・こども園協議会（民間保育園代表）	野中 泉
	熊取町民間保育園・こども園協議会（認定こども園代表）	小浪 利夫
	熊取みどり幼稚園 園長	池浦 国男
	泉佐野泉南医師会（熊取担当）	桑原 秀樹

放課後児童健全育成部会

	所 属 等	氏 名
副部会長	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	坂上 昌史
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	井上 雅香
部会長	熊取町校長会 代表	亀井 勝弘
	熊取町スポーツ少年団 本部長	北本 雅朗
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳 ※

子育て支援部会

	所 属 等	氏 名
副部会長	就学前児童の保護者（公募委員）	中塚 香織
	NPO法人 くまとり子育てWA・輪・和 理事長	出口 俊二
部会長	特定非営利活動法人 地域支援センターくまとりロンド 理事長	大谷 悟
	NPO法人 ホームビジット・とんとん 理事長	坂本 百合
	熊取町民生委員児童委員協議会 主任児童委員長	棚村 千鶴
	熊取文庫連絡協議会	寺島 宜重
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳 ※

地域・若者支援部会

	所 属 等	氏 名
	自治会連合会 会長	西野 洋
副部会長	若者（公募委員）	大幸 虎太郎
部会長	若者（公募委員）	平田 柊哉
	熊取町人権協会 会長	勘六野 朗
	熊取町社会福祉協議会 会長	前田 美穂子
	熊取町青少年指導員連絡協議会 会長	梅田 康雄

	大阪観光大学 理事長	山本 健慈
	和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授	森下 順子

子ども・子育て会議規則

(趣旨)

第1条 この規則は、附属機関条例（平成25年条例第1号）第2条の規定に基づき、子ども・子育て会議の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、次に掲げる事項について処理する。

- (1) 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第72条第1項各号に規定する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、本町の子ども・子育て支援施策に関する重要事項その他町長が必要と認める事項

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員25名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 住民代表
- (2) 保育・教育・福祉関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要があると認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により選出し、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、議事その他の会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・子育て会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 子ども・子育て会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 子ども・子育て会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(部会の設置)

第7条 特別な事項を調査審議するため、会長が必要と認めるときは、子ども・子育て会議に部会を置くことができる。

- 2 部会は、子ども・子育て会議の委員の中から、会長が指名する委員で組織する。
- 3 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、「子ども・子育て会議」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「副会長」となるのは「副部会長」と読み替えるものとする。
- 4 部会長は、部会における審議の状況及び結果を子ども・子育て会議に報告しなければならない。

(意見の聴取等)

第8条 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 子ども・子育て会議の庶務は、子育て支援主管課において行う。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子ども・子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年10月1日から施行する。
(次世代育成支援対策協議会規則の廃止)
- 2 次世代育成支援対策協議会規則(平成25年規則第20号)は、廃止する。

附 則 (令和5年3月28日規則第5号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

こども大綱

(令和5年12月22日閣議決定)

【説明資料】

こども未来局
こども家庭庁

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら

- ・心身ともに健やかに成長できる
- ・個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、ありのままの自分を受け容れて大切に感じる（自己肯定感を持つ）ことができ、自分らしく、一人一人が思う幸福な生活ができる
- ・様々な遊びや学び、体験等を通じて、生き抜く力を得ることができる
- ・夢や希望を叶えるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、未来を切り拓くことができる
- ・固定観念や価値観を押し付けられず、自由で多様な選択ができ、自分の可能性を広げることができる
- ・自らの意見を持つための様々な支援を受けることができ、その意見を表明し、社会に参画できる
- ・不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる
- ・虐待、いじめ、体罰・不適切な指導・暴力、経済的搾取・性犯罪・性暴力、災害・事故などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができる
- ・働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つことができる

そして、20代、30代を中心とする若い世代が、

- ・自分らしく社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができる。
- ・希望するキャリアを諦めることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができる。
- ・それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもの生活を始めることができる。
- ・社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができる。そうした環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができる。

- ① こども・若者が、尊厳を重んぜられ、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を活かすことができるようになる。こどもを産みたい、育てたいと考える個人の希望が叶う。こどもや若者、子育て当事者の幸福追求において非常に重要。
- ② その結果として、少子化・人口減少の流れを大きく変え、未来を担う人材を社会全体で育み、社会経済の持続可能性を高める。

こどもや若者、子育て当事者はもちろん、全ての人の人にとって、社会的価値が創造され、その幸福が高まることに

（*こども家庭審議会における当該条約の呼称についての議論を踏まえ、当事者であるこどもにとってのわかりやすさの観点から、児童の権利に関する条約を「こどもの権利条約」と記載。）

こども施策に関する基本的な方針

日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、以下の6本の柱を基本的な方針とする。

①こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る

- ・こども・若者は、保護者や社会の支えを受けながら、自立した個人として自己を確立していく意見表明・参画と自己選択・自己決定・自己実現の主体であり、生まれながらに権利の主体。多様な人格を持つた個として尊重し、その権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る。「こどもとともに」という姿勢で、こどもや若者の自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押し。

- ・成育環境等によって差別的取扱いを受けることのないようにする。虐待、いじめ、暴力等からこどもを守り、救済する。

②こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく

- ・こども・若者が、自らのことについて意見を形成し、その意見を表明することや、社会に参画することが、社会への影響力を発揮することにつながり、おとなは、こども・若者の最善の利益を実現する観点からこども・若者の意見を年齢や発達の程度に応じて尊重する。

- ・意見表明・社会参画する上でも欠かせない意見形成への支援を進め、意見を表明しやすい環境づくりを行う。困難な状況に置かれたこども・若者や様々な状況にあって声を聴かれにくいこどもや若者等について十分な配慮を行う。

③こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する

- ・こども・若者の状況に応じて必要な支援が特定の年齢で途切れることなく行われ、自分らしく社会生活を送ることができるようになるまでを社会全体で切れ目なく支える。

- ・「子育て」とは、こどもの誕生前から男女ともに始まっており、乳幼児期の後も、学童期、思春期、青年期を経て、おとなになるまで続くものとの認識の下、ライフステージを通じて、社会全体で子育て当事者を支えていく。

④良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする

- ・乳幼児期からの安定した愛着（アタッチメント）の形成を保障するとともに、愛着を土台として、全てのこども・若者が、相互に人格と個性を尊重されながら、安全で安心して過ごすことができる多くの居場所を持ち、様々な学びや多様な体験活動・外遊びの機会を得ることを通じて、自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな状態で成長し、尊厳が重んぜられ、自分らしく社会生活を営むことができるように取り組む。

- ・困難な状況にあるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じてきめ細かい支援や合理的配慮を行う。

⑤若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む

- ・若い世代が「人生のラッシュアワー」と言われる様々なライフイベントが重なる時期において、社会の中で自らを活かす場を持つことができ、現在の所得や将来の見通しを持てるようにする。

- ・多様な価値観・考え方を尊重することを大前提とし、どのような選択をしても不利を被らないようにすることが重要。その上で、若い世代の意見に真摯に耳を傾け、その視点に立って、若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、こどもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で支えていく。共働き世帯が増加し、また、結婚・出産後も仕事を続けたい人が多くなっている中、その両立を支援していくことが重要であるため、共働き・子育てを推進し、育児負担が女性に集中している実態を変え、男性の家事や子育てへの参画を促進する。

⑥施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

こども施策に関する重要事項

「こどもまんなか社会」を実現するための重要事項を、こども・若者の視点に立って分かりやすく示すため、ライフステージ別に提示。

1 ライフステージを通じた重要事項

- こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
(こども基本法の周知、こどもの教育、養育の場におけるこどもの権利に関する理解促進 等)
- 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり(遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着、こどもまんなかづくり 等)
- こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供(成育医療等に関する研究や相談支援等、慢性疾病・難病を抱えるこども・若者への支援)
- こどもの貧困対策(教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者の就労支援、経済的支援)
- 障害児支援・医療的ケア児等への支援(地域における支援体制の強化、インクルージョンの推進、特別支援教育 等)
- 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援(児童虐待防止対策等の更なる強化、社会的養護を必要とするこども・若者に対する支援、ヤングケアラーへの支援)
- こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組
(こども・若者の自殺対策、インターネット利用環境整備、性犯罪・性暴力対策 等)

2 ライフステージ別の重要事項

- こどもの誕生前から幼児期まで
こどもの将来にわたるウェルビーイングの基礎を培い、人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期。
 - ・妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保
 - ・こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障と遊びの充実
- 学童期・思春期
学童期は、こどもにとって、身体も心も大きく成長する時期であり、自己肯定感や道徳性、社会性などを育む時期。
思春期は、性的な成熟が始まり、それに伴って心身が変化し、自らの内面の世界があることに気づき始め、他者との関わりや社会との関わりの中で、自分の存在の意味、価値、役割を考え、アイデンティティを形成していく時期。
 - ・こどもが安心して過ごすことのできる質の高い公教育の再生等
 - ・居場所づくり
 - ・小児医療体制、心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実
 - ・成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育
 - ・いじめ防止
 - ・不登校のこどもへの支援
 - ・校則の見直し
 - ・体罰や不適切な指導の防止
 - ・高校中退の予防、高校中退後の支援
- 青年期
大学等への進学や就職に伴い新しい環境に適応し、専門性や職業性を身に付け、将来の夢や希望を抱いて自己の可能性を伸展させる時期。
 - ・高等教育の修学支援、高等教育の充実
 - ・就労支援、雇用と経済的基盤の安定
 - ・結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援
 - ・悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談体制の充実

3 子育て当事者への支援に関する重要事項

- 子育て当事者が、経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、また、過度な使命感や負担を抱くことなく、健康で、自己肯定感とゆとりを持って、こどもにも向き合えるようにする。
- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 地域子育て支援、家庭教育支援
- 共働き・子育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- ひとり親家庭への支援

こども施策を推進するために必要な事項

1 こども・若者の社会参画・意見反映

こども基本法において、こども施策の基本理念として、こども・若者の年齢及び発達程度に応じた意見表明機会と社会参画機会の確保、その意見の尊重と最善の利益の優先考慮が定められている。また、こども施策を策定、実施、評価するに当たって、こども・若者の意見を幅広く聴取して反映させるために必要な措置を講ずることが国や地方公共団体に義務付けられている。こどもの権利条約は、児童（18歳未満の全ての者）の意見を表明する権利を定めており、その実践を通じた権利保障を推進することが求められる。

こどもや若者の意見を聴いて施策に反映することやこどもや若者の社会参画を進めることには、大きく、2つの意義がある。

① こどもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。

② こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。

こどもや若者とともに社会をつくるという認識の下、安心して意見を述べることができる場や機会をつくるとともに、意見を持つための様々な支援を行い、社会づくりに参画できる機会を保障することが重要。その際、こどもや若者の社会参画・意見反映は形だけに終わる懸念があることを認識して、様々な工夫を積み重ねながら、実効性のあるものとしていくことが必要。

○ 国の政策決定過程へのこども・若者の参画促進（『こども若者★いけんぷらす』の推進、若者が主体となって活動する団体からの意見聴取、各府省庁の各種審議会・懇談会等の委員へのこども・若者の登用、行政職員向けガイドラインの作成・周知）

○ 地方公共団体等における取組促進（上記ガイドラインの周知やファシリテーターの派遣等の支援、好事例の横展開等の情報提供 等）

○ 社会参画や意見表明の機会の充実 ○ 多様な声を施策に反映させる工夫 ○ 社会参画・意見反映を支える人材の育成

○ 若者が主体となって活動する団体等の活動を促進する環境整備 ○ こども・若者の社会参画や意見反映に関する調査研究

2 こども施策の共通の基盤となる取組

○ 「こどもまんなか」の実現に向けたEBPM（仕組み・体制の整備、データの整備・エビデンスの構築）

○ こども・若者、子育て当事者に関わる人材の確保・育成・支援

○ 地域における包括的な支援体制の構築・強化（要保護児童対策地域協議会と子ども・若者支援地域協議会の活用、こども家庭センターの全国展開 等）

○ 子育てに係る手続き・事務負担の軽減、必要な支援を必要人に届けるための情報発信

○ こども・若者、子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

3 施策の推進体制等

○ 国における推進体制（総理を長とするこども政策推進会議、こどもまんなか実行計画の策定、担当大臣やこども家庭審議会の権限行使 等）

○ 数値目標と指標の設定 ○ 自治体こども計画の策定促進、地方公共団体との連携 ○ 国際的な連携・協力

○ 安定的な財源の確保 ○ こども基本法附則第2条に基づく検討

こども大綱における目標・指標

別紙1に、こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向けたこども・若者や子育て当事者の視点に立った数値目標、別紙2に、こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標を設定する。

※具体的に取り組み施策の進捗状況を検証するための指標については「こどもまんなか実行計画」において設定。

目標（別紙1）

（目標値）

「こどもまんなか社会の実現に向かっていて」と思う人の割合	70%
「生活に満足している」と思うこどもの割合	70%
「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合（自己肯定感の高さ）	70%
社会的スキルを身につけているこどもの割合	80%
「自分には自分らしさというものがある」と思うこども・若者の割合	90%
「どこかに助けてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合	現状*維持 ※97.1%
「社会生活や日常生活を円滑に送ることができている」と思うこども・若者の割合	70%
「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合	70%
「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合	80%
「自国の将来は明るい」と思うこども・若者の割合	55%
「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていて」と思う人の割合	70%
「こどもの世話や看病について頼れる人がいる」と思う子育て当事者の割合	90%

目指す社会：こどもまんなか社会

指標（別紙2）

- ・「こどもは権利の主体である」と思う人の割合
- ・こどもの貧困率
- ・里親等委託率
- ・児童相談所における児童虐待相談対応件数
- ・小・中・高生の自殺者数
- ・妊産婦死亡率
- ・安心できる場所の数が1つ以上あるこども・若者の割合
- ・いじめの重大事態の発件数
- ・不登校児童・生徒数
- ・高校中退率
- ・大学進学率
- ・若年層の平均賃金
- ・50歳時点の未婚率
- ・「いづれ結婚するつもり」と考えている未婚者の割合
- ・合計特殊出生率
- ・出生数
- ・夫婦の平均理想/予定こども数
- ・理想の子ども数を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる夫婦の割合
- ・男性の育児休業取得率
- ・6歳未満のこどもをもつ男性の家事関連時間
- ・ひとり親世帯の貧困率

等

熊取町「(仮称) 熊取町こども計画」策定のための ニーズ調査 自由意見まとめ

(主な意見を抜粋して、原則原文のまま記載)

1. 就学前児童のいる世帯の調査結果

(1) 子育て環境や支援に関するご意見 (回答数 150件)

問 29 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

経済支援

(保育料)

- ・第二子の保育料無償は非常に助かった。
- ・第二子以降の扱いが未就学児内に限られているのを拡充して欲しい。
- ・保育料も3歳になったら全保育園公平に無料にして欲しい。
- ・保育料が高い。
- ・0歳児から保育料無料にして欲しい。

(給食費無償化)

- ・副食費の援助はとても助かった。
- ・保育所や学校の給食費無償化は、子育てのまちと謳うなら必須であると思う。
- ・給食費免除を継続してほしい。

(インフルエンザ費助成)

- ・インフルエンザ予防接種助成で高齢者は1000円だったのにこどもは3000円×2回なのがおかしいと思う。
- ・インフルエンザの予防接種に補助が欲しい。

(その他)

- ・低所得者世帯などへの支援ばかりで、普通に所得がある人に対しては優しくない。
- ・就学時の給付金など、ギリギリ制度が受けられない収入所得者からするとかなりつらい。
- ・就学時の給付金は一律に与えて欲しい。
- ・低所得世帯だけでなく、全世帯に習い事にかかる費用の助成や、給食費の無料化などはすぐに行ってほしい。
- ・保育料、学校給食費、こどもの医療費は最低限無償化して欲しい。
- ・隣の市のように、ゴミ袋は自治体加入で無料、インフルエンザワクチン補助金など、子育てに力を入れていると認識されるために予算を増やしてほしい。
- ・こどもに対しての手当、こどもがいる家庭への手当てなどは、他の市と比べてもあまり変わらないと感じた。
- ・こどもに対しての助成金や対策がとても遅い。
- ・双子や三つ子はさらに出費が重なるのでかなり辛い
- ・双子や三つ子の場合などの給付援助や少しの考慮などを考えていただけたら嬉しい。
- ・オムツやお尻拭き、ミルクなど消耗品でかつ実用性の高いものは現物で定期的にもらえるととても助かる。

- ・他の市が実施しているような助成制度も検討していただけると嬉しい。
- ・大学の学費支援があると嬉しい。

保育

- ・保育園の入園が難しい。
- ・こどもを預けるためには仕事をしていなければならないが、仕事ではこどもを預けてからにしてくれと言われ、自治体の支援が無ければ仕事につくことができない。
- ・就職が決まったのにも関わらず保育園の空きがなく就労できない。
- ・仕事をしているので保育園に入れようか迷ったがやはり費用を考えると仕事をする意味がないなと感じ入れることを躊躇っている。
- ・待機児童ゼロを再度実施して欲しい。
- ・保育所の荷物を少なくしてほしい。
- ・お昼寝布団を持って行って、持ち帰るのが想像以上に大変なので(特に雨の日など)早くレンタル制度が整ってほしい。
- ・お盆休みに保育所の給食がなくなるはやめてほしい。
- ・給食がない夏の暑い日に、朝7時にお弁当を預けて腐らず大丈夫か心配。
- ・土曜日など、時間単位でこどもを安心して預けれる場所があると助かる。
- ・保育所も平日は、確実に預かってもらえるようにしてほしい。

病児保育

- ・熊取町独自の病児保育施設がない。
- ・病児保育の場所を保育園内の空き教室、ファミリーサポートセンター、公共施設等、場所を工夫して作ってほしい。
- ・働くために病児保育料 3000 円払って預けるのもなんのために働くのかなと感じる。

一時預かり

- ・ファミリーサポートに少し不安があるのと、緊急時に対応いただけないので、保育園のような所に急な時でも預けられるとすごく助かる。
- ・仕事を休めない環境だった時に一時預かりしてくれる制度、サポートがあると助かる。

公園

- ・子育て支援をうたっているが、公園が少なすぎる。
- ・近場に広い綺麗な公園が少ないと感じる。
- ・公園の数や整備を充実させてほしい。
- ・煉瓦館や役場といった周りが開けた人通りの多い場所に、滑り台などの遊具を設置していただけると嬉しい。
- ・ちびっこ広場のグラウンドの整備や、駅周辺に公園があればより活気着くと思う。
- ・散歩、遊ばせやすい公園や、こどもの物等買えるモールが近くにあればもっと子育てがしやすいのになと感じている。
- ・唯一ある公園は草が生い茂り遊べずこどもがかわいそう。
- ・遊具など綺麗にしてほしい。

道路

- ・歩道もない狭い道が多く、こどもを連れて歩くには危険だと感じる。
- ・デコボコしていたり、電柱が出ていたり、歩道が狭くてベビーカーを押すには危ない道が多すぎる。
- ・通学路も狭いし、中学生の登校時間と重なり自転車も多く危なく感じる。
- ・車が真横を走り歩道が整備されていなかったりフェンスやガードがなかったり、歩行者ラインがあっても狭かったり、安全面が気になる。
- ・歩道の手すりをつけて、車からこどもを守って欲しい。
- ・側溝や排水溝なども蓋がなく、雨や災害時にも気になる。
- ・熊取駅前ロータリー周辺をベビーカーで歩いた際に段差が多くて、遠回りせざるを得ない。

社会基盤

- ・産婦人科、婦人科、小児科、耳鼻科が少なすぎて、泉佐野や貝塚まででないと対応できないときがあり困る。
- ・団地やアパートを東小校区にも建設して欲しい。
- ・本屋さんやあかちゃんほんぼ等子育て世帯向けのお店の誘致を行って頂きたい。

子育て支援環境や設備

- ・ぶらっつや保育園の園庭開放が自由に、行きたい時に参加出来るのはありがたい。
- ・午前中は保育園等の園庭開放などはあるが、午後から利用できる子育て支援施設が少ない。
- ・屋内の安全な遊び場がもっとあれば利用したい。
- ・子育て支援センターの数が少なすぎる。
- ・子育て支援の教室を充実させてほしい。
- ・土日に保育園や幼稚園や小学校などでこども食堂やイベントをもっと企画してほしい。
- ・ママが仕事から帰ってきて家事に注がなければならない時間をたすけてくださるとありがたい。
- ・子育て中のママが働きやすくなる環境、支援があればいいと思う。
- ・子育てサークルが一つもないのは寂しいと思う。
- ・煉瓦館の絵本コーナーがもう少し増えたら嬉しい。

保育士の待遇改善

- ・子育て支援の事業でなにか計画をするのであれば、保育士さんたちの就労環境が悪くならないよう、より良くなるようなことも考えてほしい。
- ・こども園も18時くらいで閉まるようにして保育士も我が子と過ごす時間が増えたらいいのと思う。
- ・保育士をもっと雇って欲しい。

安心・安全

- ・登下校時に道路の見守りボランティアがいるのは安心できる。
- ・街灯、防犯カメラを増やしてほしい。
- ・不審者や環境面の安全性が担保されておらず気になる。
- ・刺すような炎天下の中、帽子、日傘なく歩く姿を見かけると大変心配になる。

周知

- ・複数の小さなこどもを連れて役場に足を運ぶのは大変な部分もあるので、HPなどでもっと情報を得やすいと大変助かる。
- ・学童の時間や料金の詳細が分からない。

その他

- ・福祉子育てに手厚い政策が良いと感じてこの町に定住を決めた。
- ・自治会が古い制度のままで、小さいこどもを持つ共働き世帯に配慮が少なすぎると感じる。
- ・育休中に学童を少しでも入られる制度がほしい。
- ・小学校の給食を国産にこだわる、添加物を使用しない、小麦牛乳は減らすなどこどもたちの食に少しお金をかけてこだわってほしい。
- ・小学生の放課後の時間を充実したものにして工夫をしてもらいたい。
- ・小さい子も田植えや稲刈り体験とか、虫採りとか、川遊びが気軽にできる場所なんかがあったら嬉しい。
- ・地域のサロンなど、赤ちゃんから高齢者まで集まれるような場が必要だと思う。
- ・ゴミ捨ての時間が早い。

2. 小学生のいる世帯の調査結果

(1) 子育て環境や支援に関するご意見（回答数 126件）

問 23 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

経済支援

(給食費無償化)

- ・給食費無料がすごくありがたいので、引き続き検討してほしい。
- ・給食費の無償を延長してほしい。
- ・給食の無償化は、給付金や現物支給よりもダイレクトに助かるので、継続してほしい。
- ・小、中学校の給食費を期間限定の無償ではなく、完全無償化にするべきだと思う。

(保育料・学童費用)

- ・3人目の保育料無償化を制限なくしてほしい。3人いても年齢差があるので無償化の対象にならない。
- ・3歳児までの保育料を無料にしてもらいたい。
- ・保育園や学童にかかる費用を低くしてほしい。
- ・2人目、3人目…は上の子が成人するまでは3人目として扱ってほしい。
- ・0-2歳児も保育料を無料化又は、半額などに変えて欲しい。
- ・学童も無償化で誰でも利用できる様にしてもらえると、大変助かる。

(その他)

- ・低所得に関係なく子育て世帯にも給付金がほしい。
- ・5つの無料化（明石市を参考）また多子家族へのサポートを増やして、より多くのこどもを産んで育てることができる町にしてほしい。
- ・大阪市内のように塾助成などの支援が欲しい。
- ・熊取の地域振興券も、制服等地元のお店で消費しやすい時期がずれていたのが残念。

学童

- ・学童保育所の受入れ人数を増やしてほしい。
- ・小学生になった途端に学童等が足りてない。
- ・学童施設をもっと増やした方がいいと思う。
- ・長期休暇中の学童保育について、希望者が皆入所出来るようにしてほしい。
- ・長期休暇枠の受け入れを増やして、高学年は長期休暇だけの利用でもよいのでは
- ・仕事を休まなくてはならない時に単発で預けられるようになるととても助かる。

公園・遊び場

- ・近所に公園が無い。
- ・下校した後の遊び場が少なく困る。
- ・夢の森公園にあるような低年齢児向けの遊具を町内の小さな公園にも配置することを検討していただきたい。
- ・小学校の校庭やひまわりドームなどこども達に開放してほしい。
- ・小学校なり他の施設なりの涼しい場所でこどもの居場所があれば嬉しい。
- ・ボール遊びが禁止されており、学校から帰ってきて友達とのびのび遊べる場所がなく困っている。
- ・放課後や休みの日に安心して遊べる場所があると嬉しい。

道路・登下校の安全

- ・歩道が少なく道が狭い所が多く危ない場所が多い。
- ・こどもたちの通学路が狭く、車やバイクと接触するのではないかと思う。
- ・交通量が多い割に歩道や横断歩道が少ない。

- ・自転車と歩道を自動車の道と分け、安心して通園できればもっとよくなる。
- ・自転車用レーンの設置や道幅拡張など、安全な環境を整えてほしい。
- ・こどもがよく通る道には信号がなく、見通しも悪い。
- ・こどもが自転車で走るには狭い道路が多いので整備して欲しい。
- ・小学生の帰りの見守り隊が少ない。

教育環境の改善

- ・担任の先生1人では大変そうなので、サポートの先生をもう1人配置していただけると有り難い。
- 1クラスの人数が多く教室が凄く狭い。
- ・学校給食の量が少ないのではと思う。
- ・小中学の体育館の空調設備を早く整えていただきたい。
- ・学校の建物や設備が古くて不便に感じる場面も多いらしいので、出来るだけ改善してあげて欲しい。
- とにかくクラスが荒れていて、勉強できる雰囲気ではない。
- ・小さくても良いので図書館が複数欲しい。

不登校児への支援

- ・不登校児を受け入れる（通える）場所があればと切に願う。
- ・不登校のこどもにもっと居場所を作してほしい。
- ・地域の人や、同じ境遇のこどもたちと触れ合えるような施設を作してほしい。
- ・不登校児への支援やケアをお願いしたい。
- ・（不登校児の）家庭にもっと聞き取りをしてほしい。
- ・（不登校のため）仕事をしたくても出来ず、学校で学ぶ分を補う為の支出がかなりあり、これからの生活が不安。

障がい福祉サービス

- ・病気や障害を持つこどもの家庭に、もっと便利なサービスがあればと思う。
- ・障がい福祉制度について職員間で理解の差があるのではと感じた。

介護と子育ての両立

- ・今後は子育てに加えて介護が必要となったとき、生活が立ち行かなくなる不安がある。
- ・介護離職やヤングケアラーといった状態に陥らないか気になってしまう。

その他

- ・いかに子育て世帯を呼び込めるか、予算と施策を見直して頂きたい。
- ・条例や権利、サービスなど、知る機会はどこで設けられてきたのか。

熊取町「(仮称) 熊取町こども計画」策定のための アンケート調査 自由意見まとめ

(主な意見を抜粋して、原則原文のまま記載)

1. 小学5年生の調査結果

(1) 困っていることや悩んでいることに関するご意見 (回答数 37件)

問 23 あなたが今、こまっていることや悩んでいることなどがあれば、自由に書いてください。

友だち関係

- ・友達と少しギクシャクしている。何でもかんでも私に聞いてきて、わからないと私がいうと、怒ってくる。
- ・友達が鼻をほじったり、爪を噛んでいるので、やめてほしい。
- ・あまり好きじゃない友達がやめてと言ってもだる絡みをしてくる。
- ・友達にどう思われているのか心配。身近にすぐキモイと口に出す子がいる。(悪口) 一人何人か言われている子がいる。
- ・仲良くしたい友達と遊べない。
- ・友達と登下校同じでシーンとなる日が何日間かあって気まずくなってしまう。その友達が他の人と行くときもあって一人になる。
- ・らいんなどで、いじめられている気がする。嫌われている気がする。

家族関係・家庭環境

- ・お父さんに例えば朝眠たそうにしているだけで怒られる。そして座るなたてと言われてずっと立っているあと暴力も普通にやられる。
- ・ママが勉強がんばってるのに決めつけて勉強やってないとか言ってくる。
- ・親が、言葉を優しくゆってくれない。
- ・弟と毎日ケンカしてしまう。
- ・妹がうるさくてストレスがたまる。
- ・おばあちゃんが認知症のなりかけだからこれから支えていきたい。
- ・お父さんがたばこを吸ってて臭い。
- ・いえがきたない。

勉強

- ・困っていることかわからないが勉強がわからない。
- ・勉強がわからないことがある。
- ・習い事の、勉強が、難しくて、宿題で、行き詰まってる。
- ・やる事が多くて期限にしっかり間に合うか不安。
- ・同じことで間違える事があること。
- ・授業が分かりづらい。

その他

- ・最近毎晩なぜかわからないけど泣いてしまう。
- ・ストレス発散法がないので生まれてから一度もストレス発散ができていない。

(2) 今後の熊取町に関するご意見 (回答数 282件)

問 24 あなたは、これから熊取町がどんなまちになればよいと思いますか。

笑顔でたのしく過ごせるまち

- ・みんなが笑顔いっぱいになるような街。
- ・もっとみんなが、「たのしい」と思ってもらえる。
- ・町の人たちが楽しく過ごせる町。
- ・どんな人でも楽しく健康に過ごせる熊取町にしたい。
- ・みんなの意見が尊重されて誰も悲しまなくて誰もが毎日楽しいって思えるような熊取町になったらいい。
- ・大人から子どもまでみんなが楽しく過ごせる町。
- ・子どもが自由にスポーツを楽しめる街になってほしい。

安心・安全なまち

- ・熊取町がもっと安心安全に暮らせて思いやりや幸せがあふれるまちになればいいと思う。また、詐欺や犯罪が少しでも少なくなればいいと思う。
- ・事件や物騒なことがない平和な街にしたい。
- ・争い事などが起こらない町。
- ・ポイ捨て、喧嘩がない町。
- ・事件が少ない町。
- ・事故や事件がない町になればいいと思う。
- ・犯罪者がいないとても安全な街。
- ・親切で犯罪などが起こらない町。
- ・治安のいい豊かなところがいい。
- ・悪い人がいないまち。

暮らしやすいまち

- ・平和なみんなが暮らしやすい居心地の良い熊取町になればよいと思う。
- ・みんなが暮らしやすく、幸せで溢れる街。
- ・みんなが助け合って住みやすい街。
- ・一人一人が気持ちよく暮らせるところ。
- ・不自由なく過ごせる街。

きれいなまち

- ・暮らしやすく、ゴミがない、きれいな街にしたい。
- ・ポイ捨てとかなくきれいなまちになればよい。
- ・明るく元気できれいな街。
- ・道ばたに、ゴミ1つもない熊取町。
- ・治安の良いきれいなまち。
- ・今よりも美しい熊取町になるといい。

自然豊かなまち

- ・自然豊かで素敵な街になればいい。
- ・自然豊かで、空気の良い新鮮な街。
- ・自然がいっぱいある町。(緑がいっぱい)
- ・自然がいっぱいあって楽しい町になってほしい。
- ・環境に配慮できる街になってほしい。

人と支えあえるまち

- ・協力し合って街の人一人ひとりがみんなのことを思い合える熊取町になればいいと思う。
- ・協力して、助け合えて一人ひとりが安心できるようなまちになればいいと思う。
- ・誰もが支えあえる熊取町。
- ・みんなが楽しくわかりあえて協力できる街になればいいと思う。

- ・差別はもちろんせず、みんなで助け合えるような街。
- ・おたがいが、支え合い、認めてもらえる町。
- ・子育てにやさしい場所になってほしい。

いじめ・差別がないまち

- ・いじめ、差別がなく、誰にでも優しくできる町になって欲しい。
- ・いじめがなくなり生きやすい街暮らしやすい街。
- ・皆平等の価値をもち、いじめなどがない街。
- ・差別なく平和で緑豊かな熊取町になればいい。
- ・差別のない楽しいまちになったらいい。
- ・差別などがなく、誰もが安心・安全に暮らせる街になればいいなと思う
- ・みんなが公平に暮らせるところ。
- ・性別や年齢関係なく、個性あふれる町にしたい。
- ・みんなの人権が守られる楽しく平和な熊取町。

施設・公園の充実・にぎわいのあるまち

- ・図書館など施設が多い町。
- ・大きい公園がたくさんあって外でいっぱい遊べる街。
- ・もっと建物が増えてすごく栄えている街になればいいと思う。
- ・都会になってほしい。
- ・ショッピングモールがいっぱいある。
- ・発展して便利な町。
- ・こどもが増えてキターねホールやかむかむプラザが賑わったりしてたらいいなとおもう。

2. 中学2年生の調査結果

(1) 困っていることや悩んでいることに関するご意見 (回答数 42件)

問 23 あなたが今、困っていることや悩んでいることなどがあれば、自由に書いてください。

人間関係 (友人・先生)

- ・友達とどう関わるか 常に喧嘩が起きないように気をつけていてしんどい。
- ・ライン上での会話にプライベートがない。
- ・悪口言われてる。
- ・友達がネガティブで周りの空気が悪くなること。
- ・友人関係。
- ・いじめの思い出を思い出して泣いてしまう。
- ・学校で小さなことでもなにか良くないことを言われたら傷ついてしんどくなる。涙が出る。
- ・顔がすぐ赤くなる。
- ・特にないけど、しいて言うなら自分が心配性すぎる。あまり人に自分の意見を言えないこと。
- ・先生でストレスが貯まる。
- ・顧問にアホバスケ下手くそなど言われます。

勉強・進路

- ・勉強がのびない。
- ・塾が嫌すぎて先端恐怖症になったりしているから塾をやめたい。
- ・塾に行きたいけどさがしてもいい塾が見つからない。
- ・勉強ムズイ。
- ・授業が気持ちよく受けられない。
- ・受験が不安。
- ・高校受験が不安です。
- ・将来が心配。
- ・成績・進路・高校。

忙しい、ゆとりできない

- ・時間がない。
- ・もっといっぱいねたい。

家族関係・家庭環境

- ・お母さんとお父さんの仲が悪い。
- ・お父さんが少々短気。
- ・兄弟のせいで、好きな時間に寝ることができない。
- ・兄弟のせいで、好きな時間に寝ることができない。理想（10 時前後） 今（夜中の 2 時～3 時）。

その他

- ・自分でもわかるくらい、ネットに依存していることが悩み。
- ・部活の時間が少なすぎる。
- ・昔に戻りたい（小学校一年生くらいまで）。
- ・猫が熱を出した。
- ・自分の本当にしたいことは何なのか、自分に向いてることは何なのか。

（2）今後の熊取町に関するご意見（回答数 214 件）

問 24 あなたは、これから熊取町がどんなまちになればよいと思いますか。

安心・安全なまち

- ・安心できる平和な街。
- ・犯罪件数の少ない幸せで豊かな街にしていきたい。
- ・事件が起こらない町。
- ・犯罪とか怖いことが起きない安全安心な町。
- ・危険のない町。
- ・平和な街になってほしい。

イベントやレジャー施設の充実、にぎわいのあるまち

- ・イベントとかいっぱい増えて、活気のある町。
- ・いろんなことが体験できること。
- ・ショッピングモールやレジャー施設、飲食店が充実している。
- ・買い物できる施設がたくさんある。
- ・本屋、文具屋の充実した住みやすい街。
- ・お店がいっぱいある街。
- ・賑やかな街。
- ・遊び場など心休めるエンターテインメントができる楽しい街。
- ・室内の遊ぶところがあればいい。
- ・都会のような賑やかな街。
- ・建物がもっと多く建てられて人がもっと増えて栄えていったらいいと思う。
- ・人が多い町。
- ・外国人がたくさん来るような町。
- ・熊取町内で経済が回るようなまちになればいいと思う。
- ・新しい店ができてほしい。
- ・いろんな店できて、中学生でも遊べるところできて、田舎っぽさがなくなればいいと思う。
- ・大きい街。

住みやすいまち

- ・誰でも住みやすい町。
- ・子どもだけでなく大人も住みやすいまち。
- ・町の中にいる人が困ることのないまち。
- ・ここに住みたいと思えるまち。

- ・誰もが住みたいと思える町。
- ・バリアフリーが多い町。
- ・色々な人が快適に暮らせる町。
- ・交通をもっと便利にしてほしい。
- ・自然も残しつつ、今よりいろんな年代の人が住みやすい日本一の町になってほしい。

笑顔でいられるまち

- ・笑っていられるまち。
- ・みんなが笑顔で活気ある町。
- ・みんなが楽しく笑顔の溢れる街になってほしい。
- ・みんなが幸せに暮らせて、笑顔が溢れる街になればいい。

人や地域とのつながりがあるまち

- ・地域の人との関わりを増やせるような街。
- ・子どもやお年寄りに優しい町になればいいと思う。
- ・年齢や世代とか関係なく、みんな協力できるまち。
- ・みんなの意見を尊重し、協力しあえる楽しい町。
- ・明るく協調性をもつ町。
- ・一人一人が楽しく、熊取町内の人と繋がりあえる熊取町になればいいと思う。
- ・気楽に挨拶とかし合える関係にあるようなまち。
- ・みんなが仲のいい街。
- ・幸せに暮らせていけるように地域の人同士で支え合えあっていくまちになったらよい。
- ・近所の人と仲良くできる町。
- ・みんな仲良くて、たのしい街。

自然豊かなまち

- ・きれいな自然が保たれている街。
- ・楽しく自然豊かな街。
- ・自然と調和した住みよい町。
- ・緑と近代化を両立した街。
- ・木がいっぱい。

子育てしやすく、子どもが多いまち

- ・子育てがしやすいまち。
- ・子どもたちが沢山いる町。
- ・こどもの多い活気のある町。
- ・もっと子育て支援を増やして人口を増やして少子高齢化がなく、今よりもこどもがふえるような熊取町になって欲しい。
- ・教育や子育てに力を入れていく。
- ・こどもにもっと優しい街になること。

